

文 学 部

履 修 要 項

( 講 義 内 容 )

1995 (平成7) 年度

駒澤大學

# 学 年 暦

## 前 期

4月8日(土)	入学式	25日(月)	外国語指定届受付(仏教・文<除英米文>・法学部・短大国文・英文の1年次生)
10日(月)	} 新入生オリエンテーション	}	
12日(水)		29日(金)	秋季健康診断(卒業年次生以外対象)
10日(月)	} 在校生身分証明登録	26日(火)	専攻コース指定届受付
15日(土)		27日(水)	(歴史・社会学科の1年次生)
10日(月)	} 在校生成績発表	26日(火)	前期終了科目追・再試験
11日(火)		}	(授業平常どおり)
10日(月)	体育実技Ⅱ受講届(種目選択届)	10月2日(月)	第113回開校記念日
11日(火)	受付(学部2年次生)	15日(日)	
12日(水)	時事外国語受講届受付 (経済学部3年次生)	23日(月)	} 編入学試験願書受付
13日(木)	} 在校生成績質疑応答	27日(金)	
19日(水)		前期授業開始	11月13日(月)
13日(木)	} 春季健康診断(卒業年次生対象)	}	
17日(月)		履修届受付(土曜日は除く)	16日(木)
21日(金)	(学部により受付日が異なる)	12月1日(金)	} 卒業論文受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)
20日(木)	} 履修確認表配布及び履修届訂正期間	}	
25日(火)		卒業論文論題受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)	11日(月)
5月23日(火)	} 中間試験及び前期終了科目定期試験(授業平常どおり)	3日(日)	} 冬季休業開始(1月7日まで)
24日(水)		21日(木)	
25日(木)	前期授業最終日	21日(木)	} 体育実技Ⅱ集中授業コース(学部2年次生)
6月12日(月)	夏季休業開始(9月15日まで)	}	
7月14日(金)	体育実技Ⅱ集中授業コース	25日(月)	
20日(木)	(学部2年次生)	平成8年	
20日(木)	前期終了科目定期試験欠試届(追試験申込)受付締切	1月8日(月)	後期授業再開
21日(金)	} 補講期間	13日(土)	後期授業最終日
21日(金)		16日(火)	
25日(火)	} 追・再試験(学部4年次生・短大生)及び追試験(学部1~3年次生)	}	
25日(火)		24日(水)	定期試験(専門・基礎・教職科目)
9月4日(月)	} 成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付(学部4年次生・短大生)	25日(木)	} 定期試験(一般・外国語・保健体育科目)
8日(金)		31日(水)	
9月16日(土)	後期授業開始	2月5日(月)	定期試験欠試届(追試験申込)受付締切
18日(月)	} 前期終了科目定期試験成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付	6日(火)	卒業論文口頭試問(仏教・文学部の4年次生)
19日(火)		16日(金)	} 成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付(学部4年次生・短大生)
		17日(土)	
		19日(月)	体育実技Ⅱシーズン・コース(スキー)(学部2年次生)
		}	
		23日(金)	
		22日(木)	追・再試験(学部4年次生・短大生)及び追試験(学部1~3年次生)
		}	
		28日(水)	
		3月19日(火)	卒業生名簿発表
		25日(月)	卒業式

## 授 業 時 間

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

# 文 学 部

## 履 修 要 項

### (講 義 内 容)

I	単位制と学年制
II	卒業に必要な 単位数と卒業論文
III	授業科目の履修方法
IV	履修科目の登録 (履修届)とその作成順序
V	試験及び成績評価
VI	進級について
VII	クラス制及びクラス主任
VIII	教職課程・資格講座
IX	事務取扱いについて
X	学籍について
XI	既修得単位の 認定について
XII	届書・願書について
XIII	各種証明書取扱い窓口
	試験実施規程(抜粋)
	講 義 内 容



# 目 次

## I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制 ..... (3)
2. 授業科目の単位数 ..... (3)
3. 授業科目の区分 ..... (3)

## II 卒業に必要な単位数と卒業論文

1. 卒業に必要な単位数 ..... (7)
2. 卒業論文 ..... (12)
3. 卒業及び学位記の授与 ..... (12)

## III 授業科目の履修方法

1. 一般教育科目の履修方法 ..... (15)
2. 外国語科目の履修方法 ..... (17)
3. 保健体育科目の履修方法 ..... (20)
4. 基礎教育科目の履修方法 ..... (20)
5. 専門教育科目の履修方法 ..... (21)
6. 他学部科目の履修方法 ..... (39)
7. 随意科目の履修方法 ..... (41)
8. 再履修科目の履修方法 ..... (41)
- ※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法 ..... (42)

## IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録 ..... (45)
2. 履修届記入上の注意 ..... (47)
3. 履修届（時間割）の作成順序 ..... (48)
4. 授業時間 ..... (49)

## V 試験及び成績評価

1. 定期試験 ..... (53)
2. 中間試験 ..... (53)
3. 追・再試験 ..... (53)
4. 受験心得 ..... (54)
5. 成績評価・単位認定 ..... (54)

6. 試験時間	(55)
7. 成績発表	(55)
VI 進級について	(59)
VII クラス制及びクラス主任	(63)
VIII 教職課程・資格講座	(63)
IX 事務取扱いについて	
1. 事務室の事務受付時間	(67)
2. 休 講	(67)
3. 掲示・連絡	(67)
4. 問い合わせ	(67)
X 学籍について	
1. 修業年限と在学年数	(71)
2. 休 学	(71)
3. 復 学	(71)
4. 退 学	(72)
5. 除 籍	(72)
6. 懲 戒	(72)
7. 編 入 学	(72)
8. 再 入 学	(72)
9. 転部・転科	(72)
10. 留 学	(73)
11. 学生氏名・保証人	(73)
12. 学生番号	(73)
XI 既修得単位の認定について	(77)
XII 届書・願書について	(81)
XIII 各種証明書取扱い窓口	(85)
試験実施規程（抜粋）	(89)
講 義 内 容	(91)

# I 単 位 制 と 学 年 制





# I 単位制と学年制

## 1. 単位制と学年制

大学では単位制が採用されている。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することにより、各授業科目ごとに定められている単位を修得する制度である。また、学年制とは、単位制に基づく学修過程を第1学年から第4学年の段階を追って計画的に修学し、一定の単位を修得すれば上級学年に進級していく制度である。

本学では、授業科目の履修と単位の修得を体系的、かつ合理的に進められるように単位制と学年制を併用した教育システムを採用している。

※ 進級についての基準はP.59を参照のこと。

## 2. 授業科目の単位数

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して大学設置基準を基に学則において定めている。

## 3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

- |           |                          |           |
|-----------|--------------------------|-----------|
| 1. 一般教育科目 | (人文分野・社会分野・自然分野) ……………   | 選択必修科目    |
| 2. 外国語科目  | (第1外国語・第2外国語) ……………      | 選択必修科目    |
| 3. 保健体育科目 | (講義・実技) ……………            | 必修科目      |
| 4. 基礎教育科目 | (専門教育科目の基礎となる科目) ……………   | 必修科目      |
| 5. 専門教育科目 | (専門的知識を内容とする科目) ……………    | 必修科目・選択科目 |
| 6. 他学部科目  | (履修可能な他学部公開設置科目) ……………   | 選択科目      |
| 7. 随意科目   | (卒業に必要な単位に含まれない科目) …………… | 選択科目      |

※ 必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目

選択必修科目 …… 数科目の中から所定の科目数又は単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

選択科目 …… 自由に選び履修できる科目



## Ⅱ 卒業に必要な単位数と卒業論文



## Ⅱ 卒業に必要な単位数と卒業論文

### 1. 卒業に必要な単位数

#### 国文学科

授業科目の区分	科目数	修得単位	計	合計	
一般教育科目	人文分野	4	16	28	} 128以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	36	72	
	選択		28		
	卒業論文(必修)		8		

## 英米文学科

### A. 平成3年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	132以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	5	10	16	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教	育科目	5	12	12	
専門教育科目	必修	7	28	72	
	選択		36		
	卒業論文(必修)		8		

### B. 平成2年度以前入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	28	130以上
	社会分野	2	8		
	自然分野	1	4		
外国語科目	第1外国語	5	10	14	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教	育科目	5	12	12	
専門教育科目	必修	7	28	72	
	選択		36		
	卒業論文(必修)		8		

## 地理学科

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	} 128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教	育科目	2	8	8	
専門教育科目	必修	6	16	72	
	選択		48		
	卒業論文(必修)		8		

歴史学科

〔日本史専攻・東洋史専攻・西洋史専攻〕

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目	育科目	1	4	4	
専門教育科目	必修	8	32	72	
	選択		32		
	卒業論文(必修)		8		

〔考古学専攻〕

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	128以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目	育科目	1	4	4	
専門教育科目	必修	10	38	72	
	選択		26		
	卒業論文(必修)		8		



社会学科  
〔社会学コース〕

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	12	48	72	
	選択		16		
	卒業論文(必修)		8		

〔社会福祉コース〕

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	13	48	72	
	選択		16		
	卒業論文(必修)		8		

〔心理学コース〕

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	3	12	32	132以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	12	
	第2外国語	2	4		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		3	12	12	
専門教育科目	必修	8	28	72	
	選択		36		
	卒業論文(必修)		8		

## 2. 卒業論文

卒業論文は、あらかじめ自己の研究目標に基づき、2年次以降その研究目標に関連する科目を履修し、4年次で提出しなければならない。

提出された卒業論文（1部）は審査の上、合格者には8単位を認定する。

### イ. 論題提出について

- (1) 論題は所定の用紙「卒業論文論題届」に楷書で正確に記入の上、指導教授の承認印を受けて提出すること。
- (2) 提出された論題の変更は原則として認めない。

論題提出期間 5月25日（木）～6月12日（月）正午まで（教務部⑥番窓口）

### ロ. 論文作成について

- (1) 論文作成にあたっては常に指導教授に相談して、その指導を受けなければならない。
- (2) 論文は提出した論題により作成すること。
- (3) 論文は所定用紙（大学売店にて販売）を使用すること。
- (4) 論文は楷書でていねいに書くこと。
- (5) 論文の枚数・表紙・体裁等については別に指示する。

### ハ. 論文提出について

- (1) 論文は論題受付印のある「卒業論文審査願」とともに提出すること。
- (2) 卒業論文審査願と論文表紙の論題は同一であること。
- (3) 論文は誤字・脱字・内容等について再点検し、提出すること。

論文提出期間 12月1日（金）～11日（月）正午まで（教務部⑥番・臨時窓口）

[提出期限に遅れたとき、または授業料その他の学費を納入していない場合は受理しない。]

### ニ. 論文審査について

論文は指導教授によって審査・口頭試問を行い可否を判定する。

口頭試問日 2月6日（火）

## 3. 卒業及び学位記の授与

大学に4年以上（7年を超えてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には、卒業証書・学位記が授与され、次の学士の学位が与えられる。

	国文学科	………	学 士（国文学）
	英米文学科	………	学 士（英米文学）
文学部	地理学科	………	学 士（地理学）
	歴史学科	………	学 士（歴史学）
	社会学科	………	学 士（社会学）

### Ⅲ 授業科目の履修方法



### Ⅲ 授業科目の履修方法

#### 授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配当する。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が示されている科目は、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし、再履修又は指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない。
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低及び最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

#### 1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次及び2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から各学科の定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 各学科とも「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次の必修科目とする。
- ハ. 各学科とも2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

一般教育科目の卒業所要単位数

	人文分野	社会分野	自然分野	計
国文学科	16 (4)	8 (2)	4 (1)	28 (7)
英米文学科	16 (4)	8 (2)	4 (1)	28 (7)
地理学科	12 (3)	12 (3)	8 (2)	32 (8)
歴史学科	16 (4)	12 (3)	8 (2)	36 (9)
社会学科	12 (3)	12 (3)	8 (2)	32 (8)

※ ( ) 内の数字は科目数

一般教育科目の授業科目

分野 学科	人文分野			社会分野				自然分野		
	授業科目	単位	修得単位	授業科目	単位	修得単位	備考	授業科目	単位	修得単位
国文学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」を含 めて4科目 16単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法) (2単位を含む)	4	2科目 8単位 選択必修		自然科学概論	4	1科目 4単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4			心理学	4	
	哲学	4		社会学	4			人類学	4	
	論理学	4		地理学	4					
	歴史学	4								
	芸術学(日本美術)	4								
	芸術学(西洋美術)	4								
芸術学(音楽)	4									
英米文学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」を含 めて4科目 16単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法) (2単位を含む)	4	2科目 8単位 選択必修	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学憲法」 を必修とする。	自然科学概論	4	1科目 4単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4			心理学	4	
	哲学	4		社会学	4			人類学	4	
	論理学	4		地理学	4					
	歴史学	4								
	芸術学(日本美術)	4								
	芸術学(西洋美術)	4								
芸術学(音楽)	4									
地理学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」を含 めて3科目 12単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法) (2単位を含む)	4	3科目 12単位 選択必修	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学憲法」 を必修とする。	数学	4	2科目 8単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4			物理学	4	
	哲学	4		社会学	4			化学	4	
	文学	4		文化人類学	4			生物学	4	
	芸術学(日本美術)	4								
	芸術学(西洋美術)	4								
	芸術学(音楽)	4								
歴史学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」を含 めて4科目 16単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法) (2単位を含む)	4	3科目 12単位 選択必修	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学憲法」 を必修とする。	自然科学概論	4	2科目 8単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		経済学	4			地学	4	
	哲学	4		社会学	4			心理学	4	
	論理学	4		地理学	4			人類学	4	
	文学	4								
	芸術学(日本美術)	4								
	芸術学(西洋美術)	4								
芸術学(音楽)	4									
社会学科	宗教学Ⅰ (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」を含 めて3科目 12単位 選択必修	法学憲法 (日本国憲法) (2単位を含む)	4	3科目 12単位 選択必修	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学憲法」 を必修とする。	自然科学概論	4	2科目 8単位 選択必修
	宗教学Ⅱ (2年次必修)	4		政治学	4			生物学	4	
	論理学	4		経済学	4			地学	4	
	文学	4		地理学	4			人類学	4	
	歴史学	4								
	芸術学(日本美術)	4								
	芸術学(西洋美術)	4								
芸術学(音楽)	4									

※「宗教学Ⅰ」の授業は月曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

※国文学科の平成6年度以前入学生が「法学憲法」を履修する場合は、2年次からの履修となる。

## 2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6か国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した英語以外の外国語の2か国語を履修することになる。その2か国語を、1年次及び2年次（英米文学科は3年次）において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

### 第1外国語

学科 年次	国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2	4	2(2)	4(4)	2	4	2	4	2	4
2年次	2	4	2(2)	4(4)	2	4	2	4	2	4
3年次	—	—	1(1)	2(2)	—	—	—	—	—	—
計	4	8	5(5)	10(10)	4	8	4	8	4	8

### 第2外国語

学科 年次	国文学科		英米文学科		地理学科		歴史学科		社会学科	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2	4	2(2)	4(4)	2	4	2	4	2	4
2年次	—	—	1(-)	2(-)	—	—	—	—	—	—

※ ( ) 内数字は、英米文学科平成2年度以前入学生適用

### 1年次の履修

6か国語のうち英語ⅠA・ⅠBの2科目と、入学手続の際に指定した英語以外の外国語ⅠA・ⅠBの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数
英語ⅠA	2		ⅠA・ⅠBの2科目を必修とする。ただしⅠAは「英会話Ⅰ（定員40名）」又は「英語LLⅠ（定員30名）」に振り替えることができる。（ただし英米文学科は「英会話Ⅰ」に振り替えできない。） なお、振り替えを希望する者は、最初の授業に『履修届』用紙を持参し、担当教員の捺印を必ず受けること。
英語ⅠB	2		
英会話Ⅰ	2		
英語LLⅠ	2	視聴覚教材を使用した語学教育	
ドイツ語ⅠA	2	文 法	5か国語のうちから入学手続の際指定した1か国語ⅠA・ⅠBの2科目を必修とする。
ドイツ語ⅠB	2	講 読	
フランス語ⅠA	2	文 法	
フランス語ⅠB	2	講 読	
中国語ⅠA	2		
中国語ⅠB	2		
スペイン語ⅠA	2		
スペイン語ⅠB	2		
ロシア語ⅠA	2		
ロシア語ⅠB	2		

#### ※ 英語科目内容

英語ⅠA：意思表現と意思伝達の基礎を把握する。

英語ⅠB：講読を通し、内容と文構造の基本を把握する。

#### ※ LL……ランゲージ・ラボラトリー

※「英語ⅠB」の授業は月曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。



## 2年次の履修

1年次で履修した2か国語のうち、いずれかを第1外国語としてⅡA・ⅡBの2科目4単位を必修とする。ただし、英米文学科は英語を第1外国語とする。また、英米文学科（平成3年度以降入学生）は、1年次履修の英語以外の外国語を第2外国語としⅡAの1科目2単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 Ⅱ A	2		中 国 語 Ⅱ A	2	
英 語 Ⅱ B	2		中 国 語 Ⅱ B	2	
ド イ ツ 語 Ⅱ A	2	講 読	ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	2	
ド イ ツ 語 Ⅱ B	2	講 読	ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	2	
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	2	講 読	ロ シ ア 語 Ⅱ A	2	
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	2	講 読	ロ シ ア 語 Ⅱ B	2	

### ※ 英語科目内容

英語ⅡA：意思表現と意思伝達の能力を発展させ、応用力を修得する。

英語ⅡB：講読を通し、はば広い教養を修得する。

## 3年次の履修（英米文学科のみ）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	履 修 科 目 数
英 語 Ⅲ	2	講 読	1 科 目 必 修

※「英語Ⅲ」の授業は学生番号によりクラス編成されているので、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし、所定のクラスで履修不可能な場合は、担当教員に申し出ること。

## 外国語科目履修上の注意

イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号により該当するクラスで履修すること。

ロ. 1年次の9月25日（月）～29日（金）までの期間内に、現在履修の外国語（英語と他の1か国語）の中から2年次に履修する外国語（第1外国語）を指定し、登録すること。（ただし、英米文学科は『英語』のため登録の必要はない。）なお、登録後の変更はできないので、十分考慮の上行うこと。また、登録をしない場合、外国語の履修ができなくなることもあるので、登録は必ず行うこと。

ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。

ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める（P.41参照）。

ホ. 2年次（英米文学科は3年次）までに所定の単位を修得していなければならない。

### 3. 保健体育科目の履修方法

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は1年次に「保健体育理論」を1科目2単位、実技は1年次に「体育実技Ⅰ」を1科目1単位と2年次に「体育実技Ⅱ」を1科目1単位、計3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期又は後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期又は後期

イ. 講義・体育実技Ⅰの授業は月曜日に玉川校舎で行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※ 体育実技Ⅰ（再履修クラス含む）の種目等の説明は、最初の授業に『体育実技受講要領』を配布して行うので、必ず出席すること。なお、当日の服装は、普段着でよい。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期又は後期の体育実技Ⅱの授業

B. 後期（冬季休業中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休業中）又は後期（冬季休業中）に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※ 体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コース及び集中授業等の申込み方法については、『体育実技受講要領』を参照すること。（受講要領配布については、掲示板参照。）

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

### 4. 基礎教育科目（必修）の履修方法

基礎教育科目とは専門教育の基礎となる授業科目で、各年次別履修順序は次表のとおりである。

年次	国 文 学 科		英 米 文 学 科		地 理 学 科		歴 史 学 科		社 会 学 科	
	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位
1 年 次	基礎国語学	4	英文学概論又は 米文学概論	4	基礎自然地理学	4	基礎歴史学	4	社会学概論	4
	基礎国文学	4	基礎英語ⅠA	2	基礎人文地理学	4			社会福祉原論	4
	基礎中国文学	4	基礎英語ⅠB (会 話)	2					心理学概論	4
2 年 次			基礎英語ⅡA	2						
			基礎英語ⅡB (会 話)	2						

## 5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については、専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお、一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

専門教育科目の卒業所要単位数

	国文学科	英米文学科	地理学科	歴史学科		社会学科		
				日本史 東洋史 西洋史	考古学	社会学	社会福祉	心理学
必修科目	36(12)	28( 7)	16( 6)	32( 8)	38(10)	48(12)	48(13)	28( 8)
選択科目	28	36	48	32	26	16	16	36
卒業論文	8	8	8	8	8	8	8	8
計	72	72	72	72	72	72	72	72

※ ( ) 内の数字は科目数

# 国文学科

## 必修科目 (44単位)

1 年 次 必 修			4 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
国 文 学 講 読 I	2		国 文 学 研 究	4	
2 年 次 必 修			国 文 学 史 ( 上 代 )	4	1 科 目 4 単 位 選 択 必 修 3 年 次 で 必 修 ま た は 選 択 として 履 修 した 科 目 以 外 を 履 修 す る こ と。
国 語 学 概 論	4		国 文 学 史 ( 中 古 )	4	
国 文 学 概 論	4		国 文 学 史 ( 中 世 )	4	
国 文 学 講 読 II	2		国 文 学 史 ( 近 世 )	4	
中 国 文 学 講 読	2		国 文 学 史 ( 近 代 )	4	
3 年 次 必 修			国 語 学 演 習 II	2	1 科 目 2 単 位 選 択 必 修 卒 業 論 文 に 関 連 の 有 る 分 野 の 演 習 を 履 修 す る こ と。
国 文 学 史 ( 上 代 )	4	1 科 目 4 単 位 選 択 必 修	国 文 学 演 習 II ( 上 代 )	2	
国 文 学 史 ( 中 古 )	4		国 文 学 演 習 II ( 中 古 )	2	
国 文 学 史 ( 中 世 )	4		国 文 学 演 習 II ( 中 世 )	2	
国 文 学 史 ( 近 世 )	4		国 文 学 演 習 II ( 近 世 )	2	
国 文 学 史 ( 近 代 )	4		国 文 学 演 習 II ( 近 代 )	2	
国 語 学 研 究	4		卒 業 論 文	8	12 頁 参 照
国 文 学 講 読 III	2				
国 語 学 演 習 I	2	1 科 目 2 単 位 選 択 必 修 原 則 として 卒 業 論 文 に 関 連 の 有 る 分 野 の 演 習 を 履 修 す る こ と。			
国 文 学 演 習 I ( 上 代 )	2				
国 文 学 演 習 I ( 中 古 )	2				
国 文 学 演 習 I ( 中 世 )	2				
国 文 学 演 習 I ( 近 世 )	2				
国 文 学 演 習 I ( 近 代 )	2				

(注意) 原則として、3年次で「国文学演習Ⅰ」を履修した者は4年次は「国文学演習Ⅱ」を、また3年次で「国語学演習Ⅰ」を履修した者は4年次は「国語学演習Ⅱ」を履修すること。

選 択 科 目 (28単位以上) (2年次以降の履修科目)

	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
A 群	上 代 文 学	4		国 文 学 特 講 II	4	
	中 古 文 学	4		国 文 学 特 講 III	4	
	中 世 文 学	4		国 文 学 特 講 IV	4	
	近 世 文 学	4		国 文 学 史 (上 代)	4	選択科目として履修を希望する者は必修とした科目以外を3年次又は4年次で履修すること。
	近 代 文 学	4		国 文 学 史 (中 古)	4	
	国 語 史	4	休 講 } 隔年開講	国 文 学 史 (中 世)	4	
	国 語 学 史	4		国 文 学 史 (近 世)	4	
	文 学 概 論	4	休 講	国 文 学 史 (近 代)	4	
	言 語 学 概 論	4		上 代 文 学 講 読	2	2年次生のみ履修すること。
	有 職 故 実	4		近 代 文 学 講 読	2	
国 文 学 特 講 I	4					

	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
B 群	中 国 文 学	4		日 本 民 俗 学	4	
	中 国 文 学 演 習	4		現 代 美 術	4	
	中 国 文 学 概 論	4		書 道 実 習 I	4	
	東 洋 思 想 研 究	4		書 道 実 習 II	4	
	英 米 文 化	4		書 道 概 論 (書 論 ・ 鑑 賞)	4	
	仏 教 概 論	4		美 術 史 概 説	4	
	日 本 史 概 説 I	4	古 代 ・ 中 世	書 道 実 習 III	2	
	日 本 史 概 説 II	4	近 世 ・ 近 代	書 道 史	2	半 期 科 目
	日 本 文 化 史 I	4	休 講 } 隔年開講	編 集 実 務	2	半 期 科 目
	日 本 文 化 史 II	4				

(注意) 「国文学特講」のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは、時代・履修順序等との関係はない。

「A群」より5科目以上, 「B群」より2科目以上選び履修されたい。

「有職故実」を受講希望する者は、最初の授業で『履修届』用紙に担当教員の捺印を受けること。

[廃講科目] (平成3年度から)

美 術 史

# 英米文学科

必修科目 (36単位)

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修			
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	
英 語 音 声 学	4		米 文 学 演 習 II	4		
2 年 次 必 修			米 文 学 演 習 III	4		
英 語 学 概 論	4		英米語学演習 (言語学)	4		
英 作 文 I	4		英米語学演習 (音声学)	4		
3 年 次 必 修			英米語学演習 (英語史)	4		
英 語 史	4		4 年 次 必 修			
英 文 学 演 習 I	4	1 科 目 4 単 位 選 択 必 修 (1 科 目 の み 履 修 す る こ と)	卒 業 論 文	8	12頁参照	
英 文 学 演 習 III	4		2 年 次 ・ 3 年 次 必 修			
英 文 学 演 習 V	4		英 文 学 史 I	4	2 年 次 1 科 目 3 年 次 1 科 目 計 2 科 目 8 単 位 選 択 必 修 (各 年 次 1 科 目 の み 履 修 す る こ と)	
英 文 学 演 習 VI	4		英 文 学 史 II	4		
英 文 学 演 習 VII	4		米 文 学 史	4		
米 文 学 演 習 I	4					

選 択 科 目 (36単位以上)

授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考	授 業 科 目	単 位	履 修 年 次	備 考
英 文 学 特 講 I	4	2・3・4		米 文 学 演 習 VI	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 II	4	2・3・4		英 米 演 劇 演 習	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 III	4	2・3・4		時 事 英 語	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 IV	4	2・3・4		商 業 英 語	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 V	4	2・3・4		ラ テ ン 語 特 講	4	2・3・4	
英 文 学 特 講 VI	4	2・3・4		英 米 文 化	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 I	4	2・3・4		日 本 文 化 史 I	4	2・3・4	} 隔年開講 休講
米 文 学 特 講 II	4	2・3・4		日 本 文 化 史 II	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 III	4	2・3・4		現 代 美 術	4	2・3・4	
米 文 学 特 講 IV	4	2・3・4		英 文 学 演 習 I	4	3・4	
米 文 学 特 講 V	4	2・3・4		英 文 学 演 習 III	4	3・4	
英 米 演 劇 特 講	4	2・3・4		英 文 学 演 習 V	4	3・4	
英 米 語 学 演 習 (英文法)	4	3・4		英 文 学 演 習 VI	4	3・4	
英 米 語 学 演 習 (英作文Ⅱ)	4	3・4		英 文 学 演 習 VII	4	3・4	※
英 米 語 学 演 習 (英会話)	2	3・4		米 文 学 演 習 I	4	3・4	
英 文 学 演 習 II	4	2・3・4		米 文 学 演 習 II	4	3・4	
英 文 学 演 習 IV	4	2・3・4		米 文 学 演 習 III	4	3・4	
英 文 学 演 習 VIII	4	2・3・4		英 米 語 学 演 習 (言語学)	4	3・4	
米 文 学 演 習 IV	4	2・3・4		英 米 語 学 演 習 (音声学)	4	3・4	
米 文 学 演 習 V	4	2・3・4		英 米 語 学 演 習 (英語史)	4	3・4	

※ 3年次必修科目として単位取得した科目を4年次でも選択科目として再度履修できる。

◇ 演習科目の履修方法

I) 履修科目数

- イ. 2・3・4年次に演習科目を1科目ずつ、あわせて3科目を極力履修すること。
- ロ. 2年次で履修できる演習科目は1科目とする。
- ハ. 3年次で履修できる演習科目は3科目以内（1科目必修）とする。
- ニ. 4年次で履修できる演習科目は2科目以内とする。

※ 3年次必修科目として単位取得した科目を4年次でも選択科目として再度履修できる。

II) 履修上の注意

- イ. 各種演習科目とも先着50名で締め切る。なお、教務部に『履修届』を提出する前に、受講希望の科目担当の先生に本人が直接届け出て『履修届』に捺印を受けること。
- ロ. 担当の先生に届け出る日・時・場所については、教務部の掲示板に掲示するので注意すること。

地 理 学 科

必 修 科 目 (24単位)

2 年 次 必 修		3 年 次 必 修		4 年 次 必 修	
授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位	授 業 科 目	単 位
自然地理学実習 (地図学実習を含む)	2	地 理 学 総 論	4	地 理 学 演 習	4
人文地理学実習	2	野 外 巡 検 II	2	卒 業 論 文 (12頁参照)	8
野 外 巡 検 I	2				

(注意) 「地理学演習」, 「野外巡検I」及び「野外巡検II」の履修にあたっては、地理学科研究室の指示に必ず従うこと。詳細は適時教務部の掲示板又は地理学教室の掲示板(体-8前)に掲示するので注意すること。



選 択 科 目 (48単位以上)

2・3・4年次選択			3・4年次選択		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
地 形 学 I	4		地 質 学	4	
集 落 地 理 学	4		地 球 物 理 学	4	
郷 土 地 理 学	4		地 形 学 II	4	
経 済 地 理 学 I	4		土 壌 地 理 学	4	
交 通 地 理 学	4		環 境 地 理 学	4	
都 市 地 理 学	4		歴 史 地 理 学	4	
地 図 学	4		人 口 地 理 学	4	
日 本 地 誌 I	4		経 済 地 理 学 II	4	
日 本 地 誌 II	4		地 理 学 特 講 I	2	半期科目
外 国 地 誌 I	4		文 化 地 理 学	4	
外 国 地 誌 II	4		計 量 地 理 学	4	
気 候 学	4		空 中 写 真 判 読 法 及 び 測 量 学	4	
海 洋 学 及 び 陸 水 学	4		日 本 地 誌 III	4	
原 書 講 読	4		外 国 地 誌 III	4	
			応 用 地 理 学 I	4	
			応 用 地 理 学 II	4	

◎ 測量士補資格について

地理学科の学生で、「地図学」・「空中写真判読法及び測量学」・「自然地理学実習」・「地理学演習」の単位を修得し、さらに「地形学Ⅰ」・「地形学Ⅱ」・「地質学」・「地球物理学」・「応用地理学Ⅰ」・「応用地理学Ⅱ」のうち2科目の単位を修得した者で、測量士補の資格を希望する者は、卒業後、大学が国土地理院長に測量士補の資格が得られるよう推薦する。

また、さらに卒業後1年以上測量に関する実務を経験し、その資格を証する書類を申請登録すれば、測量士の資格が得られる。

## 歴史学科

歴史学科学生が希望する各専攻については、1年次の9月26日（火）～27日（水）に、「歴史学科専攻指定届」を教務部に提出すること。

### 必修科目

#### (1) 日本史専攻（40単位）

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ（日本史）	4	演習Ⅰ（考古学）に振り替えられる。
日本史学史	4		4年次必修		
日本史概説Ⅰ（古代・中世）	4		演習Ⅱ（日本史）	4	
日本史概説Ⅱ（近世・近代）	4		卒業論文	8	12頁参照
東洋史概説Ⅰ（古代・中世）	4	2科目8単位 選択必修			
東洋史概説Ⅱ（近世・近代）	4				
西洋史概説Ⅰ（古代・中世）	4				
西洋史概説Ⅱ（近世・近代）	4				
考古学概説Ⅰ（日本）	4				
考古学概説Ⅱ（外国）	4				

#### (2) 東洋史専攻（40単位）

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ（東洋史）	4	演習Ⅰ（考古学）に振り替えられる。
東洋史学史	4		4年次必修		
東洋史概説Ⅰ（古代・中世）	4		演習Ⅱ（東洋史）	4	
東洋史概説Ⅱ（近世・近代）	4		卒業論文	8	12頁参照
日本史概説Ⅰ（古代・中世）	4	2科目8単位 選択必修			
日本史概説Ⅱ（近世・近代）	4				
西洋史概説Ⅰ（古代・中世）	4				
西洋史概説Ⅱ（近世・近代）	4				
考古学概説Ⅰ（日本）	4				
考古学概説Ⅱ（外国）	4				

(3) 西洋史専攻 (40単位)

2・3・4年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		演習Ⅰ(西洋史)	4	
西洋史学史	4		4年次必修		
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅱ(西洋史)	4	
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		卒業論文	8	12頁参照
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	4	2科目8単位 選択必修			
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4				
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4				
考古学概説Ⅰ(日本)	4				
考古学概説Ⅱ(外国)	4				

(4) 考古学専攻 (46単位)

2・3・4年次必修			2・3・4年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
史学概論	4		考古学実習(写真)	4	1科目4単位 選択必修
考古学史	4		考古学実習(測量)	4	
考古学概説Ⅰ(日本)	4		考古学実習(石器)	4	
考古学概説Ⅱ(外国)	4		考古学実習(土器)	4	
日本史概説Ⅰ(古代・中世)	4	2科目8単位 選択必修	3年次必修		
日本史概説Ⅱ(近世・近代)	4		考古発掘実習	2	
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅰ(考古学)	4	他の専攻の演習Ⅰを振り替える。
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		4年次必修		
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)	4		演習Ⅱ(考古学)	4	
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)	4		卒業論文	8	12頁参照

選 択 科 目 (2年次以降の履修科目)

日本史専攻・東洋史専攻・西洋史専攻 (32単位以上)

考古学専攻 (26単位以上)

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
日 本 史 各 説 I	4		東洋史特講 I (古 代)	4	
日 本 史 各 説 II	4		東洋史特講 II (古 代)	4	休 講
日 本 史 各 説 III	4		東洋史特講 III (古 代)	4	休 講
日 本 史 各 説 IV	4		東洋史特講 IV (中 世)	4	
東洋史各説 I (古 代)	4	休 講	東洋史特講 V (中 世)	4	休 講
東洋史各説 II (古 代)	4		東洋史特講 VI (中 世)	4	休 講
東洋史各説 III (中 世)	4	休 講	東洋史特講 VII (近 世)	4	
東洋史各説 IV (中 世)	4		東洋史特講 VIII (近 世)	4	休 講
東洋史各説 V (近 世)	4		東洋史特講 IX (近 世)	4	休 講
東洋史各説 VI (近 世)	4	休 講	東洋史特講 X (近・現代)	4	
東洋史各説 VII (近・現代)	4	休 講	東洋史特講 XI (近・現代)	4	
東洋史各説 VIII (周 辺 史)	4		東洋史特講 XII (近・現代)	4	休 講
東洋史各説 IX (周 辺 史)	4		東洋史特講 XIII (周 辺 史)	4	休 講
東洋史各説 X (周 辺 史)	4		東洋史特講 XIV (周 辺 史)	4	
西 洋 史 各 説 I	4		東洋史特講 XV (周 辺 史)	4	
西 洋 史 各 説 II	4	休 講	西 洋 史 特 講 I	4	
西 洋 史 各 説 III	4		西 洋 史 特 講 II	4	休 講 } 隔年開講
西 洋 史 各 説 IV	4	休 講	西 洋 史 特 講 III	4	
考 古 学 各 説 I	4	休 講	西 洋 史 特 講 IV	4	
考 古 学 各 説 II	4	休 講	西 洋 史 特 講 V	4	休 講
考 古 学 各 説 III	4		西 洋 各 国 史 I	4	
考 古 学 各 説 IV	4		西 洋 各 国 史 II	4	
日本史特講 I (古 代)	4	休 講	西 洋 各 国 史 III	4	
日本史特講 II (中 世)	4		西 洋 各 国 史 IV	4	
日本史特講 III (中 世)	4		考 古 学 特 講 I	4	休 講
日本史特講 IV (近 世)	4		考 古 学 特 講 II	4	
日本史特講 V (近 世)	4		考 古 学 特 講 III	4	休 講 } 隔年開講
日本史特講 VI (近 代)	4		考 古 学 特 講 IV	4	
日本史特講 VII (近 代)	4		古 文 書 学	4	

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
古 文 書 講 読 I	4		哲 学 史	4	
古 文 書 講 読 II	4		歴 史 哲 学	4	
日 本 仏 教 史 I	4	休 講	仏 教 美 術	4	
日 本 仏 教 史 II	4	休 講	西 域 美 術 史	4	
日 本 仏 教 史 III	4		美 術 史 概 説	4	
日 本 文 化 史 I	4	休 講 } 隔年開講	ラ テ ン 語 特 講	4	※イ ※ロ  選択科目として履修を希望する科目は、必修科目として履修した科目以外の科目を履修すること。
日 本 文 化 史 II	4		演 習 I	4	
西 洋 文 化 史 I	4		演 習 II	4	
西 洋 文 化 史 II	4	休 講	日本史概説 I (古代・中世)	4	
西 洋 文 化 史 III	4		日本史概説 II (近世・近代)	4	
考 古 学 実 習 (写 真)	4	選択科目として履修を希望する科目は、必修科目として履修した科目以外の科目を履修すること。	東洋史概説 I (古代・中世)	4	
考 古 学 実 習 (測 量)	4		東洋史概説 II (近世・近代)	4	
考 古 学 実 習 (石 器)	4		西洋史概説 I (古代・中世)	4	
考 古 学 実 習 (土 器)	4		西洋史概説 II (近世・近代)	4	
考 古 発 掘 実 習	2		※イ	考古学概説 I (日 本)	
有 職 故 実	4		考古学概説 II (外 国)	4	
中 国 歴 史 文 学	4		日 本 史 学 史	4	
日 本 民 俗 学	4		東 洋 史 学 史	4	
歴 史 地 理 学	4		西 洋 史 学 史	4	
人 文 地 理 学 概 説	4		考 古 学 史	4	
地 誌 学	4				

※イ. 3年次の履修科目

※ロ. 4年次の履修科目

(注意) 「有職故実」を受講希望する者は、最初の授業で『履修届』用紙に担当教員の捺印を受けること。

歴史学科の学生は、2年次の外国語科目履修指定届(1年次の9月25日~29日提出)を提出する際、次のように指定すること。

- (1) 日本史専攻希望者(日本考古学を含む)  
1年次に履修中の外国語のうち、いずれかを第1外国語として指定。
- (2) 東洋史専攻希望者  
中国語又は英語を、第1外国語として指定。
- (3) 西洋史専攻希望者  
ドイツ語又はフランス語を、第1外国語として指定。
- (4) 東洋考古学専攻希望者  
中国語又は英語を、第1外国語として指定。

社会学科（1年次の9月26日（火）～27日（水）に専攻コース決定のための届け出を行うこと。）

(1) 社会学コース

必修科目 (56単位)

2年次必修			2・3・4年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
社会統計学	4		マスコミュニケーション	4	5科目20単位 選択必修
社会学史	4		産業社会学	4	
社会学方法論	4		都市社会学	4	
3年次必修			農村社会学	4	
社会調査	4		家族社会学	4	
社会調査実習	4		法社会学	4	
演習 I	4	社会	宗教社会学	4	
4年次必修			社会心理学	4	
演習 II	4	社会	社会病理学	4	
卒業論文	8	12頁参照	外書講読 I	4	
			外書講読 II	4	
			社会学特講 I	4	
			社会学特講 II	4	
			社会学特講 III	4	

(注意) 「演習」は3年次で履修した先生のものを、卒業論文の指導を受けることを前提に4年次も継続的に履修すること。

【注】 「社会調査実習」の履修にあたっては、履修しようとする年度の「社会調査実習」履修登録前に、本学が定める調査実習費を別に納入しなければならない。

選 択 科 目 (16単位以上) (2年次以降の履修科目)

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
マスコミュニケーション	4	(注)	図 書 館 学 II	4	
産 業 社 会 学	4		社会福祉援助技術総論	4	
都 市 社 会 学	4		法 学 (福 祉)	4	
農 村 社 会 学	4		社 会 保 障 論	4	
家 族 社 会 学	4		老 人 福 祉 論	4	
法 社 会 学	4		児 童 福 祉 論	4	
宗 教 社 会 学	4		地 域 福 祉 論	4	
社 会 心 理 学	4		基 礎 心 理 学 I	4	休 講
社 会 病 理 学	4		産 業 心 理 学	4	
外 書 講 読 I	4		環 境 心 理 学	4	旧「グループ・ダイナミクス」
外 書 講 読 II	4		民 法	4	
社 会 学 特 講 I	4		労 働 法	4	
社 会 学 特 講 II	4		行 政 法	4	
社 会 学 特 講 III	4		経 済 原 論	4	
社 会 学 原 論	4		社 会 政 策	4	
図 書 館 学 I	4				

(注意) 選択科目として履修を希望する者は、必修科目として履修した科目以外を履修すること。

[名称変更科目] (平成3年度から)

新・旧科目とも同一科目である。旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新 名 称                      旧 名 称

環 境 心 理 学 —— グループ・ダイナミクス

(2) 社会福祉コース  
必修科目 (56単位)

2 年 次 必 修			2 ・ 3 ・ 4 年 次 必 修				
授 業 科 目	単 位	備 考	部 門	授 業 科 目	単 位	備 考	
社会福祉調査論	2		方法・援助技術部門	社会福祉援助技術各論ⅠA	4	※	
社会福祉援助技術総論	4	※		社会福祉援助技術各論ⅠB	4	※	
社会福祉援助技術各論ⅡB	4	※		社会福祉援助技術各論ⅡA	4	※	
法 学 (福 祉)	4	*		リハビリテーション論	4		
				社会福祉計画論	4		
				社会福祉運営論	4	休講	
3 年 次 必 修						3 科 目 12 単 位 選 択 必 修	
演 習 Ⅰ	4	社会福祉	分野部門	家 族 福 祉 論	4		
社会福祉調査実習	2			児 童 福 祉 論	4		*
				障 害 者 福 祉 論	4		*
4 年 次 必 修				老 人 福 祉 論	4		*
演 習 Ⅱ	4	社会福祉		地 域 福 祉 論	4		*
卒 業 論 文	8	12頁参照		公 的 扶 助 論	4	*	
			医 療 福 祉 論	4			
			婦 人 福 祉 論	4			
			保 健 福 祉 論	4			
						3 科 目 12 単 位 選 択 必 修	

(注意) 「演習」は3年次で履修した先生のものを、卒業論文の指導を受けることを前提に4年次も継続的に履修すること。

【注】イ. 本カリキュラムは『社会福祉士国家試験(社会福祉士及び介護福祉士法)』と日本社会事業学校連盟専門職養成基準に基づいている。

ロ. ※印及び\*印は国家試験の受験資格取得に必要な指定科目であり、特に\*印は指定科目のうちの基礎科目である。

なお、「社会福祉原論(1年次の基礎教育科目)」も指定・基礎科目である。

ハ. 3年次選択科目の「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」及び「社会福祉援助技術演習(Ⅰ・Ⅱ)」は、教員1人あたりの担当学生数が20名以下と規定されている。

従って、履修希望者は予め担当教員の面接試験を受け、許可された者のみ履修することができる。

ニ. 「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」(2年次選択科目)及び「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」(3年次選択科目)の履修時には、本学が定める実習費を別に納入しなければならない。

なお、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」及び「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の両方を卒業時まで単位修得していなければならない。また、両科目の単位を修得した者については、成績証明書の上では両科目を合わせて「社会福祉援助技術現場実習」(6単位)と表記される。



選 択 科 目 (16単位以上) (2年次以降の履修科目)

2 年 次 選 択			2 ・ 3 ・ 4 年 次 選 択		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	2	※旧「社会福祉援助技術実習」	社 会 保 障 論	4	*
			社 会 福 祉 発 達 史	4	
3 年 次 選 択			社 会 福 祉 外 書 講 読	4	
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	4	※旧「社会福祉援助技術現場実習」	海 外 社 会 福 祉 論	4	
社会福祉援助技術演習Ⅰ	2	※	社 会 学(福 祉)	4	*
社会福祉援助技術演習Ⅱ	2	※	心 理 学(福 祉)	4	*
			医 学 一 般	4	※
2 ・ 3 ・ 4 年 次 選 択			介 護 概 論	4	※
社会福祉援助技術各論ⅠA	4	※	障 害 児 教 育 原 論	4	休 講
社会福祉援助技術各論ⅠB	4	※	障 害 児 教 育 方 法 論	4	休 講
社会福祉援助技術各論ⅡA	4	※	障 害 児 病 理	4	休 講
リハビリテーション論	4		障 害 児 心 理	4	休 講
社 会 福 祉 計 画 論	4		家 族 社 会 学	4	
社 会 福 祉 運 営 論	4	休講	法 社 会 学	4	
家 族 福 祉 論	4		産 業 社 会 学	4	
児 童 福 祉 論	4	*	社 会 病 理 学	4	
障 害 者 福 祉 論	4	*	心 理 検 査 法 Ⅰ	4	旧「心理検査法」
老 人 福 祉 論	4	*	環 境 心 理 学	4	旧「グループ・ダイミックス」
地 域 福 祉 論	4	*	カ ウ ン セ リ ン グ	4	
公 的 扶 助 論	4	*	精 神 医 学	4	
医 療 福 祉 論	4		図 書 館 学 Ⅰ	4	
婦 人 福 祉 論	4		図 書 館 学 Ⅱ	4	
保 健 福 祉 論	4		社 会 政 策	4	
社会福祉学特講Ⅰ	4		行 政 法	4	
社会福祉学特講Ⅱ	4		労 働 法	4	
社会福祉学特講Ⅲ	4		民 法	4	
社会福祉学特講Ⅳ	4		経 済 原 論	4	
社会福祉学特講Ⅴ	4				

(注意) 選択科目として履修を希望する者は、必修科目として履修した科目以外を履修すること。

「社会福祉学特講Ⅰ～Ⅴ」の内容については、講義内容欄を参照のこと。

〔名称変更科目〕（平成3年度から）

新・旧科目とも同一科目である。旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新 名 称	旧 名 称
心 理 検 査 法 I	心 理 検 査 法
環 境 心 理 学	グ ル ー プ ・ ダイ ナ ミ ッ ク ス
社会福祉援助技術現場実習 I	社会福祉援助技術実習
社会福祉援助技術現場実習 II	社会福祉援助技術現場実習

(3) 心理学コース  
必修科目 (36単位)

2 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
心 理 学 史	4		心理学研究Ⅲ (実習)	2	1 科目 2 単位 選択必修
心 理 統 計 学	4		心理学研究Ⅳ (実習)	2	
心理学実験 (実習)	2		心理学研究Ⅴ (実習)	2	
基 礎 心 理 学 Ⅰ	4	1 科目 4 単位 選択必修	心理学研究Ⅵ (実習)	2	1 科目 4 単位選択必修 2年次で必修または選 択として履修した科目 以外を履修すること。
基 礎 心 理 学 Ⅱ	4		基 礎 心 理 学 Ⅰ	4	
基 礎 心 理 学 Ⅲ	4		基 礎 心 理 学 Ⅱ	4	
基 礎 心 理 学 Ⅳ	4		基 礎 心 理 学 Ⅲ	4	
基 礎 心 理 学 Ⅴ	4		基 礎 心 理 学 Ⅳ	4	
3 年 次 必 修			基 礎 心 理 学 Ⅴ	4	
心 理 学 研 究 法	4		4 年 次 必 修		
心理学研究Ⅰ (実習)	2		演 習	4	
心理学研究Ⅱ (実習)	2		卒 業 論 文	8	12頁参照

(注意) 「基礎心理学Ⅰ～Ⅴ」の内容については、講義内容欄を参照のこと。

選 択 科 目 (36単位以上) (2年次以降の履修科目)

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
基礎心理学Ⅰ	4	必修として履修した科目以外を履修すること。	心理学特講Ⅰ	4	
基礎心理学Ⅱ	4		心理学特講Ⅱ	4	
基礎心理学Ⅲ	4		心理学特講Ⅲ	4	
基礎心理学Ⅳ	4		精神医学	4	
基礎心理学Ⅴ	4		情報処理Ⅰ	4	旧「心身医学」
心理学研究Ⅰ(実習)	2	3・4年次選択 3年次で必修とした科目以外を履修すること。	情報処理Ⅱ	4	旧「精神病理学」
心理学研究Ⅱ(実習)	2		宗教社会学	4	
心理学研究Ⅲ(実習)	2		産業社会学	4	
心理学研究Ⅳ(実習)	2		家族社会学	4	
心理学研究Ⅴ(実習)	2		社会病理学	4	
心理学研究Ⅵ(実習)	2		マスコミュニケーション	4	
生理心理学	4		社会福祉援助技術総論	4	
児童心理学	4		障害者福祉論	4	
産業心理学	4		老人福祉論	4	
環境心理学	4	旧「グループ・ダイナミクス」	児童福祉論	4	
カウンセリング	4		民法	4	
心理検査法Ⅰ	4	旧「心理検査法」	経済原論	4	
心理検査法Ⅱ	4		行政法	4	
禅心理学	4		労働法	4	

(注意) 2年次における「基礎心理学Ⅰ～Ⅴ」の選択科目としての履修は、3科目以内とする。

[名称変更科目] (平成3年度から)

新・旧科目とも同一科目である。旧名称科目の単位を既に修得している場合、新名称科目を履修することはできない。

新 名 称	旧 名 称
環 境 心 理 学	— グループ・ダイナミクス
情 報 処 理 Ⅰ	— 心 身 医 学
情 報 処 理 Ⅱ	— 精 神 病 理 学
心 理 検 査 法 Ⅰ	— 心 理 検 査 法

## 6. 他学部科目の履修方法

所属している学科以外の学科，他学部又は短期大学の授業科目の履修を希望する学生は，次の要領で履修することができる。

なお，履修に際しては授業科目担当教員の受講許可を必要とする。

### イ. 履修科目

他学部・他学科又は短期大学に開設されている授業科目のうち，他学部履修科目として公開された授業科目の中から所属学科が履修を認めた授業科目とする。（他学部履修科目一覧表P.40参照）

### ロ. 履修年次

3・4年次生を対象とし，授業科目開設学科の定める年次とする。

### ハ. 履修科目数

履修できる科目数は，卒業までに3科目12単位以内とする。

なお，その履修科目は所属学科の履修制限科目数に含める。

### ニ. 履修方法

- (1) 『履修要項』の講義内容を参考に，『他学部履修科目授業時間表』の中から履修科目を選択し，『他学部履修願』用紙に必要事項を記入の上，最初の授業に出席し担当教員の受講許可を受ける。  
なお，『他学部履修科目授業時間表』及び『他学部履修願』用紙は，教務部⑩番窓口で配布する。
- (2) 『履修届』に記入し，『履修許可書』を添えて，所定の期日（履修届提出時）に提出すること。

### ホ. 履修登録上の注意

- (1) 所属学科の開設科目は，他学部科目として履修登録できない。
- (2) 他学部科目は，『他学部履修科目授業時間表』に記載の専用コード（005…）で登録すること。
- (3) 同一名称（開設学科が異なる）の授業科目は，1科目のみ履修することができる。

### ヘ. 再履修

他学部科目が不合格となり再度履修を希望する場合は，改めて前項の手続きを経なければならない。  
なお，再履修の取扱いについては『再履修科目の履修方法』（P.41）を参照のこと。

### ト. 単位認定

取得した単位は，所属学科の専門教育科目の選択科目の単位として認定し，卒業所要単位に算入することができる。

他学部履修科目一覧表

開設学科	授業科目	単位	履修年次	備考	開設学科	授業科目	単位	履修年次	備考	
禅学 科	禅学特講Ⅰ	4	3・4		経済 学科	アジア経済論	4	3・4		
	禅学特講Ⅱ	4	3・4			日本経済史	4	3・4		
	禅学特講Ⅲ	4	3・4			中小企業論	4	3・4		
	禅学特講Ⅳ	4	3・4			教育経済論	4	3・4	地理学科除く	
	禅学思想史	4	3・4			アメリカ経済論	4	3・4		
	哲学史	4	3・4	歴史学科除く		財務会計論	4	3・4		
仏 教 学 科	インド仏教史	4	3・4		商 学 科	管理会計論	4	3・4		
	中国仏教史	4	3・4			会計監査論	4	3・4		
	日本仏教史	4	3・4			商業政策	4	3・4		
	日用経典	4	3・4			貿易論	4	3・4		
	仏教美術	4	3・4	歴史学科除く		マーケティング	4	3・4		
	現代哲学概説	4	3・4			原価計算論	4	3・4	休講	
						労務管理論	4	3・4		
国 文 学 科	上代文学	4	3・4	国文学科除く	法 律 学 科	行政法Ⅱ	4	3・4		
	中世文学	4	3・4	国文学科除く		民法Ⅳ(1)	4	3・4	社会学科除く	
	近世文学	4	3・4	国文学科除く		民法Ⅳ(2)	4	4		
	近代文学	4	3・4	国文学科除く		比較憲法	4	3・4		
	中国文学	4	3・4	国文・歴史学科除く		地方自治法	4	3・4		
英 米 文 学 科	英文学特講Ⅰ	4	3・4	英米文学科除く	政 治 学 科	経済法	4	3・4		
	英文学特講Ⅱ	4	3・4	英米文学科除く		国際関係論	4	3・4		
	英文学特講Ⅲ	4	3・4	英米文学科除く		西洋政治史	4	3・4		
	英文学特講Ⅳ	4	3・4	英米文学科除く		宣伝広告論	4	3・4		
	英文学特講Ⅴ	4	3・4	英米文学科除く		比較社会構造論	4	3・4	休講	
	英文学特講Ⅵ	4	3・4	英米文学科除く		政党論	4	3・4		
	英米演劇特講	4	3・4	英米文学科除く		経 営 学 科	国際経営論	4	3・4	休講
	米文学特講Ⅰ	4	3・4	英米文学科除く			経営統計	4	3・4	休講
	米文学特講Ⅲ	4	3・4	英米文学科除く			保険経営論	4	3・4	
	時事英語	4	3・4	英米文学科除く			財務会計論	4	3・4	
				経営分析論	4		3・4	休講		
				税務会計論	4		3・4			
地 理 学 科	地質学	4	3・4	地理学科除く	経 営 学 科	経営労務論	4	3・4	休講	
	地形学Ⅰ	4	3・4	地理学科除く		商業史	4	3・4		
	人口地理学	4	3・4	地理学科除く		経営情報論	4	3・4		
	応用地理学Ⅰ	4	3・4	地理学科除く		情報理論	4	3・4		
	文化地理学	4	3・4	地理学科除く		短 大 国 文 学 科	国文講読Ⅰ(上代)	2	3・4	国文学科除く
歴 史 学 科	日本仏教史Ⅱ	4	3・4	歴史科学除く 休講	国文講読Ⅱ(中古)		2	3・4	国文学科除く	
	日本史特講Ⅶ(近代)	4	3・4	歴史学科除く	国文講読Ⅲ(中世)		2	3・4	国文学科除く	
	東洋史特講Ⅹ(近・現代)	4	3・4	歴史学科除く	国文講読Ⅳ(近世)		2	3・4	国文学科除く	
	西洋文化史Ⅰ	4	3・4	歴史学科除く	国文講読Ⅴ(近・現代)		2	3・4	国文学科除く	
	考古学特講Ⅲ	4	3・4	歴史科学除く 隔年開講・休講	国文特講Ⅴ(近・現代)		4	3・4	国文学科除く	
歴史哲学	4	3・4	歴史学科除く	短 英 文 大 科	英文タイプライティングⅡ		2	3・4	国文学科除く※ロ	
哲学史	4	3・4	歴史学科除く		時事英語		4	3・4	国文・英文学科除く	
日本民俗学	4	3・4	歴史・国文学科除く		英語演習Ⅰ		4	3・4		
社 会 学 科	マスコミュニケーション	4	3・4		社会学科除く		短 放 射 線 大 科	計算機言語概論	2	3・4
	産業社会学	4	3・4		社会学科除く	臨床放射線特論Ⅰ		2	3・4	国文学科除く 半期科目
	都市社会学	4	3・4	社会学科除く	応用計測学	2		3・4	国文学科除く 半期科目	
	社会福祉発達史	4	3・4	社会学科除く						
	国民所得論	4	3・4							
経 済 学 科	ロシア・東欧経済論	4	3・4	※イ						
	社会政策	4	3・4	社会学科除く						
	中国経済論	4	3・4							

※イ、「ロシア・東欧経済論」については、「ソビエト経済論」(旧名称)の単位を既に修得している学生は履修できない。

※ロ、「英文タイプライティングⅡ」、「計算機言語概論」については、機器数の関係上選抜により受講者を決定する。

## 7. 随意科目の履修方法

各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
宗 教 学 概 説	4		日 本 仏 教 史	4	※イ	ド イ ツ 語 P L L (中 級)	2	
哲 学 概 説	4		日 本 文 化 史 I	4	※ニ 隔年 開講 休講	フ ラ ン ス 語 P L L (初 級)	2	
倫 理 学 概 説	4		日 本 文 化 史 II	4		フ ラ ン ス 語 P L L (中 級)	2	
宗 教 人 類 学	4		英 会 話 II	2	※ハ	中 国 語 P L L (初 級)	2	
民 間 信 仰 論	4		ド イ ツ 語 F	2		中 国 語 P L L (中 級)	2	
日 本 宗 教 文 化 史	4		フ ラ ン ス 語 F	2		ス ペ イ ン 語 P L L (初 級)	2	
民 衆 宗 教 成 立 史	4		中 国 語 F	2		ス ペ イ ン 語 P L L (中 級)	2	
歴 史 哲 学	4	※イ	ス ペ イ ン 語 F	2		ロ シ ア 語 P L L (初 級)	2	
日 本 民 俗 学	4	※ロ	ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 P L L (中 級)	2	
美 術 史 概 説	4	※ロ	英 語 L L II	2	※ハ	英 語 (海 外 演 習)	2	※ホ
東 洋 思 想 研 究	4	※ハ	ド イ ツ 語 P L L (初 級)	2				

※イ、歴史学科を除く。

※ロ、国文・歴史学科を除く。

※ハ、国文学科を除く。

※ニ、国文・英米文・歴史学科を除く。

※ホ、「英語（海外演習）」は、海外姉妹校で行なわれる短期留学セミナーで、1年次生より履修できる。なお、詳細については、講義内容（P.108）を参照のこと。

※ハ、「英会話Ⅱ」・「英語LⅡ」の履修を希望する者は、最初の授業に『履修届』用紙を持参し、担当教員の捺印を受けること。

## 8. 再履修科目の履修方法

イ、再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を再度履修することをいう。

ロ、担当教員が違っていても授業科目名が同じであれば、同一科目の再履修となる。

○「英会話Ⅰ」・「英語LⅠ」については当該科目の振替である「英語ⅠA」を再履修科目とする。

ハ、外国語科目、体育実技Ⅰ、保健体育理論及び宗教学Ⅰを再度履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」で履修すること。（授業は本校で行う）

○原級者が同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

○外国語科目を「再履修クラス」で履修する場合は、最初の授業で『外国語再履修票』を提出して担当教員の許可を受けなければならない。（『外国語再履修票』及び『外国語再履修科目授業時間表』は教務部⑩番窓口で配布）


○1年次生は「再履修クラス」を履修することはできない。

※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法

『外国人留学生』及び『海外帰国子女』の一部を対象とする科目で、原則として1・2年次において履修すること。

- 日本語科目は、各所属学科の定めるところにより第1外国語又は第2外国語として履修すること。  
修得単位は、外国語科目の卒業所要単位に算入する。
  - 日本事情科目の修得単位は、8科目16単位を超えない範囲で一般教育科目の卒業所要単位に算入する。
  - 各所属学科の定める一般教育科目及び外国語科目の代替できる単位の範囲を超えて履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。
- (注) 詳細は、『日本語・日本事情科目の履修要項』を参照すること。





# IV 履修科目の登録（履修届）と その作成順序



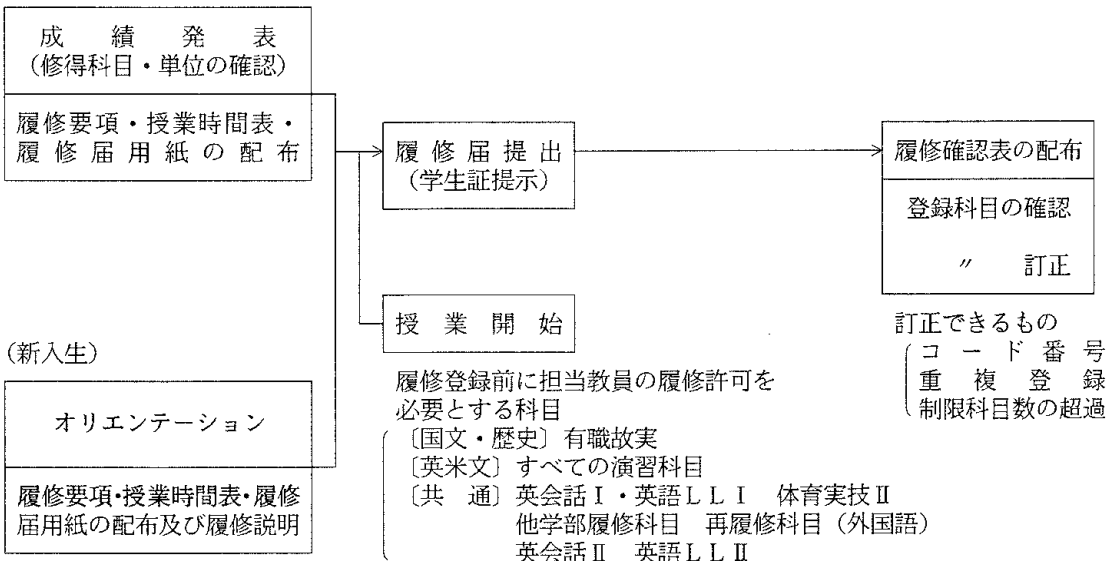
## IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

### 1. 履修科目の登録

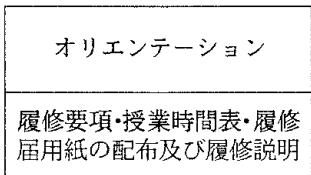
所属する学科、学年に開講されている授業科目のうち履修を希望する科目を授業時間表から選び、『履修届』用紙で届け出ることにより、通年（又は半期）の授業を受けることができる。

#### 履修科目登録の流れ

（在校生）



（新入生）



#### I) 制限科目数

各年次において履修できる授業科目数は原則として次のとおりである。

年次	履修科目数	課程・講座登録者科目数
1年次	15科目以内	—
2・3年次	14科目以内	18科目以内
4年次	1科目以上	

イ. 再履修科目，体育実技Ⅱ及び随意科目は，上記表の制限外とする。

（注）再度履修する科目であっても，前年度において履修登録していない場合は，再履修科目にならない。

ロ. 4年次生の1科目以上とは，再履修科目，体育実技Ⅱ，課程・講座科目及び随意科目等全ての科目を含む。

ハ. 半期科目も1科目とする。

ニ. 課程・講座科目を履修する場合

認める …… 履修制限科目数 14科目以内+課程・講座科目数=18科目

認めず …… 履修制限科目数 15科目以上+課程・講座科目数=18科目

## II) 登録上の注意

- イ. 履修届は本人が記入捺印し、指定された日時に学生証提示の上提出すること。(提出しない場合は、学業の意志のないものとして処理する。なお、指定日時に提出できない者は事前に教務部⑨番窓口で相談すること。)
- ロ. 履修届は、4月20日(木)9時30分から16時まで教務部臨時窓口で受け付ける。
- ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし、他学部履修科目(P.39参照)は、履修登録できる。  
また、教職課程・資格講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが、その場合は『課程・各種講座授業時間表』(教職係窓口で配布)から履修し、教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。
- ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講、受験しても単位は与えない。
- ホ. いったん提出(登録)した履修科目の変更は認めない。
- ヘ. 『履修届』用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

## III) 履修確認表の配布及び履修届の訂正期間

下記の日・時に教務部臨時窓口において履修確認表を配布する。

(記) 5月23日(火)・24日(水)…… 9:30~16:00 昼休み除く

なお、履修届(本人控)と照合の上、誤りのある場合は、この期間に教務部⑨番窓口で訂正すること。

## 2. 履修届記入上の注意

授業時間表（例）

正しい記入例

曜日	時限	科目名	科目コード	担当者コード	担当者名
月	1	ドイツ語 I A	212201	879	百済 勇
月	2	保健体育理論 (前期)	214201	A10	長濱 友雄
		保健体育理論 (後期)	214201	622	
月	3	宗 教 学 I	210101	157	岡部 和雄
月	4	論 理 学	210203	306	国嶋 一則
月	5	自然科学概論	210401	104	宇和川 正人

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担当	担当コード
	1		ドイツ語 I A	212201	百済	879
	2		保健体育理論 (前期)	214201	長濱	A10
	3		宗 教 学 I	210101	岡部	157
(I)	4	○	論 理 学	210203	国嶋	306
	5		自然科学概論	210401	宇和川	104

イ. 楷書体で正確に記入すること。

ロ. 記入の際は、黒のボールペンを使用し、捺印の上提出すること。

ハ. 授業時間表のとおり記入すること。ただし、「担当」欄には、担当教員の姓のみを記入すること。

ニ. 半期終了の科目は「再履」から「担当コード」欄までの中央に点線（上記、正しい記入例参照のこと）を入れ、前期終了科目は上段に後期終了科目は下段に記入すること。

ホ. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。

ヘ. 履修届は電算機で処理しているため、下記の場合には、登録が無効となるので注意すること。

- (1) 科目名・科目コード、担当名（姓のみ）・担当コードが一致しない場合
- (2) 時限を誤って記入した場合
- (3) 判読できない数字で記入した場合（例として間違い易い数字 0と6, 1と7）
- (4) その他、不明瞭に記入した場合

ト. 体育実技の記入方法は、授業時間表に載っている科目コード・担当名（姓のみ）・担当コードを正しく記入すること。

チ. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目及び基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、教職課程・資格講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次の順序で履修する科目を決定すると容易である。

#### 国文学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎国語学，基礎国文学，基礎中国文学（必修）	3
5	専門教育科目	国文学講読Ⅰ（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から4科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	4
1年次履修制限科目数			15

#### 英米文学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	英又は米文学概論，基礎英語ⅠA，ⅠB（必修）	3
5	専門教育科目	英語音声学（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から4科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	4
1年次履修制限科目数			15

## 地理学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎自然地理学，基礎人文地理学（必修）	2
5	一般教育科目	人文分野：開講科目の中から1科目を選択必修	1
		社会分野：開講科目の中から3科目を選択必修	3
		自然分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
1年次履修制限科目数			15

## 歴史学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎歴史学（必修）	1
5	一般教育科目	人文分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
		社会分野：開講科目の中から3科目を選択必修	3
		自然分野：開講科目の中から2科目を選択必修	2
1年次履修制限科目数			15

## 社会学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	社会学概論，社会福祉原論，心理学概論（必修）	3
5	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から5科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	5
1年次履修制限科目数			15

## 4. 授業時間

授業時間は，次のとおりである。

時限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時間	9：00～10：30	10：40～12：10	12：50～14：20	14：30～16：00	16：10～17：40





## V 試験及び成績評価



## V 試験及び成績評価

### 1. 定期試験

イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月14日（金）～7月20日（木）に、後期及び通年の授業科目の定期試験は1月16日（火）～1月31日（水）に実施する。

ロ. 正規の手続きを経て履修登録した授業科目のみ受験できる。

ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、論題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担当教員名・論題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとした上で提出すること。

なお、指定された日・時以外は一切受理しない。

ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の曜日・時限とし、時間及び教場等については掲示で発表する。

（注意）試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験（同一科目を一括して行う試験）は平常時間割と曜日・時限とも変わるので掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目担当教員が中間考査として任意に行う試験（レポート提出を含む）のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I) 追 試 験

イ. 追試験は、やむを得ない理由があり定期試験（期間外実施・レポート提出を含む）を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその理由を記入し、自分の全ての試験終了後直ちに届け出ること。〔締切日は前期7月25日（火）、後期2月5日（月）〕

ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II) 再 試 験

1・2・3年次生については、再試験は一切実施しない。

卒業年次生に限り下記により実施する。

イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験（期間外実施・レポート提出を含む）を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。

ロ. 受験料は1科目1,000円とする。

（注意）前期終了科目の追・再試験は9月26日（火）～10月2日（月）に、後期及び通年科目の追・再試験は卒業年次生・在校生とも2月22日（木）～2月28日（水）に実施する。

#### III) 体育・外国語科目・その他

イ. 体育実技、演習、その他実験実習を伴う科目は追・再試験ともこれを行わない。

ロ. 外国語科目についても追・再試験は行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後直ちに担当教員に申し出て指導を受けること。

#### 4. 受験心得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日・時・試験場（教場）で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部・学科・学年・学生番号・氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
  - (1) 代人として受験したり、または代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机・壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作・メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。
- ワ. 学生証を忘れた場合は仮受験票により受験することができる。仮受験票の発行については、教務部⑨番窓口にて手続きをすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)及び不可(59点～0点)とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。

なお、素点に関する問い合わせは一切受け付けない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は良（70点）以下とする。

## 6. 試験時間

定期試験実施時間（前期）	
1時限 9：20～10：20	4時限 14：40～15：40
2時限 10：50～11：50	5時限 16：10～17：10
3時限 13：10～14：10	

定期試験実施時間（後期）	
1時限 9：30～10：30	4時限 14：30～15：30
2時限 11：00～12：00	5時限 15：50～16：50
3時限 13：00～14：00	

追・再試験実施時間（前期）	
1時限 16：10～17：00	
2時限 17：10～18：00	

追・再試験実施時間（後期）	
1時限 9：30～10：20	
2時限 10：50～11：40	
3時限 13：00～13：50	
4時限 14：10～15：00	
5時限 15：20～16：10	

※レポート試験は、開始後30分で受付を終了するので、遅れないよう注意すること。

試験実施規程（抜粋）が掲載されている（P.89）ので参照のこと。

## 7. 成績発表

- イ. 前期終了科目・後期及び通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については、成績質疑応答期間内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし、評価の質疑については直接担当教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を提示すること。

前期成績発表 9月18日（月）、19日（火）

後期成績発表（卒業年次生） 2月16日（金）、17日（土）

” （在校生） 4月9日頃



# VI 進級について





## VI 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級及び注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

- 注意進級とは、進級の基準単位数には達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。  
これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。
- 修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

### 修得単位基準表

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
進 級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目を全て修得していること。
注 意 進 級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目が1～12単位不足している場合。
原 級 留 置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。または90単位以上修得しているが、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目が、13単位以上不足している場合。

※ 各科目区分・分野における卒業所要単位を超える単位を除いた修得単位数を計算する。

※ 随意科目・課程・講座の修得科目を除く。



VII クラス制及びクラス主任  
VIII 教職課程・資格講座





## Ⅶ クラス制及びクラス主任

- イ. 学科の実情に応じて、1・2・3年次にクラス主任若干名をおいている。  
ロ. クラス主任は、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから遠慮なく相談されたい。

## Ⅷ 教職課程・資格講座

文学部で開講されている資格取得のための課程・講座は、次のとおりである。

課程・講座名	開講年次	備 考
教 職 課 程	2年次より	教員資格取得のためのもので教職課程の所定単位を修得した者は、中学校1種・高等学校1種の各普通免許が取得できる。
学校図書館司書教諭講座	〃	学校教育を充実することを目的とする学校図書館の専門職としての資格。
博 物 館 学 講 座	〃	社会教育の場として博物館が十分に利用され、その目的、使命を達成するための学芸員の資格。
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	〃	社会福祉を増進させるための機関等における専門職としての資格。(社会福祉士の基礎科目も修得可能)
社会教育主事講座	〃	社会教育活動を行う者に対し、求めに応じて専門的・技術的な助言と指導を与える教育専門職としての資格。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋(11月中旬)に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」及び「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。

(授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること。)

なお、ガイダンスの日時等については、実施1か月前から掲示板で、その旨指示する。



## IX 事務取扱いについて







## IX 事務取扱いについて

### 1. 事務室の事務受付時間

- イ. 事務受付時間は、9時から16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表等各申込の受付は、9時30分から16時までとする。

### 2. 休 講

- イ. 休講は担当教員より連絡があり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。従って、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑩番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、JR東京近郊区間（山手・中央・京浜東北）又は東急がストライキを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 3. 掲示・連絡

学生に対する公示・告示及び学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示又は郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 4. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。



# X 学籍について





## X 学籍について

### 1. 修業年限と在学年数

- イ. 修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことをいう。(本大学の修業年限は4年)
- ロ. 在学年数とは、大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本大学の在学年数は休学期間を除き7年と定めている。

### 2. 休 学

傷病その他の事由で引き続き2か月以上修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければならない。

#### I) 休学の手続き

- イ. 休学願に添えて次の書類を提出すること。
  - (1) 傷病の場合は、医師の診断書
  - (2) 外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類及び在留地届
  - (3) その他の理由の場合は、事前に窓口で相談の上、保証人連署の休学を必要とする理由書
- ロ. 休学の手続き期限は当該年度の11月30日までとする。
- ハ. 休学理由が休学許可日より2か月未満の期間内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがある。

#### II) 休学の期間

- イ. 休学の期間は1学年を区分とし、休学の許可を受けた日から当該年度の3月31日までとする。
- ロ. 引き続き休学を要する特別な事情があるときは、許可を得てさらに1年に限り休学することができる。
- ハ. 休学期間は通算4年を超えることはできない。
- ニ. 休学が許可された年度は在学年数に算入しない。

#### III) 休学する場合の学費

休学を願い出る者は当該期の学費を納入していること。

休学願提出日	学 費
4月1日～9月20日	第1期(前期)分納入済のこと。(第2期分免除)
9月21日～11月30日	第1期(前期)分・第2期(後期)分共納入のこと。

#### IV) 休学原級

休学を許可された者は、翌年度は現学年に原級留置とする。

### 3. 復 学

- イ. 休学した者が復学する場合は、第1期(前期)学費を納入の上、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得ること。
- ロ. 傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の証明書を添えること。

#### 4. 退 学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得ること。

- イ. 退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出ること。
- ロ. 退学願提出時に学生証を返却すること。
- ハ. 退学年月日は次のとおりとする。
  - (1) 当該期学費納入者 …………… 退学願提出日
  - (2) 当該期学費未納者 …………… 学費納入済学期の最終日

#### 5. 除 籍

次の事項に該当する者はこれを除籍する。

- イ. 在学年数を越えた者
- ロ. 休学期間を越えた者
- ハ. 学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

#### 6. 懲 戒

- イ. 本大学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、情状により譴責、停学、退学の処分をする。
- ロ. 退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行う。
  - (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
  - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
  - (3) 正当の理由がなくて出席常でない者
  - (4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 7. 編 入 学

本大学卒業者（卒業見込者を含む）が編入学を希望するときは、選考の上入学を許可することがある。ただし、編入学の学年は、単位を修得した授業科目によっては、2年次となる場合がある。

#### 8. 再 入 学

本大学を退学した者又は除籍された者で、再入学を希望する者があるときは選考の上許可することがある。

- イ. 入学後1年未満で退学した者又は除籍された者は対象としない。
- ロ. 退学又は除籍後3年以内の者とする。（出願時を基準とする）
- ハ. 再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し7年以内とする。

#### 9. 転部・転科

本大学の学生で、同一学部の他学科又は他の学部学科に転科もしくは転部を希望する者があるときは、選考の上許可することがある。（学科により異なる）

転部・転科した者の在学年数は、転部・転科した年次にかかわらず、入学の時期から通算する。

## 10. 留 学

本大学の学生で、外国の大学又は短期大学の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経てこれを許可することがある。

- イ. 履修した授業科目の修得単位については、本大学において修得したものとみなし、卒業所要単位に算入することができる。
- ロ. 留学期間は在学年数に算入する。

## 11. 学生氏名・保証人

- イ. 学生氏名は、住民票記載事項証明書又は外国人登録済証明書に基づき J I S 第 1 水準・第 2 水準文字で運用する。
- ロ. 外国人登録済証明書に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得ること。
- ハ. 通称名使用の許可を得た者は、本大学在学中一貫して通称名を使用することとし、本大学発行の証明書、成績表、各種名簿等はすべて通称名で表示する。
- ニ. 保証人は原則として、父、母とし、やむを得ない場合は独立の生計を営む親族又は縁故者とする。
- ホ. 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとする。
- ヘ. 学生・保証人の氏名住所等に変更があったときは、すみやかに所定の変更届を提出すること。

## 12. 学生番号

- イ. 学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておくこと。
- ロ. 学生番号は 6 桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせてある。

### 学生番号区分

:	:	:	}		
学	学	入	一		
部	科	学	連		
		年	番		
		度	号		
		曆	)		

(例) 1995年度入学・文学部  
国文学科15番の場合

2	1	5	0	1	5
:	:	:	}		
文	国	一	15		
学	文	九	番		
部	学	九			
	科	五			
		年			
		入			
		学			

### 学部・学科の番号

学部・学科名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1	
禅 学 科		1
仏 教 学 科		2
文 学 部	2	
国 文 学 科		1
英 米 文 学 科		2
地 理 学 科		3
歴 史 学 科		4
社 会 学 科		5
経 済 学 部	3	
経 済 学 科		1
商 学 科		2
法 学 部	4	
法 律 学 科		1
政 治 学 科		2
経 営 学 部	5	
経 営 学 科		1





## XI 既修得単位の認定について





## XI 既修得単位の認定について

### イ. 新たに第1年次に入学した者

- (1) 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）を卒業又は中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した者は、従前在学した大学等において修得した授業科目の単位のうち、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目については、合計30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位として認定を受けることができる。
- (2) 既修得単位の認定を受けようとする者は、申請書（所定様式）に成績（単位修得）証明書を添えて、教務部長に願出しなければならない。
- (3) 既修得単位の認定は、教務部長を経て当該教授会がこれを行う。

### ロ. 編入学者

従前在学中に修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書により当該教授会が認定する。

### ハ. 再入学者

従前在学中に修得した全授業科目の単位を認定する。

### ニ. 転部・転科者

従前在学中に修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書により当該教授会が認定する。

### ホ. 留学者

本学から外国の協定校・認定校へ派遣された学生が、留学先で修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書・履修要項等により当該教授会が認定する。認定した単位は、卒業所要単位の算入される。



## XII 届書・願書について





## Ⅺ 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類		要 領 ( 必 要 書 類 )	本人 印	保証 人印	取扱 窓口
届       書	履 修 届	・所定用紙あり ・各年度に単位修得しようとする授業科目を指定 期日に必ず届け出ること	要	不要	掲示
	欠 試 届	・所定用紙あり ・本人履修全科目の試験終了後直ちに届け出ること (締切日は掲示参照)	不要	不要	⑨
	卒業論文論題届	・所定用紙あり ・掲示板にて提示	要	不要	⑥
	改 氏 名 届	・所定用紙あり ・戸籍抄本添付 ・変更後1週間以内	要	不要	⑤
	本籍地(都道府県 名)変更届	・所定用紙あり ・住民票記載事項証明書添付 ・変更後1週間以内	要	不要	
	保証人変更届	・所定用紙あり ・在学誓書(保証書)添付	要	要	
	保証人住所変更届	・所定用紙あり ・変更後1週間以内	不要	不要	
	死 亡 届	・所定用紙あり ・死亡が証明できる書類(写し可)添付	/	要	
願   書	休 学 願	・所定用紙あり ・傷病による場合は、医師の診断書添付 ・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在 留期間を証明する書類及び在留地届 ・その他の場合は、保証人連署の理由書	要	要	⑤
	復 学 願	・所定用紙あり ・傷病による休学をした場合は、医師の通学可能 である証明書添付 ・4月10日までに提出すること	要	要	
	退 学 願	・所定用紙あり ・学生証添付	要	要	

※ 大学の定める諸届(願)の提出期限が、日曜・祭日の場合はその翌日までとする。





## XIII 各種証明書取扱い窓口





### Ⅷ 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教 務 部 ④ 番	在学者にかかわる 証明書 1通200円 （英文 500円）  卒業者にかかわる 証明書 1通300円 （英文 600円）
成 績 証 明 書		
卒 業 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
教職・講座単位修得（見込）証明書		
一般教養科目修了（見込）証明書		
そ の 他 の 諸 証 明 書		
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口で申し込むこと。発行は原則として2日後。

教務部取扱い証明書は、5月下旬から7月下旬まで及び3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。



# 試験実施規程（抜粋）





## 試験実施規程（抜粋）

（昭和59年7月13日制定）

### （目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験（以下「追試験」という。）病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。
- (1) 学部1・2・3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験届及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき。
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき。
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき。
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき。

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(59点～0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

この規程は、昭和59年7月13日から施行する。



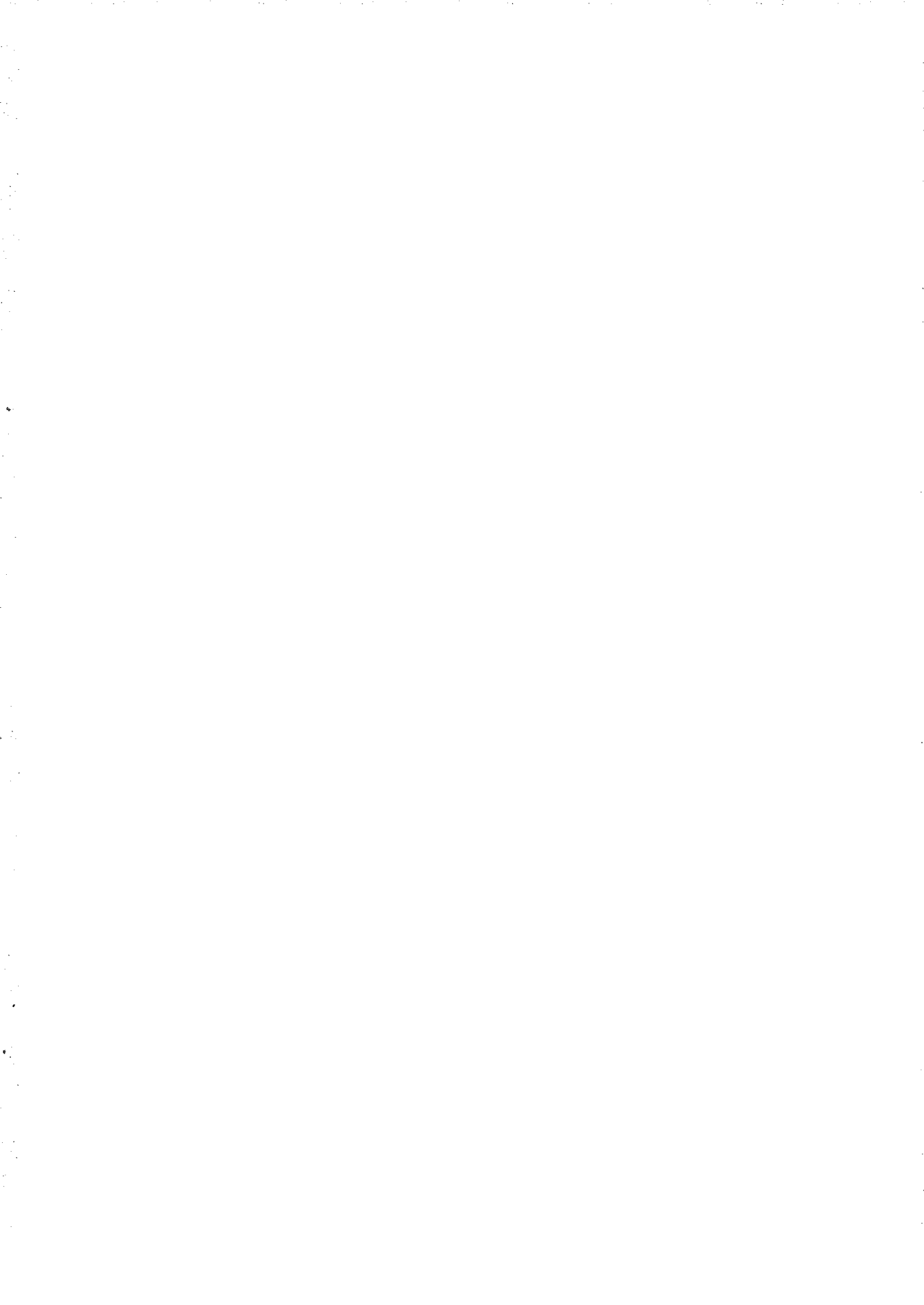
# 講 義 内 容

## ( 講 義 内 容 目 次 )

一般教育科目 (共通) .....	( 95)
保健体育科目 (共通) .....	(102)
随 意 科 目 (共通) .....	(103)
国 文 学 科 .....	(111)
英 米 文 学 科 .....	(125)
地 理 学 科 .....	(135)
歴 史 学 科 .....	(147)
社 会 学 科 .....	(163)
他学部履修科目 (共通) .....	(181)

### [ 卷 末 ]

教職及び資格講座



一般教育科目（共通）

保健体育科目（共通）

人文分野

宗教学Ⅰ（洗 建）……………95

宗教学Ⅰ（佐藤 憲昭）……………95

宗教学Ⅰ（松田 文雄）……………95

宗教学Ⅰ（山岡 隆晃）……………95

宗教学Ⅰ（再クラス）（岡部 和雄）……………95

宗教学Ⅰ（再クラス）（田中 良昭）……………95

宗教学Ⅱ（石井 修道）……………96

宗教学Ⅱ（青竜 宗二）……………96

宗教学Ⅱ（角田 泰隆）……………96

宗教学Ⅱ（原田 弘道）……………96

宗教学Ⅱ（峰岸 孝哉）……………96

哲学（久保 陽一・片桐 茂博）……………96

論理学（寺田 誠一・中村 友太郎）……………96

歴史学（粟野 俊之）……………97

文学（平野 由紀子）……………97

芸術学（日本美術）（海老根 聡郎）……………97

芸術学（西洋美術）（矢野 陽子）……………97

芸術学（音楽）（赤羽 由規子）……………97

社会分野

法学憲法（鷗徳 啓登）……………97

法学憲法（和知 恵一）……………98

経済学（徳永 俊明）……………98

経済学（光岡 博美）……………98

政治学（小林 正敏）……………98

社会学（橋爪 敏）……………98

文化人類学（安田 ひろみ）……………98

地理学（佐藤 哲夫）……………99

地理学（矢野 陽子）……………99

自然分野

自然科学概論（宇和川 正人）……………99

自然科学概論（篠原 正雄）……………99

数学（三好 重明）……………99

生物学（中村 敏枝）……………99

生物学（西谷 里美）……………100

心理学（大塚 秀治）……………100

心理学（横山 剛）……………100

人類学（江藤 盛治）……………100

地学（中島 義一）……………100

化学（高木 正博）……………101

物理学（篠原 正雄）……………101

保健体育理論（江口 淳一）……………102

保健体育理論（竹田 幸夫）……………102

保健体育理論（村松 誠）……………102

保健体育理論（再クラス）（牧野 茂）……………102

保健体育理論（再クラス）（宮沢 栄作）……………102

随意科目（共通）

宗教学概説（洗 建）……………103

宗教学概説（松田 文雄）……………103

哲学概説（国嶋 一則）……………103

哲学概説（中村 璋八）……………103

倫理学概説（久保 陽一）……………103

宗教人類学（佐藤 憲昭）……………103

民間信仰論（谷口 貢）……………104

日本宗教文化史（松田 文雄）……………104

民衆宗教成立史（洗 建）……………104

歴史哲学（麻生 建）……………104

美術史概説（中島 亮一）……………104

東洋思想研究（館野 正美）……………104

日本仏教史（廣瀬 良弘）……………104

日本文化史Ⅰ（廣瀬 良弘）……………104

日本民俗学（谷口 貢）……………105

英会話Ⅱ（P. A. Bendinelli・W. Hubbard  
D. J. Nolan・J. K. Wells  
P. Ziegler・西村 祐子）……………105

英語L LⅡ（T. J. Cogan・岩山 義春  
大庭 直樹）……………106

ドイツ語F（松岡 晋）……………106

ドイツ語F L L（初級）（小林 ゲアリンデ）……………106

ドイツ語F L L（中級）（小林 ゲアリンデ）……………106

フランス語F（野沢 協）……………106

フランス語F L L（初級）（高橋 薫）……………107

フランス語F L L（初級）（ボダン, エマニュエル）……………107

フランス語F L L（中級）（ボダン, エマニュエル）……………107

中国語F（釜屋 修）……………107

中国語F L L（初級）（松本 丁俊）……………107

中国語F L L（中級）（小川 隆）……………107

スペイン語F（瓜谷 アウロラ）……………107

スペイン語F L L（初級）（ナガ, ホツ J.）……………107

スペイン語F L L（中級）（ナガ, ホツ J.）……………108

ロシア語F（杉山 秀子）……………108

ロシア語F L L（初級）（木村 英明）……………108

ロシア語F L L（中級）（佐野 朝子）……………108

英語（海外演習）……………108



# 一般教育科目(共通)

## 人文分野

については教義や伝播にもふれる。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

あらい けん  
洗 建

宗教はあらゆる文化の基底をなしている。特定の信仰をもっていなくても、われわれはそのような宗教文化の中で生きている。宗教は文化において、社会において、人生において、どのように表われてくるのだろうか。身近な宗教現象を通じて、宗教の意義や役割を理解することを目指したい。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』  
（世界書院）¥2,000

### 宗教学 I

やま ほか たか あき  
山 岡 隆 晃

宗教は人類に普遍的な文化現象である。宗教は時代を超えて、人間社会の様々な場面で重要な役割を演じ続けてきた。人間はなぜ宗教を必要とし、宗教は人間にとってどのような意味をもち、個人または社会に対していかに機能してきたか。宗教の起源や構造・機能をめぐる学説を概観することにより、宗教に関する基礎的な理解を深めるとともに、人間理解の一助としたい。また、様々な宗教が共存する日本の宗教についても考えてみたい。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』  
（世界書院）¥2,000

### 宗教学 I

さ とう のり あき  
佐 藤 憲 昭

呪術=宗教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の文化諸領域との関連のもとに考察する。内外の事例をできるだけ多く紹介しながら、宗教的エリートとマス、宗教と呪術、宗教的複合、日本人の宗教観などのテーマを取り上げて具体的に検討する。さらに仏教の基本的な観念や行動についても考えてみたい。なお、成績評価の方法は基本的には筆記試験のみで行なうが、59点以下の場合には出席点とレポート点を考慮して総合的に評価する。

〔教科書〕水野弘元・柴田道賢監修  
『宗教学ハンドブック』（世界書院）  
佐々木宏幹『仏（ホトケ）と霊（タマ）の人類学』（春秋社）  
〔参考書〕授業中に適宜紹介する。

### 宗教学 I (再クラス)

ほか べ かず お  
岡 部 和 雄

前半では宗教とは何かという問題について、現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I (再クラス)

た ほか りょう しょう  
田 中 良 昭

前期は「宗教とは何か」というテーマで、広い視野から宗教全体を考察し、後期は「仏教・禅の特色は何か」というテーマで、仏教や禅についてできるだけわかりやすく解説していきたい。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

まつ だ ぶん ゆう  
松 田 文 雄

人間生活と宗教とのかかわりあい、宗教学の学問的領域その研究方法、宗教の起源論、宗教の分類等について概説し、さらに史上にあらわれた宗教現象、特に世界宗教 (Universal Religion) といわれる仏教・キリスト教・イスラーム教等について各説する。仏教に

## 宗 教 学 II

いし い しゅう どう  
石 井 修 道

駒沢大学で行われている宗教学Ⅱとは、宗教学とは何か、仏教とは何かを学んだ宗教学Ⅰの後を受けて、禅とは何かについて具体的に学ぶ科目である。インドからやって来たダルマを開祖とする禅は、何よりも実践を重んじているので、第一はその思想が生まれてくる背景は何かをまず学びたい。次にダルマ以降に発展する禅では、自己への問いかけを重要課題とするので、第二は禅でいう自己とは何かを問題にして行きたい。第三は禅の歴史の上にあられる個性的な禅者を通して、禅が何をめざしているかを考えたい。

〔教科書〕山内舜雄編『宗教学Ⅱ』

(更生社) ¥2,370

## 宗 教 学 II

せい りゅう おん つぐ  
青 竜 宗 二

この講座は「宗教学Ⅰ」のあとをうけて、「禅仏教」を取り扱う科目であるが、特に禅思想を中心として、我々自身の人間形成にどのような関り合いをもっているかを考え、併せて日本文化と禅との関連をも言及してゆく。

## 宗 教 学 II

つの だ たい りゅう  
角 田 泰 隆

はじめに、「宗教とは何か」について、仏教の立場から見た宗教観について解説する。まず、宗教に対する考え方を見つめ直していただけたらと思う。

この講義は、「禅とは何か」をテーマとし、その歴史と教義を中心に学ぶ。また、その中で、禅の代表的な公案(禅問答)を取り上げて、そこに表われた禅の中心課題や、その思想的特色についても見てゆきたい。

〔教科書〕教場にて指示する。

〔参考書〕教場にて指示する。

## 宗 教 学 II

はら だ ひろ みち  
原 田 弘 道

仏教就中禅を中心に講義を進めてゆく。まず禅及び禅宗の歴史的展開を追いながら、禅とは何か、人間生活と禅の真理、禅的生活の展開、禅と文化、禅と現代といった問題を順次とりあげてゆく。

そして禅の日常性の構造、公案の意義、禅的人間像、

実践規範と順次とりあげる。禅と文化、禅と現代においては、広く禅と芸術、西欧思想と禅との関係等についても触れるつもりでいる。

〔参考書〕水野・柴田編『宗教学ハンドブック』

(世界書院) ¥2,000

原田弘道『禅を喝破する』

(曹洞宗宗務庁) ¥800

## 宗 教 学 II

みね ぎし こう さい  
峰 岸 孝 哉

この宗教学Ⅱは、宗教学Ⅰを学んだ後を受けて、中国で成立し、大なる展開をとげた禅仏教の解説を内容としている。まずインド、中国、日本の禅仏教の歴史をたどり、その思想と行動の特色について考えてみる。とりわけ日本文化に与えた影響や、今日的意味については特に注意して考えたい。

〔教科書〕山内舜雄編『宗教学Ⅱ』(更生社)

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』(世界書院)

¥2,000

## 哲 学

く ぼ よう いち かつ ぎり しげ ひろ  
久 保 陽 一 ・ 片 桐 茂 博

哲学は生きるための支え、拠り所を求めつつ、同時にそれが確かめられた学問的知識であることを求める。その意味で、哲学は諸学と経験の基礎づけをめざし、それにより生きることを学ぶものである。授業では、最初、この哲学的思索がいかに行われ、いかなる問いが立てられねばならないか、について一般的な要点を説明する。それを、更に、具体的に過去の哲学の営みを通して検討しつつ、とりわけ現代の言語論的哲学と芸術の哲学について学ぶことにしたい。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 論 理 学

てら だ せい いち なか むら ともたろう  
寺 田 誠 一 ・ 中 村 友 太 郎

科学であれ哲学であれ、また日常的な行為においても、正しい論理的思考が求められるが、それを主眼的に探求するのが論理学である。授業では、前期では主にアリストテレス以来の伝統的論理学(概念論、判断論、推理論等)を取り上げる。後期では、現代の記号論理学の基礎的内容(命題論理学と述語論理学)を学ぶ。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 歴史学

あかのしゆきこ  
粟野俊之

はじめに日本における古代から中世・近世・近代へという歴史の流れを概観する。次いで、中世から近世初期を中心として、大名・領主・村落・農民などの問題を取り上げ、当時の社会関係や習俗・慣習などをさまざまな角度から見て行きたい。

## 文学

ひらのゆきこ  
平野由紀子

文学の発生の問題や日本語の表記の歴史をとりあげ、さらに日本文学の原点とも言える万葉集について講義する。具体的には万葉集の歌をよみ、歴史・地理・社会的背景と歌との関連について考えていく。また、万葉集がその後の文学に与えた影響についても考えていく。

〔教科書〕小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

〔参考書〕金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

## 芸術学（日本美術）

えびねとしお  
海老根聡郎

◎日本美術（日本中・近世絵画史）

日本の中・近世（鎌倉・室町・桃山・江戸時代）の絵画の流れを毎回一、二点の作品か、一人の画家をとりあげ、時代背景を考え広く展望しながらたどっていく。（毎回スライドを使用する）

## 芸術学（西洋美術）

やのようこ  
矢野陽子

古代から現代にいたるまで人類が絶えず行ってきた造形活動の流れを把握することを目的とする。各時代の代表的な作品を取上げて、その表現様式、美意識、社会的思想的背景などを考察していきたい。毎回スライド使用。

〔参考書〕高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』（美術出版社）¥1,900

## 芸術学（音楽）

あかのゆきこ  
赤羽由規子

前期 民族音楽学 — 日本人の伝統的な音感覚について考えたことがありますか。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について、具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えて行きたい。

後期 20世紀と音楽 — 20世紀における、音楽に関する様々な動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を多く用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

なお、第一回目にオリエンテーションを行うので出席すること。

〔教科書〕印牧由規子著『現代からの音楽史』

（公論社）¥2,700

## 社会分野

### 法学 憲法

いんとくひらとう  
鶏徳啓登

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学である。法に共通する根本的な理念は何か、法の目的は何かなど、法を研究する場合にどうしても解明しなければならない問題がある。

また憲法は、国家の基本法として他の諸々の法令の根幹をなすものであり、人権と統治機構よりなる。そして現代にいたっては、社会状況の変化に伴い新しい人権といわれるものの研究もなされている。

そこで、本講義では、これらのテーマを中心にまず一通り法学をやり、つぎに法の中でもその中枢をなす憲法の理念や原則などについて説明してゆきたいと思う。

〔教科書〕小林弘人・松村 格編著『法学・憲法』（八千代出版）¥3,500

〔参考書〕『ケースメソッド現代法学入門』（圭文社）等教場にて説明します。

## 法学憲法

わ ち けい いち  
和 知 憲 一

なぜ教養として法を学ぶべきなのか？それは、法が我々の日常生活に必要な不可欠の存在であるにもかかわらず、そのことを認識していることが少ないため、さまざまな法的問題に直面して初めて法の存在を認識し、慌てふためく人があまりにも多いからである。街頭セールスにつかまって、高額な英会話の教材を買わされたり、3年契約で入居したはずのアパートを半年で追い出されそうになったり、ファミコン用のソフトだと思ってスーパーファミコン用のものを買ってしまったりと、枚挙に遑がない。その場になって慌てなくても済むように、この授業を、法とは何か、法によってどう我々の生活は守られているのかを理解する縁としてはしい。

〔教科書〕小林弘人・松村 格編著『法学・憲法』  
(八千代出版)

『ポケット六法』〈有斐閣〉

〔参考書〕授業の中で紹介します。

## 経済学

とく なが とし おき  
徳 永 俊 明

学問への出発点は「私はどこにいるのか？」という問いにあります。言い換えれば、「私たちはどのような社会に生きているのか？」という問題です。そして、あるゆる社会の〈土台〉をなしているものが〈経済〉です。

この講義では、私たちが生きている今日の社会の〈土台〉をなす〈資本主義経済〉の基本的な構造を勉強したいと思います。

前期は、今日資本主義経済が直面している主な問題を具体的に観察します。

後期は、それらの問題の根底にある資本主義経済の基本的メカニズムを検討します。

講義はプリントを使ってすすめます。

## 経済学

みつ かつ ひろ み  
光 岡 博 美

この授業では、経済学の基礎的な理論について解説する。講義は、戦後日本経済の諸問題について説明し、そこから、現代の経済問題を理解するための“キーワード”とは何かを考えていくといった順番で進めることとする。そのうえで、経済学が、これらの“キーワード”をどのように組み立てて社会を認識してきたのかを、これまでの経済学の理論と歴史のなかから

考えていくこととしたい。

そして、再び現代世界の政治経済に目を向け、経済学の理論の世界から、現代という時代がどのように見えてくるのかについて述べてみたい。

〔教科書〕特に使用しない。

〔参考書〕授業のなかで適時指示し、また解説する。

## 政治学

こ ばやし まさ とし  
小 林 正 敏

現代政治学の諸領域を、政治理論、政治集団、政治機構等にわたって系統的に論述する。特に社会学科の政治学であることを考慮して、政治社会学、政治心理学的な視点をも重視したい。

〔教科書〕高橋正則他著『現代日本の政治構造』  
(芦書房)

## 社会学

はし つめ さとし  
橋 爪 敏

社会学という学問の持つ研究対象や性格は、ほかの社会諸科学と比べた場合、あまり理解しやすいものとは言えない。それは、社会学のもつ一種独特の学問的性格や対象の設定に基づくものである。社会学は、名称の示すごとく、社会を研究対象とするものであるがそれを常に具体的、現実的な人と人との関係の現象、集団的現象に還元して考察、理解し、さらには理論的に体系化する志向をもつ。そこで、この講義では、このような社会学独自の社会現象の見方、考え方、また基礎的な知識をテキストをもとに理解し、考えていくことにする。

〔教科書〕安藤喜久雄ほか編『社会学概論』  
(学文社)

〔参考書〕安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』  
(学文社)

## 文化人類学

やす だ ひろみ  
安 田 ひろみ

政治や経済、宗教等、既存のシステムを詳細に知る事も重要だがなぜそれが形成され、機能し、どのように相互に関連しているか — は文化に関わる問題である。これを等閑視すると、異文化のシステムに対し、自文化優越主義に陥ったり、システムの背後にいる人間が見えなくなり易い。但し、文化を読むにも方法があり、そのルール・ブックとなるのが人類学である。

前期は人類学の考え方や方法、環境、社会組織等を中心にとり上げ、後期は法と政治、世界観、宗教等を



始め、現代に即した問題も考察する予定である。  
〔教科書〕『人類学』（東海大学出版会）¥2,000  
〔参考書〕その都度紹介します。

## 地 理 学

さ とう てつ お  
佐 藤 哲 夫

アジア旅行が数倍楽しくなるような、アジアの歩き方を学ぶ。東南アジア・南アジアの風土と人々の生活を、地図を手がかりに解き明かしていく。年度内に数回の課題を提出してもらい、それによって成績を評価する。課題の内容については講義の中で指示し、締切りに遅れたものは一切受け付けないので、毎回欠かさず出席すること。

## 地 理 学

や の よう こ  
矢 野 陽 子

地球上最大の大陸と最大の大洋の間に位置する日本列島は、複雑な自然に富み、地震・火山噴火・集中豪雨・台風等多くの天災に見舞われながらも、今日の発展を日本国民にもたらしています。

本講では、この発展の母体である日本列島の自然と人間生活について地誌的立場から、日本全域を対象として地域の本質（地域の特性）を明らかにしたいと思います。

〔教科書〕『日本地誌』（改訂増補版）¥1,900  
地図帳使用。

## 自 然 分 野

### 自然科学概論

う わ がわ まさ ひと  
宇和川 正 人

自然環境と資源の諸問題について解説する。あわせて、資源の開発と人類とのかかわりあいについて考察する。

〔参考書〕その都度紹介する。

### 自然科学概論

しの はら まさ お  
篠 原 正 雄

#### 「現代科学の自然像と地球外文明探査」

現代の自然科学は細分化され、研究者も隣分野の専門的なことはわからない。けれども、自然は一つであるから、どの分野も互いに深く関わりあっている。宇宙の果ての天体の観測が地震予知に使われているのはその一例である。本講では地球外文明探査(SETI)をとりあげる。SETIの根底には、生命と文明に満ちた我々の世界が宇宙の中の極めて稀な偶然の産物なのか、それとも自然の進化の必然の結果なのかという問いが横たわっている。このテーマの下で、素粒子から宇宙に至る自然の階層構造と、自然の進化について現代科学諸分野を総合して得られる自然像を学ぶ。

評価は年度末の筆記試験と平常点により行う。

〔教科書〕前田 坦著『自然科学への招待』

(培風館) ¥1,680

〔参考書〕大島泰郎『宇宙生物学とET探査』

(朝日文庫) ¥660

### 数 学

み よし げい せき  
三 好 重 明

数学とは遊びである。人類は役に立つという理由だけで数学の研究を行ってきたわけではない。350年間の世界中の数学者達の挑戦のすえ、去年(1994年)やっと解決されたフェルマーの最終定理(方程式 $x^n + y^n = z^n$ は $n$ が3以上のとき整数解を持たない)は実際の生活に役に立つだろうか。すぐに役立つとは思えないだろう。だが人類は単にそれが知りたいから、わかりたいからこの問題を追及してきたのに違いない。「わかる」ことは楽しい。そしてそうやって構築してきた数学が実際役に立ってしまうから素晴らしいのではないか。この講義ではこの原点に立ち返って、受講者達と共に数学の世界に遊びたいと思う。

### 生 物 学

なか むら とし え  
中 村 敏 枝

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。その十億年後にはすでに生物が現われ、以後地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至った。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは消滅してしまったけれど、現存する生物たちは、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ、ということを経々と繰り返してきたのだ。そして今、新たなエネルギーを獲得した人類は、豊かで快適な生活を求めて飽くこと

を知らぬ。このエネルギーの大量使用の結果が地球規模の環境問題である。

この一年間、生物と環境について考えていきたい。まず生物の営みをいろいろな段階（個体・個体群・生態系）で紹介する。次に環境破壊の幾つかについて、その背後にある社会・経済問題も視野に入れて考察したい。人類が絶滅した恐竜たちと同じ運命をたどらないために、私達はどうしたらよいかを一緒に考えましょう。

〔教科書〕未定

〔参考書〕講義中に紹介します。

## 生 物 学

にし たに さと み  
西 谷 里 美

地球環境問題、死の判断基準、臓器移植や遺伝子操作の是非、がんやエイズ対策など、現代社会には私達が考えなければならない生物学的かつ倫理的問題が山積されている。この講義では、こういった問題を理解し、更に自分なりの解答を探っていく上で必要な基礎知識の取得をめざす。前半では、生命の歴史をふりかえり、進化からみた人間の位置について考える。また現在人間の生存を可能にしている自然の仕組みや、その仕組みを乱す環境破壊について解説する。後半では細胞や分子のレベルから見た生命活動のメカニズムと、それを応用したバイオテクノロジーについて解説する。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕授業の中で紹介する。

## 心 理 学

おお つか ひで はる  
大 塚 秀 治

心理学はその始まりから今日まで、その時代の思想と科学的方法論にもとづいて「人間の認識と行動」の理解を目的としてきた。そのため単に心理学といってもその分野は広い。本年度の講義では、知覚・記憶・学習・言語・社会行動といった分野を中心に解説する。講義の他、実際に簡単な実験や調査、検査等を行い心理学研究法のあり方を理解する。

評価は出席状況、課題の提出状況、期末試験に基づく総合評価による。課題は実際に簡単な心理学実験を個別に行って実験報告書を作成する形式とする。年間2回から3回の課題を定める。期末試験は問題量が多く通常の答案用紙を利用できないため学年末の集中試験期間をはずして実施する予定である。なお、課題についてはワープロで作成したものを要求する。課題遂行のためにはワープロおよび表計算技術が最低限必要となる。

〔教科書・参考書〕資料についてはプリントを配布す

る。教科書・参考書については開講時に示す。

## 心 理 学

よこ やま つし  
横 山 剛

本講義は心理学の主要な領域と心理学の対象・方法について基礎的な知見を与える入門の講義である。内容としては、感覚や知覚、学習、記憶などの基礎的な分野から情緒、知能、性格、異常などの応用・臨床的な分野などを解説する。いずれにせよ、学生諸子が己れの理解を深め、複雑な現代の社会現象を見ていく上の一助となれば幸いである。

〔教科書〕中村昭之編『心理学概説』

（八千代出版）

〔参考書〕村山貞雄監修、霜山徳爾編『臨床心理学』

（学術図書出版）

## 人 類 学

え とう り はる  
江 藤 盛 治

生物としての人類について、自然人類学の視点から考察を加え、文化をもつ唯一の動物といわれている人類を総合的に理解することを目的とする。人類は生物に違いないのか、動物だと言い切って間違いないのか。常識とされているはずのことについて検証を加えてみることから始まり、過去から現在に至る道程のなかから、動物としての人類の本質を探り、また人類の将来をみつめてみたい。3本の柱をおく。「進化」「変異」「適応」である。「進化」は長いタイムスパンのなかでの形態的「変異」としてとらえられるが、本質的には「進化」も「変異」も「適応」の所産に他ならない。「文化」とは何かを含めて、人類という特殊な動物にせまってみよう。

教科書は使用しない。参考書は必要に応じてその都度紹介する。なるべく平易に講義するつもりである。できれば中学校程度の生物学の知識を思い出していただければありがたい。

## 地 学

なか じま ぎ いら  
中 島 義 一

地学のはんいは広いが、陸水学・気候学・地形学の主要問題を講義する。関連ある人文地理学・歴史学の諸問題にも言及する。地図帳（高校生の時に使用したものでよい）の持参が望ましい。

## 化 学

か ぎ まさ ひろ  
高 木 正 博

まず物質の本性について、原子の結びつきから解説する。次に地球化学および環境汚染の視点から、化学物質と自然環境の関係や、人間とのかかわりあいについてのべる。とくに様々な陸水の特性に注目し、水質汚濁と環境問題について考える。

〔参考書〕新井 正著『水環境調査の基礎』  
(古今書院)

## 物 理 学

しの はら まさ お  
篠 原 正 雄

「光とは何か」という問を立て、この問をめぐるさまざまな事柄を取り上げる。これは内容を「光学」に限定することを意味しない。17世紀にはこの問題は力学的に議論されたし、19世紀には光が電磁波であることが示された。さらに、熱現象や、今世紀の物理学の二本柱である相対論、量子論とも深く関わっている。この間に導かれて、さまざまな主要な分野を旅することとなる。

数式の使用は極力避け、用いる場合は式の意味をできる限り平易な言葉に置き換えて説明する。

講義の理解を深めていただくために問題を考えていただくこともある。評価は期末の筆記試験と平常点により行う。

〔教科書〕教科書は用いない。

〔参考書〕ファン・ヒール、フェルツェル『光とは何か』（講談社ブルーバックス）  
ニュートン『光学』（岩波文庫）その他講義の中で必要に応じ適宜紹介する。

# 保健体育科目(共通)

## 保健体育理論

え ぐち じゅん いち  
江 口 淳 一

現代文明は経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、より遅く生きていく為に、人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには、運動の文化的意義について学ぶことで“Quality of life”を実践するための基礎を養うことを主眼にしていくつもりである。

## 保健体育理論

たけ だ ゆき お  
竹 田 幸 夫

体育・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。とくに、スポーツ運動学の立場から人間の運動の様々な特徴を具体的な例によって解説する。また、現代における社会生活と健康・スポーツとの関わりを考えていく。

〔教科書〕駒沢大学保健体育部編『保健体育概論』

(カヅサ出版部) ¥1,700

〔参考書〕白石 豊編『スポーツ上達の基礎理論』

(自由現代社) ¥1,200

## 保健体育理論

むら まつ まこと  
村 松 誠

現代は健康の時代と言われる。健康に関する情報は世に溢れている。テレビを見れば、健康番組は毎日のようにあり、健康雑誌も数多く発売されている。健康が商品になる時代である。また、民間療法の様な健康法も数多くある。しかし、現代は健康の時代の不健康な時代とも言われる。このような状況の中で健康とは何であるのか、しっかりした健康観を持つことは大切なことである。このような問題意識のもとに、まず健康とは何かと言うことを考えて行きたい。そして、学生時代は人生の内で最も健康な時期である。しかし、現代の健康問題とされる成人病はこの時期から始まると言われている。このようなことから将来にわたっての健康を考えて行きたい。

## 保健体育理論(再クラス)

まさ の しげる  
牧 野 茂

健康の正しい認識、健康を阻害する因子、健康・体力づくりを中心テーマとし、具体的な事例又は話題をとりあげながら授業を展開する。

## 保健体育理論(再クラス)

みや ざわ えい さく  
宮 沢 栄 作

大学保健体育の目的をふまえ、我が国体育の変遷にふれ、併わせてその時代時代の体育の特長を明確にとらえさせることを導入とし、身体運動の意義とスポーツの持つ価値の再認識を生理、解剖学的根拠をもって図る。

具体的には、栄養学を含めた体力トレーニング論と、価値あるべきスポーツが、方法を誤ると重大な障害を引き起こすスポーツ障害の原因、予防、更に日常生活に於ける救急処置法等についてふれていきたい。また現在大きな問題となっているエイズについても、ビデオ等を教材として過ちのないよう指導をしたいと考えている。

# 随 意 科 目 ( 共 通 )

## 宗 教 学 概 説

あらい けん  
洗 建

宗教学の体系について概観し、その中から特に宗教社会学的問題を中心に考察する。教職教科であることに配慮し、憲法問題の宗教学的考察などをとりあげる。  
〔教科書〕なし  
〔参考書〕その都度指示する。

境、すなわち気候、風土やその時々々の政治、経済などと密接な関連を持ちながら発生し、それを展開して行くものである。中国は広大であり、その歴史も世界の中で最も長い。そこで、この講義も中国各地の気候・風土やその各時代の政治・経済を念頭におきながら殷墟卜辞・諸子百家を始め秦・漢以降の経学・道教・佛教などの各特色を考察し、それが朝鮮半島や日本に如何に受容され、変質して行ったかも考えてみたい。  
〔教科書〕中村璋八編『中国思想文学通史』  
(明治書院) ¥1,800

## 宗 教 学 概 説

まつ だ ぶん ゆう  
松 田 文 雄

初めに宗教学の研究手法、その領域、宗教学で用いる用語などを概説し、後期、今年度は日本仏教の特色について述べる。  
〔参考書〕随時指示する。

## 倫 理 学 概 説

く ほ とう いち  
久 保 陽 一

善や正義などの倫理学上の基本的概念を歴史的に検討しながら、一アリストテレス倫理学、キリスト教の倫理、カント道徳哲学、ヘーゲルの法哲学、マルクス主義、実存主義、プラグマティズム、功利主義等一現代における倫理の問題(生命環境倫理学等)について考えることにしたい。  
〔教科書〕開講時に指示する。

## 哲 学 概 説

くに しま がげ のり  
国 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。  
それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。  
歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしてほしい。  
哲学思想の基礎的概念や考え方の解明に重点をおく。また書物の読解力を養成するために、教材の重要な箇所を読んで解説する。  
〔参考書〕その都度示す。

## 宗 教 人 類 学

さ とう のり おさ  
佐 藤 憲 昭

人類に根源的・普遍的な文化のひとつに憑霊文化がある。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑いていることを本来は意味するが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象・信仰は憑霊現象とか憑霊信仰と呼ばれるが、その内容は多岐にわたっている。本講では、宗教人類学の成立史、構成内容、方法などについて具体的に解説した後に、日本を含むアジアの憑霊文化を取り上げて、さまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して「人間とは何か」という問題に接近してみたい。  
〔教科書〕佐々木宏幹『宗教人類学』  
講談社(学術文庫)  
佐々木宏幹『仏(ホトケ)と霊(タマ)の人類学』(春秋社)  
〔参考書〕佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』  
(新曜社)  
小松和彦『憑霊信仰論』講談社(学術文庫)

## 哲 学 概 説

なか むら しょう ぼち  
中 村 璋 八

この講義は中国の哲学を中心とし、その起源より、それ以後、現代に至るまでの史的展開を概説する。哲学・思想は洋の東西にかかわりなく、その地の自然環

## 民間信仰論

たに　くち　みつが  
谷　　口　　貢

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていきたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題について考察を加える。  
〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## 日本宗教文化史

まつ　だ　ふん　ゆう  
松　田　文　雄

仏教文化に的をしぼり、近世における日本宗教文化について講義する。必要な資料はプリントして、受講生と共に講読する。

## 民衆宗教成立史

あらい　けん  
洗　　建

新宗教の規定をめぐる諸問題、新宗教の展開、発達史を概観し、主要な新宗教教団について紹介する。  
〔参考書〕堀　一郎編『日本の宗教』  
（大明堂）¥2,000

## 歴史哲学

あ　そ　けん  
麻　生　建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で、歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を、「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは、今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが、そもそもは「他者理解」の問題、「歴史理解」の問題である。  
〔教科書〕麻生　建『解釈学』  
（世界書院）¥2,500

## 美術史概説

なか　じま　りょう　いち  
中　島　亮　　一

前期では日本の原始時代から平安時代までの美術を、後期は鎌倉時代以後（できれば江戸時代まで）の美術を、時代の中で紀伝風にテーマ仕立てに分類し（例えば「明日香村の石造物」、  
「浄土教の美術」など）ス

ライドなどをとおして考察し、それぞれの問題点も検討する。

〔教科書〕久野　健他『美術史〈日本〉』  
（東京堂出版）¥2,000

〔参考書〕その都度指示する。

## 東洋思想研究

たて　の　まさ　み  
館　野　正　美

中国古代における様々な思想家たち — いわゆる“諸子百家” — の哲学思想を概観する。その際、たとえば、孟子は性善説・荀子は性悪説といった、単なる知識の羅列ではなく、むしろ、彼らが人間存在の深層に“何”を見出し（あるいは見出すことに失敗し）て、それをどのように表現しているのか、といった点にこそ意を注ぎ、詳細に論じてゆきたい。

かくして、孔子や孟子・荀子らの儒家思想、老子や荘子らの道家思想を経て、後期には『呂氏春秋』の諸思想、今年度は特にその医学思想について論及してゆきたい。

〔教科書〕館野正美著『中国古代思想管見』

（汲古書院）¥1,200

〔参考書〕授業中に適宜紹介します。

## 日本仏教史

ひろ　せ　りょう　こう  
廣　瀬　良　弘

仏教の歴史の流れを概観し、のちに平安後期から江戸期にかけての仏教と社会・文化とのかかわりについて講述する。とくに鎌倉仏教の成立と展開、仏教諸宗派の僧侶・寺院と地域社会とのかかわり、都市景観と寺院、一向一揆・無縁所寺院と戦国大名、近世においていかにして寺院が寺請制度を担いうるまでに至ったかの問題、寺院と檀家等について考察する。その際には、各地の寺院が所蔵する古文書・過去帳・授戒会帳・墓石史料等も提示しながら行うことにする。

〔教科書〕史料はコピーして随時配布する。（無料）  
〔参考書〕黒田俊雄著『寺社勢力 — もう一つの中世社会 —』（岩波新書）

網野善彦著『無縁・公界・楽』  
（平凡社選書）

井上鋭夫『山の民・川の民』

（平凡社選書）

## 日本文化史 I

ひろ　せ　りょう　こう  
廣　瀬　良　弘

日本文化の流れを概観し、平安期末から江戸期にか

けての文化について講述する。とくに中世文化の成立過程とその展開、北山・東山文化、禅宗と文化、下剋上の世と民衆文化、安土桃山文化と寛永文化、元禄文化、化政文化等について考察する。

## 日本民俗学

たに ぐち みつぎ  
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにしたい。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

## 英会話Ⅱ

P. A. Bendinelli・W. Hubbard

D. J. Nolan・J. K. Wells

P. Ziegler・にしむらゆうこ  
西村祐子

全学で6クラスを設け、学部および短大の2年次生以上を対象とします。1年次で英会話Ⅰを履修した学生を対象とするクラスとそれ以外の初修者も参加できるクラスがあります。各担当者の講義内容 (syllabus) を参考にし、場合によっては受講希望クラスの担当教師に相談してください。

担当者、曜日、時限、クラスは時間割表で確認してください。

P. A. Bendinelli

A course for highly motivated students. (UPPER LEVEL II CLASS) Class will be student orientated, not teacher orientated. Details in first meeting.

W. Hubbard

This course presents the basic as well as more advanced language skills that one needs for everyday communication in English. The emphasis is on class interaction, comprehension, and application. A variety of dialogs, situations, topics and EIKEN oriented material will be used.

〔教科書〕 The text material will be decided depending on the ability of the

students assessed at class time.

D. J. Nolan

At the core of this course is

- 1) a series of dialogues that are topical and should prove interesting to Japanese students, and
- 2) language activities that are meaningful and intellectually rewarding.

The material is advanced in the sense that it takes for granted the considerable familiarity Japanese students already have with English but recognizes a need to provide further opportunities to internalize what students have learned at lower levels.

The course specifically intends to help students prepare for the STEP tests (Eiken), either second level or higher, the targeted level depending upon the qualifications of those who apply.

Grades are determined on the basis of attendance, participation, and occasional short tests.

〔教科書〕 Dale Fuller/Clyde W. Grimm, Milestones, Macmillan Language House ¥1,800

J. K. Wells

Dear Students,

I'd like to welcome you to my free conversation class. My class will be designed around you, but you must be willing to come to class and to try to speak English openly. Conversational English pair work, skits and talking about current events will comprise my class. If you are shy, this class is not for you! Most importantly, can you attend every week?

Regards,

P. Ziegler

The course will consist of exercises designed to expand student vocabulary and improve oral communication skills. A wide variety of materials will be used.

〔教科書〕 未定

西村祐子

テーマ：英語による英国文化と社会探訪

実際によく使われるBritish Englishの会話表現を、英国で撮影されたビデオで学習しながら学ぶ。更にテキストとの併用により、イギリスの文化と社会について英語で学ぶ。授業はすべて英語で、参加者同志によるrole play、英語による発表、ディスカッションなどが盛り込まれる。英語による表現力をつけたい学生、留学希望者向けで、本年度と次年度の2年間で終了するコース。

〔教科書〕 Britain Explored by Paul Harvery &  
Rhodri Jones (Longman Eichosha books  
英潮社刊)

〔参考書〕 (使用Video) Focus in English

## 英語 L L II

T. J. Cogan ・ 岩山 義春  
おほば なおき  
大庭直樹

英語 L L I のアドバンスト・コースとして全学で3クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語 L L I を履修しなかった学生も参加できるようにしてあります。最後までやり通す意欲ある学生を歓迎します。

担当者及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認して下さい。

T. J. Cogan

In this intermediate-advanced course we will study American English through video. The text this year will probably be either a popular movie or a video series. Since the class will be small, there should be ample opportunity for students to discuss in English what they see on the screen.

The purpose of the course is to improve each student's ability to comprehend and speak English at a fairly high level. The course will be conducted entirely in English. I will announce the text on the first day of class.

岩山 義春

聞き取りと表現力の向上をめざします。毎週話題となっているニュースを選び、それを繰り返して聞き、英文でアウトラインを書いてもらい、毎回提出してもらいます。書くことなくして英会話上達はありませぬ。毎回の熱心なクラス参加を強く望みます。

テキストはプリントを使用します。

大庭直樹

前期と後期にビデオ映画(英語の字幕付き)をそれぞれ1本ずつ観る。前期は、会話表現、語法等を検討しながら、各場面を英語で要約することに重点をおく。後期は、映画の各場面について、フリーにディスカッションする形式をとりながら、発話力を身につけていく。授業は英語でおこなう。

## ドイツ語 F

まつ 松  
おみ 岡  
すけむ 晋

ドイツ、オーストリアの文化にかかわるテキストを原文で読みながら、ドイツ語圏に関するさまざまな情報、知識を得ることがこの講義の目的です。参加者はあまり多くはないと予測されますので、演習形式で行う予定です。教材はあらかじめこちらで教種類用意して、受講者の希望も加味して決定するつもりであります。定期的に出席して、積極的に取り組んでくださる方々の受講をのぞんでおります。

〔教科書〕 コピーにて配布。

〔参考書〕 その都度、指示します。

## ドイツ語 F L L (初級)

こ ばやし  
小林 ゲアリンデ

生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力をつけることをめざす。そして基本的な語彙や文型を身につけ、ドイツ語の基礎的な表現力を養成し、簡単な日常会話が出来るようにしたい。テキストは教室で適宜配布する。

## ドイツ語 F L L (中級)

こ ばやし  
小林 ゲアリンデ

ドイツ語 F L L (初級) を履修したすべての学生を対象とします。また、L L 以外のドイツ語の授業ですべてに文法と会話を学び、さらにドイツ語の日常会話を学びたいという学生も歓迎します。L L (中級) では、ドイツ語を読み、書き、聞く能力を養うほか、文法を学びます。また時には遊びも入ります。しかし何よりもドイツ語を話すことに重点をおきます。

テキストは“Themen neu I”を使用し、今年度は第4課からはじめます。

## フランス語 F

の ざわ  
野 沢  
きょう 協

フランス語 I, II をすでに履修した上で、一層の語学力を身につけたいと思う学生諸君のための語学授業です。したがって、フランス語 I, II の修了者か、独習または学外での学習によってそれと同等の語学力のある諸君だけを対象とします。使用する教材の分野について、担当者としての願望はもちろんあります(できれば、17~19世紀の何か古典的なテキスト、それも多少抽象度の高いものを一緒に読めたらと思います)



が、最終的には、学年はじめに受講者の希望や好みを聞いた上で決定するつもりです。

〔教科書〕未定

### フランス語 F L L (初級)

たか はし かおる  
高 橋 薫

ビデオ教材を利用して、ごく初歩の聞きとり・表現の練習をします。フランス語を母語とする人々と、ひとりの外国人として、簡単なコミュニケーションをはかれるようになればよい、と思います。簡単な言葉のやりとりから相互理解が始まるのです。時間が許せば映画・ニュース・ドキュメンタリーなどを見て、映像や音声を通じて、フランス人の暮らしぶりを知ることができればよい、と考えています。

〔教科書〕教室で指示します。

### フランス語 F L L (初級)

ボダン, エマニュエル

基礎的な文法に基づいたフランス語会話のパターンを獲得することを目的とする。使用する教科書は講義の時間に指示する。

### フランス語 F L L (中級)

ボダン, エマニュエル

これまで学習した内容の復習と応用を行なう。  
使用する教科書は講義の時間に指示する。

### 中国語 F

かま や おさむ  
釜 屋 修

中国の民衆の生活の実態を微型小説(ショート・ショート)、新聞記事などを通してさぐりつつ、中国語読解能力の向上をめざします。中国語学習歴二年以上またはそれと同等の力を有し、中国と中国語に関心をもつ諸君を“熱烈歓迎”。

毎時間簡単な中国語会話の練習もとりいれます。

独自プリントを開講時に配布します。

〔参考書〕開講時に紹介します。

### 中国語 F L L (初級)

まつ もと あつ とし  
松 本 丁 俊

ビデオ教材を使って、会話と聞き取りの練習をします。中国語 I 既習でいどの基礎力が必要です。ビデオの内容は、ごく日常的な場面での会話ばかりで、楽しく学んでいけると思います。

発音の復習から始めますので、イチからやり直したい人、中国語 I A・B の成績が芳しくなかった人でも大丈夫。

### 中国語 F L L (中級)

お がわ たかし  
小 川 隆

中国語を1年以上履修したか、またはそれと同程度の学習歴のある人を対象に、映画・テープ等を使った会話と聞き取りの訓練を行います。新たな知識の獲得よりも、既習の知識の耳と口への定着を主な目標とします。予習は必要ありませんが、その日に学んだ内容は、必ず翌週までに暗譜してきて下さい。

〔教科書〕榎本英雄『やさしい中国語会話』

(白水社) ¥1,300

### スペイン語 F

うり たに  
瓜 谷 アウロラ

1・2年でおぼえた基本のスペイン語を身につけよう！最新のビデオを見てかんたんな会話をどういうコンテキストの中で使うかをたしかめてから実際に声を出して自分のものにします。必要に応じてカセットテープも使う予定です。

〔教科書〕VIAJE AL ESPAÑOL『SELF-ACCESS COURSE BOOK 2』SANTILLANA発行

発売元：伸興通商株式会社 ¥2,000

Tel. (03)3353-1751

### スペイン語 F L L (初級)

ナバロ, ホワン J.

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。正規授業のスペイン語を履修している学生の受講を望みます。

## スペイン語 F L L (中級)

ナバロ, ホワン J.

前年度 L L 初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

## ロシア語 F

すぎ やま ひで こ  
杉 山 秀 子

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の表現力を身につけるための平易な読みものを取りあげ、ロシア語らしい言いまわしや、語いを広げて様々なスタイルのロシア語文に馴れてもらうことを主眼とし、第二には最新版のセミナーやリテラトゥールナヤ・ガゼータの記事を取りあげ、現代ロシア社会のひずみや歪んだ部分に光をあててみたい。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布。

〔参考書〕 露語辞書

## ロシア語 F L L (初級)

き むら ひで あき  
木 村 英 明

日常会話に役立つ簡単な表現をやさしい文章を用いて練習します。発音、イントネーションに重点をおいた反復練習により初等ロシア語の知識を耳と口から身につけることを目的とします。特に、最初の段階では受講者一人一人の発音上の欠点を分かりやすく指摘し、正しいロシア語の発音に慣れるようにします。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

## ロシア語 F L L (中級)

さ の あさ こ  
佐 野 朝 子

ロシア語の正規授業を履修した人または同程度の学習体験を有する人を対象とします。ロシア語独特の言いまわし、イントネーションを小話等の短文を用いながら受講者の能力に応じて修得することを目的とします。またロシア語を通じユーラシア大陸におけるロシア連邦、各共和国、諸民族の生活や文化にもふれます。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

## 英語 (海外演習)

この授業科目は、クインズランド大学・ブリティッシュコロンビア大学・エクセター大学・カリフォルニア大学アーバイン校における短期留学セミナーでの四週間に及ぶ現地演習を中心として行なわれる英語随意科目である。受講対象学生は、全学部の1年次生から卒業年次生までとする。

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位認定がなされる。

# 国文学科

## 基礎教育科目

基礎国文学 (勝原 晴希) .....	111
基礎国文学 (高田 知波) .....	111
基礎国文学 (畑 實) .....	111
基礎国語学 (若杉 哲男) .....	111
基礎中国文学 (中村 璋八) .....	111

## 専門教育科目

国文学概論 (水原 一) .....	112
国語学概論 (木村 晟) .....	112
国文学講読 I (田中 徳定) .....	112
国文学講読 I (忠鉢 仁) .....	112
国文学講読 I (村上 光徳) .....	112
国文学講読 II (高橋 文二) .....	112
国文学講読 II (田中 徳定) .....	112
国文学講読 II (日向 一雅) .....	112
国文学講読 III (林 達也) .....	113
国文学講読 III (富士 昭雄) .....	113
国文学講読 III (三浦 廣子) .....	113
中国文学講読 (功刀 正) .....	113
国語学研究 (大友 信一) .....	113
国語学研究 (木村 晟) .....	113
国語学研究 (田中 章夫) .....	113
国文学史 (上代)(遠藤 宏) .....	113
国文学史 (中古)(日向 一雅) .....	114
国文学史 (中世)(佐伯 真一) .....	114
国文学史 (近世)(林 達也) .....	114
国文学史 (近代)(勝原 晴希) .....	114
国語学演習 I (木村 晟) .....	114
国文学演習 I (上代)(小野 寛) .....	114
国文学演習 I (中古)(高橋 文二) .....	114
国文学演習 I (中古)(田中 徳定) .....	114
国文学演習 I (中世)(村上 光徳) .....	114
国文学演習 I (近世)(林 達也) .....	115
国文学演習 I (近世)(富士 昭雄) .....	115
国文学演習 I (近代)(勝原 晴希) .....	115
国文学演習 I (近代)(高田 知波) .....	115
国文学演習 I (近代)(畑 實) .....	115
国語学演習 II (木村 晟) .....	115
国文学演習 II (上代)(小野 寛) .....	115
国文学演習 II (中古)(高橋 文二) .....	115
国文学演習 II (中古)(田中 徳定) .....	115
国文学演習 II (中世)(水原 一) .....	116
国文学演習 II (中世)(村上 光徳) .....	116
国文学演習 II (近世)(林 達也) .....	116

国文学演習 II (近世)(富士 昭雄) .....	116
国文学演習 II (近代)(勝原 晴希) .....	116
国文学演習 II (近代)(高田 知波) .....	116
国文学演習 II (近代)(畑 實) .....	116
国文学研究 (高田 知波) .....	116
国文学研究 (畑 實) .....	116
国文学研究 (村上 光徳) .....	116
国語史 (大友 信一) .....	117
言語学概論 (田口 善久) .....	117
上代文学講読 (小野 寛) .....	117
近代文学講読 (勝原 晴希) .....	117
上代文学 (小野 寛) .....	117
中古文学 (田中 徳定) .....	117
中世文学 (水原 一) .....	117
近世文学 (富士 昭雄) .....	117
近代文学 (勝原 晴希) .....	117
近代文学 (高田 知波) .....	118
国文学特講 I (三浦 廣子) .....	118
国文学特講 I (延広 真治) .....	118
国文学特講 II (佐伯 真一) .....	118
国文学特講 III (原岡 文子) .....	118
国文学特講 IV (牧野 和夫) .....	118
中国文学 (中村 璋八) .....	118
中国文学演習 (中村 璋八) .....	118
中国文学概論 (南雲 智) .....	119
仏教概論 (平井 俊榮) .....	119
東洋思想研究 (館野 正美) .....	119
日本史概説 I (古代・中世)(松本 信道) .....	119
日本史概説 II (近世・近代)(木槻 哲夫) .....	119
日本文化史 I (廣瀬 良弘) .....	119
書道概論 (書論・鑑賞)(金子 卓義) .....	119
書道史 (那須 隆吉) .....	119
書道実習 I (金子 卓義) .....	119
書道実習 II (富岳 智猛) .....	120
書道実習 III (那須 隆吉) .....	120
美術史概説 (中島 亮一) .....	120
現代美術 (矢野 陽子) .....	120
編集実務 (長谷川 孝) .....	120
英米文化 (荒井 良雄) .....	120
日本民俗学 (谷口 貢) .....	120
有職故実 (大塚 英子) .....	121



# 国 文 学 科

## 基礎教育科目

### 基礎国文学

かつ はら はる き  
勝 原 晴 希

近現代の代表的な短篇小说・詩歌などを取り上げ、その読解を通じて、近代文学研究の具体的な手づき・進め方を習得することを、ねらいとする。  
〔教科書〕適宜プリント配布

### 基礎国文学

たか だ ち なみ  
高 田 知 波

森鷗外の『舞姫』、夏目漱石『坊っちゃん』、『ころ』という3つの一人称小説を取り上げ、大学で学問として近代小説を《読む》とはどういうことかについて学習する。受身で講義を聴くのではなく、自分自身の《読み》を教師の《読み》と対決させるような能動的な姿勢を受講生全員に望みたい。  
〔教科書〕森鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫）  
夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫）  
夏目漱石『ころ』（新潮文庫）

### 基礎国文学

はた りのる  
畑 實

#### 明治の文学評論

明治期に出た代表的な評論を読んでいく。その結果、近代文学評論の発展の跡をたどっていく事になろう。テキストはプリントを配布する予定。

### 基礎国語学

わか すぎ てつ お  
若 杉 哲 男

文語より口語への国語の史的変遷の考察を直接の目的とするが、広く国語学の諸分野（音声・意味・語彙・文字・方言等）へも出来るだけ触れて、国語に対する教養を深め識見を高め、更には将来の各専門分野の研究に資するようにしたい。辞書必携。  
〔教科書〕和田利政・森 昇一・岡崎正継著  
『国文法要説』文語篇（桜楓社）¥1,500

### 基礎中国文学

なか むら しょう はち  
中 村 璋 八

中国の先秦時代より唐・宋時代に至る散文・韻文、それに諸子百家を始めとする思想的な作品を歴史的な背景を考えながら解読し、それによって中国古典の読解力を養い、また、漢字の構成、中国の風土や習慣なども説明し、それらの中国の文化が如何に日本に伝来し、日本の文化一般に影響を及ぼしたかも述べて行く。この講義によって中国古典・日本の漢詩文が抵抗なく読めるようにしたい。  
〔教科書〕『中国思想文学通史』（明治書院）¥1,800

# 専門教育科目

## 国文学概論

みず　　ほら　　はじめ  
水　　原　　一

国文学の領域、種類、思想的・芸術的理念について国文学史の視野から各種作品の実例に触れつつ講じ、研究課題・研究法等について概観する。

〔教科書〕麻生・松田・市古著『日本文学概論』（秀英出版）¥1,900

## 国語学概論

き　　むら　　あきら  
木　　村　　晟

国語学は特殊言語学の一つである。従って一般言語学の研究成果が国語学の研究にも応用されることが当然あり得る。しかしながら、一方国語には他の諸言語に見られない多くの特徴がある。そのために国語学独自の研究分野や研究方法が存することも事実である。— こういう観点から本年は国語学全般について講ずるとともに、文字論や文体論に重点を置く。

〔教科書〕福島邦道著『国語学要論』（笠間書院）¥1,000  
〔参考書〕橋本進吉著『国語学概論』（岩波書店）  
時枝誠記著『国語学原論』（岩波書店）  
山田忠雄著『国語学概論』（日大通信教育部）

## 国文学講読Ⅰ

た　　なか　　のり　　さだ  
田　　中　　徳　　定

古典文学の代表的作品である『源氏物語』の「若紫」巻を読みながら、本文の読解方法及び作品研究の方法について学んでいく。

〔教科書〕『源氏物語（一）』（明治書院）¥1,900

## 国文学講読Ⅰ

ちゅう　　ぼち　　ひとし  
忠　　鉢　　仁

軍記物語の最高峰と位置づけられ、当時の状況を生き活きと伝えている『平家物語』を読む。時間的制約はともかく、多岐に亘る内容に触れ、鑑賞する。講読とはいっても、諸君の積極的調査・研究の姿勢を期待する。

〔教科書〕今成・松尾・山下編『平家物語新抄』（双文社出版）¥1,648  
〔参考書〕『平家物語全注釈』（角川書店）等

## 国文学講読Ⅰ

むら　　かう　　みつ　　のり  
村　　上　　光　　徳

『平家物語』の代表的な句を選んで読み、本文を通して平家物語という作品を十分鑑賞する。そして軍記物語と呼ばれるジャンルの問題や平家物語の文学史的評価、または成立の問題、作者の問題、群がる諸異木の問題、つまり、語りもの・読みものなどの問題、今後の研究方向等さまざまな問題を取りあげて多面から平家物語を研究してゆく。

〔教科書〕『平家物語抄』（桜楓社）  
〔参考書〕『平家物語全注釈』（角川書店）

## 国文学講読Ⅱ

たか　　はし　　ぶん　　じ  
高　　橋　　文　　二

『更級日記』を読み、そこに表れた作者の特異な自然観の意味を考え、さらには作者の宗教観、人生観の問題に及びたい。『源氏物語』の文章表現と比較し、王朝女流文学の特質をも考えたい。

〔教科書〕『更級日記』（岩波文庫）  
『風景と共感覚』（春秋社）¥2,800

## 国文学講読Ⅱ

た　　なか　　のり　　さだ  
田　　中　　徳　　定

『今昔物語集』を読みながら、時代的・社会的背景との関わり、説話の伝承の様相について考える。

〔教科書〕『新注今昔物語集選』（大修館書店）¥876

## 国文学講読Ⅱ

ひ　　なた　　かず　　まさ  
日　　向　　一　　雅

伊勢物語を読む。古注釈を利用しながら、この作品の多義的な面白さを分析し検討してみる。

〔教科書〕阿部俊子『伊勢物語』下（講談社学術文庫）

### 国文学講読Ⅲ

はやし 林 たつ 達 や 也

井原西鶴の『万の文反古』を精読して、西鶴の雑話ものの世界に親しむことにしたい。本年は前半を読む。  
〔教科書〕東 明雅『万の文反古』  
(明治書院一校注古典叢書一)

### 国文学講読Ⅲ

ふ 富 じ 士 あき 昭 お 雄

上田秋成の『雨月物語』を講読し、秋成の文学の特質を考察する。  
〔教科書〕水野 稔編『雨月物語』  
(明治書院) ¥1,700

### 国文学講読Ⅲ

み 三 うら 浦 ひろ 廣 こ 子

初代並木五瓶作の歌舞伎「五大力恋緘」を読む。寛政6年(1794)に大阪で初演され、翌年江戸でも上演された。上方系と江戸系の台本が残っている。江戸系の台本をテキストとして、上方系と比較しながら読んで行きたい。本作は実際の事件を劇化した世話狂言で、男女の愛の破局を描く「愛想づかし」物の代表的作品である。  
〔教科書〕『五大力恋緘—歌舞伎オン・ステージ13』  
(白水社) ¥2,369

### 中国文学講読

く 功 ぬぎ 刀 だし 正

一年時の学習を基礎に、先秦諸子百家・漢魏六朝・唐宋八家の代表的な文を解説し、中国文学の理解を深め、鑑賞力を涵養する。また、中国文学の日本文学への影響なども明らかにしてみたい。  
〔教科書〕『中国思想文学通史』(明治書院) ¥1,600

### 国語学研究

おお 大 とも 友 しん 信 いち 一

『伊勢物語』諸本中、真名本系統の、建部綾足校正の『旧本伊勢物語』(明治5年刊)を研究対象として取上げる。

真名本とは言いながら、全文片仮名ルビ付きで、その上、諸本中最も流布している定家本系統と本文がほとんど同じなので読解には困らない。

中古の文芸を、江戸時代の有識者がどのように享受していたかを踏まえながら、仮名遣を含む用字法、語彙、語法・文法に留意して、各自、自分なりに、分担箇所を調査・研究していく。日本語研究の入門としたい。

〔教科書〕木村 晟・瀬尾邦雄・柳田忠則編  
『旧本伊勢物語』(翰林書房) ¥1,800  
〔参考書〕『古語辞典』(簡便なものでよい)を携行のこと。

### 国語学研究

き 木 むら 村 あきら 晟

伝具平親王の撰とされる『真名本伊勢物語』の国語学的研究を行なう。音韻・語法・仮名遣いの各方面から考察するのは勿論であるが、仮名文の「真名化」ということに重点をおいて、言語生活上の問題を考える。特に「真名本」の用字法については、真名本の『平家物語』(熱田本・平松本)とも比較対照して、『真名本伊勢物語』の表記の特徴を追究することとする。『名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』などの古辞書類は常に参照する。

〔教科書〕柳田忠則他編『真名本伊勢物語』  
(翰林書房) ¥1,800  
〔参考書〕授業中に紹介する。

### 国語学研究

た 田 ぬか 中 あき 章 お 夫

近代日本語の成立過程を、言語資料に基づいて考察する。

前期は、明治以降、さまざまな分野でおし進められてきた、日本語の標準化・共通語の、実際の姿を分析する。

後期は、現代日本語のベースとなっている東京語と、その母胎としての江戸ことばの、音韻・語法を観察し、さらに、位相的な対立・差異にも目を向けていく。

〔教科書〕田中章夫『標準語』  
(誠文堂新光社) ¥1,400  
〔参考書〕田中章夫『東京語—その成立と展開』  
(明治書院)

### 国文学史(上代)

えん 遠 どう 藤 ひろし 宏

文学の発生から奈良時代末の文学まで、上代の文学の展開を具体例に基づいて通観する。

〔教科書〕小野 寛・金井清一編  
『年表資料 上代文学史』（笠間書院）

### 国文学史（中古）

ひ なた かず まさ  
日 向 一 雅

枕草子の日記的章段を主に取りあげて、枕草子と漢詩文との関わり、枕草子の方法の特色について検討しながら、その文学史的位を考えてみる。

〔教科書〕石田穰二訳注『枕草子』上（角川文庫）

### 国文学史（中世）

さ えき しん いち  
佐 伯 真 一

外来説話の文学史。外国産の説話が日本文学の中で受容されてゆく種々の様態を、中世を中心に観察する。教科書は使用せず、プリントによって講義を進める。

〔参考書〕必要に応じて、教室で紹介する。

### 国文学史（近世）

はやし たつ や  
林 達 也

近世文学を、歴史状況との関連、表現論・文体論・作家論等にわたって検討する。本年は、近世小説の恋の描かれ方を中心にして考えていくことにする。教材は、教場において、その都度配布する。

〔参考書〕原 道生・林 達也編『日本文芸史』  
〔第四巻 近世〕（河出書房）

### 国文学史（近代）

かつ ほら ほる き  
勝 原 晴 希

『新体詩抄』に始まるとされる日本の近代詩の流れを、具体的な詩作品に触れながら通観する。

〔教科書〕適宜プリント配布。

### 国語学演習Ⅰ

き むら あきら  
木 村 晨

近世の文法学者鈴木 腹（あきら）の著『言語四種論』を採り挙げて日本語の文法について考察する。時枝文法はこの『言語四種論』を根底にして成立したと云う。このような事情から時枝学説と対照させながら『言語四種論』を読み、日本語の文法的な特徴を考

たい。ことばの用例は現代語を主に採り挙げていく。「詞」と「辞」の弁別の問題には、他の学説とも関連させて考えることとする。

〔教科書〕プリントを用意する。

〔参考書〕時枝誠記著『日本文法口語篇』

（岩波全書114）

### 国文学演習Ⅰ（上代）

お の ひろし  
小 野 寛

『万葉集』から作品を選んで、各自一首ずつ担当し、本文の異同、諸注釈の検討、用語の調査研究など、徹底的によみ込んでゆく。今年度は、万葉集巻三の研究とする。

〔教科書〕鶴 久・森山 隆編『万葉集』（桜楓社）

〔参考書〕小野 寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

### 国文学演習Ⅰ（中古）

たか ほし めん じ  
高 橋 文 二

『源氏物語』の「若菜」巻を読み、王朝女流文学世界の特質を考える。使用されている語彙、とくに形容詞の用例を精査し、女流文学世界の表現の微妙さと深さを考えたい。

〔教科書〕日本古典全書『源氏物語』4

（朝日新聞社）¥1,500

〔参考書〕『風景と共感覚』（春秋社）

『まどろみ文化論』（笠間書院）

### 国文学演習Ⅰ（中古）

た なか のり ざだ  
田 中 徳 定

『古本説話集』を読みながら、院政期を中心とした仏教と文学のありようについて考察する。

〔教科書〕『宇治拾遺物語 古本説話集』

（岩波書店）¥3,900

### 国文学演習Ⅰ（中世）

むら かみ むつ のり  
村 上 光 徳

鴨長明の『無名抄』、「近代歌躰の事」を中心に読み、長明の和歌に対する考え方や当時の歌壇—御子左家、六条源家、六条家等の和歌や歌人、和歌史等にもふれ研究したい。



### 国文学演習Ⅰ（近世）

はやし 林 たつ 達 や 也

上田秋成の演習。本年は、初期の『世間妾形氣』を読むことにする。テキストは、プリントして配布する。尚、受講学生の数によっては、別の演習方法をも併せ行うことも考えている。

### 国文学演習Ⅰ（近世）

ふ 富 じ 士 おき 昭 お 雄

西鶴の『世間胸算用』の読解を通して、西鶴の町人物の特質を解明する。

〔教科書〕富士昭雄編『世間胸算用』

（明治書院）¥1,800

### 国文学演習Ⅰ（近代）

かつ 勝 はら 原 はる 晴 き 希

昭和の文学作品を対象とし、担当者の報告を全員で検討する。取り上げる作品・分担等は、最初の時間に指示する。

〔教科書〕各種文庫を使用

### 国文学演習Ⅰ（近代）

たか 高 だ 田 ち 知 なみ 波

〈近代の小説〉を年間テーマとする。明治大正期に書かれた代表的な小説を読んでいく。

〔教科書〕教場で指示する。

### 国文学演習Ⅰ（近代）

はた 畑 みのゑ 実

森鷗外の歴史小説

森鷗外の残した歴史小説を「興津弥五右衛門の遺書」以下発表順にとりあげて演習する。テキストや演習方法等については最初の時間に指示する。

### 国語学演習Ⅱ

き 木 むら 村 あきら 晟

鎌倉時代の辞書『平他字類抄』の国語学的研究を行なう。主な典拠となっている『色葉字類抄』の三巻本・十巻本のいずれにより近いかという辞書史上の問題を究め、数多く付されている和訓について国語史的な考察をなす。ハ行転呼音・開合・ジヂズツの仮名などをはじめとする仮名遣いの問題には特に力を入れて調査し考究する。

併せて卒論指導も行なう。

〔教科書〕プリントする。

〔参考書〕授業中に紹介する。

### 国文学演習Ⅱ（上代）

お 小 の 野 ひろし 寛

記紀・風土記・万葉集など上代作品から名品を選んでよんでゆく。とり上げる作品は、開講時に相談してきめる。後期には、各自が卒業論文に選んだテーマに関して研究発表し、みんなで考え、揉み合いながら、それぞれの卒業論文への結実を図る。

### 国文学演習Ⅱ（中古）

たか 高 はし 橋 むん 文 じ 二

昨年に続いて『源氏物語』を読む。今年は「行幸」巻を読み、王朝女流文学の表現の特質を考えたい。調査・研究の方法は昨年演習Ⅰに準ずる。諸氏の研究論文を読む時間もちたい。併せて卒論の指導もかねる。

〔教科書〕演習Ⅰで昨年使用した日本古典全書『源氏物語』3ならびに『古代都市文学論』

（翰林書房）¥2,700

### 国文学演習Ⅱ（中古）

た 田 なか 中 のり 徳 さだ 定

『本朝神仙伝』を読みながら、院政期における説話文学について研究する。テキストはプリントで配布する。

## 国文学演習Ⅱ（中世）

みづ はら はじめ  
水 原 一

鴨長明研究。前年度に扱った「方丈記」（広略本）や和歌をふまえ、さらに「無名抄」「発心集」を読んで作者像の全体に迫る。併せて長明周辺の間人関係を資料の中に採り、長明の生涯・文学活動・美意識・宗教性などにつき考察する。

〔教科書〕高橋和彦『無名抄』（桜楓社）  
三木紀人『発心集』（新潮社）

## 国文学演習Ⅱ（中世）

むら かみ みつ のり  
村 上 光 徳

『平家物語』の研究。本年は特に本学所蔵のテキストを用い後半を中心に読む。『平家物語』各テキストの比較検討を介して作品論・人物の考察を行う。

## 国文学演習Ⅱ（近世）

はやし たつ や  
林 達 也

近世文学の作品を読み、作品の読解方法を身につけることを目的とする。読む作品は、開講時に、学生と相談のうえ、きめる。

## 国文学演習Ⅱ（近世）

ふ じ あき お  
富 士 昭 雄

受講生の卒業論文のテーマに関する近世文学の演習。併せて卒業論文の指導をする。  
〔教科書〕教場でプリントを配布する。

## 国文学演習Ⅱ（近代）

かつ はら はる き  
勝 原 晴 希

学生の卒業論文テーマと関連させながら、主として昭和期の文学作品（ジャンルは問わない）を対象にした演習を行う。

〔教科書〕各種文庫及びプリント。

## 国文学演習Ⅱ（近代）

たか だ ち なみ  
高 田 知 波

学生の卒業論文テーマと関連させながら、日本の近代小説を対象にした演習を行う。

〔教科書〕教場で指示する。

## 国文学演習Ⅱ（近代）

はた むる  
畑 實

大正期の小説

大正に出た主要な作品を取りあげて演習を行う。またあわせて卒業論文の指導も行う予定。取りあげる作品演習方法等については最初の時間に指示する。

## 国文学研究

たか だ ち なみ  
高 田 知 波

夏目漱石の作品の中から『三四郎』『それから』『こころ』の3編を選び、それぞれについて考察する。  
〔教科書〕夏目漱石『三四郎』『それから』『こころ』（新潮文庫）

## 国文学研究

はた むる  
畑 實

坪内逍遙

『小説神髓』と『当世書生気質』を読み、逍遙の小説理論とその実践としての小説との関係を考えてみたい。テキストはプリントを配布する予定。

## 国文学研究

むら かみ みつ のり  
村 上 光 徳

中古の文学や作者についての中世に書かれた批評書『無名草子』の前半、平安物語批評論を中心に読む。  
本書の作者は平安時代末から中世にかけて長く宮仕えをして宮廷生活の馴れとして自他ともに許された、と自称する八十三歳の老尼と若い女性数人とで話は進むが要を得た批評がよい。作者の問題も考えてみたい。  
〔教科書〕『昭和校注 無名草子』（武蔵野書院）

## 国語史

おとともしんいち  
大友信一

日本語の歴史の変遷を、当時の資料に実際に対面し、分析し、比較することによって、考えてみる。

本年度は、奈良時代（それ以前も含む）、平安時代、院政鎌倉時代の日本語を取扱う。

〔教科書〕佐藤喜代治編『国語史 上』

（おうふう）¥1,900

〔参考書〕講義中に指示する。

## 言語学概論

たぐちよしひさ  
田口善久

前半では言語のもつ構造と言語現象にあらわれる規則性というテーマで、具体的な言語のデータを示しつつ進めていく。後半は言語の通時的側面をとりあげ、言語がどのように変化していくのかという問題を考えていく。

## 上代文学講読

おのひろし  
小野寛

上代とは奈良時代とそれ以前をさす。それは日本文学の草創期である。日本文学のすべての原点である。説話文学として『古事記』や『日本書紀』の神話・伝説がある。『古風土記』の地名起源説話などもおもしろい。そこにはまた「うた」が多く含まれている。古代人たちが節をつけ、楽器を伴奏に、唱い踊ったものである。これを「歌謡」という。そして「うた」はやがて文字で書き記されるようになり、記載文学としての「和歌」の集である『万葉集』が登場する。これら上代文学の神髄に触れてみよう。

〔教科書〕適宜指定し、あるいはプリントを使う。

## 近代文学講読

かつはら はる き  
勝原晴希

太宰治を対象に、その出発期からの文学的な歩みを、作品の読解を通じてたどる。テキストは新潮文庫を使用する。

〔教科書〕太宰 治『晩年』（新潮文庫）

以降は適宜指示

## 上代文学

おのひろし  
小野寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』を読むにあたって、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについて詳細にしらべながらよんでいく。毎年新しいテーマでよむ。

〔教科書〕小野 寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

## 中古文学

たなかのりさだ  
田中徳定

八代集における歌風の変遷について考えるとともに、和歌解釈の方法について学んでいく。

〔教科書〕『平安詩歌選』（和泉書院）¥1,500

## 中世文学

みずはら はじめ  
水原一

『とはずがたり』（後深草院二条の日記）を読み、題材となった作者の生涯・運命・人間関係について考察し、日記文学としての特色について考えてみたい。

〔教科書〕富倉徳次郎『とはずがたり』（筑摩書房）

## 近世文学

ふじあきお  
富士昭雄

『去来抄』の講読を通して、芭蕉の俳論を考察する。

〔教科書〕プリント（実費）

## 近代文学

かつはら はる き  
勝原晴希

萩原朔太郎を対象に、その出発期からの文学的な歩みを、詩作品の読解を通じてたどる。

〔教科書〕『日本の詩歌14 萩原朔太郎』（中公文庫）

## 近代文学

か だ ち なみ  
高 田 知 波

樋口一葉の代表的な作品を取りあげて精読する。幸田弘子氏による朗読テープも活用する。

〔教科書〕樋口一葉『にごりえ・たけくらべ』  
(新潮文庫)

## 国文学特講 I

ろ うら ひろ こ  
三 浦 廣 子

鶴屋南北の歌舞伎「東海道四谷怪談」は「仮名手本忠臣蔵」と同時上演された作である。「四谷怪談」の登場人物は、「忠臣蔵」との結び付きをもち、両者は表裏の関係をなしている。赤穂浪士の事件を扱った「忠臣蔵」物の系譜をたどりながら、その「もどき」としての「四谷怪談」を考えると共に、「仮名手本忠臣蔵」との比較によって「四谷怪談」の重層的構造に検討を加えてみたい。参考書は講義のなかで指示する。

〔教科書〕『東海道四谷怪談』(岩波文庫)  
『仮名手本忠臣蔵』(岩波文庫)

## 国文学特講 I

のぶ ひろ しん じ  
延 広 真 治

舌耕文芸。落語の形成過程について、ビデオやカセット・テープを援用して述べる。

〔教科書〕延広真治『落語はいかにして形成されたか』  
(平凡社) ¥2,480

## 国文学特講 II

さ えき しん いち  
佐 伯 真 一

中世説話文学を読む。説話が、説話集のみならず、中世文学のさまざまなジャンルに、姿を変えながら息づいている様態を観察したい。

〔教科書〕池上洵一他編『説話文学選(中世)』  
(和泉書院) ¥1,400

## 国文学特講 III

はら かつ ふみ こ  
原 岡 文 子

『源氏物語』夕顔の巻を材料に、『源氏物語』の固有の表現の仕組みや人物造型の方法、或いはそれ以前

の様々な作品の汲み上げ方などについて、受講生と共に考えながら取り組みたい。

〔教科書〕玉上琢弥訳注『源氏物語』第一巻  
(角川文庫)

## 国文学特講 IV

まき の かつ お  
牧 野 和 夫

中古・中世にわたる唱導などを軸に、現存する諸資料類を通じて諸領域の問題を考え、いわゆる“文学作品”(とある時期・ある価値評価に基き「文学」となったもの)を点じて考察を加える。

本地物と疑経、その他、種々の問題をあつかう。  
〔参考書〕折々に指示。『七寺古逸経典』など。

## 中国文学

なか むら しょう はち  
中 村 璋 八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕『五行大義』(明德出版) ¥2,300

## 中国文学演習

なか むら しょう はち  
中 村 璋 八

中国の風土の中から自然に発生した漢民族の智慧の結晶でもある易の書は、その後、儒教の根本経典、五経の第一に位置付けられ、「易経」として重要視され、長い時代、多くの人々に読まれた。この易は、占卜の書であると共に中国人の世界観、人生観をも記したものであり、中国の思想、宗教、文学にも大きな影響を及ぼしている。それだけでなく、日本の文学、宗教、習俗、建築など広い範囲に、その影響が見られる。この「易経」を読んで行き、中国人の考え方を究めると共に中国古典、日本の漢詩文の読解力をも養って行きたい。

〔教科書〕中村璋八・古藤友子『周易本義』  
(明德出版社) ¥2,900

## 中国文学概論

な ぐも さとる  
南 雲 智

中国文学の主流とされる詩と文だけでなく、文字に書き表わされた作品(資料)を時間の流れとともに可能な限り通覧することで、この授業が中国人の文学観、美意識、思考様式といったものがどのようなものなのかを考えるきっかけとなればよいと思っている。

〔教科書〕基本的には使用せず、必要があればプリントを配布する。

## 仏教概論

ひら い しゅん えい  
平 井 俊 榮

仏教の基本的要素である仏(教祖)法(教義)僧(教団)の三宝の体系にしたがって、仏教の基本的教理を概説する。原始仏教・インド仏教が中心となるが、併せて中国仏教・日本仏教への歴史的展開についても概観することとする。

〔教科書〕高崎直道著『仏教入門』

(東京大学出版会) ¥1,600

## 東洋思想研究

たて の まさ み  
舘 野 正 美

中国古代における様々な思想家たち — いわゆる“諸子百家” — の哲学思想を概観する。その際、たとえば、孟子は性善説・荀子は性悪説といった、単なる知識の羅列ではなく、むしろ、彼らが人間存在の深層に“何”を見出し(あるいは見出すことに失敗し)て、それをどのように表現しているのか、といった点にこそ意を注ぎ、詳細に論じてゆきたい。

かくして、孔子や孟子・荀子らの儒家思想、老子や荘子らの道家思想を経て、後期には『呂氏春秋』の諸思想、今年度は特にその医学思想について論及してゆきたい。

〔教科書〕舘野正美著『中国古代思想管見』

(汲古書院) ¥1,200

〔参考書〕授業中に適宜紹介します。

## 日本史概説 I (古代・中世)

まつ もと のぶ みち  
松 本 信 道

奈良・平安時代の諸様相について概観する。

〔教科書〕『日本の歴史3 奈良の都』

(中公文庫) ¥860

## 日本史概説 II (近世・近代)

き つぎ てつ お  
木 槻 哲 夫

近世・近代にわたる日本社会の発展を明治期を中心に概観し、併せて、新たな研究視角・問題点の発見に資するよう努めたい。教科書は特定しない。

〔参考書〕『地方史研究必携』(岩波書店) ¥4,800

## 日本文化史 I

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

日本文化の流れを概観し、平安期末から江戸期にかけての文化について講述する。とくに中世文化の成立過程とその展開、北山・東山文化、禅宗と文化、下剋上の世と民衆文化、安土桃山文化と寛永文化、元禄文化、化政文化等について考察する。

## 書道概論(書論・鑑賞)

かね こ たか よし  
金 子 卓 義

漢字の起源といわれる甲骨文字から現代書まで、時代背景や書者の心理などを探りながら、書之美を鑑賞してゆきます。殊に鑑賞を重点におき、直観的な鑑賞と理論的な鑑賞をバランスよくできるようにします。

## 書道史

な す たか よし  
那 須 隆 吉

現在見ることの出来る最古の文字である、殷代の甲骨文字を始めとし、その後時代と共に著しく変遷していく書体、書風、書法を通覧しながら、深遠な書道の歴史を講じたい。

〔教科書〕伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社)

## 書道実習 I

かね こ たか よし  
金 子 卓 義

書の歴史を探りながら、古典の臨書を学び、表現技術の習得と、書の理解を深める。前半(9月頃までは)楷、行、草の各体の古典を広く学び、後半は中国北魏時代の楷書『高貞碑』を細かに深く研究する。

〔教科書〕『書道 I』〔高校用教科書〕(教育出版)

『高貞碑』〔書学名蹟選〕(日本書道資料)

## 書道実習Ⅱ

とみ ちか ち みょう  
富 岳 智 猛

代表的な古筆である高野切古今集・関戸本古今集・寸松庵色紙などの臨書を基として、かなの単体・連綿体に習熟し、表現力・鑑賞力を養い、かなの成立・発達の概略、古筆の基礎知識を学び創作へ導く。

〔教科書〕『書の古典美』（書芸文化新社）  
『字典かな』（笠間書院）

## 書道実習Ⅲ

な す たか よし  
那 須 隆 吉

伝統芸術である書には、多様なジャンルがあるが、本講では篆書及び篆刻を中心に実習したい。篆書、篆刻は書の原点とも言えるものであり書を理解する上で大変重要である。

古典を概観し、その特質を理解すると共に基礎的技法の習得に努める。

〔教科書〕コピーを配布。  
〔参考書〕適宜紹介する。

## 美術史概説

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では日本の原始時代から平安時代までの美術を、後期は鎌倉時代以後（できれば江戸時代まで）の美術を、時代の中で紀伝風にテーマ仕立てに分類し（例えば「明日香村の石造物」、「浄土教の美術」など）スライドなどをとおして考察し、それぞれの問題点も検討する。

〔教科書〕久野健他『美術史〈日本〉』  
（東京堂出版）¥2,000  
〔参考書〕その都度指示する。

## 現代美術

や の よう こ  
矢 野 陽 子

19世紀以降の美術の流れを鳥瞰しながら、あらゆる表現が試みられている現代美術を時代を追って検討していく。毎回スライド等で具体的に美術作品を見ながら、様式の革新、伝統の継承、作者の意図などを考察する。

## 編集実務

は せ がわ たかし  
長谷川 孝

情報社会の今、多様な情報を主体的に選択し活用できる力が求められ、さらに自分から情報を発信できる能力も大事です。自分の中にある知識や体験、意見や批判、感動や思いなどを、さまざまな社会の出来事や状況との関係の中でしっかりと掴みとり形を与えて、他者に伝わるように表現することです。この講義では、物書き・編集者としての私の体験を語りながら、文章と印刷による表現（メディア）の担い手に必要な知識・技能や心構えと、なぜ・なにを・どう「伝える」のか、を考えていきます。また、個人のミニ新聞（雑誌）を作ってもらい、作り方とともに「ものごとを見る目」を育ててほしいと思っています。

〔参考書〕長谷川孝編著『新聞をつくろう』

（さ・え・ら書房）¥1,236 を随時、使用します。

## 英米文化

あら い よし お  
荒 井 良 雄

イギリスの文化を、歴史、思想、教育、演劇、映画、音楽、美術などを中心に、日本文化との比較を考えながら講義します。

〔教科書〕荒井良雄著『イギリス演劇と映画』

（新樹社）¥2,060

## 日本民俗学

なに ぐち みつぎ  
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにしたい。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

有職故実

大塚英子

平安貴族社会の文化について、儀式書・有職故実書に記されている儀礼・年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗との関係を考察する。

〔教科書〕河籬実英『有職故実』（塙書房）¥1,900

奥平英雄『源氏物語絵巻』

（保育社）¥1,000

他，プリント使用。





## 英米文学科

### 基礎教育科目

英文学概論 (高松 雄一) .....	125
米文学概論 (杉浦 銀策) .....	125
基礎英語 I A (荒井 良雄) .....	125
基礎英語 I A (東 雄一郎) .....	125
基礎英語 I A (河崎 征俊) .....	125
基礎英語 I A (高野 正夫) .....	125
基礎英語 I B (R. T. Rolf) .....	125
基礎英語 II A (東 雄一郎) .....	125
基礎英語 II A (河崎 征俊) .....	126
基礎英語 II A (高野 正夫) .....	126
基礎英語 II A (中岡 洋) .....	126
基礎英語 II B (R. M. Baxter) .....	126
基礎英語 II B (N. Readdy) .....	126

### 専門教育科目

英語学概論 (坂本 武) .....	126
英語音声学 (坂本 武) .....	126
英作文 I (岡田 尚) .....	126
英作文 I (河崎 征俊) .....	127
英作文 I (佐藤 千春) .....	127
英作文 I (高野 正夫) .....	127
英文学史 I (河崎 征俊) .....	127
英文学史 II (中岡 洋) .....	127
米文学史 (佐藤 千春) .....	127
英語史 (岡田 尚) .....	127
英文学演習 I (河崎 征俊) .....	127
英文学演習 II (広川 治) .....	127
英文学演習 III (荒井 良雄) .....	128
英文学演習 IV (高野 正夫) .....	128
英文学演習 V (高野 正夫) .....	128
英文学演習 VI (中岡 洋) .....	128
英文学演習 VII (高松 雄一) .....	128
英文学演習 VIII (芦澤 久江) .....	128
米文学演習 I (杉浦 銀策) .....	128
米文学演習 II (東 雄一郎) .....	128
米文学演習 III (佐藤 千春) .....	128
米文学演習 IV (松本 一裕) .....	129
米文学演習 V (R. T. Rolf) .....	129
米文学演習 VI (利根川 真紀) .....	129
英文学特講 I (石原 孝哉) .....	129
英文学特講 II (高野 正夫) .....	129
英文学特講 III (岡崎 寿一郎) .....	129
英文学特講 IV (中岡 洋) .....	129
英文学特講 V (高松 雄一) .....	129

英文学特講 VI (丸小 哲雄) .....	130
米文学特講 I (東 雄一郎) .....	130
米文学特講 II (杉浦 銀策) .....	130
米文学特講 III (原川 恭一) .....	130
米文学特講 IV (松本 一裕) .....	130
米文学特講 V (利根川 真紀) .....	130
英米演劇演習 (佐藤 真二) .....	130
英米演劇特講 (落合 和昭) .....	131
英米語学演習 (言語学)(R. T. Rolf) .....	131
英米語学演習 (音声学)(坂本 武) .....	131
英米語学演習 (英語史)(岡田 尚) .....	131
英米語学演習 (英文法)(岡田 尚) .....	131
英米語学演習 (英作文 II)(荒井 良雄) .....	131
英米語学演習 (英作文 II)(東 雄一郎) .....	131
英米語学演習 (英会話)(W. D. Hubbard) .....	131
英米語学演習 (英会話)(N. Readdy) .....	132
英米語学演習 (英会話)(R. M. Baxter) .....	132
英米文化 (荒井 良雄) .....	132
時事英語 (坂本 武) .....	132
商業英語 (町井 靖) .....	132
ラテン語特講 (佐藤 玖美子) .....	132
日本文化史 I (廣瀬 良弘) .....	132
現代美術 (矢野 陽子) .....	132



# 英米文学科

## 基礎教育科目

### 英文学概論

たか まつ ゆう いち  
高 松 雄 一

イギリス文学の基本的な特徴について説明する。具体例をあげながら考えてみたい。

〔教科書〕高松雄一編『イギリス文学』

(放送大学教育振興会/NHK出版局)

### 米文学概論

すぎ うら ぎん さく  
杉 浦 銀 策

アメリカ文学の史的展開および地域的多様性について講義を行う。テキストあるいは参考書については、教場において指示する。

### 基礎英語 I A

あら い よし お  
荒 井 良 雄

英語が好きになり、英米文学の研究が楽しくなるのが、英米文学科へ入学した意義であるとするならば、受験英語や高校英語では味わえなかった英語英米文学の魅力への招待となるような授業を目標にしたい。前期はエッセー、後期は英米の短篇小説を教材にして、英詩や演劇や映画も取り入れて、基礎学力の増強になるような演習を目ざす。“Where there is a will, there is a way.”

〔教科書〕THE BEST OF WORDS TO LIVE BY

(朝日出版社)

### 基礎英語 I A

あげま ゆういちろう  
東 雄一郎

Reading とHearing を中心に、基礎力を高めます。

〔教科書〕シドニー・ハリス

『シドニー・ハリス最傑作コラム』

(南雲堂) ¥1,300

### 基礎英語 I A

かわ さき まさ とし  
河 崎 征 俊

英語の基礎力の向上をねらいとします。したがって、Reading, Translation, Hearing, Compositionなどを中心とした総合的学習を行ないます。予習・復習を欠かさないことが大切です。

〔教科書〕教場にて指示します。

〔参考書〕未 定。

### 基礎英語 I A

たか の まさ お  
高 野 正 夫

さまざまな英文を読みながら、総合的な英語力の向上を図るつもりです。

〔教科書〕教場にて指示します。

### 基礎英語 I B

R. T. Rolf

毎週集中的なリスニングの練習をして、そのテストを行う。発音の練習もする。

〔教科書〕Kimie Saito 他著

『Voices from America and Canada』

(朝日出版社) ¥1,700

### 基礎英語 II A

あげま ゆういちろう  
東 雄一郎

ペンギン版原書の速読を通して英語力を高めます。又、Writing やDictation を行ないます。しっかりと予習をし、授業にのぞんで下さい。

〔教科書〕越川芳明編注

『現代アメリカ短編小説コレクション』

(南雲堂) ¥2,000

## 基礎英語Ⅱ A

かわ さき まさ とし  
河 崎 征 俊

英語の基礎力から応用力への向上をねらいとします。高度な英文構造の把握や、内容及び思考を必要とするCompositionの演習を行ないます。予習・復習に努めて、積極的な学習を心がけることが大切です。

〔教科書〕教場にて指示します。

〔参考書〕未定。

## 基礎英語Ⅱ A

なか の まさ お  
高 野 正 夫

現代のイギリス作家の文章を読みながら、さまざまな英語的表現や言いまわしについてもふれていくつもりです。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 基礎英語Ⅱ A

なか おか ひろし  
中 岡 洋

Textを精読することから始めて、英語をとおして英文学の楽しみを味わえるように心がけよう。辞書を丹念に引き、意味をよく把握したうえで文中に適合させるように努力し、そこで述べられている観念を自分のものにするようにしなければならない。

〔教科書〕*Studying the Novel* by Jeremy Hawthorn  
(開文社) ¥1,339

## 基礎英語Ⅱ B (会話)

R. M. Baxter

This class will be based on using primarily listening and speaking skills to promote effective communication. Students must participate actively in English to attain fluency. This will be a rewarding class for those who put forth a good effort.

〔教科書〕To be announced at the beginning of the term.

## 基礎英語Ⅱ B

N. Readdy

Method and materials similar to that of 1st year students but on a more intermediate level.

〔教科書〕See content for 1st year students.

## 専門教育科目

### 英語学概論

さか もと ひろし  
坂 本 武

英語学とは、英語を言語学の一部として捉え研究する学問である。なお言語学とは、音声学、文法論等を含め約10部門に分類されるが、それらに入る前の段階としての一般的、総論的知識の修得が必要となる。従って、この講義は、言語学や英米文学を学習しようとする学生諸君のために、その概説的知識を提供するものである。出欠は重視する。

〔教科書〕教場にて指示する。

### 英語音声学

さか もと ひろし  
坂 本 武

言語学の一分野としての音声学は、当該言語学習の重要な基礎学問の一つである。本講義では、母音・子音・半母音についての調音音声学入門から、この科目に関する必須各論を講じる。音声記号のみをとりあげてみても、〔ʌ〕や〔ɪ〕をはじめとする初見のものが数多く出てくるので、十分注意して受講されたい。Tapeを併用して、nativesの発音に習熟してもらうよう配慮する。また、年間数冊のノート提出を求めるとともに、出欠およびassignmentsの提出は、いずれも重視する。

〔教科書〕教場にて指示する。

### 英作文Ⅰ

おか だ ひろし  
岡 田 尚

英文を書くことによって、英語の総合力の増進をはかりたい。積極的に発表し質問をして活気のある授業

にしてほしい。テキストは教室で指示する。

## 英作文 I

かわ さき まさ とし  
河 崎 征 俊

基礎的の作文からはじめて、総合的な実力を身につけることを目的とします。演習形式で行いますので、予習・復習が大切となります。出席重視。

〔教科書〕教場にて指示します。

〔参考書〕未定。

## 英作文 I

さ どう ち はる  
佐 藤 千 春

易しい英文の表現で、自分の考えを自由に書き記すことができるようになることを目指す。基礎力を充分に養ってもらいたい。テキスト、その他詳しい内容は授業開始の時に連絡する。

## 英作文 I

たか の まさ お  
高 野 正 夫

英作文を書く時に比較的誤り易い例文を見ていながら、基本的な英作文の力を養っていきます。

〔教科書〕教場にて指示します。

## 英文学史 I

かわ さき まさ とし  
河 崎 征 俊

古代から中世をへて、ルネサンス及び18世紀までの英文学史を、時代背景、文芸思潮、作家、作品などの説明を中心に講義します。

〔教科書〕教場にて指示します。

〔参考書〕未定。

## 英文学史 II

なか ぬか ひろし  
中 岡 洋

英文学は世界に冠たる作品を数多く産み出してきた。Wordsworth, Scott, Austen らの時代以降それらの作品を年代順に跡づけ、現代に至る。不滅の作品群にふれる喜びを共に味わいたい。

〔教科書〕荒牧鉄雄・岡地 嶺著『英文学読本』

(開文社) ¥1,800

## 米文学史

さ どう ち はる  
佐 藤 千 春

一般にアメリカの歴史は17c. から始まると言えるが、この地への植民がどんな夢を抱いてなされたものかという序論に始まり、ピューリタニズム、18c. の合理主義、やがてロマン主義へと、歴史は時代の動向と文芸思潮をからませながら進んで行く。この流れにそって、どのような作家が、どのような精神で、どのような作品を書きあげたのかを探ってみる。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の中心思想、作品の主要テーマなどに焦点をしばり分析と解説を行いつつ、これを味わってみたい。

〔教科書〕井上謙治編『アメリカ文学史入門』

(創元社)

## 英語史

ぬか た ひろし  
岡 田 尚

今日の英語に親しんでいる人には他国語のような感じのする古英語の時代から、一千余年の間に、英語がどのように変化してきたか、その主要な流れを概観する。

〔教科書〕教室で指示する。

## 英文学演習 I

かわ さき まさ とし  
河 崎 征 俊

14世紀の英詩人G. Chaucer の作品を読みます。詩人の後期の作品*The Canterbury Tales*を読みながら、大陸文学との関係を研究する予定です。積極的に授業に参加し、自らの研究に役立てるよう、着実で地道な努力を望みます。作品は、A. C. Baugh の edition をコピーにして配布します。詳細は開講時に指示します。

〔教科書〕開講時に指示します。

〔参考書〕*A Chaucer Glossary*, ed. N. Davis  
(Oxford U.P.)

## 英文学演習 II

ひろ かわ おさむ  
広 川 治

William Shakespeare(1564-1616) の*Macbeth* を読みます。現代の英語とは異なる点もある Shakespeare の英語ですが、英米では台詞の一部が慣用語的に用いられたり、新聞、雑誌、文学作品に引用されたりと、

その英語や作品の内容は文化の根底をなしています。  
 演習では、作品の精読を通して劇作家 Shakespeare  
 の人生観、劇作術を考えていきます。  
 〔教科書〕教場にて指示します。

### 英文学演習 III

あら い よし お  
 荒 井 良 雄

イギリスの文化（文学・演劇・映画・美術・音楽など）についての英文の資料に基づく講読と発表とディスカッションが中心になる。各自が関心を持っている分野とテーマで小論文にまとめあげる作業を重視する。  
 〔教科書〕荒井良雄編 OSCARIANA  
 （北星堂版）¥1,300

### 英文学演習 IV

たか の まさ お  
 高 野 正 夫

ロマン主義への移行期の詩人、グレイ、クーパー、コリンズなどの作品を読んでいます。  
 〔教科書〕教場にて指示します。

### 英文学演習 V

たか の まさ お  
 高 野 正 夫

30年代のオーデン、そして50年代のラーキンを中心に、現代詩人を読んでいます。  
 〔教科書〕教場にて指示します。

### 英文学演習 VI

なか お ひろし  
 中 岡 洋

Emily Brontë作 *Wuthering Heights* (1847) について勉強する。  
 〔教科書〕*Wuthering Heights* (Penguin Classics)

### 英文学演習 VII

たか まつ ゆう いち  
 高 松 雄 一

James Joyce, *Dubliners*より、中篇“The Dead”他を読む。19世紀の世紀末から20世紀初頭にかけてのダブリンの市民たちの生活と、その心理の動きを、写実的な手法で描いた作品である。本演習では厳密な訳読

の訓練を通して、モダニズムの作家ジョイスの基盤をさぐる。

〔教科書〕James Joyce, *Dubliners* (1)  
 （南雲堂）

### 英文学演習 VIII

あし さわ ひさ え  
 芦 澤 久 江

エリザベス・ギャスケルの書いた短篇小説『リジー・リー』を読み、時代背景や作者の生い立ちなどをもとに、主人公リジーの生き方を考察する。  
 〔教科書〕Elizabeth Gaskell, *Cousin Phillis and Other Tales* (Oxford Classics)

### 米文学演習 I

すぎ うら ぎん さく  
 杉 浦 銀 策

J. D. Salingerの名篇“*For Esmè — with Love and Squalor*”を中心に勉強する。テキストはアメリカのペーパーバックを使用する予定である。

### 米文学演習 II

あけぼ けい  
 東 雄一郎

アメリカのイブであるエミリー・ディキンソン(1830-1886)を中心に、H. D.並びにマリアン・ムア、エリザベス・ビショップ、シルヴィア・プラス等、アメリカの女性詩人たちの作品を読みます。特に、ディキンソンの“White Election”による隠者のような社会的没交渉と、プラスの自殺を考察し、この詩人の内向・内延性が、アメリカ詩の中で、如何なる意義をもつかが、一年間のテーマとなります。先ず、普遍的象形文字の解読を通して、各詩作品それ自体を味わってゆきます。また、新川和江、白石かずこ等、日本の女性詩人の作品も並行して読みます。ただし、この演習は、フェミニズム研究ではありません。

### 米文学演習 III

さ とう ち はる  
 佐 藤 千 春

Nathaniel Hawthorne(1804-64)は、エマソン、ソーロウ、ホイットマンに代表される、どちらかと言えば楽天的超絶主義が盛んな時代にあって、たえず人間に対し懐疑の念を抱きつけ、暗い人間の内面を描いていた。その文学世界は、彼の影響をうけたメルヴィ

ルの世界とつらなり、アメリカ・ルネッサンスにおいて一つの大きな流れを形成していると言える。ここではホーソンを中心にこれらの作家との立場・関係にもふれつつ、この時代の展望を拡げてみたい。

〔テキスト〕英文ホーソン第二巻  
『エゴティズム』他二篇  
(英宝社) ¥1,071

### 米文学演習Ⅳ

まつもと かず ひと  
松 本 一 裕

さまざまな歪んだ状況を設定し、現代社会に鋭い視線を投げかけたフラナリー・オコーナー (1925-64) の短篇を精読する。

〔教科書〕Flannery O'Connor, *A Good Man is Hard To Find* (南雲堂) ¥1,000

### 米文学演習Ⅴ

R. T. Rolf

Willa Cather著, *A Lost Lady* (1923)という小説を厳密に読んで、歴史的且つ文学的視点から分析する。(授業は英語で行う)

〔教科書〕Willa Cather著 *A Lost Lady*  
(Vintage Books)

### 米文学演習Ⅵ

とね がわ ま き  
利根川 真 紀

アメリカ文学の中心である東部とは異なった作風をもつ西海岸地域の作家たちが書いた短編小説を精読します。扱う作家はジャック・ロンドン、レイモンド・チャンドラー、ジョン・スタインベック、レイモンド・カーヴァーなどを予定しています。

〔教科書〕教室で指示します。

### 英文学特講Ⅰ

いし はら こう さい  
石 原 孝 哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を、過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ、文化のさまざまな方面から論じる。とりあげる作家はThomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeare, John Miltonを予定している。

殊にShakespeare は代表的な10作品を選んで詳しく講じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』(三修社) ¥3,800

### 英文学特講Ⅱ

たか の まさ お  
高 野 正 夫

イギリス・ロマン派の詩人、ワーズワス、キーツ、ブレイクなどの詩を中心に読んでいく予定です。

〔教科書〕教場にて指示する。

### 英文学特講Ⅲ

あか さき としいちろう  
岡 崎 寿一郎

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく現代という言葉を理解することはむつかしい。この認識の方法によって、十九・二十世紀の英詩について、その現代的意味を確認したい。具体的には、十九世紀ロマン派の詩人たち、テニスン、M.アーノルドの詩の検証を経て、ハーディ、イェイツ、D.H.ロレンス、さらに、エズラ・パウンド、T.S.エリオット以後の現代詩(モダニズム)について論究する。

〔教科書〕教場にて指示。

〔参考書〕教場にて指示。

### 英文学特講Ⅳ

あか あか ひろし  
中 岡 洋

イギリス小説の代表的傑作*Jane Eyre* や *Wuthering Heights* を残したBronte sistersについて、彼女たちの文学史的位相を見定め、彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕教場にて指定する。

### 英文学特講Ⅴ

たか まつ ゆう いち  
高 松 雄 一

20世紀イギリスのモダニズム文学の種々相を考察する。世紀末の唯美主義批評、イェイツ、イマジズム、エリオット、ジョイスらの作品や批評を取りあげて、モダニズム文学運動の意味を考えたい。

〔教科書〕必要があれば開講時に指示する。

## 英文学特講 VI

まる こ てつ お  
丸 小 哲 雄

文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題へ発展させながら、向側に作家・作品を位置づけ、こちら側に読者の経験を豊かに高めることとなります。前期ではそのための有効な方法として伝統批評、ロシア・フォルマリズム；ニュー・クリチシズム、精神分析批評、受容理論（読者の立場）、構造主義、記号論、ポスト構造主義などの批評的考え方を講義します。後期では、作品の読み方と研究の仕方を修得するためにテキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することとなります。

〔教科書〕The 20th Literary Criticism (Longman)  
読書のためのプリント・リスト、および適宜必要に応じてプリントを配布します。

## 米文学特講 I

あけはら ゆういちろう  
東 雄一郎

19世紀のアメリカン・ルネッサンスから、20世紀初頭のモダニズム、そして現在のポストモダニズムに到るまで、アメリカの詩に関し、具体的な作品を味読しながら、考えていく。

〔教科書〕新倉俊一『アメリカ詩入門』  
(研究社) ¥2,200

## 米文学特講 II

すぎ うら ぎん さく  
杉 浦 銀 策

戦争と文学 — アメリカ。いわゆる戦争文学なるものを取り上げるのではない。戦争がなんらかのかたちで影を落としている作品を中心に講義を行なうということである。

## 米文学特講 III

はら がわ きょう いち  
原 川 恭 一

20世紀アメリカ文学の巨星William Faulknerの作品世界を、代表的長篇小説 *The Sound and the Fury*, *Light in August*, *Absalom, Absalom!*の解説、および、短篇小説 "A Rose for Emily", "Dry September"の精読を通じて覗いてみたい。なお、作品の背景となっているアメリカ南部の特異な歴史的状況の説明をも加え

ていく予定。教科書、参考書以外の講義資料はコピーして配布する。

〔教科書〕大橋健三郎編・注 *A Rose for Emily & Other Stories* (英宝社) ¥1,380

〔参考書〕大橋健三郎著『フォークナー — アメリカ文学、現代の神話』  
(中央公論社〔中公新書〕) ¥720

## 米文学特講 IV

まつ もと かず ひと  
松 本 一 裕

ホーソーン、メルヴィルからフォークナー、アップダイクまで、代表的な作家の短篇を毎週一篇ずつ取り上げ、アメリカ文学における基本的なテーマについて講義する。

〔教科書〕*The Penguin Book of American Short Stories*  
(英潮社) ¥2,900

## 米文学特講 V

とね がわ ま き  
利根川 真 紀

今世紀アメリカ最大の作家と目されるウィリアム・フォークナーの代表作『八月の光』(1932)を中心に読み、彼の他の作品や同時代の作家も視野に収めつつ、独自性を考察します。原文は適宜プリントを配布し、解説を加えていきます。

〔教科書〕『八月の光』(新潮文庫)

## 英米演劇演習

さ とう しん じ  
佐 藤 真 二

イギリスの劇作家Peter Shaffer(1926-)の*Equus*『エクウス』(1973)を読む。Shafferの*Amadeus*(1979)は、1984年に映画化され、アカデミー賞を受賞した作品としてもよく知られているが、*Equus*も、LondonとNew Yorkにおいて共に大成功を収め、1975年にトニー賞を獲得した名作である。授業の進め方に関しては、教場において指示する。

〔教科書〕Peter Shaffer, *Equus*『エクウス』  
(桐原書店)



## 英米演劇特講

おち かい かず あき  
落 合 和 昭

19世紀から現代までの演劇史に見られる主義(～ism)を、その劇場史とともに、追いながら、重要な出来事、用語などの説明をする。

また、講義用のテキストとしては、図や写真が多く載っているアメリカの大学生用テキストを用いる。さらに、必要とあらば、英文の研究書などにも目を通し、多様な見方にも慣れる。

課題としては、講義の内容をまとめたレポートや他の英文(数冊のアメリカ大学生用テキストや研究書からのプリント)の要旨をまとめたレポートを十数回(一回につき四百字の原稿用紙2～3枚程度)ほど提出してもらう。

## 英米語学演習(言語学)

R. T. Rolf

Willa Cather著, *O Pioneers!* (1913年) という小説を厳密に読んで、歴史的且つ文学的視点から分析する。(授業は英語で行う)

〔教科書〕 Willa Cather著 *O Pioneers!*  
(Signet Classic)

## 英米語学演習(音声学)

さか もと だけし  
坂 本 武

1 必または3 必で既に学習した英語調音音声学の大意に、さらに下記の諸項目を付加する。

### 記

- (1) 英・米・黒人米・濠・カナダ音の差異について、より詳述する。
- (2) Intonationの基本, 応用, および英米表現における差異を考究する。
- (3) 英米語会話での、音韻変化(phonological process)につき詳説する。例えば、英音における母音脱落、米音の tappings (無声子音の有声化の各様) について再考する。
- (4) その他, reading, understanding (会話理解) に必須の音変化について、より詳細、専門的に論説する。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 英米語学演習(英語史)

あか だ ひさし  
岡 田 尚

基本語について、諸君とともに英和字典を編集する立場から考察してみたい。ここでは語源・語義、語法、成句などと同時にその語あるいはその語を用いた表現の背景や日本語とのイメージ・連想・用法などの違いを比較文化の視点から考えていく。教科書は用いない。

## 英米語学演習(英文法)

あか だ ひさし  
岡 田 尚

生きた英文に接しながら、伝統的な文法の知識を確認するとともに、どのような文法がよいかを考えてみたい。

〔教科書〕 教室で指示する。

## 英米語学演習(英作文Ⅱ)

あら い よし お  
荒 井 良 雄

発信型英作文を目標に、短文による5文型の応用とイディオムの増強を基本にして、1分間スピーチの原稿や対訳版「天声人語」の長さのエッセイが書けるようになる方向で授業を進める。

〔教科書〕 『英語1分スピーチ』  
(ジャパン・タイムズ)

## 英米語学演習(英作文Ⅱ)

あけは ちゅういちろう  
東 雄一郎

日本語の長文の英訳をします。テキストは開講時に、履習者と相談の上、決めます。

## 英米語学演習(英会話)

W. D. Hubbard

Practical English for third and fourth year students. A variety of dialogues, plays and topics will be used. Class discussion and hearing comprehension emphasized. Text and class material will be furnished at class time.

〔教科書〕 Will be decided later depending on the ability of the class.

## 英米語学演習(英会話)

N. Readdy

Method and materials similar to that of 2nd year students but of a more advanced level.

〔教科書〕 See content for 1st year students.

## 英米語学演習(英会話)

R. M. Baxter

This will be an intensive conversation class which utilizes a variety of approaches which improve performance. We will study skills in listening comprehension and speaking. Students will be required to speak in English. The class will be challenging, exciting, and educational.

〔教科書〕 開講時に指示

## 英米文化

あら い よし お  
荒 井 良 雄

イギリスの文化を、歴史、思想、教育、演劇、映画、音楽、美術などを中心に、日本文化との比較を考えながら講義します。

〔教科書〕 荒井良雄著『イギリス演劇と映画』

(新樹社) ¥2,060

## 時事英語

か もと おれ  
坂 本 武

放送英語、新聞英語その他時事面に関する英語について、テープ等も随時併用して講義する。また、時事文を多用しての英作文の作法についても採りあげ、「読み書き聴く」の三点を重視していきたい。別名、Living Englishと呼ばれる程「生き役立つ」英語の筈である。積極的に受講してほしい。

〔教科書〕 教場にて指示する。

## 商業英語

まち い やすし  
町 井 靖

日本企業の国際的進出は、海外での子会社、合併会社の設立、外国企業の買収等めざましいものがあるが、

「商業英語」では「商品の輸出入に関する英文の手紙」を勉強する。

取引先の発見、見積り、交渉、注文、船積み等、貿易取引の流れに従って良く使用される基本的表現を修得する。貿易の専門用語も解説する。

〔教科書〕 町井 靖著『基礎商業英語』

(梓出版社) ¥1,700

## ラテン語特講

さ どう く み こ  
佐 藤 玖 美 子

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパ言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、とくに文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。また平行して、やさしいラテン語で書かれた読物の講読も行いたいと思います。

〔教科書〕 松本悦治著『ラテン語入門』

(駿河台出版社)

〔参考書〕 田中秀央編『羅和辞典』(研究社)

## 日本文化史 I

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

日本文化の流れを概観し、平安期末から江戸期にかけての文化について講述する。とくに中世文化の成立過程とその展開、北山・東山文化、禅宗と文化、下剋上の世と民衆文化、安土桃山文化と寛永文化、元禄文化、化政文化等について考察する。

## 現代美術

や の よう こ  
矢 野 陽 子

19世紀以降の美術の流れを鳥瞰しながら、あらゆる表現が試みられている現代美術を時代を追って検討していく。毎回スライド等で具体的に美術作品を見ながら、様式の革新、伝統の継承、作者の意図などを考察する。

# 地理学科

## 基礎教育科目

基礎人文地理学 (佐藤 哲夫) .....	135
基礎人文地理学 (長野 覺) .....	135
基礎自然地理学 (長沼 信夫) .....	135
基礎自然地理学 (早船 元峰) .....	135

## 専門教育科目

人文地理学実習 (小田 匡保) .....	135
人文地理学実習 (交口 善美) .....	135
人文地理学実習 (佐藤 哲夫) .....	135
人文地理学実習 (竹内 啓一) .....	136
人文地理学実習 (土谷 敏治) .....	136
人文地理学実習 (橋詰 直道) .....	136
自然地理学実習 (小池 一之) .....	136
自然地理学実習 (高木 正博) .....	136
自然地理学実習 (長沼 信夫) .....	136
自然地理学実習 (中村 和郎) .....	136
自然地理学実習 (早船 元峰) .....	137
野外巡検 I (小田 匡保) .....	137
野外巡検 I (小池 一之) .....	137
野外巡検 I (高木 正博) .....	137
野外巡検 I (竹内 啓一) .....	137
野外巡検 I (土谷 敏治) .....	137
野外巡検 I (橋詰 直道) .....	137
野外巡検 I (早船 元峰) .....	137
日本地誌 I (橋詰 直道) .....	138
外国地誌 I (矢ヶ崎 典隆) .....	138
経済地理学 I (佐藤 哲夫) .....	138
郷土地理学 (長野 覺) .....	138
集落地理学 (小田 匡保) .....	138
地形学 I (小池 一之) .....	138
地 図 学 (鶴見 英策) .....	138
交通地理学 (生井沢 進) .....	138
地理学総論 (交口 善美) .....	139
地理学総論 (竹内 啓一) .....	139
地理学総論 (中村 和郎) .....	139
野外巡検 II (交口 善美) .....	139
野外巡検 II (佐藤 哲夫) .....	139
野外巡検 II (長野 覺) .....	139
野外巡検 II (長沼 信夫) .....	139
野外巡検 II (中村 和郎) .....	140
日本地誌 II (中俣 均) .....	140
外国地誌 II (竹内 啓一) .....	140
経済地理学 II (生井沢 進) .....	140
地形学 II (小口 高) .....	140

歴史地理学 (中島 義一) .....	140
人口地理学 (土谷 敏治) .....	140
原書講読 (梅原 弘光) .....	141
地 質 学 (貝塚 爽平) .....	141
地球物理学 (太田 陽子) .....	141
土壤地理学 (漆原 和子) .....	141
気 候 学 (山下 脩二) .....	141
海洋学及び陸水学 (長沼 信夫) .....	141
環境地理学 (早船 元峰) .....	141
日本地誌 III (中島 義一) .....	142
外国地誌 III (梅原 弘光) .....	142
都市地理学 (橋詰 直道) .....	142
計量地理学 (土谷 敏治) .....	142
応用地理学 I (高木 正博) .....	142
応用地理学 II (今野 修平) .....	142
文化地理学 (交口 善美) .....	142
空中写真判読法及び測量学 (小池 一之) .....	142
地理学特講 I (後期)(長野 覺) .....	143
地理学演習 (小田 匡保) .....	143
地理学演習 (小池 一之) .....	143
地理学演習 (交口 善美) .....	143
地理学演習 (佐藤 哲夫) .....	143
地理学演習 (高木 正博) .....	143
地理学演習 (竹内 啓一) .....	143
地理学演習 (土谷 敏治) .....	143
地理学演習 (中村 和郎) .....	144
地理学演習 (長沼 信夫) .....	144
地理学演習 (長野 覺) .....	144
地理学演習 (橋詰 直道) .....	144
地理学演習 (早船 元峰) .....	144



# 地 理 学 科

## 基礎教育科目

### 基礎人文地理学

さ とう てつ お  
佐 藤 哲 夫

高校で学んだ地理の基礎的な知識を復習しながら、人文地理学の基本的な考え方に立って、その知識を体系化し、人文地理学の方法を学ぶ。

評価は出席、レポート、試験による。

〔教科書〕浮田典良編『人文地理学総論』

(朝倉書店) ¥4,532

### 基礎人文地理学

なが の ただし  
長 野 覚

地理学の発達史を概観したのち、自然と人間活動の相関性を、グローバルな視野でとらえながら、人文現象の基礎知識を、系統地理的に講義する。プリント資料を多用するほか、開講後に参考書などは指示する。

〔教科書〕藤岡謙二郎著『五訂 人文地理学』

(第二改訂版) (大明堂)

### 基礎自然地理学

なが めま のぶ お  
長 沼 信 夫

本講義は地理学を専攻する学生諸君のために、自然地理的な立場から基礎的な知識を提供しようとするものである。今年度も下記のテキストを使用し、第四紀時代の自然環境の変遷について講義する。

なお、参考書は適時講義中に紹介する予定である。

〔教科書〕『自然環境の生い立ち』

(朝倉書店) ¥2,300

### 基礎自然地理学

はや ふね げん ぼう  
早 船 元 峰

地質年代では最も新しく、かつ、人間と密接なかわりをもつ第四紀の自然環境について講義する。

## 専門教育科目

### 人文地理学実習

お だ まさ やす  
小 田 匡 保

前期は、人文地理学の研究調査に必要な文献・地図・統計などについて概説する。後期は、地図・グラフの作成に重点を置く。毎回課題の提出を求める。

〔教科書〕プリントを配布する。

### 人文地理学実習

こも ぐち よし み  
菱 口 善 美

この実習は、人文地理学の諸分野において用いられている技術的表現の理解、および基礎的諸作業の修得を目的としている。実際の授業内容は次の通りである。すなわち、(1)人文地理学にとって基礎的な統計図表に関する講義、(2)産業や人口に関する統計資料の収集、整理および図表化作業の修得、(3)地域を選定し、その地理学的説明のための図表およびレポートの作成、(4)一定地域の変化をテーマとして、種々の資料にもとづくレポートの作成。

### 人文地理学実習

さ とう てつ お  
佐 藤 哲 夫

人文地理学で用いられる各種資料の収集、整理、分析の方法や技術を学ぶ。「駒沢大学周辺の景観」という題でレポートを書くことを目標にして、レポートに挿入する統計資料の分析、地図の読図と、主題図、グラフ、表の作成を行なう。

履修者は国土地理院の1万分の1地形図「自由が丘」と、製図用ペン(0.3mmおよび0.5mm)、色鉛筆(12色)、電卓を用意すること。

## 人文地理学実習

たけ　うち　けい　いち  
竹　内　啓　一

まず下記の教科書を全員が読む。このテキストは関西在住者用に書かれているので、その内容に若干補足したり、内容にそくした作業（地図の読図、統計の調査、処理、文献検索など）をしてもらう。そのあとは、夏休み中に内外の人文地理学の研究論文を読んで、地理学を勉強するための足腰をきたえてもらう。9月以降は夏休みレポートをもとに発表、討論をしてもらう。

〔教科書〕浮田典良（編）

『ジョグラフィック・バル』  
海青社（大津市）¥2,200

〔参考書〕浮田典良（編）『人文地理学総論』

（朝倉書店）  
石井素介（編）『産業経済地理－日本－』  
（朝倉書店）  
クラヴァル『現代地理学の論理』  
（大明堂）  
竹内啓一『とぼろうぐ、地理学雑誌』  
（古今書院）

## 人文地理学実習

つち　たに　とし　はる  
犬　谷　敏　治

地理学の調査・分析に必要な資料の収集、整理、統計処理、作図、地図作成等について実習を行なう。また、コンピュータを使用した実習も合わせて行なう。毎回課題を与え、提出することを原則とする。

## 人文地理学実習

はし　つめ　むら　みち  
橋　詰　直　道

前半は、地形図の読図、空中写真判読、各種主題図の利用法など、人文地理に必要な基礎技術を学ぶ。土地利用図の作成、キャンパス内緑地地図（植栽図）の作成とそれらに関する課題レポートなどが中心となる。

後半は、各種統計資料の利用法や統計処理法、文献調査法などを学び、人文地理事象の基本的な分析技術を修得する。パソコンによる統計処理、グラフ化、地図化作業とそれらに関するレポート作成が中心となる。

## 自然地理学実習

こ　いけ　かづ　ゆき  
小　池　一　之

自然地理とくに地形学関係のデータ整理および野外

調査法などについて実習する。

〔予定内容〕

1. 地形図の読図、主題図の作成
2. 各種統計データの整理
3. 野外調査データとその処理方法
4. 写真判読
5. その他

## 自然地理学実習

たか　ぎ　まさ　ひろ  
高　木　正　博

自然地理学を学ぶために必要となる基礎的な実習を行う。

作業内容については次の事項を予定しているが、授業の進捗状態に応じて指示する。

1. 地形図や空中写真の読み方と主題図の作成
  2. 計測器材を利用した調査と結果の整理
  3. 各種統計資料の解析・図化
  4. コンピュータの使用を考慮する
- 出席を重視し、提出物と併せて評価する。

## 自然地理学実習

なが　ぬま　のぶ　お  
長　沼　信　夫

この実習は自然地理的な立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。実習を通じて種々の資料の蒐集・整理、その結果から図表等の表現化、作成した図表からその読み方等を実施する。また野外調査の際に必要な技術的作業等の方法についても実習する予定である。

出席を重視し、平常点（レポート、図表等の提出物）で評価する。

〔参考書〕谷岡武雄ほか著『新訂地理実習』（大明堂）  
三野与吉編『自然地理調査法』（朝倉書店）

## 自然地理学実習

なか　むら　かづ　お  
中　村　和　郎

自然地理学の基礎的な実習を行う。次の内容を予定しているが、実施順序は変更することがある。

1. 計測（野外および机上で各種の計測を行う）
2. 統計処理（各種データの整理方法を学ぶ）
3. 地図化（主題図を作成する）
4. 読図（地図の読図を行う）
5. 空中写真判読（空中写真から必要な情報を読む）
6. 地上写真撮影（地理的事象を写真で表現する）

## 自然地理学実習

はや ふね げん ぼう  
早 船 元 峰

地理学を修める上に必要な自然関係に基礎的作業を中心に行う。

- 地形図を用いた主題図の作成
- 資料の収集・分析・整理の方法
- 調査器械・器具の使用法
- 空中写真判読
- 微地形・表層地質調査

## 野外巡検 I

お だ まさ やす  
小 田 匡 保

特定の地域を対象として、受講者各人が地域調査を行なう。調査分野は、人文地理の枠内であれば、何でもよい。現地調査の後、調査結果をレポートにまとめ提出する。巡検の期日・地域は、4月のオリエンテーション時に発表する。

## 野外巡検 I

こ いけ かず ゆき  
小 池 一 之

地形学を中心とした野外調査法の習得。

〔巡検予定地〕 山形盆地と周辺地域

〔日 時〕 未定（3泊4日）

3泊4日のうち、2.5日間は地形学に関連する野外調査を行う。1日は3～4人の班を編成し、それぞれテーマをえらび、自主的な地理学野外調査を行う。

## 野外巡検 I

たか ぎ まさ ひろ  
高 木 正 博

地域の実態調査をとおして、それぞれの地域が有する自然的・人文的な特長の一端を明らかにする。

現地では班別に行動し、各種の実測調査や聞き取り調査などを実施する。

期日・内容については、ガイダンスの際に発表する。

## 野外巡検 I

たけ うち けい いち  
竹 内 啓 一

東京およびその近郊の研究。本年度は、

1) 多摩ニュータウンおよび西郊の歴史と都市化（2日間、八王子セミナーハウスに一泊して割りあてた文献の研究会をおこなう）

2) 東郊の歴史と都市化（日帰り）

3) ウォーターフロント（日帰り）

の計4日間。江戸・東京博物館の見学を全員があらかじめすること。そしていくつかの文献に関するレポートおよび見学地に関する下調べを分担してもらう。欠席は原則として認めない。巡検の日程は、巡検のふりわけのときに提示する。

## 野外巡検 I

つち たに とし はる  
土 谷 敏 治

都市の地域構造・商業立地・都市計画・都市の交通問題を主要テーマとして巡検を行なう。事前に資料収集・文献調査によって地域の特徴を把握し、各自がそれぞれの研究テーマを設定して現地調査を行ない、結果をレポートとしてまとめる。事前の準備と現地での観察・聞き取り調査を重視する。

巡検地域・日程については、ガイダンスの際発表する。

## 野外巡検 I

はし つめ なお みち  
橋 詰 直 道

本年度は、「地方都市の機能とその自立」をテーマに現地フィールド調査を行う。とくに地方の産業と文化、地方都市にみる都市化と環境問題、地域開発戦略などの調査を通して地方都市の諸問題を考える。巡検は事前調査（資料・データの収集と文献調査による事前学習）、現地調査（現地での観察と聞き取り調査など）、まとめ作業（現地調査で得られた結果を分析・集約し、報告書を作成する）の3段階から成る。

巡検予定地は、高知市とその周辺

巡検予定日は、6月後半から7月前半

## 野外巡検 I

はや ふね げん ぼう  
早 船 元 峰

教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象（自然的・人文的）を、学生自らの現地での体験（観察・調査）を通じて理解してもらおう。班別行動・現地集合・現地解散の予定。巡検地は追って発表する。

## 日本地誌 I

はし づめ なお みち  
橋 詰 直 道

日本の都市と農村は、いかに変容してきたか。この地域変容に関する事例研究成果を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の空間構造とその変容過程を明らかにする。

講義では、日本列島の自然環境の特性、農村と農業地域、都市近郊地域・中山間地域の変容、農林業と環境保全、リゾート化に伴う農山漁村の変容などについて学ぶ。

教科書は特に定めず、講義はプリント中心に行う。参考書は講義の中で紹介する。

## 外国地誌 I

や が さき のり たか  
矢ヶ崎 典 隆

本講義では、アメリカ合衆国の地域性と風土について考察を試みる。自然環境、植民・開発過程、文化景観と文化地域、人口と民族集団、都市の発展と機能、農業と農村地域の変貌などについて検討しながら、アメリカ合衆国の全体像を明らかにする。

〔教科書〕指定しない。

〔参考書〕授業の中で、参考となる図書をあげていく。

## 経済地理学 I

さ とう てつ お  
佐 藤 哲 夫

農業地理学の課題と研究の視点について、稲作を例に、以下の点を講義する。参考書は適宜紹介する。

1. 農耕文化論 2. 農業と自然環境 3. 農業技術  
4. 農業の担い手 5. 農産物市場 6. 農村調査法  
受講者には「○○（地域）における××（作物または家畜）の栽培（または飼育）について」というテーマで、年度末にレポートを提出してもらう。

昨年度までとは講義内容・成績評価の方法が異なるので注意すること。

## 郷土地理学

なが の ただし  
長 野 覺

日本の行政区分と関連した郷土の地域概念を認識した上で、自己の所属する郷土の新旧地形図・統計・文献などを併用した読図を学習する。主な内容は、郷土の行政区分・自然環境・土地利用・産業・交通・小地名（大字・小字）・文化遺産等の変化を、現地の観察

と併せて地形図に作業し、郷土の総合レポートを作成提出できるよう指導する。

## 集落地理学

お だ まさ やす  
小 田 匡 保

村落地理学から散村や新田集落の用語しか連想しないのは、高校の地理、大学受験の地理である。村落は社会集団の生活の場でもある。本講義では、社会地理学的観点から村落地理を概観する。成績評価は、レポートと試験（それぞれ2回を予定）によって行なうが、出席状況を勘案することもある。

〔参考書〕浜谷正人『日本村落の社会地理』  
（古今書院）

## 地形学 I

こ いけ かず ゆき  
小 池 一 之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心にする。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにした。〔内容是最先端の知見を含む〕

〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』  
（東大出版会）¥4,532

## 地図学

つる み えい さく  
鶴 見 英 策

測量と地図の歴史、現代の測量と地図作成の技術について解説する。後半は地図表現の理論を考えることにする。

## 交通地理学

なまい ざわ すずむ  
生井沢 進

商品の流れ（貨物流）の変化について、この変化の要因となる港湾・道路等諸施設の変化ならびに情報システムの変化に焦点を当てて、現在の交通体系を理解してゆく。

〔教科書〕講義の最初に指示する。



## 地理学総論

こも ぐち よし み  
菱 口 善 美

現代地理学の概念と主要な地域分析法について講義を行なう。

## 地理学総論

たけ うち けい いち  
竹 内 啓 一

現代の地理学が直面している諸問題を体系的に提示し、さらに勉強をするために必要な文献を示す。年間6つのレポートを提出してもらい、それによって成績評価をおこなう。講義は受講者がレポートを作成するために必要な知識を得る場であると考えてほしい。さしあたり講義全般にわたる参考書として、以下の5冊をあげておく。これらは通読するようにしてもらいたい。詳しいシラバスを第一回目の講義のときに配布する。

- 〔参考書〕坂本英夫・浜谷正人（編著）  
『最近の地理学』（大明堂）¥2,600  
山本健児『経済地理学入門』（大明堂）¥3,450  
ハーヴェイ（水岡訳）『都市の資本論』（青木書店）¥7,725  
クラヴァル（竹内訳）『現代地理学の論理』（大明堂）¥1,854  
竹内啓一『とぼろうぐ』（古今書院）¥2,900

## 地理学総論

なか むら かず お  
中 村 和 郎

1. フィールドサイエンスとしての地理学
2. 環境の科学としての地理学  
分布とその説明、決定論と可能論、社会形態学、人間生態学、移動（伝播）論、景観論、エスノサイエンス、パーセプションと行動
3. 地域の科学としての地理学  
空間の単位、地域間関係と地域構造
4. 研究の道具としての地図

- 〔参考書〕中村和郎ほか著『地理学への招待』（古今書院）¥2,900  
中村和郎ほか著『地域と景観』（古今書院）¥2,800

## 野外巡検Ⅱ

こも ぐち よし み  
菱 口 善 美

目的：地域の変貌についての実態調査とレポート作成

調査地：鹿児島・桜島およびその周辺

## 野外巡検Ⅱ

さ とう てつ お  
佐 藤 哲 夫

日本の代表的な水田地帯である宮城県古川市周辺をフィールドとして、日本の稲作地域が直面している問題について学ぶ。現地での調査の事前準備として、地形図や統計資料を用いて、農業構造の変化を把握する。現地では土地利用調査のほか、農業機関や農家での聴き取り調査を行なう。

1. 調査地 宮城県古川市周辺
2. 期間 9月19日～22日を予定。
3. 地図 2万5千分の1  
古川、小牛田、荒谷、高清水
4. レポート ワープロ書き、写真添付を必須とする。

## 野外巡検Ⅱ

なが の ただし  
長 野 覚

「日本国土に占める北九州の地域性」をテーマに、現地3泊4日の巡検を6月中旬に予定。

国土面積の僅か3%（福岡・佐賀・長崎県）を占めるに過ぎないが、その地理的位置のため、先史時代から近・現代に至るまで、日本の政治・経済・文化等に強いインパクトを与えてきた。その証しを観察し、地理学における「地域」のもつ意義を考えてみたい。特定地域については、事前にアンケートを実施したうえで現地調査なども学習する。

## 野外巡検Ⅱ

なが めま のぶ お  
長 沼 信 夫

次の要領で実施する予定であるが、詳細については申込時（ガイダンス）に報告する。

1. 巡検地域：伊豆半島北西地域（戸田村）
2. 巡検期間：平成7年6月6日（火）  
～9日（金）（3泊4日）
3. 巡検テーマ：水文環境に関する調査

## 野外巡検Ⅱ

なか むら かず お  
中 村 和 郎

フィールド調査の訓練として、地形図作業と統計資料による事前調査、および現地における観察などを実施してレポートにまとめる。

実施日時と調査地域はガイダンスのときに発表する。

## 日本地誌Ⅱ

なか また ひとし  
中 俣 均

地域は一定不変のものではない。高度な技術の進歩や産業構造の変革による経済の発達、社会機構の改編、それにともなう人口の動向などにより、地域自体も複雑化し変容する。そうした地域の変貌のありさまを、具体的に地域の具体的な事例（全国各地にわたる）を通じて見ていくことにする。講義には下記テキストを用いる。また参考書などについては、講義中に随時、指示する。

〔教科書〕山崎謹哉編著『地域変貌誌』  
（海青社）1988年 ￥1,751

## 外国地誌Ⅱ

たけ うち けい いち  
竹 内 啓 一

はじめに比較地誌学の重要な問題点をいくつか提示、解説したのち、ヨーロッパ地誌の講義をおこなう。ヨーロッパにおけるマイノリティー問題、国内地域問題、EU統合にかかわる問題などをとりあげる。体系的あるいは羅列的な地誌ではない。参考文献は講義のなかで指示する。出席はとらず、学年度末には持ち込み一切自由の筆記試験をおこなって成績を評価するが、講義をよくきいていないと解答できないような出題をするつもりである。

## 経済地理学Ⅱ

なまい ぎわ すむ  
生井沢 進

都市における経済活動の中心である商業活動について、流通構造ならびに都市構造の変化の観点から分析、講義を行う。夏季休暇中に各自調査を行い、レポートを作成することを条件とする。

〔教科書・参考書〕講義中にその都度指示する。

## 地形学Ⅱ

お ぐち たかし  
小 口 高

山地の形成と解体に関連する地形学的問題について講義する。

1. 地下における岩石の形成
2. 岩盤の隆起
3. 火山と火山岩
4. 風化
5. 崩壊と地すべり
6. 溪流での土砂移動

〔教科書〕貝塚爽平ほか編『写真と図でみる地形学』  
（東京大学出版会）¥4,532

〔参考書〕武居有恒監修  
『地すべり・崩壊・土石流—予測と対策』  
（鹿島出版会）¥4,017

## 歴史地理学

なか じま ぎ いち  
中 島 義 一

一般の人文地理学では現在の事象を扱うが、歴史地理学では歴史時代の事象を対象とする。その点歴史学と共通するが、見方考え方は地理学の立場に立つ。学問分類上は地理学に属するが、実際には地理学と歴史学の接点という性格が強い。本講義では地域的には国内に、時代的には近世・近代に限定し、交通・集落等を取り上げて行く。この科目履修の機会に地理学科の人は歴史学に、歴史学科の人は地理学に親しんでほしい。

〔教科書〕山崎謹哉編『近世歴史地理学』  
（大明堂）¥2,400

## 人口地理学

つち たに とし はる  
土 谷 敏 治

人口の分布とその変化・人口移動などの諸現象と都市構造・都市システムの関係について、研究方法やこれまでの研究成果を紹介する。

1. 人口統計と地域の概念
2. 地域の人口構造とその記述法
3. 人口の分布と都市構造
4. 中心地論
5. 都市システムと人口移動

## 原書講読

うめ はら ひろ みつ  
梅 原 弘 光

熱帯地域の農業に注目して、その人びとと環境との関係を考察する。

テキストは、E. L. Schusky, *Culture and Agriculture: An Ecological Introduction to Traditional and Modern Farming Systems* (London, 1989) から抜粋して配布する。

## 地質学

かい つか そう へい  
貝 塚 爽 平

前期には関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象（たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成）についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論を交えて解説する。

## 地球物理学

おほ た よう こ  
太 田 陽 子

本講で扱うおもな内容は、1.活断層の特性、2.活断層と地震、3.地殻変動の地域性と時間に伴う推移、4.地震と地殻変動、5.古地震の復原、6.変動地形の形成、などで、おもに日本を含む環太平洋地域を事例として取り上げる。地球学の専攻者を対象とするので、できるだけ具体例を通して、現在の地形の形成に直接関与する地殻変動の役割の理解、それに関する諸問題の認識に重点をおく。必要な文献は講義の際に指示する。

〔教科書〕なし

〔参考書〕活断層研究会編『新編日本の活断層』

1991（東大出版会）

米倉ほか編『変動地形とテクトニクス』

1990（古今書院）

岩波講座 地球科学10『変動する地球1』

現在および第四紀』1978（岩波書店）

## 土壌地理学

うるし はら かず こ  
漆 原 和 子

世界の土壌の生成とその地理的分布について解説する。土壌生成因子のうち、特に地形、気候、植生と時

間について詳しく考察する。古環境の変遷に応じた古土壌の分布について論ずる。さらに今日分布する成帯性土壌が人間活動によってどのように変わりつつあるかについても述べる。

〔教科書〕『世界の土壌』（古今書院）¥3,800

〔参考書〕授業で、その都度紹介する。

## 気候学

やま した しゅう じ  
山 下 脩 二

前期は気候の成り立ちである放射収支・熱収支・水収支・物質収支について講義する。基本的には地球一大気系の熱と水の循環と組み合わせの問題であり、最低限の数式的な取り扱いが入ってくる。前期は人間活動の影響を考えないで、地球環境の成り立ちの原則を理解することに重点をおく。後期は人間と自然との相互作用の問題を考える。自然環境が人間に影響を及ぼした例として文明の盛衰や生気候・生気象の問題を、人間活動の自然へのインパクトとして、都市気候、ヒートアイランド現象、地球環境問題について講述する。

〔教科書〕水越允治・山下脩二『気候学入門』

（古今書院）¥2,500

〔参考書〕オーク、斎藤、新田訳：境界層の気候

（朝倉書店）¥5,200

## 海洋学及び陸水学

ながい めづ のぶ お  
長 沼 信 夫

水を研究対象としている学問分野はいろいろあるが、ここでは自然地理学（水文学）の立場から水に関するテーマを選び講義する。また隣接分野における水の研究についても紹介する予定である。

〔教科書〕地学団体研究会編『地球の水圏』

（東海大学出版会）¥2,500

## 環境地理学

はや ふね げん ぼう  
早 船 元 峰

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用、水利用を通じ歴史的観点をふまえて論じる。

〔参考書〕水見山幸夫、岡本次郎編著

『土地利用変化とその問題』

（大明堂）¥3,600

## 日本地誌Ⅲ

なか しま ぎ いち  
中 島 義 一

歴史地理学の諸問題に重点をおいて講義する。下記の教科書のほか、地図帳（高校生の時に使ったものでよい）を忘れずに持ってくること。

〔教科書〕矢守一彦著『空からみた歴史景観』

（大明堂）¥2,400

〔参考書〕授業の際に紹介する。

## 外国地誌Ⅲ

うめ ほら ひろ かつ  
梅 原 弘 光

対象地域は東南アジアとする。この地域は、いま、中国など東アジアに次ぐ高い経済成長率を経験し、世界の成長圏として大きな注目を浴びている。そうした一見明るい側面の裏側で、じつは、都市の景観、環境の著しい後退、山林原野の荒廃など、深刻な環境問題に直面している。これらの問題は都市部と山地部をつなぐ農業・農村地域の抱える問題の反映と考えられる。最初にこの授業では、農村社会に注目し、そこでの変化と問題点を確認し、人々の適応を考える中で、都市と農村と山地の問題のつながりを捉え、今後を展望してみたい。

〔参考書〕梅原弘光

『フィリピンの農村—その構造と変動—』

（古今書院）1992年

## 都市地理学

はし つめ なお ち  
橋 詰 直 道

都市の概念、都市の機能分類、都市システム、大都市圏、都市の内部構造、都市化、都市空間の知覚と行動、都市計画、都市環境などについて最近の都市地理学の研究成果を中心に概説する。

教科書は特に定めず、講義はプリント中心に行う。

〔参考書〕高橋伸夫・菅野峰明・永野征男著

『都市地理学入門』（原書房）¥1,800

## 計量地理学

つち たに とし ほる  
土 谷 敏 治

地理学の分析に必要な統計的手法・計量的手法を紹介するとともに、実際にデータを用いて操作を行ない、分析の手順や解釈のし方について学習する。データの処理には、コンピュータを使用する予定である。分析の結果は、レポートとして提出する。

## 応用地理学Ⅰ

たか ぎ まさ ひろ  
高 木 正 博

河川と地域の関係を、利水・災害・自然環境などの視点から捉える。また、近年水環境に対する関心が高まっているが、その問題点について、地理学と他の研究分野を関連させてのべる。

〔参考書〕高橋 裕著『河川工学』（東大出版会）

中西準子著『水の環境戦略』（岩波新書）

## 応用地理学Ⅱ

こん の しゅう へい  
今 野 修 平

応用地理学として、地域開発論の講義を行う。地域開発論の学的体系をのべる他、第四次全国総合開発計画および長期展望下の日本列島の将来や、地域開発政策の流れ等全般に亘る。

〔教科書〕『第四次全国総合開発計画』

## 文化地理学

こも ぐち よし み  
菱 口 善 美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史（誌）、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

## 空中写真判読法及び測量学

こ いけ かず ゆき  
小 池 一 之

測量学の基礎的事項を中心に講義する。随時課題を出すので、かならず締切日までに提出すること（課題数は年間5-6）。また、対数、三角関数（数学Ⅰ程度）の復習もしておくこと。実習も含まれる。

本年度は、自然地理の基礎となる写真判読法にも力を入れる予定である。

- (1) 誤差論
- (2) 角の測定
- (3) 距離測定
- (4) 水準測量
- (5) 多角測量
- (6) 地形測量
- (7) 写真測量
- (8) 写真判読法
- (9) リモートセンシング

〔教科書〕〔前期〕小田部和司著

『図解土木講座測量学』

（技報堂出版）¥2,800

## 地理学特講 I (後期)

なが の だし  
長 野 覺

高等学校地歴科・中学校社会科の教員を目指す希望者を対象とする。

教員採用試験の実態や、教育現場の地理・中学校社会科教育の実情など、現職教員と対話の機会などもつくりながら学習を進める。

〔参考書〕教育小六法・文部省学習指導要領・高等学校地理A・B教科書（地図帳を含む）・中学校社会科教科書（地図帳を含む）

## 地理学演習

お だ まさ やす  
小 田 匡 保

卒業論文の作成指導をする。前期に文献研究中心の中間発表、後期に現地調査・データ整理の結果をふまえての発表をする。発表の後には、受講者相互のディスカッションとする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。

## 地理学演習

こ いけ かず ゆき  
小 池 一 之

前期：地理学調査方法（野外調査・文献調査）の習得、調査資料の分析法、データの統計処理などについて学ぶ。

後期：各人のテーマにそった具体的な指導を中心とする演習。

## 地理学演習

こも ぐち よし み  
交 口 善 美

ここでは4年生を対象とする卒業論文の作成の指導を行う。前期においては、各履修者の論文の主題に含まれる問題点の指摘と研究方法について、後期には、実態調査にもとづく論文作成の技術的方法について重点をおく。

## 地理学演習

さ とう てつ お  
佐 藤 哲 夫

参加者の関心にしたがって都市・農村の景観・土地利用の分析を行う。これと並行して、次のスケジュール

ルに従って卒業論文の作成指導を行う。

5月 参考文献調査 6月 論文構成提案  
7月 現地調査計画 9月 現地調査報告  
10月 論文構成決定・執筆開始

出席と発表の積極性によって評価する。

## 地理学演習

たか ぎ まさ ひろ  
高 木 正 博

卒業論文の作成指導を主体とする。受講者は、まず各自のテーマ設定や、参考文献・資料の収集・解析をおこない問題点を整理しておく。現地へは数多く足を運び、地域の実態を把握する。調査後は、各自その成果を検討・考察し、発表・討論を経て論文を作成する。

## 地理学演習

たけ うち けい いち  
竹 内 啓 一

時間割上の時間帯は、卒論との関連で、各自に課題を与えレポートを提出してもらおう。その他随時卒論の個別指導をおこなう。5月と10月に2泊3日のゼミ合宿をおこなう。5月の合宿では卒業論文の構想について報告してもらい、全員で討議する。10月の合宿では、執筆中の卒論の具体的内容を報告してもらってそれを題材にして議論をする。良い卒論を書くことは勿論重要であるが、討論への積極的参加を重視し、その点でも成績評価をおこなう。

〔参考書〕浮田典良（編）『ジオグラフィック・バル』（海青社（大津市））¥2,200  
クラヴァル『現代地理学の論理』（大明堂）  
竹内啓一『とぼろうぐ、地理学雑記帖』（古今書院）

## 地理学演習

つち たに とし はる  
土 谷 敏 治

前半は、各自の研究テーマに関する論文を読み、内容の紹介をするとともに、研究の進め方、論文の書き方について学習する。後半は、各自が研究の中間報告を行ない、お互いに議論し合いながら、論文の完成をめざす。

## 地理学演習

なか むら かず お  
中 村 和 郎

卒業論文の作成指導を中心に行う。テーマの決定、研究の進め方、文献収集とその読み方、資料の整理のし方、現地調査の方法、論文の書き方、口頭発表のし方などについて指導する。

## 地理学演習

なが ぬま のぶ お  
長 沼 信 夫

卒業論文の作成指導を中心におこなう。前期は論文の書き方、文献資料の蒐集・整理・調査方法、文献紹介等についておこなう。後期は各自の卒論テーマによる調査・研究成果を報告してもらう。

出席を重視し、平常点で評価する。

## 地理学演習

なが の たけし  
長 野 覚

卒業論文の課題に即して、調査・研究と論文提出までの指導を行なう。前期と後期に必ず中間発表を行なうことを必修条件としている。

## 地理学演習

はし つめ なお みち  
橋 詰 直 道

前半は、卒業論文の研究テーマ・地域の設定、研究方法、研究の計画などについて十分な検討を加えた上で、文献・資料調査法、現地調査法などについて指導する。

後半は、各人の調査結果の中間発表会を随時行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。

## 地理学演習

はや ふね げん ほう  
早 船 元 峰

卒業論文を作成する学生に対する演習である。前半には論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理等の方法について講じ、後半は卒業論文のテーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間報告）や関連した論文の内容の紹介をしてもらう。

# 歴史学科

## 基礎教育科目

基礎歴史学(飯島 武次) .....	147
基礎歴史学(久保田 真継) .....	147
基礎歴史学(廣瀬 良弘) .....	147

## 専門教育科目

史学概論(伏島 正義) .....	147
日本史概説Ⅰ(古代・中世)(松本 信道) .....	147
日本史概説Ⅱ(近世・近代)(木槻 哲夫) .....	147
東洋史概説Ⅰ(古代・中世)(阿部 肇一) .....	147
東洋史概説Ⅱ(近世・近代)(渡辺 惇) .....	148
西洋史概説Ⅰ(古代・中世)(伏島 正義) .....	148
西洋史概説Ⅱ(近世・近代)(青木 道彦) .....	148
考古学概説Ⅰ(日本)(倉田 芳郎) .....	148
考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次) .....	148
日本史学史(葉貫 磨哉) .....	148
東洋史学史(阿部 肇一) .....	148
西洋史学史(佐々木 真) .....	148
考古学史(西江 清高) .....	149
演習Ⅰ(久保田 真継) .....	149
演習Ⅱ(久保田 真継) .....	149
演習Ⅰ(佐藤 元英) .....	149
演習Ⅱ(佐藤 元英) .....	149
演習Ⅰ(所 理喜夫) .....	149
演習Ⅱ(所 理喜夫) .....	149
演習Ⅰ(葉貫 磨哉) .....	149
演習Ⅱ(葉貫 磨哉) .....	150
演習Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	150
演習Ⅱ(廣瀬 良弘) .....	150
演習Ⅰ(松本 信道) .....	150
演習Ⅱ(松本 信道) .....	150
演習Ⅰ(南 和男) .....	150
演習Ⅱ(南 和男) .....	150
演習Ⅰ(渡辺 直彦) .....	150
演習Ⅱ(渡辺 直彦) .....	150
演習Ⅰ(阿部 肇一) .....	150
演習Ⅱ(阿部 肇一) .....	150
演習Ⅰ(渡辺 惇) .....	151
演習Ⅱ(渡辺 惇) .....	151
演習Ⅰ(佐々木 真) .....	151
演習Ⅱ(佐々木 真) .....	151
演習Ⅰ(伏島 正義) .....	151
演習Ⅱ(伏島 正義) .....	151
演習Ⅰ(飯島 武次) .....	151
演習Ⅱ(飯島 武次) .....	151

演習Ⅰ(加藤 晋平) .....	151
演習Ⅱ(加藤 晋平) .....	151
演習Ⅱ(倉田 芳郎) .....	151
日本史各説Ⅰ(松本 信道) .....	152
日本史各説Ⅱ(久保田 真継) .....	152
日本史各説Ⅲ(中野 達哉) .....	152
日本史各説Ⅳ(佐藤 元英) .....	152
東洋史各説Ⅱ(古代)(宇都木 章) .....	152
東洋史各説Ⅳ(中世)(石田 肇) .....	152
東洋史各説Ⅴ(近世)(野沢 佳美) .....	152
東洋史各説Ⅷ(周辺史)(奈良 修一) .....	152
東洋史各説Ⅸ(周辺史)(松本 弘) .....	152
東洋史各説Ⅹ(周辺史)(片岡 一忠) .....	153
西洋史各説Ⅰ(岩本 裕子) .....	153
西洋史各説Ⅲ(伏島 正義) .....	153
西洋各国史Ⅰ(青木 道彦) .....	153
西洋各国史Ⅱ(加藤 史朗) .....	153
西洋各国史Ⅲ(佐々木 真) .....	154
西洋各国史Ⅳ(中村 純) .....	154
考古学各説Ⅲ(西江 清高) .....	154
考古学各説Ⅳ(関根 孝夫) .....	154
古文書学(葉貫 磨哉) .....	154
古文書講読Ⅰ(久保田 真継) .....	154
古文書講読Ⅱ(廣瀬 良弘) .....	154
日本史特講Ⅱ(中世)(栗野 俊之) .....	155
日本史特講Ⅲ(中世)(芥川 龍男) .....	155
日本史特講Ⅲ(中世)(久保田 真継) .....	155
日本史特講Ⅳ(近世)(宮本 由紀子) .....	155
日本史特講Ⅴ(近世)(小暮 正利) .....	155
日本史特講Ⅵ(近代)(南 和男) .....	155
日本史特講Ⅶ(近代)(佐藤 元英) .....	155
東洋史特講Ⅰ(古代)(宇都木 章) .....	155
東洋史特講Ⅳ(中世)(石田 肇) .....	156
東洋史特講Ⅶ(近世)(野沢 佳美) .....	156
東洋史特講Ⅹ(近・現代)(安藤 正士) .....	156
東洋史特講Ⅺ(近・現代)(渡辺 惇) .....	156
東洋史特講Ⅻ(周辺史)(片岡 一忠) .....	156
東洋史特講Ⅻ(周辺史)(奈良 修一) .....	156
西洋史特講Ⅰ(長谷川 岳男) .....	156
西洋史特講Ⅲ(三小田 敏雄) .....	157
西洋史特講Ⅳ(佐々木 真) .....	157
考古学特講Ⅱ(高浜 秀) .....	157
考古学特講Ⅳ(飯島 武次) .....	157
日本仏教史Ⅲ(廣瀬 良弘) .....	157
日本文化史Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	157
西洋文化史Ⅰ(佐々木 真) .....	157
西洋文化史Ⅲ(三小田 敏雄) .....	158
考古発掘実習(千葉 基次) .....	158
考古学実習(写真)(鈴木 昭夫) .....	158
考古学実習(測量)(栗山 稔) .....	158
考古学実習(石器)(田中 英司) .....	158
考古学実習(土器)(酒井 清治) .....	158
地誌学(小田 匡保) .....	158
地誌学(川元 豊和) .....	158

地誌学(橋詰 直道) .....	159
人文地理学概説(小林 高壽) .....	159
歴史地理学(中島 義一) .....	159
哲学史(丸山 豊樹) .....	159
歴史哲学(麻生 健) .....	159
美術史概説(中島 亮一) .....	159
西域美術史(松平 美和子) .....	159
仏教美術(中島 亮一) .....	160
中国歴史文学(中村 璋八) .....	160
ラテン語特講(佐藤 玖美子) .....	160
日本民俗学(谷口 貢) .....	160
有職故実(大塚 英子) .....	160



# 歴史学 科

## 基礎教育科目

### 基礎歴史学

い飯 しま島 け武 つぐ次

中国古代史の考古学的研究。  
〔教科書〕宮崎市定『アジア史概説』  
(中公文庫) ¥820

### 基礎歴史学

くぼた ます つか 久保田 真 継

「歴史」とは何か、また「歴史」を学ぶとはどういうことか。この基本的な問いかけについて考える機会としたい。その際、さまざまな歴史観や、研究方法、史料保存と利用の問題などを紹介する。また、最近の歴史研究をめぐる状況などについても紹介したい。これらを通じて「歴史」をみる眼を自分なりにひろげてほしいと思う。必要に応じて資料を配布する。

### 基礎歴史学

ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘

歴史とは何か、なぜ歴史を学ぶのか、歴史意識はどのような展開を遂げてきたのか、など歴史研究を行っていく上での基本的な問題をはじめとして、研究方法論や史料批判等について講述する。また、その際には具体的な古文書や絵画史料等を用いて行う。さらに、現在の歴史学研究がかかえる史資料の保存利用問題や地方史論・地域史論等の問題にも言及してみたいと思う。テキストはコピーして配布。

## 専門教育科目

### 史学概論

ふせ しま ます よし 伏 島 正 義

古来多くの哲学者や歴史学を悩ましてきた『歴史とは何か』という古くて新しい問題について、その考究の跡を追ってみたい。また古典的名著を二、三取り上げ、この問題について考えてみたい。なお、教科書は特に指定しないものの、参考書については開講時に一括紹介し、また講義の進行に伴い、その都度挙げる。

### 日本史概説Ⅰ（古代・中世）

まつ もと のぶ かつ 松 本 信 道

奈良・平安時代の諸様相について概観する。  
〔教科書〕『日本の歴史3 奈良の都』  
(中公文庫) ¥860

### 日本史概説Ⅱ（近世・近代）

き つき てつ お 木 槻 哲 夫

近世・近代にわたる日本社会の発展を明治期を中心に概観し、併せて、新たな研究視角・問題点の発見に資するよう努めたい。教科書は特定しない。  
〔参考書〕『地方史研究必携』  
(岩波書店) ¥4,800

### 東洋史概説Ⅰ（古代・中世）

あ べ ちやう いち 阿 部 肇 一

中国史を中心として、周辺民族の歴史も加えてゆく。主として政治、社会史の流れをもとにして、時代文化を説明し、唐・宋あたりまで流れを説明してゆきたい。  
〔教科書〕『東洋史概説』山崎 宏編  
(南雲堂・深山社)

## 東洋史概説Ⅱ（近世・近代）

わた なべ あつし  
渡 辺 惇

中国の近世（宋・元・明・清）、近現代の政治、対外関係、社会経済、文化等について、総合的に講義する。

〔教科書〕特に定めない。プリント資料を配布する。

〔参考書〕授業の中で指示する。

## 西洋史概説Ⅰ（古代・中世）

ふせ じま まさ よし  
伏 島 正 義

私達が日常経験する土地所有をめぐる問題は、さまざまな話題を提供している。しかしこの近代的土地所有形態も一つの歴史的形態である。本講ではそうした近代的土地所有形態の淵源を尋ねたい。つまり、西洋古代末期から近世初頭までを範囲として、土地の「所有」形態、経営形態の変遷について概説する。特にゲルマン民族大移動を契機として生まれた新しい社会、つまり西洋中世社会の成立過程、その社会構造、発展と盛衰を基軸に据える。講義では通説を紹介し、特にその力点を史料的根拠に置く。地域としてはイギリス、フランス、ドイツを中心とする。教科書は特に指定しない。参考文献を開講時および各講義時にその都度指示す。

## 西洋史概説Ⅱ（近世・近代）

あお き みち ひこ  
青 木 道 彦

ヨーロッパの近世初頭から現代に至る歩みを概観するが、必要な限りにおいてヨーロッパ中世にもふれて講義したい。中世においては必ずしも他の文化世界に対して優位にたっていたはいなかった西欧世界が、なぜ近代工業化の先頭にたって、他の文化世界に強い衝撃を与えるようになったのかという問題を念頭において、受講して頂きたい。西洋史に関する平易な文献を指定し、読書レポートを提出させる課題を課す。4年生を除き、この課題を提出しない者には受験資格を与えないので、注意すること。

〔参考書〕祇園寺信彦編『西洋史要綱』

（御茶の水書房）¥1,200

大下・西川・服部・望田編『西洋の歴史』

〔近現代編〕（ミネルヴァ書房）¥2,000

## 考古学概説Ⅰ（日本）

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

## 考古学概説Ⅱ（外国）

いい じま たけ つぐ  
飯 島 武 次

東洋考古学の概説を講義する。

〔参考書〕飯島武次『夏殷文化の考古学研究』

（山川出版社）1985年 ¥7,000

飯島武次『中国新石器文化研究』

（山川出版社）1991年 ¥11,000

## 日本史学史

は めき まさ い  
葉 貫 磨 哉

古代から近代に至る歴史書の成立過程と、その概要について講義する。

## 東洋史学史

あ べ ちよう いち  
阿 部 肇 一

中国史の歴史思想の展開と、日本における東洋史の研究、方法等を説明しながら、講義を行いたい。

## 西洋史学史

き さ き まこと  
佐 々 木 真

西洋史学史を考える際に重要となる著作について、それが執筆された当時の時代状況をふまえて解説することにより、講義を進めていく。前期に前近代の史学史を概括的におさえた後に、後期には19世紀から今日にかけての歴史学のあり方を述べる。この場合、フランスのアナル学派に特に力点をおいて解説を加え、今世紀の歴史学の様々な試みを紹介することにより、現在の歴史学の課題についても考えてみたい。教科書は特に指定しない。参考文献は、必要に応じて授業時に紹介する。

## 考古学史

にし え きよ たか  
西 江 清 高

今世紀における中国考古学の研究史を中心に、東洋考古学の流れを概論する。また欧米に生まれ発展した考古学研究の枠組や方法と比較することで、東洋考古学の特質を理解し、さらにその現状を把握することを目標としたい。必要な資料は授業の中で配布する。

〔参考書〕 関野 雄監訳『新中国の考古学』

(平凡社) 1988年 ¥18,000

## 演習 I

くぼた まさ つぐ  
久保田 真 継

織田信長の右筆太田牛一の著した「信長記」(池田本)をテキストとして、史料の読解力を養いながら、室町幕府の滅亡から織田政権の形成と展開過程を考えていきたい。なおテキストは適宜配布する。

## 演習 II

くぼた まさ つぐ  
久保田 真 継

室町・戦国期の諸相を追究し、あわせて卒業論文作成の指導を行なう。なお史料・参考文献は適宜指示したい。

## 演習 I

さ とう もと えい  
佐 藤 元 英

明治初年より大正末期に至るまでの政治・外交・軍事に関わる文書を読解する。

①中央官庁及び地方自治体の文書いわゆる公文書、②各種民間団体・機関(政党・会社等)の文書いわゆる準公文書、③政治家・官僚・軍人・各種団体指導者の関係文書いわゆる私文書等、多種多様な文書の読解力を養い、その時代背景についての理解を深めることを目標とする。演習参加者は輪番で分担して報告し、それを中心に質疑応答、討論の形式で演習を進める。報告者は必ずレジュメを作成すること。

〔教科書〕 大久保利謙他編『史料による日本の歩み近代編』(吉川弘文館)をテキストとする。

¥2,600

## 演習 II

さ とう もと えい  
佐 藤 元 英

大正末期より昭和戦前期に発表された政府公表文書を読解する。

政府から発表された主として声明・談話・通告・説明・交換公文などの外交関係文書を読む。演習参加者は輪番で分担箇所を予習し、史料の読み下し、人名・事件の説明、及びこれに関する参考文献等を、レジュメを用意して発表する。その発表を中心に質疑応答をしながら、対外宣伝及び国内宣伝としてなされた政府公表の担った役割、国民に及ぼした影響などについて討論していく。

また、近代史関係史料の所蔵機関、例えば国立公文書館、外務省外交史料館、防衛庁防衛研究所図書館、国立国会図書館憲政資料室などについて適宜説明し、卒業論文作成の参考とする。

〔教科書〕 外務省『外務省公表集』、内閣情報局『政府公表集』のコピーを配布する。

〔参考書〕 『近代史料解説・総目次・索引』

(日本近代思想大系別巻, 岩波書店)

## 演習 I

ところ りきお  
所 理喜夫

「石川正西聞見集」(影写本)を、講読し、江戸幕府創業史を研究する。

〔教科書〕 影写本をコピーして、配布する。

## 演習 II

ところ りきお  
所 理喜夫

卒業論文の意義、書き方、課題の展開の方法を指導する。したがって受講者は、卒業年度生に限る。

## 演習 I

は のき まさ い  
葉 貫 磨 哉

『蔭涼軒日録』の長享元年閏11月より講読して、室町將軍の動静や時代思潮などを考える。また五山派のあり方を理解するために見学も行う。

演習Ⅱ

は ぬき まさ い  
葉 貫 磨 哉

鎌倉・室町時代の歴史を通観し、研究発表を通して問題点を探り、併せて卒業論文の指導をも行う。

演習Ⅰ

みなみ かず お  
南 和 男

幕末維新の諸問題より各自はテーマをえらび、研究発表をして卒業論文作成の資とする。

演習Ⅰ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

下記の史料を用いて、織豊政権期を経て近世幕藩体制社会が成立していく過程を考察し、併せて近世史料の読解力・分析力を養う。

〔教科書〕徳川家康の発給文書、歴代将軍の事歴を記録した『徳川実紀』、家康の家臣である松平家忠の『家忠日記』と江戸前期から中期にかけて町奉行から町方へ出された法令を集めた『正宝事録』のコピーを配布する。

演習Ⅱ

みなみ かず お  
南 和 男

幕末維新の諸問題の研究発表を通して、卒業論文の作成指導をする。

演習Ⅰ

わた なべ なお ひこ  
渡 辺 直 彦

桓武天皇の延暦十五（796）年七月条から、順次講読する。

〔教科書〕『日本後紀』（吉川弘文館）¥2,060

演習Ⅱ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

近世史料を講読し、その読解力を養い、併せて受講者の研究発表を通じて卒業論文の指導を行う。

〔教科書〕史料はコピーして配布。

演習Ⅱ

わた なべ なお ひこ  
渡 辺 直 彦

律令官制とその定員とを規定した「職員令」を講読する。

〔教科書〕『令義解』（吉川弘文館）¥3,300

演習Ⅰ

まつ もと のぶ みち  
松 本 信 道

奈良時代の政治・経済・文化について『日本紀略』及び関連諸史料を講読しながら考察する。

〔教科書〕コピーを配布する。

演習Ⅰ

あ べ ちょう いち  
阿 部 肇 一

『二十二史劄記』趙翼撰、前巻部分の講読と研究。

演習Ⅱ

まつ もと のぶ みち  
松 本 信 道

奈良時代の仏教制度及び僧尼の行動を規定した「僧尼令」を講読する。併せて卒業論文作成の指導を行う。

〔教科書〕コピーを配布する。

演習Ⅱ

あ べ ちょう いち  
阿 部 肇 一

『入唐求法巡礼行記』（円仁）の講読と研究発表。

〔教科書〕プリント配布。

### 演習 I

わた なべ おつし  
渡 辺 惇

趙翼著『二十二史劄記』の明代の部分（漢文）を講読する。

〔教科書〕プリントを配布する。

### 演習 II

ふせ しま まさ よし  
伏 島 正 義

当該演習では、西洋史上の古典的名著を輪読する。また卒業論文の完成を目ざす。テキスト等は受講生と相談し、決める。

### 演習 II

わた なべ おつし  
渡 辺 惇

范文瀾著『中国近代史』のアヘン戦争の部分（現代中国語）を講読する。

〔教科書〕プリントを配布する。

### 演習 I

いい しま たけ つぐ  
飯 島 武 次

中国語原典の講読。パソコンの使用実習。

〔教科書〕川崎純子『図解パソコン』

（ナツメ社）¥1,300

〔参考書〕飯島武次『夏殷文化の考古学研究』

（山川出版社）1985年 ¥7,000

### 演習 I

さ さ き まこと  
佐々木 真

西洋史に関する古典的な文献をテキストとし、これを輪読する形式で授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養う。また、4年次の卒業論文作成の準備として、後期には各受講生に、自分がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。テキスト等は、開講時に受講生と相談して決定する。

### 演習 II

いい しま たけ つぐ  
飯 島 武 次

卒業論文の指導を兼ね、考古資料の調査研究を行なう。発表方法については、最初の授業の折りに指示する。また考古学におけるパソコンの使用について研究指導をする。

### 演習 II

さ さ き まこと  
佐々木 真

欧文のテキストを輪読する。また、必要に応じて随時、各受講生に報告を課して、卒業論文作成の指導を行う。テキスト等は、開講時に受講生と相談して決定する。

### 演習 I

か どう しん へい  
加 藤 晋 平

旧石器時代から縄文時代にかけての生業活動に関する論文をとりあげ、講読する。講読資料は、授業時に配布する。

### 演習 I

ふせ しま まさ よし  
伏 島 正 義

当該演習では、歴史に抱く興味は人により多岐に亘るとはいえ、受講生にとって共通となる文献（論文、専門書）を分担発表などにより輪読する。またこの演習は4年次に課される卒論作成の準備段階としての役割を負わんとするため、特にその年度の後半部分において、各自によって進められてきたその研究の成果を発表し、その質疑応答を通して、その研究の問題（疑問）点を認識し、4年次の卒論作成に資する。テキスト等は受講生と相談し、決める。

### 演習 II

か どう しん へい  
加 藤 晋 平

先史時代に関し、受講者それぞれが抱く関心について、適当な論文を与え、講読する。講読資料は、授業時に配布する。

### 演習 II

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

年度第1週目の授業に必ず出席のこと。

卒業論文の指導もする。

### 日本史各説Ⅰ

まつもと のぶ みち  
松 本 信 道

飛鳥・奈良・平安時代の仏教文化史について講述する。

〔参考書〕笹山晴生著『日本古代史講義』  
(東京大学出版会)

### 日本史各説Ⅱ

くぼた まさ つぐ  
久保田 真 継

鎌倉・室町時代について、研究史も紹介しながら講義する。とくに教科書・参考書は指定しない。

### 日本史各説Ⅲ

なか の たつ や  
中 野 達 哉

江戸時代について、現在の研究上の問題点にも触れながら講義する。まず、近世国家の基軸となった幕藩制・石高制・国郡制などについて、個別にテーマを設けて概論し、そののち、いくつか事例を取り上げ、近世社会の基礎を支えた「村」を中心に、近世の地域社会と領土支配について、具体的に考えていく。必要な資料は、授業時に配布する。

### 日本史各説Ⅳ

さ とう もと えい  
佐 藤 元 英

昭和初期の政治、外交、軍事について講ずる。

山東出兵、東方会議、済南事件、張作霖爆殺事件、満蒙懸案解決交渉といった満州事変前の諸問題を取りあげ、政策決定過程及びその施行における、国内の政友会・民政党の政策論争、外務省・軍部の対立及び国民世論の動向と、出先の満鉄・関東軍・総領事館の三機関間の対立を論ずる。また、日本の大陸政策は、一面大陸侵略、一面英米従属という東アジアにおける「二重構造」的国際関係の特質を持ち、中国をとりまく列強間の利権獲得競争という観点からは、一面英米協調、一面英米対立という矛盾した「二面性」の特質を持つことを論ずる。

〔参考書〕佐藤元英『昭和初期対中国政策の研究』  
(原書房)、臼井勝美『中国をめぐる近代日本の外交』(筑摩書房)

### 東洋史各説Ⅱ (古代)

う つ ど あきら  
宇 都 木 章

中国古代史の概説を行う。特に商・周時代、春秋・戦国時代及び秦・漢時代の政治史・社会史及び文化史上の主要な問題を解説する。必要な史料はその都度、プリントする。

### 東洋史各説Ⅳ (中世)

いし だ はじめ  
石 田 肇

〈唐宋変革期の諸問題〉と題して、唐末時代を様々な角度から考えてゆくことにします。前期は唐宋時代の概説、時代区分論、征服王朝論などをとりあげて通史的な内容とし、後期は前期の講義をふまえていくつかのテーマ(七天天論、科挙論、思想史など)を設定して講義する予定です。

〔教科書〕なし

〔参考書〕講義中に示します。

### 東洋史各説Ⅴ (近世)

の ざわ よし り  
野 沢 佳 美

本講義では、唐末以降、五代宋元時代の歴史を、とくに北方民族との関係を中心に概観していく。教材等は開講時に指示する。

### 東洋史各説Ⅷ (周辺史)

な ら しゅう いち  
奈 良 修 一

「シルクロード」というと、中央アジアを通るオアシスルートが有名であるが、他にも北アジアを通るステップルートとインド洋を通る海上ルートがある。この講義では、海上ルートをテーマに取りあげる。海上ルートの歴史は古いが、おもに16～18世紀を中心にし、特にオランダ東インド会社の活動に焦点を当てたい。参考文献等は必要に応じて、授業時に紹介する。

### 東洋史各説Ⅸ (周辺史)

まつもと ひろし  
松 本 弘

本講義は、特に中東を中心としたイスラム史についての概説である。イスラムは宗教としての教義、日常生活としての習慣、現実としての歴史によって構成さ

れ、その各々を学ぶことで初めて全体像に迫ることができよう。それゆえ本講義では、イスラム神学・法学、中世イスラム史、近代の改革運動及び現代の状況につき、具体例を挙げながら説明していきたい。そのため、イスラムの宗教としての教義・理論をまず理解し、それが現実にかいなる展開を見せていったのかという視点を中心に講義を進めていきたい。

〔教科書〕 特になし  
〔参考書〕 適時紹介

### 東洋史各説X (周辺史)

かた せ かつ だ  
片 岡 一 忠

日本と中国とは「一衣帯水」の間柄といわれ、二千年にわたる交流の歴史があるが、近百年に両国の間でおこった諸事件は、現在もお互いの関係に影ををおとしている。講義では、この近百年の両国の関係の歴史を概観する。(資料を配布する)

### 西洋史各説I

いわ もと ひろ こ  
岩 本 裕 子

アメリカ「合衆国」史を概説する。「機会の国」、「実験の国」などと呼ばれてきた合衆国は、あらゆる人種、民族、宗教をおおらかに抱え込み、あたかも世界の縮図のように「唯一の超大国」として世界に存在している。通史とテーマ別の歴史とを隔年に講義してきたこれまでの方法を小休止し、今年度は、時間ではなく空間で歴史を読む。地図では東から西へと向かう歴史を追って、全米50州の中から特色ある州を選び、その州を中心に合衆国史を概説する方法をとる。1回の講義で1州を選んでいく。現在の諸問題を常に念頭に置きながら、受講生の興味を引き出し、「考える」ための問題提起を心がけたい。積極的な学生の参加に期待している。

〔教科書〕 野村達朗『「民族」で読むアメリカ』（講談社）  
松尾式之『不思議の国アメリカ：別世界としての五〇州』（講談社）  
〔参考書〕 清水 博編『アメリカ史（増補改訂版）』（山川出版社）

### 西洋史各説III

ふせ じま まさ よし  
伏 島 正 義

中世史に興味がかかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある

特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。文献、関係論文（邦文、英文）、史料などを読みつつ、演習形式により授業を進めたい。テキスト、文献等は授業時に指示する。

但し、受講生の希望により、必ずしも物語に限定されるものではない。

### 西洋各国史I

あお き みち ひ  
青 木 道 彦

今年度は昨年につづき「クロムウェルとピューリタン革命」をテーマにとりあげ、共和政期、プロテクター政権期を中心に講義する。イギリスの政治・経済や国際関係にも留意するが、やはりピューリタニズムを軸とした宗教の動向と政治的変革の関係が中心となるであろう。担当者作成の英文年表を使用するが、この英文年表あるいはこの時代についての平易な概説書について、レポートを提出させる課題を課す。4年生を除き、この課題を提出しない学生には、定期試験の受験資格を与えないので、よく注意すること。

〔参考書〕 今井 宏『クロムウェルとピューリタン革命』（清水書院）  
浜林正夫『増補版 イギリス市民革命史』（未来社）

### 西洋各国史II

か とう し ろう  
加 藤 史 朗

近代ロシア史について講義する。特に現代ロシア史に関連の深いテーマに重点をおく。例えば18世紀ではピョートル1世以後の専制政治の形成をめぐる諸問題、19世紀では「ロシアと西欧」をめぐるスラヴ派と西欧派の論争やインテリゲンツィアの形成に関わる諸問題について考察する。最終的には20世紀におけるロシア革命とスターリニズムについて考える前提を作ることを目標としたい。また近代化をめぐる諸問題について日本の場合との比較も試みたい。講義の合間に史料講読（英文も含む）を行う。受け身で聴講しないことが肝要。

〔参考書〕 和田春樹『ロシア・ソ連』「地域からの世界史」第11巻（朝日新聞社）¥1,600  
〔参考書〕 ロシア史研究会編『日露二〇〇年』（彩流社）¥2,200

## 西洋各国史Ⅲ

さ さ き まこと  
佐々木 真

本講義では、絶対王政期からフランス革命を経て、19世紀へと至るフランスの歴史を、国家構造の問題を中心に考察する。フランスはヨーロッパ諸国のなかでも、中央集権の性格が強い国であると考えられているが、これは絶対王政期以降に中央政府が強力に行政的集権化と文化的画一化の政策を推進した帰結であった。講義では各時代における行政、経済、教育、軍事などの政策を分析し、いかにして「フランス」や「フランス国民」が形成されていたのか、またそれにより人々の暮す社会と国家との関係がどのように変化したのかを考えてみたい。教科書は特に指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。なお、昨年度「西洋各国史Ⅳ」を受講した者は、受講不可とする。

## 西洋各国史Ⅳ

なか むら じゅん  
中 村 純

あらためて言うまでもなく、古代ギリシア人とはポリスという独特の社会形態を生み出した人々であった。古代ギリシア史研究の最大の課題の一つはポリスの歴史の意義を明らかにすることであると言ってよい。本講ではこのポリスの主として政治的側面について、いくつかの主要な問題を取り上げて、検討してみたい。  
〔教科書〕なし  
〔参考書〕適宜紹介します。

## 考古学各説Ⅲ

にし え きよ たか  
西 江 清 高

中国南部、東南アジアの大陸部の考古学を概論する。多様な民族文化が複雑に共存した今日の同地域の文化状況は、北方から漢文化が波及した紀元前後に、すでにその基盤ができあがっていたように思われる。そのような基盤の成り立ちを、考古学の視点から論じてみたい。雲南、ベトナム、中国東南部、四川などの地域別に近年の研究動向をさぐっていく。

## 考古学各説Ⅳ

せき ね たか お  
関 根 孝 夫

土器の研究は、いつでも考古学研究にとって最も基礎的な作業となっている。しかし最近急増した新た

な多量の資料は、すでに確定したかにもえた土器研究に、さまざまな面で問題を投げかけ、新たな視点での研究と再編を必然化している。ここでは弥生時代後期から古墳時代前期にかけての土器を対象として、その問題を研究史的に整理し、とくに関東における土器研究にアプローチしていきたい。

## 古文書学

は ぬま まさ い  
葉 貫 磨 哉

文書作成の目的や様式・保存・伝来等の理由、文章・料紙・筆蹟等の鑑賞用に至るまで、古文書についての概括的な講義を行う。後期は演習も行う。

## 古文書講読Ⅰ

く ぼ た まさ つぐ  
久保田 真 継

普段は兎角、活字などで読みがちな史料としての古文書を、写真版で解読することにより親しむことにとめる。そこには、活字のみでは知りえない、古文書のおもしろさがあると思う。なおとくに中世古文書を中心に講読する。一応教科書を設定するが、随時コピーなども使用していきたい。

〔教科書〕『演習古文書選（古代・中世編）』

（吉川弘文館）¥1,400

〔参考書〕『古文書解読字典』（柏書房）¥2,500

## 古文書講読Ⅱ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

どこの市町村にも豊富に存在するのが近世以降の古文書であろう。これらの新しい史料を解読し、地域の歴史を組み立てていくのは歴史を学ぶ者にとっての醍醐味である。しかし、せっかくの史料も解読できないのでは、どうすることもできない。本講座では、ともかく古文書に親しみ、読解できる力を養い、原文書から歴史を読みとる作業を試みたいと思う。具体的には織田信長・豊田秀吉・徳川家康の発給文書をはじめ、村・町・寺社・武家等の文書を解読する。古文書の写真等のコピーを随時配布する。

〔教科書〕日本歴史学会編『演習古文書選（近世編）』

（吉川弘文館）¥1,500

〔参考書〕『くずし字解読辞典』

（近藤出版社）¥2,000

『古文書解読字典』（柏書房）¥2,500



## 日本史特講Ⅱ（中世）

あわ の とし ゆき  
粟 野 俊 之

中世から近世への移行期について講義する。戦国期から織田期・豊臣期を経て徳川期に至る時期は、日本史上でも一つの転換期であり、一定の変革があった。これを、当時の政治状況・社会状況の中から探ることとする。具体的には、織豊期を中心とする政治状況を検討する中で、織豊政権が成立する過程を見て行きたい。また、関連する史料も活用したいと思う。

〔参考書〕藤木久志『豊臣平和と戦国社会』

（東京大学出版会）¥3,600

## 日本史特講Ⅲ（中世）

あくと がわ たつ お  
芥 川 龍 男

本年度は中世の初期、つまり鎌倉期を中心に、武士の基本的性格・武士団・惣領制などについて考察する。一方的な講義でなく、教科書以外にも史料・文献を読破し発表するなどのゼミナール方式もとり入れるので積極的な学習を期待する。

〔教科書〕豊田 武著『武士団と村落』

（吉川弘文館）¥2,884

## 日本史特講Ⅲ（中世）

く ば た まさ つぐ  
久 保 田 真 継

戦国期の社会を日本史上、中世封建制から近世封建制への移行（過渡）期とみるか、固有の社会とみるかは意見の分れるところであるが、戦国期の社会が中世の総括として、また近世の先駆としての時代的要請をうけていたことは認められよう。こうした問題関心により、本講座では「東国戦国大名」を例として、最近の研究動向も紹介しつつ、その実態と歴史的意義を考えたい。

## 日本史特講Ⅳ（近世）

みや もと ゆき こ  
宮 本 由 紀 子

身分制度という枠のほかに女性というもう一つの枠の中で生きぬいた近世の女性たちについて、恋愛・結婚・出産・教育・離婚・犯罪などのテーマをたて、法社会学・社会学・民俗学等の成果を取り入れて、立体的に講義する。何故不況になると女子学生に対して社会は就職の場を閉ざすのか、日本民族に流れる男尊女卑の思想はいつ・どうして生まれたのかという疑問を

女性史に立脚して考えたい。講義を中心にし、特に教科書・参考書は指定しない。

## 日本史特講Ⅴ（近世）

こ くれ まさ とし  
小 暮 正 利

主に近世村落の成立期や解体期の地方文書に直接ふれながら、村落生活のさまざまな様相について論じる。

〔参考書〕木村 礎『近世の村』

（教育社歴史新書）¥800

## 日本史特講Ⅵ（近代）

みなみ かず お  
南 和 男

幕末期の政治や社会の推移を考察する。

## 日本史特講Ⅶ（近代）

さ とう もと えい  
佐 藤 元 英

明治初年より太平洋戦争までの外交史時期区分論を講ずる。

前期は幕末維新时期における列国の対日政策と日本の対応、明治初年の領土問題、条約改正、日清戦争、日露戦争、第一次大戦とパリ講和会議などについて論じ、外交主体の確立と近代主権国家系への参加から大陸膨張政策という対外路線を検討する。

後期は1920年代の国際関係と極東新秩序の模索、ワシントン体制と幣原外交及び田中外交、満州事変と国際的孤立化、国際体制の現状打破、日中戦争、太平洋戦争などについて論じ、国際協調から離脱していく世界新秩序の形成という対外路線を検討する。

〔参考書〕入江 昭『日本の外交』（中公新書）

池井 優『日本外交史概説』（慶応通信）

## 東洋史特講Ⅰ（古代）

う つぎ あきら  
宇 都 木 章

春秋時代の歴史の潮流の概要を解説する。特に東部の齊・魯地域及び東北部の燕地域の政治と文化の展開に注目を行い度い。

## 東洋史特講Ⅳ（中世）

いし      だ      はじめ  
石      田      肇

〈金石学〉をテーマとして講義します。金石学とは金属や石にほどこされた文字や文章、つまり金石文、あるいはそれら金属や石を研究対象とします。金石文は史料ですので、金石学は文献学ともいえます。中国の金石を主な対象としますが、身近な日本のそれらもとりにあげることとします。講義内容は金石学の大綱を示したうえで、中・日の金石学研究の歴史を考え、ついで具体的な対象（石碑・墓誌・梵鐘・仏足石など）をとりあげます。拓本をとったり、拓本を読むことをします。身近な金石に関心をもってもらうためにレポートしてもらうことも考えています。

〔教科書〕なし

〔参考書〕講義中に示します。

## 東洋史特講Ⅶ（近世）

の      ざわ      よし      み  
野      沢      佳      美

本講義では、10世紀以降の宋・元・明時代における中国と日本との交流を、中国側の史料から概観し、とくに文化交流を中心に見ていく。教材等は開講時に指示する。

## 東洋史特講Ⅹ（近・現代）

あん      どう      まさ      し  
安      藤      正      士

前期に「西安事変研究」、後期に「文化大革命研究」をおこなう。

### 1. 西安事変研究

はじめに一問題の提起、①西安事変にかんするこれまでの研究、②1930年代の中国政治外交政策、③西安事変、④「三位一体」体制の崩壊、⑤国民党3中全会、おわりに

### 2. 文化大革命研究

はじめに一問題の提起、①毛沢東の神格化、文革の綱領、②尊権闘争の展開、③新しい社会のヴィジョンと現実、④対外関係、⑤林彪事件、⑥近代化論争、おわりに

〔参考書〕安藤正士・太田勝洪・辻 康吾

『文化大革命と現代中国』（岩波新書）1986

## 東洋史特講Ⅺ（近・現代）

わた      なべ      おつし  
渡      辺      惇

近代中国民衆結社史。近代化中国における民衆史、社会史を理解する一環として、秘密結社（会党・幫会・黒社）をとりあげ、その発生、発展、組織の特色、時代背景等について講義する。

〔教科書〕特に定めない。

〔参考書〕酒井忠夫『中国民衆と秘密結社』

（ユーラシア文化史選書）

（吉川弘文館）¥1,900

## 東洋史特講Ⅻ（周辺史）

かた      おか      かず      だ  
片      岡      一      忠

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方へ伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係で知られるが、他面、中国にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、中国と西域の関係の歴史の変遷をみていき、今日の中央アジア情勢に及びたい。（授業の中で資料を配布する）

## 東洋史特講Ⅻ（周辺史）

な      ら      しゅう      いち  
奈      良      修      一

16・7世紀、東シナ海の西には、明・清王朝があり、東には、江戸幕府が成立した。それぞれに海上貿易と政府が統制するようにつとめた。しかし、実際には、民間人による貿易活動が盛んであった。中国・日本・ヨーロッパの史料に基づき、立体的な東アジア交易史を探っていく。

参考文献等は必要に応じて、授業時に紹介する。

## 西洋史特講Ⅰ

は      せ      がわ      たけ      お  
長      谷      川      岳      男

西洋史を専攻する学生諸君は、将来に備えて語学力を養うことが望まれる。この特講Ⅰでは、平易な英文をテキストとして、西洋史の概説的知識を身につけるよう、演習形式をとる。新2年生および昨年度履修できなかった西洋史専攻希望の3年生は必ず出席すること。テキストは第1時限目に指示する。

### 西洋史特講Ⅲ

みこだ とし お  
三小田 敏 雄

今年度は地域と文化の関係に焦点を合わせながら、ヨーロッパの文化を歴史的に展望したい。幸いジョーダンの名著が邦訳で入手できるので教科書として使用する。同書中の統計や表・図版は将来西洋史研究にたずさわるものには有用である。ヨーロッパ各地域の地域類型を学習しながら、世界の諸文化の中でヨーロッパ文化がどのような地域性を示しているかという問題意識を持って、日本文化との比較も忘れないで進めて行きたい。

〔教科書〕T. G. ジョーダン著、山本・石井訳  
『ヨーロッパ文化』大明堂¥5,300

### 西洋史特講Ⅳ

さ さ き まこと  
佐々木 真

西洋史を学ぶにあたっての基礎的な力を養成することを目的とし、演習形式で授業を実施する。具体的には、やや難易度の高い英語文献の講読、日本語文献の討論形式での検討、研究文献や歴史上の固有名詞の調査方法などを取り扱う。対象の時期は近代史が中心となるが、受講者の専攻はこれに限定しない。2、3年生が受講することが望ましい。授業内容が豊富で、各人に対する課題も多いことが予想されるので、受講した場合には積極的に授業に参加することが不可欠となる。

### 考古学特講Ⅱ

たか はま しゅう  
高 浜 秀

ユーラシア大陸の北を横切って、西はハンガリア平原から東は中国の北の大興安嶺まで続く草原地帯には、古来、南方の農耕地帯とは異なった独特の文化が栄えていた。初期鉄器時代になるとここには騎馬による遊牧が行われ始め、スキタイ系文化と呼ばれる互いにきわめて共通点の多い幾つかの文化が成立することになる。講義では、特に中国北辺を中心に、青銅器時代から、スキタイ系文化の成立、発展に至る過程を考えていきたい。

### 考古学特講Ⅳ

い い じま たけ つぐ  
飯 島 武 次

中国青銅器文化の研究。夏・殷・兩・周の考古学的

研究を講義する。

〔参考書〕飯島武次『夏殷文化の考古学研究』  
(山川出版社)1985年 ¥7,000  
飯島武次『中国新石器文化研究』  
(山川出版社)1991年 ¥11,000

### 日本仏教史Ⅲ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

仏教の歴史の流れを概観し、のちに平安後期から江戸期にかけての仏教と社会・文化とのかかわりについて講述する。とくに鎌倉仏教の成立と展開、仏教諸宗派の僧侶・寺院と地域社会とのかかわり、都市景観と寺院、一向一揆・無縁所寺院と戦国大名、近世においていかにして寺院が寺請制度を担うるまでに至ったかの問題、寺院と檀家等について考察する。その際には、各地の寺院が所蔵する古文書・過去帳・授戒会帳・墓石史料等も提示しながら行うことにする。

〔教科書〕史料はコピーして随時配布する(無料)

〔参考書〕黒田俊雄著『寺社勢力—もう一つの中世社会—』(岩波新書)  
網野善彦著『無縁・公界・楽』  
(平凡社選書)  
井上鋭夫『山の民・川の民』(平凡社選書)

### 日本文化史Ⅰ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

日本文化の流れを概観し、平安期末から江戸期にかけての文化について講述する。とくに中世文化の成立過程とその展開、北山・東山文化、禅宗と文化、下剋上の世と民衆文化、安土桃山文化と寛永文化、元禄文化、化政文化等について考察する。

### 西洋文化史Ⅰ

さ さ き まこと  
佐々木 真

今日、私たちがイメージする西洋文化とは、主に19世紀から20世紀にかけて、知識人たちの影響下で形成された、近代文化のことであろう。しかし、最近のヨーロッパ史研究では、前近代社会や民衆世界においては、今日と異なった文化が存在したことが指摘されている。本講義では、西洋の民衆文化を題材として、中世末から近代にかけての文化変容の問題を考えてみたい。具体的には、民衆の生活様式(人口動態、家族・労働形態、女性や子供の地位)や知の世界(読書行為、識字)、民衆の心性(価値規範、死生観)などを手がかりとして民衆の文化世界を考察する。教科書は特に

指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。

### 西洋文化史Ⅲ

みこだ とし お  
三小田 敏 雄

本年度は下記の教科書を使用して、〈西欧的結婚パターン〉や〈ライフ・サイクル奉公人〉というような西欧の特徴を通してヨーロッパの家族関係の変遷を辿りながら、文化の諸相におけるその具体的表現を学んで行く。

〔教科書〕ミッテラウア／ジューダー『ヨーロッパ家族社会史』（名古屋大学出版会）¥2,472

### 考古発掘実習

ち ば もと つぐ  
千 葉 基 次

一般的に言えば、考古学は机上の実習の一方で、遺跡を調査するための技術も必要とする。十分な技術は、一回の実習で身に付くと思えないが、いつの場合も基本・基礎の変わることはない。学友とこの基礎を、汗と泥にまみれて野外実習する経験も良いでしょう。新学期第1回目授業は、必ず出席のこと。又、発掘実習には30日以上参加すること。

### 考古学実習（写真）

すず き あき お  
鈴 木 昭 夫

前期に於ては、講義を主体とし随時実技実習を組み込み写真基礎技術をマスターし、後期には、実技を中心とし特殊写真特に考古、美術写真の撮影及び暗室技術の習得を目ざす。年度第1週目の講義に必ず出席のこと。

尚夏期に於て、発掘現場写真撮影の実習を行なう事も考慮している。

〔参考書〕鈴木昭夫他共著『研究者のための資料写真の撮り方』（理工学社）

### 考古学実習（測量）

くり やま ゐのる  
栗 山 稔

遺跡調査等において必要となる測量の基礎知識と技術取得、特に後者に重点を置き講義・実習を行う。夏休みに3～4日の集中実習に参加することが必要である。年度第1週目の講義に必ず出席のこと。

〔教科書〕壇原 毅著『測量の基礎』（山海堂）

### 考古学実習（石器）

た なか ひで し  
田 中 英 司

石器研究の基礎である石器の観察と石器実測図についての講義を行う。石器の研究史と実測図の歴史、石器製作と打撃の原理、投影法、表現法等の基本的知識と、それをふまえた実技を通して、考古資料の記録と観察法を学ぶ。

〔教科書〕プリントを配布する。

### 考古学実習（土器）

さか い まよ じ  
酒 井 清 治

出土遺物である「もの」の調査は考古学の基本であるとともに、その後の研究の基礎資料となる。出土遺物の一つである土器を通して、実測の目的および基礎技術、観察の方法などを理解できるようにする。

〔参考書〕大井晴男著『野外考古学』（東京大学出版会）

『発掘調査の手びき』（国土地理協会）

服部敬史著『発掘と整理の知識』

（東京美術）

『考古学調査研究ハンドブックス 2. 室内編』（雄山閣）

### 地誌学

お だ まさ やす  
小 田 匡 保

日本の諸地域については中学で、世界の諸地域は中学と高校で、それぞれ浅く広く学習されているはずである。本講義ではヨーロッパに焦点をあて、地域の地理学的見方について考えてみたい。高校の時のものでよいから、地図帳を持参すること。

〔参考書〕T.G. ジョーダン著（山本・石井訳）

『ヨーロッパ文化』（大明堂）¥5,300

### 地誌学

かわ もと とよ かず  
川 元 豊 和

前半では地誌学の基本的な枠組について説明したい。また後半ではアジアの村落に的をしぼり、農業と村落の変化の様相を明らかにしようと思う。

〔教科書〕プリントを配布する。

## 地誌学

はし づめ なお みち  
橋 詰 直 道

前半は、地域の捉え方、地域区分、自然環境と人間の関係など地理学の基礎と地誌的な地域の見方を中心に学ぶ。

後半は、主に都市と農村の変容について、動態地誌的な事例研究成果を紹介し、地理的空間構造とその変容過程を学ぶ。

教科書は特に定めず、講義はプリント中心に行う。参考書は講義の中で紹介する。

## 人文地理学概説

こ ばやし こう じゅ  
小 林 高 壽

教職のための人文地理学を概説するのである。そのために①人文地理とは何か（本質論）②人文地理をどう教えるか（教授論）③教える立場と教わる立場の考察（教育論）④人文地理の基盤となるべき自然地理の内容はどうなっているか（体系論）⑤自然環境及び社会環境とは（相互作用論）⑥地図と地理統計をどう読むか（教材論）⑦地理学にあらわれてくる人物をどうとらえるか（主体論）⑧人文地理の教育と研究について（教養論）等にわたって講述したい。

地図帳と最新地理統計（小冊子になっている）は持参して貰いたい。

〔教科書〕長谷川典夫編著『教養のための地理学テキスト』（大明堂）¥2,800

〔参考書〕高校用地図帳（アトラス）と、二宮書店編『地理統計』

## 歴史地理学

なか しま ぎ いち  
中 島 義 一

一般の人文地理学では現在の事象を扱うが、歴史地理学では歴史時代の事象を対象とする。その点歴史学と共通するが、見方考え方は地理学の立場に立つ。学問分類上は地理学に属するが、実際には地理学と歴史学の接点という性格が強い。本講義では地域的には国内に、時代的には近世・近代に限定し、交通・集落等を取り上げて行く。この科目履修の機会に地理学科の人は歴史学に、歴史学科の人は地理学に親しんでほしい。

〔教科書〕山崎謹哉編『近世歴史地理学』（大明堂）¥2,400

## 哲学史

まる やま とよ き  
丸 山 豊 樹

この講義「哲学史」の内容は「近世哲学史」である。しかし、近世哲学も古代および中世の哲学の発展・展開であるから、まず始めに古代・中世の哲学を概観した後で、近世哲学を論ずることにする。

「イギリス経験論」と「大陸合理論」によって、近世哲学の歴史は開始されるが、それはカントの「批判哲学」によって総合され、後さらに幾多の曲折を経て、現代の哲学に結実する。それらの哲学の特色を捕らえて、現代の哲学と科学との関連を考慮しながら講義を進めたい。

〔教科書〕国嶋一則編『西洋哲学の展開』（公論社発行）

## 歴史哲学

あ そう けん  
麻 生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で、歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を、「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは、今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが、そもそもは「他者理解」の問題、「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）¥2,500

## 美術史概説

なか しま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では日本の原始時代から平安時代までの美術を、後期は鎌倉時代以後（できれば江戸時代まで）の美術を、時代の中で紀伝風にテーマ仕立てに分類し（例えば「明日香村の石造物」、「浄土教の美術」など）スライドなどをとおして考察し、それぞれの問題点も検討する。

〔教科書〕久野 健他『美術史〈日本〉』（東京堂出版）¥2,000

〔参考書〕その都度指示する。

## 西域美術史

まつ なら みわ こ  
松 平 美和子

西域から西アジアの遺跡から出土した美術品を東西美術交渉史の視点からながめ、いわゆるシルクロードの美術を考察しようとするものである。今年度はアフガニスタンの首都カーブルの北に位置するクシャーン

朝の都の遺跡から出土した多様な遺宝を中心に、東西の美術をとりあげたい。(スライド使用)

〔教科書〕特に定めず、プリントを使用する。

## 仏教美術

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では仏教美術のルーツをインドに求め、その誕生の経緯と東漸のあとをたどり、その図像学的な解釈と信仰思想との関係、仏陀の伝記などを考察する。

後期は中国・朝鮮を経た仏教美術が、日本伝来後変容していく姿を、信仰思想の変遷とあわせて観察する。(スライド併用)

〔教科書〕佐和隆研編『仏像案内』

(吉川弘文館) ¥1,900

〔参考書〕その都度指示する。

## 中国歴史文学

なか むら しょう へち  
中 村 璋 八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕『五行大義』(明德出版) ¥2,300

## ラテン語特講

さ とう くみ こ  
佐 藤 玖美子

この講座は、英米語をはじめとする現代ヨーロッパの言語のより良い理解者となるための、古典ラテン語の基礎知識の習得、特に文法規則を学び、動詞、名詞の変化に慣れることを目的としています。また平行して、やさしいラテン語で書かれた読物の講読も行いたいと思います。

〔教科書〕松本悦治著『ラテン語入門』

(駿河台出版社)

〔参考書〕田中秀央編『羅和辞典』(研究社)

## 日本民俗学

たに ぐち みぎ  
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて傳承されてきた習俗・習慣の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにしたい。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## 有職故実

おお つか ひで こ  
大 塚 英 子

平安貴族社会の文化について、儀式書・有職故実書に記されている儀礼・年中行事や服飾の制度を詳説し、物語や絵巻に描かれる風俗との関係を考察する。

〔教科書〕河籍実英『有職故実』(塙書房) ¥1,900

奥平英雄『源氏物語絵巻』

(保育社) ¥1,000

他、プリント使用

# 社会学科

## 基礎教育科目

社会学概論(山本 康正) .....	163
社会福祉原論(伊藤 秀一) .....	163
心理学概論(篠原 英壽) .....	163

## 専門教育科目

社会統計学(前期:三重野 卓) (後期:川崎 賢一) .....	163
社会学史(安藤 喜久雄) .....	163
社会学方法論(安田 雪) .....	163
社会調査(川本 勝) .....	164
社会調査実習(江上 渉・山本 康正) (前期:坪井 健) (後期:川崎 賢一) .....	164
マスコミュニケーション(川本 勝) .....	164
産業社会学(安藤 喜久雄) .....	164
都市社会学(江上 渉) .....	164
農村社会学(江上 渉) .....	164
家族社会学(岩上 真珠) .....	165
法社会学(小林 弘人) .....	165
宗教社会学(芳賀 学) .....	165
社会心理学(前期:坪井 健) (後期:穴田 義孝) .....	165
社会病理学(山本 康正) .....	165
外書講読Ⅰ(山本 康正) .....	165
社会学特講Ⅰ(橋爪 敏) .....	166
社会学特講Ⅱ(山本 康正) .....	166
社会学特講Ⅲ(前期:三重野 卓) (後期:川崎 賢一) .....	166
社会学原論(渡辺 源樹) .....	166
図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	166
図書館学Ⅱ(源 昌久) .....	166
法学(福祉)(鷓徳 啓登) .....	167
社会福祉調査論(坂田 周一) .....	167
社会福祉援助技術総論(高橋 重宏) .....	167
社会福祉援助技術各論ⅠA (ケースワーク論)(柏女 靈峰) .....	167
社会福祉援助技術各論ⅠB (グループワーク論)(川延 宗之) .....	167
社会福祉援助技術各論ⅡA (コミュニティ・ワーク論)(川延 宗之) .....	168
社会福祉援助技術各論ⅡB (社会福祉調査技法)(小林 昭二) .....	168
リハビリテーション論(原田 信一) .....	168
社会福祉計画論(川延 宗之) .....	168

家族福祉論(高橋 重宏) .....	168
児童福祉論(柏女 靈峰) .....	168
障害者福祉論(原田 信一) .....	169
老人福祉論(東條 光雅) .....	169
地域福祉論(和田 敏明) .....	169
公的扶助論(伊藤 秀一) .....	169
医療福祉論(春見 静子) .....	169
婦人福祉論(林 千代) .....	170
保健福祉論(安梅 勅江) .....	170
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ(伊藤 秀一) .....	170
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ(伊藤 秀一) .....	170
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ(東條 光雅) .....	170
社会福祉援助技術演習Ⅰ(東條 光雅) .....	170
社会福祉援助技術演習Ⅰ(益満 孝一) .....	170
社会福祉援助技術演習Ⅱ(東條 光雅) .....	171
社会福祉援助技術演習Ⅱ(益満 孝一) .....	171
社会福祉調査実習(東條 光雅) .....	171
社会福祉学特講Ⅰ(児童)(長谷川 重夫) .....	171
社会福祉学特講Ⅱ(老人)(長浜 恭子) .....	171
社会福祉学特講Ⅲ(障害児・者)(安梅 勅江) .....	171
社会福祉学特講Ⅳ(相談・援護)(北島 英治) .....	171
社会福祉学特講Ⅴ(保健・医療)(ベング, イト) .....	172
社会保障論(坂田 周一) .....	172
社会福祉発達史(林 千代) .....	172
社会福祉外書講読(ベング, イト) .....	172
海外社会福祉論(中野 いく子) .....	172
社会学(福祉)(橋爪 敏) .....	172
心理学(福祉)(井上 孝代) .....	172
医学一般(小林 臻) .....	173
介護概論(石黒 チイ子) .....	173
心理学史(寺岡 隆) .....	173
心理統計学(篠原 英壽) .....	173
心理学実験(実習)(篠原 英壽・小野 浩一 谷口 泰富・茅原 正) .....	173
心理学研究法(小野 浩一) .....	173
基礎心理学Ⅰ(人格)(谷口 泰富) .....	173
基礎心理学Ⅱ(発達)(篠原 英壽) .....	174
基礎心理学Ⅲ(学習)(小野 浩一) .....	174
基礎心理学Ⅳ(社会)(萩原 滋) .....	174
基礎心理学Ⅴ(臨床)(中村 昭之) .....	174
心理学研究Ⅰ(実習)(寺岡 隆) .....	174
心理学研究Ⅱ(実習)(茅原 正) .....	174
心理学研究Ⅲ(実習)(中村 昭之) .....	174
心理学研究Ⅳ(実習)(篠原 英壽) .....	174
心理学研究Ⅴ(実習)(小野 浩一) .....	175
心理学研究Ⅵ(実習)(谷口 泰富) .....	175
生理心理学(谷口 泰富) .....	175
環境心理学(山本 多喜司) .....	175
情報処理Ⅰ(大塚 秀治) .....	175
情報処理Ⅱ(牧野 晋) .....	176
児童心理学(横山 剛) .....	176
産業心理学(高橋 誠) .....	176
カウンセリング(鈴木 順一) .....	176
心理検査法Ⅰ(森山 敏文) .....	176

心理検査法Ⅱ（森山 敏文）	177
禅心理学（茅原 正）	177
心理学特講Ⅰ（佐々木 雄二）	177
心理学特講Ⅱ（林 潔）	177
心理学特講Ⅲ（讃岐 真佐子）	177
精神医学（柴田 出）	177
社会政策（光岡 博美）	178
民法（叶 和夫）	178
労働法（浜村 彰）	178
行政法（鷄徳 啓登）	179
経済原論（浅野 克巳）	179



# 社会学科

## 基礎教育科目

### 社会学概論

やま もと やす まさ  
山 本 康 正

社会学の考え方と研究方法について、具体的事例をとり上げながら概述する。

〔教科書〕『社会学への招待』倉沢 進・川本 勝編  
(ミネルヴァ書房)

### 社会福祉原論

い とう しゅう いち  
伊 藤 秀 一

本講では、受講生がこれから社会福祉を学ぶ者であることに留意しつつ、まず、社会福祉の概念を整理することから始めたい。

次いで、社会福祉の生成過程、制度的なしくみ、各分野の現状に論及する。

さらに、社会福祉の今日的課題を講述し、一応の体系的な把握に努めたい。

〔教科書〕仲村優一著『社会福祉概論』  
(誠信書房) ¥1,700

### 心理学概論

しの はら えい じゅ  
篠 原 英 壽

この講座は基礎教育科目に組み入れられているが、専門科目であるので、心理学の関与している問題を全般的に取上げたい。そこで、心理学とはどのような学問か。その研究方法・研究対象、及び意義について講義し、さらにこれまでの研究成果をもとに具体的事例に即して、上述したこととの関連を紹介したい。

〔教科書〕『心理学概説』(八千代出版)

## 専門教育科目

### 社会統計学

み え の たかし  
(前期) 三 重 野 卓  
かわ さき けん いち  
(後期) 川 崎 賢 一

社会調査を企画・実施し、調査結果を集計・分析するための、知識と技術を習得することを目的とする。前半は、①社会調査のプロセス、②記述統計の理解、③ワープロソフトの基本操作、を目指す。後半は、①クロス集計、②統計的検定、③多変量解析、等の、分析法を中心にする。

いづれにしろ、出席を前提として、簡単なテストやパソコン実習なども、平行して行なう予定である。

〔参考書〕D. ロウンダリー (加納 (訳))  
『涙なしの統計学』(新世社)  
ボーンシュテット, ノーキ  
(海野・中村 (訳))『社会統計学』  
(ハーベスト社) 1990年 ¥2,987

### 社会学史

あん どう きく お  
安 藤 喜久雄

過去から現代に至る主要な社会学理論を概観する。とくに、社会学理論の中において現代に大きな影響を与えている主要な理論を中心に講義を進める予定である。

〔教科書〕児玉幹夫編『社会学史の展開』  
(学文社) ¥2,500

### 社会学方法論

やす た ゆき  
安 田 雪

社会学に於いては、しばしば社会構造という言葉が用いられているが、この言葉ほど実は人により様々な用い方がなされてきた概念はないと言って良い。にも拘らず、社会の構造という概念は、社会の安定した状態のみならず変化を考える為にも不可欠である。本講に於いては、従来行われて来たいくつかの定義を比較

検討し、更にそれらをいくつかの調査結果に適応し、より満足すべき定義を試みる。  
〔参考書〕その都度指示する。

## 社会調査

かわもと まさる  
川 本 勝

社会調査は、社会的現実を科学的、実証的に把握、分析するための研究方法である。それは、直接現地調査によってデータを蒐集し、分析することに特色がある。

そこで、まず社会学理論と仮説と社会調査との関係を考察し、社会調査の手順にしたがって講義を進める。社会調査実習で具体的なテーマのもとに調査を実施するので、実習とのかねあいを配慮しながら、調査を実施する上で特に注意しなければならない点やデータ蒐集の技法、データの読み方、検定の仕方などを検討する。特に、前期は、パソコンを使ってのデータ集計、分析方法をマスターする。

## 社会調査実習

え かみ わたる やまもと やす まさ  
江上 渉・山本 康正  
(前期 : 坪井 健)  
(後期 : 川崎 賢一)

社会調査の技法をマスターすることを目的として、主として統計調査の実習を行う。まず社会調査の手順をひとつひとつ理解した上で、仮説の検討、質問文の作成、調査票の設計、データの収集(実査)、集計、分析、報告書の作成の一連の作業を実施する。

データの集計及び解析には、コンピュータを使用する。

尚、調査実習は、通常の講義科目とは異なり、実際の作業を通じて社会調査の技法を修得することが目的なので、遅刻、欠席は厳しくチェックする。

〔参考書〕その都度指示する。

## マスコミュニケーション

かわもと まさる  
川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを

含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようなかわりをもっているか、社会学的に分析する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 産業社会学

あん どう きく お  
安 藤 喜久雄

産業社会学の主要領域 — 組織、企業経営と労働者生活および労働者意識、労使関係、労働組合、職業・産業と社会、などについて概観し、そこでの社会学的諸問題が現代人にとってどのような意味をもっているか検討する予定である。

〔教科書〕安藤喜久雄他『産業社会学』  
(学文社) ¥2,500

## 都市社会学

え かみ わたる  
江 上 渉

次の様な内容で講義を進める予定である。

1. 都市社会学の誕生  
シカゴ学派の人間生態学から、都市社会学の誕生へ(パーク、バージェス、ワースの所論を中心に)
2. 都市社会学の興隆  
わが国における都市社会学の受容と発展(都市化論、都市類型論、都市分類研究、町内会論、生活構造論など)
3. 都市社会学の展開  
70年代以降のコミュニティ研究を中心に、都市化社会から都市型社会への変動を分析する  
〔教科書〕特に使用しない  
〔参考書〕その都度指示する

## 農村社会学

え かみ わたる  
江 上 渉

農村社会学を学ぶ目的は二つある。一つは、農村(村落)社会の中に日本社会の基底な構造を発見することである。「家」と「村」が原理となって構成される農村(村落)社会の構造は、今日の日本社会を理解する上でも重要である。もう一つの目的は、農業という産業と農村社会の関係を考えることである。戦後50年の間に、日本の農業、農村は大きな変動を経験してきた。この流れを追いながら、今後の農業と農村のあり方を考えてみたい。

前期には、「家」と「村」を中心に農村(村落)社会の構造について講義し、後期には戦後50年間のわが

国の農業、農村の変動について講義する。  
 〔教科書〕前期：鳥越皓之『家と村の社会学』  
 （世界思想社）¥1,600  
 後期：蓮見彦彦『苦悩する農村』  
 （有信堂）¥2,060

## 家族社会学

いわ かつ ま あり  
 岩 上 真 珠

家族はこれまで、主要で基礎的な社会集団だといわれてきた。しかし今日、少産・少子化・核家族化・女性の就労・長寿化とライフサイクルの変化といった社会現象の諸変化にともなって、結婚の意味、子育ておよび子どもの教育、親子関係・夫婦関係のあり方、老後生活の送り方などをめぐって、改めて家族の意義が問われている。

講義では、われわれの人生と家族とのかかわりを通して、「家族とは何か」について、高齢化社会や福祉社会の動向をふまえながら考えてみたい。できるだけ、リアルタイムでの家族現象に迫ってみたいと思う。

〔教科書〕高島・岩上・石川共著『生活世界を旅する  
 —ライフコースと現代社会』¥2,400

〔参考書〕有地 亨著『家族は変わったか』  
 （有斐閣選書）¥2,060

## 法社会学

こ ぼし ひろ ひと  
 小 林 弘 人

前期は、法社会学の基礎理論（学説の説明が中心になる）の解説、後期は、法と社会の関連について、具体的テーマを設定して講義する予定である。

その他、諸般のことからについては、講義初日に説明する。

〔教科書〕及川 伸著『法社会学入門』（新版）  
 （法律文化社）

〔参考書〕六本佳平著『法社会学』（有斐閣）

## 宗教社会学

は が まなぶ  
 芳 賀 学

現代日本は、第三次宗教ブームの渦中にあるといわれている。特に、青少年は、宗教現象に高い関心を見せている。この講義では、この宗教ブームの諸現象の紹介とその背後にある社会的背景・心理構造の解説を行うこととする。ジャーナリスティックな批判に反して、宗教現象に関与する人々の理解を中心に捉えつつ、その上で再度考察を加えていく。取り上げる予定の現象は、新新宗教・占い・自己啓発セミナー・エステ等。

中には宗教の日常的なイメージには入らないものも含む。さらに、対比すべき対象として、新宗教・共同体の宗教も取り上げる。講義の中で適宜ビデオ映像を取り入れ、イメージをより喚起してもらうよう留意することとする。

〔教科書〕芳賀 学・弓山達也

『祈る ふれあう 感じる』IPC ¥1,000

〔参考書〕開講時以降に指示する

## 社会心理学

（前期）つば い つよし  
 坪 井 健  
 （後期）あな だ よし ゆき  
 穴 田 義 孝

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会学的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理（行動）に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理（行動）に関心を持ち、社会過程を重視する社会学的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的としたい。

〔教科書〕穴田義孝編『こころ・行動そして社会』  
 （人間の科学社）

## 社会病理学

やま もと やす まさ  
 山 本 康 正

前期には、社会病理現象の分析に使用されてきた諸理論を歴史的に概観する。後期には、犯罪、非行、公害といった具体的な病理現象について、わが国の現状を明らかにする。教科書は特に指定しないが、参考文献については講義の中で随時指示する。

## 外書講読 I

やま もと やす まさ  
 山 本 康 正

次の三点を目標として、英語の社会学概論書を講読する。

- (1) 社会学の専門用語の習得。
  - (2) 専門書や論文特有の言いまわしの習得。
  - (3) アカデミックな英文の構成法についての理解。
- テキストについては、受講者と相談の上決定する。

〔教科書〕受講者と相談の上決定。

## 社会学特講 I

はし つめ さとし  
橋 爪 敏

政治社会学的諸問題について取り扱うことになる。政治社会学は、政治現象について社会学的アプローチを試みる一分野である。したがって、社会学の対象としての人間諸関係の政治的側面とそれ以外の社会的諸側面との関連が問題となる。

本講では、政治社会学とは何か、大衆民主主義社会の状況、大衆とエリート、政治（社会）運動、政治的社会化といった問題を取り上げたい。

“特講”と名づけられているが、講義形式ではなく、参加学生諸君の主体的研究を促す意味において、1～2冊の専門文献の講読とそれに関わるディスカッションを行うことになる。成績は、出席状況、報告内容、前期・後期のレポートによって総合的に評価する。意欲的な参加が望まれる。

〔教科書〕参加学生との相談によって決定する。

## 社会学特講 II

やま もと やす まさ  
山 本 康 正

災害の社会学的な研究について、その歴史と現状を講義する。前期には、災害全般について、その本質論、意識論、及び災害現象分析のための理論的枠組みについて講義する。後期には、いくつかの具体的な災害事例をとりあげて、人々の行動特性や組織的、地域的な対応について検討する。教科書は特に指定しないが、参考文献については講義の中で随時指示する。

## 社会学特講 III

（前期） み え の たかし  
三 重 野 卓  
（後期） かわ さき けん いち  
川 崎 賢 一

前期は、三重野が「生活の質」と文化について講じる。予定としては、①社会変動と「生活の質」、②「生活の質」の概念と論理構成、③文化の在り方と「生活の質」、④システム・人間観、⑤計画化と文化・生活様式、⑥共生と生活様式、等を考えている。

〔教科書〕三重野 卓『〈生活の質〉の意味』

（白桃書房）1990

後期は、川崎が、情報化と現代文化について講じる。具体的には、①情報化について、②情報化による文化変容、③情報化と現代日本文化、の3つについて講じる予定である。

〔参考書〕川崎賢一『情報化と現代日本文化』

（東京大学出版会）1994

## 社会学原論

わた なべ もと き  
渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 図書館学 I

やま さき けい こ  
山 崎 慶 子

小学校、中学校、高等学校等各々の学校の教育目標を達成するために学校図書館はなくてはならぬ設備である。

人格形成期にある児童生徒たちが多くの事を学び教養や趣味を豊かに育てるためには、教科書の他にたくさん資料が必要となる。児童生徒たちが生涯にわたって学ぶことの面白さを知る魅力ある学校図書館はどうあるべきか、そのためにはどのような研究や工夫が必要か。学校図書館を預かり教員の中心的存在として活躍する司書教諭の職務内容全般について、特に読書指導の意義及び資料利用の技能育成について考察を深めたい。

前期講義は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」「図書館資料の選択」、後期は「学校図書館の利用指導」「読書指導」。

〔教科書〕図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』改訂版（学芸図書）¥1,442

## 図書館学 II

みなもと しゅう きゅう  
源 昌 久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、主として資料組織法（分類法・目録法）について論じる。前期には分類法、後期には目録法を講じ、各々の概念的フレーム・ワーク、基本的規則およびコンピュータとの関連等について言及する。開講時に詳しいシラバスを示す。

〔教科書〕もり・きよし原編『日本十進分類法新訂8版』（日本図書館協会）

日本図書館協会目録委員会編

『日本目録規則1987年 改訂版』

（日本図書館協会）

## 法 学 (福祉)

はい とく ひろ とう  
鶏 徳 啓 登

我国の福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の法令に基づいて国家によりなされている。そこで本講義は、テキストに従い、まず憲法の意義・原理原則を一通り説明し、次に各福祉法に共通する行政法総論をやり、最後に福祉六法を各論的に行う予定である。

〔教科書〕小林弘人編著『社会福祉のための法人門』  
(川島書店)

〔参考書〕福祉六法等教場にて説明します。

## 社会福祉調査論

さか た しゅう いち  
坂 田 周 一

本講義では、社会福祉の分野でなされる調査の特質をおさえた上で、調査ならびに統計に関する基本的な知識・技術について講じてゆく。

本科目は、「社会福祉調査実習」に結びつき、実習前教育としても位置づけられるものであるため、調査技法に関しても具体的に展開するつもりである。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕随時紹介する。

## 社会福祉援助技術総論

たか はし しげ ひろ  
高 橋 重 宏

社会福祉援助技術総論(ソーシャルワーク実践)は、福祉専門職に必要な「福祉倫理」、「専門知識」、「専門技術」の基礎を学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャルワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャルワーカーの専門性等についての入門的解説を中心に展開したい。

さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャルワーカーになるための基礎理解を深め、福祉倫理や専門対人援助関係の形成の実際についても追求したい。

〔教科書〕福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術総論』(中央法規)¥2,500

高橋重宏他編『ソーシャル・ワークを考える』(川島書店)¥1,700

〔参考書〕社会福祉実践理論学会編『社会福祉実践基本用語辞典』(川島書店)¥2,000

## 社会福祉援助技術各論 I A (ケースワーク論)

かしま め れい ほう  
柏 女 霊 峰

直接援助技術における個別援助技術(ケースワーク)について概論的に理解し、さらに周辺領域の援助技術であるカウンセリング、心理療法についても学習を進める。

次に、児童に対する相談援助・ケースワークに焦点をあて、その中心的な実践機関である児童相談所に関する学習を進め、さらに、具体的事例(厚生省児童家庭局監修「児童相談事例集」より適宜選択)に当たりながら、児童に対する相談援助の実際について学習する。模擬面接、模擬ケース・カンファレンス等の体験学習を適宜採り入れ、また、事例検討においては、各事例の要点を学生に発表してもらって討議するなど実践的な学習の機会としたい。

〔教科書〕福祉士養成講座編集委員会編集

『社会福祉援助技術各論 I』

(中央法規)1992 ¥2,500

厚生省児童家庭局企画課監修

『児童相談所運営指針』

(財)日本児童福祉協会)1990 ¥2,000

〔参考書〕使用事例集は、別途作成し、配布予定。

厚生省児童家庭局監修『児童相談事例集』  
第17集～第26集(財)日本児童福祉協会)

## 社会福祉援助技術各論 I B (グループワーク論)

かわ てい ひと けい  
川 廷 宗 之

グループ・ワークは、ソーシャル・ワークにおける一つの専門技術と理解されるが、その原理および技術は単にソーシャル・ワークのみにおいて活用されているばかりではなく、生涯教育活動や企業内研修などにおいても広く活用されている。この科目では、そのグループ・ワークについて、原理となっているグループ・ダイナミクス理論、実際のグループ・ワーク実践上の各種の原理原則、そして、具体的実践における専門技術について、具体的な課題にもとづく演習を中心しつつ、講義や実験(授業内での)実習などの方法で学ぶ。なお、テキストとして、下記を使用するので留意されたい。

〔教科書〕① 改訂社会福祉士養成講座9『社会福祉

援助技術各論 I』(中央法規)¥2,500

② 大塚達雄他編著『グループワーク論』

(ミネルヴァ書房)¥2,000

## 社会福祉援助技術各論ⅡA (コミュニティ・ワーク論)

かわ さい もと ゆき  
川 延 宗 之

社会福祉実践を考える時、その実践のフィールドである地域をどう考え、その地域にどう取り組むかは、その実践の成否を左右する主要なテーマとなりつつある。そこで、この科目では、①地域福祉の諸課題、②地域福祉の目標、③地域福祉の主体と客体、④地域福祉と地方自治体、⑤地域分析の手法、⑥地域に取り組む方法と技術、⑦診断－計画－実行－評価、⑧留意すべき幾つかの事項、⑨当面する諸問題への対応、⑩基本的タームと論理、等について学ぶ事で、地域福祉の課題及びその実践方法技術について学ぶ。

〔教科書〕高森敬久著『コミュニティ・ワーク』

(海声社) ¥1,751

改訂社会福祉士養成講座10『社会福祉援助技術各論Ⅱ』

## 社会福祉援助技術各論ⅡB (社会福祉調査技法)

こ ばやし てる じ  
小 林 昭 二

この講義では社会福祉を考えてゆくのに必要な、調査と統計に関する知識と技法を説明する。

社会福祉に関する調査統計は、人口をはじめとして一般の世帯や、高齢者世帯、生活保護世帯、身体障害者等特定のニードを有するものなど、範囲がきわめて広い。

このような調査の実施や統計の分析が、どのようにして実証性と客観性を持ち得るかを、具体的に取扱う。

〔教科書〕『厚生統計テキストブック』

(厚生統計協会刊)

〔参考書〕教場で指示する。

## リハビリテーション論

はら だ しん いち  
原 田 信 一

リハビリテーション領域のなかで、学問的にいちじるしく遅れをみせているのが社会リハビリテーションであるといわれている。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも現実的で、しかも難解な社会福祉問題を抱えていることがいちじるしい遅滞をもたらす原因になっているといわれる。そこで、本講義はとくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践の方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕講義ノートによる。

〔参考書〕随時指示する。

## 社会福祉計画論

かわ さい もと ゆき  
川 延 宗 之

社会福祉が問題対応的なサービス提供から、予防福祉的な側面も強調されるに従って、そのサービス提供を組織的計画に行おうとする傾向が増してくる。この傾向の内容や課題そして方向について、ソーシャルワークの側面から、社会福祉政策の側面から、整理するとともに、その実際の計画内容や計画技法について学ぶのが、本講の課題である。なお、社会福祉計画は一国の計画として考える事は可能であるが、多くは社会福祉サービスの特徴上、特定のエリアにおける地域福祉計画として考える必要がある。本講では、以上の様な点について、指定するテキストを中心に、相互学習方式による学習を展開する予定。なお、受講予定者は必ず第1回を受講する事。

〔教科書〕① 高田真治『社会福祉計画論』

(誠信書房) 1979年 定価?

② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』

1980年(全国社会福祉協議会版) ¥2,800

③ 全社協編『地域福祉計画－理論と方法－』

1984年(全国社会福祉協議会版) ¥1,300

## 家族福祉論

たか ばし げい ひろ  
高 橋 重 宏

現代の家族生活の問題と課題を解説する。さらに、「家族」、「家庭」、「家庭機能」等の概念を整理するとともに、ファミリー・サービスのあり方についても北米における事例を紹介しつつ検討したい。

とくに国連が定めた国際家族年の原則、目的、スローガン等についても講述する。

## 児童福祉論

かわ め れい ほう  
柏 女 霊 峰

児童福祉とは、理想的には人格主体として理解されながら、実際には自分たちの立場を主張したり、それを守ることができない児童に代わって、国、地方自治体、保護者及び社会全体が、その生活と発達、自己実現を保障する活動の総体であると考えられる。

本講では、最新の資料に基づきながら、児童福祉の理念、児童を取り巻く環境、制度体系、サービスの現

状と課題、児童福祉の方法について論述するとともに、出生率の低下、児童虐待、不登校等の今日的・個別の課題についても言及し、現代社会とのつながりの中で児童の福祉について考えてみたい。

〔教科書〕 柏女霊峰『児童福祉論考』（仮称）  
（誠信書房）（近刊）

〔参考書〕 別途作成する『児童福祉資料集』をコピーの上、使用する予定。

## 障害者福祉論

はら だ しん いち  
原 田 信 一

わが国の障害者福祉の発展過程をその淵源に溯りつつ体系的に講ずる。内容面では、人権の認識を基盤においた正当性のある障害者観、そして今後、激動化によって惹起が予測される障害者問題発生メカニズムを究明する。さらに、その対応方法、政策ならびに処遇のあり方などに加え、欧米先進諸国における障害者福祉との対比から、わが国の障害者福祉に見直しを必要とする新たな課題構築点などに重点をおき講じた。

〔教科書〕 星野・藤村・原田・井田編『障害福祉論入門』（改訂版）（有斐閣）

〔参考書〕 (1) 原田・春見・佐藤著『新しい社会福祉の理論』（高文堂）

(2) 原田・吉田編『心身障害児（者）の心理・教育・福祉』（文化書房博文社）

## 老人福祉論

とう じょう みつ まさ  
東 條 光 雅

人口の急速な高齢化が進む中、家族形態・機能の核家族化と相まって、老後問題に対する社会的関心が非常に高まっている。老後問題は、今後一層の深刻化が予想され、老人福祉施策は近年流動的に変化している。わが国においては、約30年後に超高齢化社会の到来が予測されるわけであるが、現状改善という視点からだけでなく、長期的な展望と広い視座から老人福祉対策の在り方を考えてゆくことが必要である。

本講では、老人福祉施策の歴史の変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉サービスを考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の変化や、関連する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

〔教科書〕 冷水 豊・浅野 仁・宮崎昭夫編  
『老人福祉』第3版（海声社）¥2,000

〔参考書〕 三浦文夫編『図説高齢者白書1993』（全社協）¥2,800

## 地域福祉論

わ だ とし めき  
和 田 敏 明

地域福祉を基調とする社会福祉の転換が、地方分権化、社会福祉供給システムの多様化、責任主体の多元化を伴い進展している。平成5年度から、老人福祉法等8法改正の完全実施が行われ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。講義では、地域福祉の理念と内容、推進方法、地域福祉の現状について基礎理論を講ずるとともに、それを実践動向に即して深めたい。

〔教科書〕 改訂社会福祉士養成講座7『地域福祉論』（中央法規）¥2,500

〔参考書〕 永田幹夫著〈改訂〉『地域福祉論』（全国社会福祉協議会）¥2,060

## 公的扶助論

い とう しゅう いち  
伊 藤 秀 一

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

なお、テキスト等については開講時に指示する。

## 医療福祉論

はる み しず こ  
春 見 静 子

医療とは何か。医療の歴史、医療福祉の歴史、医療の分野で社会福祉援助活動を行うために必要な知識と技術を学ぶ。

1. 医療論 医療の概念、医療の場、与え手と受け手医療法、現代医療の問題点
2. 医療領域のソーシャルワーク 歴史、意義、機能、方法、機関
3. 医療ソーシャルワークの実際 事例を通して医療福祉の実際を学ぶ

〔教科書〕 山川哲也『臨床医療ソーシャルワーク』（誠信書房）¥2,500

## 婦人福祉論

はやし ちよ 代  
林 千 代

戦後のある時期登場した“婦人福祉”という概念は、いまだ成熟しているとはいえない。唯一、女性を対象としている社会福祉事業は、売春防止法に基づいて制度化されている婦人保護事業である。しかし、女性という特性ゆえに遭遇する生活上の困難は多様であり、何らかの解決策を必要としている。

売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の福祉阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題とした。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

〔教科書〕特になし。

〔参考書〕林 千代著『母子寮の戦後史』  
(ドメス出版)

## 保健福祉論

あん め とき え  
安 梅 勅 江

急速な人口の高齢化や国際化、地方の時代といった社会構造の大きな節目と相まって、福祉に対するニーズは大きく変貌してきており、わが国の保健・医療・福祉の諸領域は、今や連携から統合化の時代へと推移しつつあると言える。

従って、本講義では、人間の生涯における身体的・精神的・社会的に健康で豊かな生活を維持する原理及び方法論の希求を目的とした保健福祉学の理念に基づき、健康を基軸に据えた真の生涯福祉のあり方について理論的な整理を行う。さらに、学際的学問領域としての保健福祉学の概念、歴史、方法論を踏まえ、保健福祉の実践に根ざした体系につき概説する。

〔教科書〕日本保健福祉学会編 平山宗宏・高山忠雄  
監修『保健福祉学概論』(川島書店)

## 社会福祉援助技術現場実習Ⅰ

い どう しゅう いち  
伊 藤 秀 一

3年生での社会福祉援助技術現場実習の準備学習が中心となる。

社会福祉援助技術現場実習の意義を理解し、自己の実習分野を考え、かつ社会福祉実践の実態を把握することを目的に、グループ学習、現場の従事者らによる講義・講演等を行う。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ

い どう しゅう いち  
伊 藤 秀 一

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的展開内容は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」に基づいて行うことになる。

なお、本実習は、前年度末に学科が実施した選考試験に合格し、かつ、担当教員が許可した、学生が履修できる。

## 社会福祉援助技術現場実習Ⅱ

とう じょう みつ まさ  
東 條 光 雅

本実習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。実習の具体的展開は、「社会福祉士養成のための社会福祉援助技術現場実習指導マニュアル」に基づいて行なう。

なお、本実習は、前年度に学科が許可した学生が履修できる。

## 社会福祉援助技術演習Ⅰ

とう じょう みつ まさ  
東 條 光 雅

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格取得の指定科目の一つである。

社会福祉士(ソーシャルワーカー)の業務は相談・援助が中心となる。そこで、社会福祉士として必要な専門援助技法の体得が演習Ⅰ、Ⅱの課題となる。

具体的には事例研究やロール・プレイ(役割演技法)の方法をもちいる。

〔参考書〕追って指示する。

## 社会福祉援助技術演習Ⅰ

ます みつ こう いち  
益 満 孝 一

本演習Ⅰでは、ソーシャルワーカーが児童相談所などの社会福祉機関、養護施設などの生活ホームでの援助活動に重要なソーシャルワークの基本的な援助技法について体験的に学習する。さらに、専門職としてのソーシャルワーカーの援助態度について習得をめざす。

具体的には、ロールプレイ(役割演技法)、アサーション・トレーニングなどの方法を用いながら、個人がソーシャルワークの基本的な技法を習得できるようにしたい。さらに、事例研究などによって、クライアントのウェルビーイングの促進、自己実現への道を



専門職としてどのように支援・援助してゆくかを理解するとともに、その時のソーシャルワーカーの態度についても学べるようにしたい。

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 社会福祉援助技術演習Ⅱ

とう じょう みつ まさ  
東 條 光 雅

本演習は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。

演習内容の概要については、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」を参照せよ。

## 社会福祉援助技術演習Ⅱ

ます みつ こう いち  
益 満 孝 一

本演習Ⅱでは、社会福祉援助技術演習Ⅰを基にして、ソーシャルワーカーとして必要な自己覚知(Self-awareness)の促進を中心に行う。ソーシャルワーカーは他の専門職との協働の重要性が高まっているので、グループでの自己覚知を中心に上げたい。

具体的には、グループワークによる体験的学習を考えている。特にグループでの話し合いなどを中心に行う。この時、グループでの個人々のウェルビーイングの促進、自己実現への道に個人としてどのように関係してゆくかを体験的に相互学習したい。これよりソーシャルワーカーの態度について学ぶ。この基本的な体験をもとに、他の専門職との協働について学べるようにしたい。

〔教科書〕 特になし

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 社会福祉調査実習

とう じょう みつ まさ  
東 條 光 雅

本実習においては、実際に調査実査をすることによって、調査の企画・設計から集計・分析・報告書の作成に至る一連の作業を体得してもらう。集計・分析には、パーソナル・コンピュータを使う予定である。

具体的には、いくつかの班を作り、班ごとに社会福祉に関する調査を企画・設計してもらう。実査後、集計・分析結果をもとに報告書形式のレポート提出を各人に課す。

なお、パーソナル・コンピュータの使用法については、必要に応じて教授するので未経験だからといって心配する必要はない。

〔参考書〕 必要に応じて適宜紹介する。

## 社会福祉学特講Ⅰ

(児 童)

は せ がわ しげ お  
長 谷 川 重 夫

社会福祉・児童福祉の発達史のなかで最古の歴史をもち、児童福祉の原型ともいわれ、いまま児童福祉体系の中の児童入所施設の中核的位置にある養護施設を中心に、施設養護全般並びに里親養護の理念、歴史および具体的な方法論等について講述したい。

後半では、ケース研究を加え、また施設現場を見学しながら、理論と実践についての統合的理解が深まるようにしたいと願っている。

〔教科書〕 特定のものは使用しない。

## 社会福祉学特講Ⅱ

(老 人)

なが はま やす こ  
長 浜 恭 子

◦ 高齢化社会問題と老人福祉施設

◦ 施設ケアの特質とその課題

◦ 施設ケアの実際

主に痴呆性老人ケアとグループ活動

## 社会福祉学特講Ⅲ

(障害児・者)

あん め とき え  
安 梅 勅 江

障害児・者に対する保健福祉計画の策定が検討される等、障害児・者をめぐる社会環境の変化、生活の質的向上を意図したニーズの多様化に伴う支援のシステム化、統合化の重要性が強く認識されつつある。

従って、本講義では、障害児・者に対する支援を様々な関連分野の視点から総合的に捉える基本的な枠組みを学習するとともに、それらが実戦の場面においてどのように活用されるのか複数の施設機関の訪問により確認する。

〔教科書〕 『リハビリテーション論』

(川島書店) ¥2,000

## 社会福祉学特講Ⅳ

(相談・援護)

きた じま えい じ  
北 島 英 治

ケースワーク及びグループワーク等社会福祉実践方法について、特にその援助技法についての特殊講義。

ビデオによる対人援助場面を観ることで自由討議をする外、社会福祉実践事例の分析などを通して社会福祉実践方法としてのソーシャルワークの技法の習得することを目指す。

出来れば、ソーシャルワークとその隣接領域でもあ

るサイコセラピーらとの共通点、相違点について具体的事例、例えば医療の場におけるクリニカル・ソーシャルワーク心理療法の事例を用いて比較検討する。

教科書は使用しない。参考資料は適時配布（実費徴収の予定）

### 社会福祉学特講Ⅴ （保健・医療）

ペン グ， イ ト

日本、カナダ、イギリスのひとり親家庭の実態を中心に概説し、子どもと親のウェルビーイングを促進するためのソーシャル・サービス、保健サービス、医療サービスのあり方について論究する。

### 社会保障論

さか た しゅう いち  
坂 田 周 一

社会保障の理念、概念、歴史をふまえて、社会保障制度のしくみならびに運営を理解し、高齢化社会に対応できる社会保障制度の改政課題を考察する。

〔教科書〕古賀昭典編著『社会保障論』

（ミネルヴァ書房）¥2,600

### 社会福祉発達史

はやし ち よ  
林 千 代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他編『社会福祉事業発達史』

（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕随時紹介

### 社会福祉外書講読

ペン グ， イ ト

学生と相談のうえ、テキストを決める。

### 海外社会福祉論

なか の こ  
中 野 いく子

前半では、福祉国家を世界で最初に成立させたイギリスを中心に社会福祉・社会保障のアイデアとその政策・制度的変遷を講じる。

後半では、北欧やヨーロッパ諸国、アメリカなどの福祉国家の実情と現在直面している問題について学習・討論することにしたい。その他に、受講生の関心があれば、アジア諸国の社会福祉についても取り上げたい。

講義だけでなく、受講生に活発に討論してもらって授業にしたいので、意欲のある学生の受講を望む。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕社会保障研究所編『イギリスの社会保障』

『フランスの社会保障』『西ドイツの社会保障』『スウェーデンの社会保障』『アメリカの社会保障』（東大出版会）

### 社会学（福祉）

はし つめ きとし  
橋 爪 敏

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供する事を目的とする。『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』をテキストとしてその内容を把握し、社会学独自の社会現象の見方や考え方を理解する。

したがって、テキストに即して、社会学の歴史、社会集団、現代社会の諸問題などを論じていく。参加学生数によっては講義以外の方法も併用したい。

〔教科書〕福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』

（中央法規出版）

〔参考書〕安藤喜久雄ほか編『社会学概論』，

『わかりやすい社会学』（学文社）

### 心理学（福祉）

いの うえ たか よ  
井 上 孝 代

欧米諸国において、社会福祉実践の方法論として心理学が広汎に取り入れられているという現況に基づき、社会福祉にかかわる基礎科学として心理学の分野全般を講義する。

重点的な内容としては、①人間の心理学的理解における心理機能と基礎的概念、②人間の成長発達の様相と障害、③人間理解の学説および諸理論の実際、④心理学的援助の技術と実践など、社会福祉士の養成における指定科目である「心理学」で学ぶべき内容を整理する。

教科書の指定は特に行わないが、必要に応じて資料、参考プリントなどを用意する。

## 医学一般

こ ぼやし いたる  
小 林 臻

長寿社会を迎え、各自が心身ともに健全なライフサイクルを送れるための、医学に基礎をおいた健康科学の考え方を述べ、さらに社会福祉専門職としての社会福祉士・介護福祉士に要求されると考えられる保健学・医学の専門的知識について講義する予定である。

〔教科書〕福祉士養成講座編集委員会、『医学一般』  
(中央法規) ¥2,500

〔参考書〕開講時に指示する。

## 介護概論

いし ぐろ こと  
石 黒 千子

人間のライフサイクルにおける健康の意義、保健医療における介護の役割について理解させ、介護行為の基礎知識、技術、態度を教授する。

後半では、特に成人期にある健康の維持増進の重要性を理解させ、また、老年期にある健康の特徴を理解し、老化に応じた介護、健康障害をもつ老人とその家族に対する介護について教授する。

さらに、社会福祉士及び介護福祉士と保健・医療関係者との連携の意義とすすめ方等について教授する。

## 心理学史

てら せう たかし  
寺 岡 隆

本講義は2年目学生を対象とした授業である。一般にある科学を理解し研究していく場合、その領域の知識的理解を深めるにせよ、ひとつの問題を自ら深く掘り下げるにせよ、その科学の歴史的背景に関する知識をもっていることはきわめて有効であるといえる。本講義は、心理学とくに基礎心理学における諸学説の歴史的背景と発展形態を心理学の発展に影響を及ぼした周辺科学領域の状況もふまえた上で、できれば新しい視点も加えつつ考察していく予定である。本年は教科書は用いない。

## 心理統計学

しの ぼら えい じゅ  
篠 原 英 壽

精神現象の測定に伴う問題点——精神現象の数量化

と尺度化に関する問題点、統計的、推計的処理方法の心理学への適用とその限界、心理学において工夫された測定法、処理方法などについて説明したい。

〔参考書〕随時示す。

## 心理学実験（実習）

しの ぼら えい じゅ おの こう いち  
篠 原 英 壽 ・ 小 野 浩 一  
たに ぐち やす とも ちはら だし  
谷 口 泰 富 ・ 茅 原 正

心理学の各領域から基礎的な実験を選び、心理学における実験のデザインの組み方、実施方法、結果の処理法等を実習を通して理解してもらう。さらに、実験レポートの作成について指導する。

〔教科書〕吉岡一郎編著『心理学基礎実験手引』  
(北大路書房)

## 心理学研究法

おの こう いち  
小 野 浩 一

心理学における主要な研究法について概観する。その中で、心理学の方法全般にわたる根本的な問題、個々の技法の根底にある基本的な考え方や問題点を明らかにしながら、それぞれの具体的な手続き、また効用や限界について解説する。

講義内容は次のとおりである。

1. 心理学研究法総論
2. 文献研究法
3. 行動観察および記録法
4. 実験計画法
5. データ解析
6. テスト理論

## 基礎心理学 I（人格）

たに ぐち やす とも  
谷 口 泰 富

人格（パーソナリティ）とは、個人の内部に存在する複雑で力動的な体制である。この講義は人格心理学の概論として、人格の本質論、形成発達論、諸々の人格理論の紹介、人格テスト、研究法の考察などを中心に進めてゆくつもりであるが、折りに触れて人格に関する興味あるトピックスを盛りこんでゆく予定である。

〔教科書〕講座心理学Ⅳ入門人格心理学  
(八千代出版) ¥2,060

## 基礎心理学Ⅱ（発達）

しの はら せい じゅ  
篠 原 英 壽

基礎心理学Ⅱにおいては、発達心理学を講述する。その内容は、心理学的成長の各位相である幼乳時期から青年期までを取扱う連続的過程としてのパーソナリティ発達に主眼を置きたい。

上述のことを特に、E. H. エリクソンの精神分析的理論、及びJ. ピアジェの認知理論を中心に取上げたい。  
〔参考書〕 随時指示する。

## 基礎心理学Ⅲ（学習）

お の こう いち  
小 野 浩 一

「あの子はなぜ学校に行かなくなったのか」  
「あの人はなぜ最近あんなに明るくふるまうようになったのか」。

学習心理学はこのような行動変化の原因を解明し、科学的な言葉で説明しようとするものである。この領域の主要な知見は行動分析と呼ばれる学問体系に基礎をおいている。そこで本講義では、行動分析の基礎的な理論ならびに手法について解説し、それらが現代の行動科学の中でどのように活用されているかについて概観する。

教科書はとくに指定しないが、参考書および参考文献については講義の際に詳しく教示する。

## 基礎心理学Ⅳ（社会）

はぎ わら しげる  
萩 原 滋

対人関係に直接的なかかわりをもついくつかのトピックスをとりあげながら個人の社会行動に関する心理学について概説する。

## 基礎心理学Ⅴ（臨床）

なか むら しょう じ  
中 村 昭 之

前半では、臨床心理学とは何かという問題について、心理療法（とくに認知・行動療法）を中心に話します。後半では、セルフ・コントロール技法の特徴と、それらの技法と東洋的技法とのかゝわりについて明らかにしたいと考えています。

〔参考書〕 J. M. G. ウィリアム著、中村昭之監訳、

『抑うつ認知行動療法』

（誠信書房）¥3,400

## 心理学研究Ⅰ（実習）

てら おか たかし  
寺 岡 隆

本実習は3年目学生を対象とした演習形式の授業である。主題は本年度は「心理学的ゲーム論」・「意思決定論」または「問題解決論」などに限定されるが、主題・方法の細部は開講されてから実習参加者の人数・関心・水準などを考慮して決定する予定である。参考書は開講後必要に応じて示す。

## 心理学研究Ⅱ（実習）

ち はら ただし  
茅 原 正

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的条件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

参考書、文献については講義の際に指示する。

## 心理学研究Ⅲ（実習）

なか むら しょう じ  
中 村 昭 之

臨床心理学に関する本やジャーナルの輪読。

セルフ・コントロール技法の体験の実習、臨床心理学の研究方法の実習などを行います。臨床実習の性格上人数を制限することもあります。

## 心理学研究Ⅳ（実習）

しの はら せい じゅ  
篠 原 英 壽

心理学研究Ⅳは、これまで開講されていた実験実習（上級）が各領域ごとに分化されて開設されたものである。したがって本来ならば実験心理学的内容を備えるべきものである。しかし取扱う領域が発達心理学であるため、装置及び被験者等の関係上、実験的内容を実習的に行うことには問題もある。

そこで本年は、欧文の専門書及びジャーナルを精読し、その中で扱われている実験・調査研究の方法を習得し、追試可能なものを選択し、その方法に準拠して実験等を行いたい。

なお主たる参考書は下記のもので、そのコピーを用いる

〔参考書〕 Readings in Child Development & Personality: Edited by P. H. Mussen, J. J. Conger, J. Kagan. Harper & Row. 1965

## 心理学研究V (実習)

お の こう いち  
小 野 浩 一

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインの組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方などを含めた総合的な実習を行う。実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「予測が困難なとき（たとえば、ギャンブル）の行動の分析」、「性格テストの作り方」などを予定しているが、これとは別に受講者と相談の上適当なテーマを設定して実験を計画することも考えている。

## 心理学研究VI (実習)

たに ぐち やす とみ  
谷 口 泰 富

ここでは主に、生理学的指標を用いた種々の測定を行う。実習内容については、初めの時間に説明する。本講を受講する人は、予め、生理心理学を履修しておくことが望ましい。  
〔参考書〕随時紹介する。

## 生理心理学

たに ぐち やす とみ  
谷 口 泰 富

統合的有機体としての人間の行動を明らかにするため、本講は、心理学と生理学の隣接するところから出発し、意識・学習・知覚・情動などの諸概念について考えてゆく。また、初歩的な生理心理学的測定について解説する。  
〔参考書〕随時紹介する。

## 環境心理学

やま もと たきじ  
山 本 多喜司

人間と自然環境・構築環境・対人環境・社会文化的環境との相互作用を環境心理学・生態心理学・建築学の立場から述べる。具体的には次のようなテーマがある。自然風土と人間、開発と環境、認知地図、ウェイファインディング、個人空間と対人距離、都市環境と人間行動、混み合い、災害と人間行動、住居環境と快適性、高齢者施設の問題、環境移行の問題、学校環境、労働環境、環境教育などである。

〔参考書〕山本多喜司編『人生移行の発達心理学』  
(北大路書房)

## 情報処理 I

おお つか ひで はる  
大 塚 秀 治

### (1) 講義目的 (要旨)

現代の情報化社会において人間とコンピュータとはいっそう密接な関わりを持つことになる。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は依然過渡期であると言える。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では「情報処理 I」というタイトルがついているが、大学生に必要な最低限のコンピュータリテラシー（コンピュータを道具として使う場合の操作理解や応用力）、ネットワークエシックス（今年度は講義のみ）の獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータをを活用して実験レポート等を作成する能力を養う。なお、本講義は情報処理 II と密接な関係を持っているため、本講義を履修後に情報処理 II を履修することが望まれる。またパーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上する。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

### (2) 授業計画

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- パソコンの基本操作と OS の基礎
- ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- 日本語ワードプロセッサの習得
- スプレッドシートの習得
- データ解析への応用 (記述統計を中心として、データの扱いや簡単な統計的な検定処理までを含む)
- 応用実習 (データの収集・解析・プレゼンテーションの総合実習)
- 情報処理の基礎
- コンピュータネットワークとインターネットの現状

### (3) 授業・評価方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合せて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

### (4) その他

授業は原則として4時限目内で行うが、予習が必要な場合は3時限目 (情報処理 II 配当時間) を利用することとする (相談にも応じられる体制を整備)。実習テーマによっては、教室と実習室の環境が異なるため出来る限り教室で復習が可能となるように手配する。行事等と衝突がなくても、年間約22回しか

授業を行うことができない。本格的にコンピュータを応用するためには絶対的な実習時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となる（昨年度実績では週平均10時間程度の自習をしていたようである）。

(5) 教材・教科書・参考書

印刷教材は授業の中で全て配布する。Type Quickについては学内紀ノ国書店で安価(約2,500円)に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度のフロッピーディスクが必要となる。参考書については、授業中に最新のものを指示する。

情報処理Ⅱ

まきのすむ  
牧野晋

(1) 講義目的(要旨)

情報処理の理解と心理学への本格的な応用力を育成するとともに、コンピュータを用いて、卒論レベルの実験や分析が独力で可能となることをめざす。

(2) 授業計画

授業はすべて実習形式で行う。一つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容に関しては以下に記す。

- MS-DOSの理解
- エディターの操作とシステムファイルの編集
- フローチャート入門
- BASIC 言語の習得
- 汎用計算機の利用と応用(データセット編集から多変量解析まで)
- インターフェースの応用技術(実験制御を目的として)
- インターネットワークの現状とパソコン通信
- 他大学の計算機センター実地見学等

(3) 評価方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と併せて総合的に評価する。

(4) その他

本講義の受講にあたっては、情報処理Ⅰの単位を修得していること、または同等の知識を持つことが条件となる。

授業は原則として3時限目内で行うが、授業時間内に終了しない場合および補習が必要な場合は、4時限目(情報処理Ⅰ配当時間)を利用できることとする。

なお、本講義は実習形式で行うので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので、注意を要する。

児童心理学

よこやま つよし  
横山剛

ひとは、物理的環境・社会的環境との相互交渉を通して、その潜在的な可能性を実現してゆく。この発達の様相や発達のメカニズム、それを促進する働きかけについて講義する。内容としては、児童期までの行動・知覚・思考・言語・情緒・社会性などの諸側面の発達を考えていく。

〔参考書〕随時紹介する。

産業心理学

たか はし まこと  
高橋誠

オフィスや工場において、近年のコンピュータ技術革新が労働組織、労働形態、ワーカーの健康にどのような影響を与えているか。コンピュータのインタフェースを始め、職場を快適にするにはどのような条件が必要か。こうした問題に対して、産業心理学・人間工学の分野からの知見をまとめるとともに、その研究方法を検討する。

カウンセリング

すず き じゅん いち  
鈴木順一

カウンセリングにおける Person Centered Approach を確立した Carl Rogers の実践する「人間中心の教育」を現実化したい。カウンセリング・ロールプレイ、サイコ・ドラマ、ゲシュタルト・ワーク、エンカウンター等の体験学習を通じて、お互いのパーソナリティの理解と開発(自己実現)をめざす。

〔教科書〕『カウンセリングの理論』(誠信書房)  
〔参考書〕『暮しの中のカウンセリング』(有斐閣)  
『カウンセラーへの道』(創元社)  
『カウンセリング』(芸林書房)  
『新訂カウンセリング』(誠信書房)  
『エンカウンター』(誠信書房)  
『人間尊重の心理学』(創元社)  
『エンカウンター・グループ』(創元社)

心理検査法Ⅰ

もり やま とし しみ  
森山敏文

近年、特殊教育の領域、矯正教育の現場、精神神経科領域、さらに産業関係の領域などにおいて、各々の主な目的は異なるものの、様々な心理テストが行われ

ています。中でも質問紙法によるパーソナリティ・テストや知能テストあるいは器具を用いた知能テストなどは、その評価や解釈に伴う専門的なトレーニングは常識的なこととしても、少なくともある程度の知識や技能を習得していることは、時代の要請といえましょう。

本講座では、心理テスト・マニュアルとして、受講者の実際の体験を基本にしながらも、グループ・ディスカッション、レポート作成などを通じて、心理テストの原則について学んで頂きたいと考えています。

〔教科書〕必要に応じて紹介したいと思います。

## 心理検査法Ⅱ

もり やま とし ふみ  
森 山 敏 文

本講座では、ロールシャッハ・テスト、描画法、TAT、SCTなどという、いわゆるプロジェクト・テクニクについて体験学習を中心に進めたいと考えています。実際の心理臨床の場面に役立つことを目指すという意味では、心理アセスメント法としては勿論ですが、心理的なケアや心理面接のための基礎になる体験になれば、さらに良いと思います。

専門性はともかく、一般的な興味や関心のある方々にとっても、プロジェクト・テクニク・マニュアルとして学ぶことは、自分や他人の理解に役立つでしょうし、心の健康について考えていく上での手掛かりとなると思います。

〔教科書〕必要に応じて紹介したいと思います。

## 禅心理学

ち はら だし  
茅 原 正

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、心身に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本講では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理論理学などについても考察する。

参考書、参考文献については、講義の際に指示する。

## 心理学特講Ⅰ

さ さ き ゆう じ  
佐々木 雄 二

### 1. 心理療法

- (1) 心理療法とは何か
- (2) 心理療法の歴史
- (3) 心理療法の対象
- (4) 心理療法の種類

### 2. 自律訓練法

- (1) 自律訓練法とは何か
- (2) 自律訓練法の歴史
- (3) 心理療法における自律訓練法の位置づけ
- (4) 標準練習の理論と実習
- (5) 特殊練習の理論と実習

〔教科書〕佐々木雄二『自律訓練法の実際』

(創元社) ¥1,000

## 心理学特講Ⅱ

はやし きよし  
林 潔

カウンセリング、心理療法の領域における、いくつかの最近の動向について、主として次の3点を中心に紹介する。

### 1. Iveyのマイクロ・カウンセリング

カウンセリングの分野の折衷主義の一つとして位置づけられる(あわせて、初期の折衷主義として、Thorne, Robinsonのカウンセリング論を紹介する)。

### 2. 認知行動療法

近年行動療法は、認知論をとり入れ発展する。最近の動向について紹介する。

### 3. スーパービジョン

最近の臨床の分野での最も強い関心事であるといえる。

〔教科書〕なし

〔参考書〕随時紹介する。

## 心理学特講Ⅲ

さ めい まさこ  
讚 岐 真佐子

臨床心理学の勉強では、①人間の心をどう把握するのかという“理論的学習”、②多様な体験をとおして自分自身を理解していく“体験的学習”、そして③実際のカウンセリング場面で起こり得る様々な事柄を、事例によって学んでいく“事例研究”などが重要だと考えられる。

この講義ではこれらの点も考慮しつつ、主に事例の理解の仕方、そのプロセスの読み方などについて学んでいくことにしたい。扱う事例は幼児から成人まで多岐にわたる予定である。

〔参考書〕随時紹介する。

## 精神医学

しば た いずる  
柴 田 出

現代の厳しい現実社会で生きている現代人は、多くのストレスにさらされ、心を病む人も少なくない。しか

し、現実の組織や集団に所属するからといって、全ての人が心の病いにおかされるわけではない。このように考えると、個人を取り囲む組織の問題だけに帰すわけにはいかず、個人の自我の成熟度も大きく関わっていることがわかる。演者はこのような観点に立って、個人の心の発達過程を臨床例にあげながら述べていきたい。

とくに、コドモからオトナへの移行過程の時期であり、コドモとオトナが共存している青年期を中心に述べていくつもりである。

〔参考書〕『こころ自己分析』（有斐閣）¥1,300

## 社会政策

みつ 光 つか 岡 ひろ 博 み 美

### 〈社会政策の内容〉

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する社会改良思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、当時ヨーロッパの後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から、社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提として、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は、政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作りだすために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題研究へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても、欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、日本の労働問題や労使関係の実態を分析し、労使関係をその実態に即して理解しようとする研究が大きな影響を及ぼしている。

### 〈本年度の講義内容〉

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会政策学の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代日本の社会政策と労働問題
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上に述べた(1)～(7)の項目について、各々約3回程

度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介や解説、最近注目されている外国人労働者問題や女性労働問題などの時論、私が専門的に研究してきた問題なども、できるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

また、授業とは直接関連はないが、労働時間を考えるうえでも有益と思われるような名作（映画）を鑑賞する機会も準備してみたい。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。そして、われわれにとつての“より良い”社会とはどのような社会であるのかといった事柄にも思いをめぐらしてみたい。

### 〈履修条件と成績評価〉

履修条件は特にないが、教場では私語を慎むこと。また必要に応じて、出欠の点検を行う場合もある。成績の評価基準や答案作成上の注意は、年度末試験の2週間ほど前の授業で説明する。

〔教科書〕なし

〔参考書〕必要に応じて講義のなかで紹介する。

## 民法

かのう 叶 かず お 和 夫

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりまぜて、面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕遠藤 浩他 5名編集

『民法(8)親族 第3版増訂版』

(有斐閣双書)

〔参考書〕島津一郎編

『基本法コンメンタール第3版 親族』

別冊法学セミナー（日本評論社）

## 労働法

はま 浜 むら 村 あきら 彰

わが国労働法は、戦後、国際的規準を受け入れたり、アメリカ法制を導入するなどして、発展してきました。その法理は、社会経済構造の変化、労働運動のあり様や社会生活における労働者意識の変化などによって、たえず既存の法理の妥当性が検証され、深化してきました。雇用平等法、労働時間法、労働契約法、労働協約法など今日の課題も多いのです。



また、諸君にとって労働法は、将来、就職し労働生活をおくるなかで、欠かせない法領域です。また、会社でも人事労務管理上、必須の法領域です。

授業は、諸君が見聞きするであろう事項を念頭に、それについての基礎的な考え方を、具体的な事例を取り入れておこなうつもりです。今年、労働保護法の領域から始めます。

〔教科書〕最初の講義のときに話します。

〔参考書〕ジュリスト増刊『労働法の争点』  
菅野和夫著『労働法』（弘文堂）

## 行政法

い とく ひろ とう  
鶏 徳 啓 登

現代国家は、一般に福祉国家又は文化国家といわれるようになり社会問題も多くなっている。そして、例えば社会の高齢化に伴う福祉問題では、必ずといってよいほど行政のあり方が問われるのである。このような問題を考える場合に、行政に関する法令はどんなものであり、行政はどのように行われるのか、ということを経済的側面から考えてみることも、社会問題を客観的に考慮できるようになるための1つの方法であると思われる。

その意味で、「行政法」とはどのような法律であるのかを知っておくことは、公務員をめざす学生ばかりでなく、一般の学生にも、今後増々要求されてくるようになるだろうと思われる。

〔教科書〕『行政法の話』（第一法規）¥1,800

〔参考書〕教場にて説明致します。

## 経済原論

あさ の かつ る  
浅 野 克 巳

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（其他国家試験）の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

### I マクロ経済学の理論

1. 経済循環と国民所得の概念
2. 国民所得の決定
3. 経済の変動と成長
4. 賃金・物価・インフレーション

### II ミクロ経済学の理論

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場と価格決定
4. 市場と企業

### III 公共政策

### IV 国際経済学

〔教科書〕浅野・荒木・浅田『エコノミックス 改訂版』（成蹊堂）1995年

〔参考書〕青山『経済原論の頻出問題』

（実務教育出版）1994年 ¥906



# 他学部履修科目

(全学部・短大共通)

※他学部科目の講義内容が掲載されているが，受講できる科目は各学部・短大によって異なっている。（履修についての詳細は，「他学部科目の履修方法」を参照すること。）

# 目 次

禅学特講Ⅰ(原田 弘道) .....	1	アメリカ経済論(瀬戸岡 紘) .....	12
禅学特講Ⅱ(永井 政之) .....	1	財務会計論(遠藤 孝) .....	13
禅学特講Ⅲ(石井 修道) .....	1	管理会計論(中原 章吉) .....	14
禅学特講Ⅳ(鈴木 格禅) .....	1	会計監査論(飯岡 透) .....	15
禅学思想史(峰岸 孝哉) .....	1	商業政策(岩下 弘) .....	15
哲学史(中村 友太郎) .....	1	貿易論(古沢 紘造) .....	16
インド仏教史(田上 太秀) .....	2	マーケティング(曾我 信孝) .....	16
中国仏教史(岡部 和雄) .....	2	労務管理論(石井 脩二) .....	17
日本仏教史(石川 力山) .....	2	経営管理論(百田 義治) .....	18
日用経典(皆川 広義) .....	2	行政法Ⅱ(齊藤 寿) .....	19
仏教美術(中島 亮一) .....	2	民法Ⅳ(1)(叶 和夫) .....	19
現代哲学概説(山口 祐弘) .....	2	民法Ⅳ(2)(叶 和夫) .....	19
上代文学(小野 寛) .....	3	比較憲法(竹花 光範) .....	20
中世文学(水原 一) .....	3	経済法(川井 克俊) .....	20
近世文学(富士 昭雄) .....	3	地方自治法(梅木 崇) .....	20
近代文学(高田 知波) .....	3	国際関係論(首藤 素子) .....	20
中国文学(中村 璋八) .....	3	西洋政治史(浦田 早苗) .....	20
英文学特講Ⅰ(石原 孝哉) .....	3	宣伝広告論(上條 末夫) .....	21
英文学特講Ⅱ(高野 正夫) .....	3	政党論(早川 純貴) .....	21
英文学特講Ⅲ(岡崎 寿一郎) .....	3	保険経営論(石名坂 邦昭) .....	21
英文学特講Ⅳ(中岡 洋) .....	4	財務会計論(渡邊 恵一郎) .....	21
英文学特講Ⅴ(高松 雄一) .....	4	税務会計論(高木 克己) .....	22
英文学特講Ⅵ(丸小 哲雄) .....	4	商業史(山田 勝) .....	22
英米演劇特講(落合 和昭) .....	4	経営情報論(高井 徹雄) .....	22
米文学特講Ⅰ(東 雄一郎) .....	4	情報理論(西村 和夫) .....	23
米文学特講Ⅲ(原川 恭一) .....	4	国文講読Ⅰ(上代)(佐原 作美) .....	23
時事英語(坂本 武) .....	4	国文講読Ⅱ(中古)(鈴木 裕子) .....	23
地形学Ⅰ(小池 一之) .....	5	国文講読Ⅲ(中世)(藺部 幹生) .....	23
地質学(貝塚 爽平) .....	5	国文講読Ⅳ(近世)(清田 啓子) .....	23
人口地理学(土谷 敏治) .....	5	国文講読Ⅴ(近・現代)(大室 英爾) .....	24
応用地理学Ⅰ(高木 正博) .....	5	国文講読Ⅴ(近・現代)(笹瀬 王子) .....	24
文化地理学(交口 善美) .....	5	国文特講Ⅴ(近・現代)(笹瀬 王子) .....	24
日本史特講Ⅶ(近代)(佐藤 元英) .....	5	英文タイプライティングⅡ(湯浅 陽子) .....	24
東洋史特講Ⅹ(近・現代)(安藤 正士) .....	5	時事英語(岡本 誠) .....	24
西洋文化史Ⅰ(佐々木 真) .....	6	英語演習Ⅰ(岡本 誠) .....	24
歴史哲学(麻生 建) .....	6	計算機言語概論(杉田 徹) .....	24
哲学史(丸山 豊樹) .....	6	臨床放射線特論Ⅰ(本間 襄) .....	25
日本民俗学(谷口 貢) .....	6	応用計測学(樞尾 英次) .....	25
マスコミュニケーション(川本 勝) .....	6		
産業社会学(安藤 喜久雄) .....	6		
都市社会学(江上 涉) .....	6		
社会福祉発達史(林 千代) .....	7		
ロシア・東欧経済論(山縣 弘志) .....	7		
社会政策(光岡 博美) .....	8		
国民所得論(吉野 紀) .....	8		
中国经济論(小杉 修二) .....	9		
アジア経済論(小林 英夫) .....	10		
日本経済史(古庄 正) .....	10		
中小企業論(三井 逸友) .....	11		
教育経済論(谷敷 正光) .....	12		

# 他 学 部 履 修 科 目

## 禅学特講 I

はら だ ひろ みち  
原 田 弘 道

### 禅宗と公案

公案は禅宗における經典観と深いかかわりをもつ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。

(1)公案の起源と歴史、看話禅の成立 (2)曹洞宗と公案 (3)公案の諸相、公案の意義と機能。以上の順序で講義を進める。

## 禅学特講 II

なが い まさ し  
永 井 政 之

8～9世紀、中国の禅宗は歴史的にも思想的にも一つの頂点を迎える。このことを一般には「仏教が中国に広まった」と評する。しかし中国人の誰もが「仏教」を十全に理解しえたわけではない。この授業では、中国禅の思想を原資料によって確認しつつ、中国の民衆が「仏教」をどのように理解していったかを考えることとする。

〔教科書〕必要に応じてコピーを配布する。

〔参考書〕随時指示する。

## 禅学特講 III

いし い しゅう どう  
石 井 修 道

平成6年度につづいて『大慧書』を読む。大慧宗杲は看話禅の大成者である。その後の禅思想に大きな影響を与えた大慧の看話禅の性格は、『大慧書』に最もよくあらわれている。書とは、手紙のことであり、大慧が居士に与えた手紙を中心としているので、主張は明瞭である。宋代禅の性格を知る入門書と言えるであろう。荒木見悟博士の訳注本もあるが、まず禅録になれる意味もふくめて和刻本をテキストにしたい。その折に和刻本の誤読についても言及したい。

〔参考書〕荒木見悟著『大慧書』

(筑摩書房) ¥3,500

石井修道著『禅語録』

(中央公論社) ¥5,200

## 禅学特講 IV

すず き かく ぜん  
鈴 木 格 禅

### 『見聞宝永記』講読

本書は通常『損翁老人見聞宝永記』と呼ばれる。損翁老人とは、仙台の泰心院に住した損翁宗益(1649～1708)のことである。損翁は面山瑞方(1683～1769)の師であり、面山の宗教的人格形成に頗る影響を与えた古聖である。面山が損翁に随侍したのは約二年間程にすぎないが、その間における損翁の法益を集録したのが本書である。従って本書は、損翁における面山の「随聞記」といってよく、内容は多岐にわたるが、その根底には、現状にもなお光輝を放つ洞門の宗教的志操が、一貫して流れている。

本学年度は、前年度にひきつづき本書を講読し、学道の資助としたい。

〔教科書〕教員より配布する。

## 禅学思想史

みね ぎし こう さい  
峰 岸 孝 哉

禅学思想史の範囲はもとより広く考えられるが、本年は日本禅、とりわけ永平道元(1200～53)の流れを汲む曹洞教団の展開に注目し、そこにみられる教学・思想の歴史的性格を跡付けてみたい。

〔教科書〕『道元禅の歴史』〔講座道元II〕(春秋社)

〔参考書〕鈴木泰山著『禅宗の地方発展』

(吉川弘文館)

廣瀬良弘著『禅宗地方展開史の研究』

(吉川弘文館)

## 哲学史

なか むら ともた ろう  
中 村 友 太 郎

西洋の思想と文化は、ヘレニズムとヘブライズム、ギリシア哲学と聖書的信仰の結合の上に形成されてきた。ここではとくにキリスト教的な中世哲学の形成とその展開をあとづけることを主眼としたい。それは、神・自然・人間をめぐる理性の立場と信仰の立場との対決・調和・抗争の思想史という様相を呈するであろう。なお前期にはその背景となるギリシア哲学史を簡

単に展望することから始めたい。  
〔教科書〕開講時まで決定する。  
〔参考書〕その都度指示する。

## インド仏教史

た かみ たい しゅう  
田 上 太 秀

インド哲学・宗教の歴史における仏教の位置づけ、インドにおける仏教の発生と展開、仏教思想の特徴、仏像の起源と展開・伝播などについて、幅広く講義する。  
各時限ごとにプリントを配布し、さらに適時に参考書を紹介する。

## 中国仏教史

おか べ かず お  
岡 部 和 雄

中国仏教の歴史を概観したい。漢字に翻訳されて展開した仏教の特異性を種々の観点から分析しようと思う。  
〔参考書〕鎌田茂雄『中国仏教史』（岩波全書）  
任繼愈『定本中国仏教史』（柏書房）

## 日本仏教史

いし かわ りき ざん  
石 川 力 山

日本における「仏教伝来の意義」といった課題を軸にして、日本に仏教が伝来した当初からの歴史を辿りつつ、日本思想史・宗教史上において果たしてきた仏教の役割を明らかにしたい。特に、中世における鎌倉新仏教の成立は、急速に仏教が社会のすみずみにまで浸透する契機となり、それにともない、さまざまな社会問題にも関与することになって、正・負の両面に機能を果たすことになった。この授業では、仏教思想の流れとともに、こうした社会的機能の側面についても、あわせて検討していきたい。  
〔参考文献〕辻 善之助『日本仏教史』（全10巻、岩波新書刊）  
家永三郎・圭室諦成・赤松俊秀監修『日本仏教史〈古代篇〉〈中世篇〉〈近世・近代篇〉』（全3巻、法蔵館刊）  
川岸宏教・速見侑等篇『論集・日本仏教史』（全11巻、雄山閣出版刊）

## 日用経典

みな がわ ひろ よし  
皆 川 広 義

わが国における日用の経典について、解説し、その平易な解釈をする。  
この講義でとりあげる経典は、般若心経、法華経（寿量品、普門品）、修証義、大悲心陀羅尼などである。また、偈文・回向文などについても解釈したい。  
これらの経典は、日本人の精神形成に大きな影響をあたえたものであり、その仏教経典としての正しい理解に心がけたい。  
〔教科書〕テキスト プリント配布。

## 仏教美術

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では仏教美術のルーツをインドに求め、その誕生の経緯と東漸のあとをたどり、その図像学的な解釈と信仰思想との関係、仏陀の伝記などを考察する。  
後期は中国・朝鮮を経た仏教美術が、日本伝来後変容していく姿を、信仰思想の変遷とあわせて観察する。（スライド併用）  
〔教科書〕佐和隆研編『仏像案内』（吉川弘文館）¥1,900  
〔参考書〕その都度指示する。

## 現代哲学概説

やま ぐち まさ ひろ  
山 口 祐 弘

科学技術を柱とする文明の進展は様々な問題を提起している。これらは、人間とは何か、生きることの意味は何かという根本的な疑問に発展することがある。現代の哲学はこれらの問題を回避するわけにはゆかない。本講はまず、20世紀に起きた現実的な出来事を取り上げ、そこに示された人間の苦悩と行動、更には人間性の変貌を具体的に抽出しつつ、人間の実相に迫り、その中にある思想的課題を抽出する。次に、これらを西洋哲学に限定することなく広く思想史に照らして捉え返し、現代に生きるための哲学的態度を追求する。  
〔教科書〕山口祐弘『近代知の返照』（学陽書房）¥3,800  
〔参考書〕M. ホルクハイマー『理性の腐蝕』（せりか書房）¥2,000

## 上代文学

おのひろし  
小野寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』をよむにあたって、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについても詳細にしらべながらよんでいく。毎年新しいテーマでよむ。

〔教科書〕小野 寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

## 中世文学

みずはらはじめ  
水原一

『とはずがたり』（後深草院二条の日記）を読み、題材となった作者の生涯・運命・人間関係について考察し、日記文学としての特色について考えてみたい。

〔教科書〕富倉徳次郎『とはずがたり』（筑摩書房）

## 近世文学

ふじあきお  
富士昭雄

『去来抄』の講読を通して、芭蕉の俳論を考察する。  
〔教科書〕プリント（実費）

## 近代文学

たかだちなみ  
高田知波

樋口一葉の代表的な作品を取りあげて精読する。幸田弘子氏による朗読テープも活用する。

〔教科書〕樋口一葉『にぎりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

## 中国文学

なかむらしょうはち  
中村璋八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの

方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕『五行大義』（明德出版）¥2,300

## 英文学特講 I

いしはらこうさい  
石原孝哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を、過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ、文化のさまざまな方面から論じる。とりあげる作家はThomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeare, John Miltonを予定している。殊に Shakespeareは代表的な10作品を選んで詳しく講じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』（三修社）¥3,800

## 英文学特講 II

たかのまさお  
高野正夫

イギリス・ロマン派の詩人、ワーズワス、キーツ、ブレイクなどの詩を中心に読んでいく予定です。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 英文学特講 III

おかざきとしいちろう  
岡崎寿一郎

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく現代という言葉を理解することはむつかしい。この認識の方法によって、十九・二十世紀の英詩について、その現代的意味を確認したい。具体的には、十九世紀ロマン派の詩人たち、テニスン、M.アーノルドの詩の検証を経て、ハーディ、イエイツ、D.H.ロレンス、さらに、エズラ・パウンド、T.S.エリオット以後の現代詩（モダニズム）について論究する。

〔教科書〕教場にて指示。

〔参考書〕教場にて指示。

## 英文学特講Ⅳ

なか おか ひろし  
中 岡 洋

イギリス小説の代表的傑作 *Jane Eyre* や *Wuthering Heights* を残した Brontë sisters について、彼女たちの文学史的位相を見定め、彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 英文学特講Ⅴ

たか まつ ゆう いち  
高 松 雄 一

20世紀イギリスのモダニズム文学の種々相を考察する。世紀末の唯美主義批評、イェイツ、イマジズム、エリオット、ジョイスらの作品や批評を取りあげて、モダニズム文学運動の意味を考えたい。

〔教科書〕必要があれば開講時に指示する。

## 英文学特講Ⅵ

まる こ てつ お  
丸 小 哲 雄

文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題へ発展させながら、向側に作家・作品を位置づけ、こちら側に読者の経験を豊かに高めることとなります。前期ではそのための有効な方法として伝統批評、ロシア・フォルマリズム；ニュー・クリチシズム、精神分析批評、受容理論（読者の立場）、構造主義、記号論、ポスト構造主義などの批評的考え方を講義します。後期では、作品の読み方と研究の仕方を修得するためにテキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

〔教科書〕*The 20th Literary Criticism* (Longman) 読書のためのプリント・リスト、および適宜必要に応じてプリントを配布します。

## 英米演劇特講

おち おい かず あき  
落 合 和 昭

19世紀から現代までの演劇史に見られる主義（～ism）をその劇場史とともに、追いながら、重要な出来事、用語などの説明をする。

また、講義用のテキストとしては、図や写真が多く載っているアメリカの大学生用テキストを用いる。さらに、必要とあらば、英文の研究書などにも目を通し、多様な見方にも慣れる。

課題としては、講義の内容をまとめたレポートや他の英文（数冊のアメリカ大学生用テキストや研究書からのプリント）の要旨をまとめたレポートを十数回（一回につき四百字の原稿用紙2～3枚程度）ほど提出してもらう。

## 米文学特講Ⅰ

あずま ゆういちろう  
東 雄一郎

19世紀のアメリカン・ルネッサンスから、20世紀初頭のモダニズム、そして現在のポストモダニズムに到るまで、アメリカの詩に関し、具体的な作品を味読しながら、考えていく。

〔教科書〕新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）¥2,200

## 米文学特講Ⅲ

ほら かわ きょう いち  
原 川 恭 一

20世紀アメリカ文学の巨星 William Faulkner の作品世界を、代表的長篇小説 *The Sound and the Fury*, *Light in August*, *Absalom, Absalom!* の解説、および、短篇小説 "A Rose for Emily", "Dry September" の精読を通じて覗いてみたい。なお、作品の背景となっているアメリカ南部の特異な歴史的状況の説明をも加えていく予定。教科書、参考書以外の講義資料はコピーして配布する。

〔教科書〕大橋健三郎編・注 *A Rose for Emily & Other Stories* (英宝社) ¥1,380

〔参考書〕大橋健三郎著『フォークナー — アメリカ文学、現代の神話』

(中央公論社〔中公新書〕) ¥720

## 時事英語

さか もと なげし  
坂 本 武

放送英語、新聞英語その他時事面に関する英語について、テープ等も随時併用して講義する。また、時事文を多用しての英作文の作法についても採りあげ、「読み書き聴く」の三点を重視していきたい。別名、Living English と呼ばれる程「生き役立つ」英語の筈である。積極的に受講してほしい。

〔教科書〕教場にて指示する。



## 地形学 I

こ いせ かず ゆき  
小 池 一 之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心に。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにした。 (内容は最先端の知見を含む)

〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』

(東大出版会) ¥4,532

## 地質学

がい つか そう へい  
貝 塚 爽 平

前期には関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象(たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成)についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論と交えて解説する。

## 人口地理学

つち たに とし ほん  
土 谷 敏 治

人口の分布とその変化・人口移動などの諸現象と都市構造・都市システムの関係について、研究方法やこれまでの研究成果を紹介する。

1. 人口統計と地域概念
2. 地域の人口構造とその記述法
3. 人口の分布と都市構造
4. 中心地論
5. 都市システムと人口移動

## 応用地理学 I

たか ぎ まさ ひろ  
高 木 正 博

河川と地域の関係を、利水・災害・自然環境などの視点から捉える。また、近年水環境に対する関心が高まっているが、その問題点について、地理学と他の研究分野を関連させてのべる。

〔参考書〕高橋 裕著『河川工学』(東大出版会)

中西準子著『水の環境戦略』(岩波新書)

## 文化地理学

こも ぐち よし ろ  
菱 口 善 美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史(詩)、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

## 日本史特講Ⅶ(近代)

さ どう ひと えい  
佐 藤 元 英

明治初年より太平洋戦争までの外交史時期区分論を講ずる。

前期は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応、明治初年の領土問題、条約改正、日清戦争、日露戦争、第一次対戦とパリ講和会議などについて論じ、外交主体の確立と近代主権国家系への参加から大陸膨張政策という対外路線を検討する。

後期は1920年代の国際関係と極東新秩序の模索、ワシントン体制と幣原外交及び田中外交、満州事変と国際的孤立化、国際体制の現状打破、日中戦争、太平洋戦争などについて論じ、国際協調から離脱していく世界新秩序の形成という対外路線を検討する。

〔参考書〕入江 昭『日本の外交』(中公新書)

池井 優『日本外交史概説』(慶応通信)

## 東洋史特講Ⅹ(近・現代)

あん どう まさ し  
安 藤 正 士

前期に「西安事変研究」、後期に「文化大革命研究」をおこなう。

### 1. 西安事変研究

はじめに一問題の提起、①西安事変にかんするこれまでの研究、②1930年代の中国政治外交政策、③西安事変、④「三位一体」体制の崩壊、⑤国民党3中全会、おわりに

### 2. 文化大革命研究

はじめに一問題の提起、①毛沢東の神格化、文革の綱領、②奪権闘争の展開、③新しい社会のヴィジョンと現実、④対外関係、⑤林彪事件、⑥近代化論争、おわりに

〔参考書〕安藤正士・太田勝洪・辻康吾『文化大革命と現代中国』(岩波新書)1986

## 西洋文化史 I

さ さ き まこと  
佐々木 真

今日、私たちがイメージする西洋文化とは、主に19世紀から20世紀にかけて、知識人たちの影響下で形成された、近代文化のことであろう。しかし、最近のヨーロッパ史研究では、前近代社会や民衆世界においては、今日と異なった文化が存在したことが指摘されている。本講義では、西洋の民衆文化を題材として、中世末から近代にかけての文化変容の問題を考えてみたい。具体的には、民衆の生活様式（人口動態、家族・労働形態、女性や子供の地位）や知の世界（読書行為、識字）、民衆の心性（価値規範、死生観）などを手がかりとして民衆の文化世界を考察する。教科書は特に指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。

## 歴史哲学

あ そ う けん  
麻 生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で、歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を、「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは、今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが、そもそもは「他者理解」の問題、「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）¥2,500

## 哲学史

まる やま とよ き  
丸 山 豊 樹

この講義「哲学史」の内容は「近世哲学史」である。しかし、近世哲学も古代および中世の哲学の発展・展開であるから、まず始めに古代・中世の哲学を概観した後で、近世哲学を論ずることにする。

「イギリス経験論」と「大陸合理論」によって、近世哲学の歴史は開始されるが、それはカントの「批判哲学」によって総合され、後さらに幾多の曲折を経て、現代の哲学に結実する。それらの哲学の特色を捕らえて、現代の哲学と科学との関連を考慮しながら講義を進めたい。

〔教科書〕国嶋一則編『西洋哲学の展開』（公論社発行）

## 日本民俗学

たに ぐち  
谷 口

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・習慣、考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにした。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## マスコミュニケーション

かわ もと まさる  
川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマス・コミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようなかわりをもっているか、社会的に分析する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 産業社会学

あん どう きくお  
安 藤 喜久雄

産業社会学の主要領域 — 組織、企業経営と労働者生活および労働者意識、労使関係、労働組合、職業・産業と社会、などについて概観し、そこでの社会学的諸問題が現代人にとってどのような意味をもっているか検討する予定である。

〔教科書〕安藤喜久雄『産業社会学』

（学文社）¥2,500

## 都市社会学

え がみ せつ  
江 上 渉

次の様な内容で講義を進める予定である。

### 1. 都市社会学の誕生

シカゴ学派の人間生態学から、都市社会学の誕生

- へ（パーク、バージェス、ワースの所論を中心に）
- 都市社会学の興隆  
わが国における都市社会学の受容と発展（都市化論、都市類型論、都市分類研究、町内会論、生活構造論など）
  - 都市社会学の展開  
70年代以降のコミュニティ研究を中心に、都市化社会から都市型社会への変動を分析する。  
〔教科書〕特に使用しない  
〔参考書〕その都度指示する

とが明らかになったのであるから、しからばロシア・東欧圏の歴史的連続性と独自性を何に求めるか、という問題も併せて探究していく必要がある。

社会主義論の原理的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制への認識が深まり、我々の時代の当面している課題が明らかになれば、自らの姿を鏡に映すという外国研究の基本的役割をいささかでも果たすことになるであろう。

〈授業予定〉

トピックスにコメントする機会が多いと思われるので、以下はあくまで予定と考えて頂きたい。

1. 社会主義とロシア革命
  - (1) 社会主義論の歴史
  - (2) マルクスの社会主義論
  - (3) ロシア革命のめざしたものーレーニン時代ー
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
  - (1) 1920年代から30年代への根本的転換
  - (2) 工業化と農業集団化
  - (3) ソ連型「社会主義」の特質
  - (4) ソ連・東欧経済圏の形成
3. 「計画経済」と経済管理システム
  - (1) 「計画経済」の成立
  - (2) 「計画化」と「計画経済」の実態
  - (3) ソ連型経済管理システム
4. ソ連経済の到達水準
  - (1) 経済構造の特質
  - (2) 軍事生産と工業生産力
  - (3) 工業技術の諸問題
  - (4) 農業政策と農業制度
  - (5) 農業生産力
5. 停滞からベレストロイカへ
  - (1) 経済改革の時代
  - (2) ブレジネフと停滞の時代
  - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
  - (1) ロシア・東欧社会の特質
  - (2) 市場経済化の諸問題ー何から何への移行かー

〈成績評価〉

本講義に限らず、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを求めたい。そのような観点で、成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行なう。

〔教科書・参考書〕

教科書はない。授業中にノートを取るの当然である。参考書は適宜指示する。

## 社会福祉発達史

はやし ちよ  
林 千代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他編『社会福祉事業発達史』

（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕随時紹介

## ロシア・東欧経済論

やま がた ひろ し  
山 縣 弘 志

〈授業内容と目標〉

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、いかなる方向かとはかくとして移行過程にあるが、この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも他と区別される経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエンと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてそれはまぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義になりえたか否か自体が問われなければならないという認識が、同時代史によって求められている。社会主義であれ資本主義であれ、個別の体制は独特のあり方として捉えなければならない。その意味からも、ロシア革命による歴史の断絶か連続かの問題は、今日においては、後者に重点を置いた捉え方が妥当であるというこ

## 社会政策

みつ おか ひろ み  
光 岡 博 美

### 〈社会政策の内容〉

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する社会改良思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、当時ヨーロッパの後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から、社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提として、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は、政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題研究へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても、欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、日本の労働問題や労使関係の実態を分析し、労使関係をその実態に即して理解しようとする研究が大きな影響を及ぼしている。

### 〈本年度の講義内容〉

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会政策学思想と理論
- (2) 労使関係論思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代日本の社会政策と労働問題
- (7) 日本的労使関係の現実とその未来

上に述べた(1)~(7)の項目について、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介や解説、最近注目されている外国人労働者問題や女性労働問題などの時論、私が専門的に研究してきた問題なども、できるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

また、授業とは直接関連はないが、労働問題を考えるうえでも有益と思われるような名作(映画)を鑑賞する機会も準備してみたい。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。そして、

われわれにとっての“より良い”社会とはどのような社会であるのかといった事柄にも思いをめぐらしてみたい。

### 〈履修条件と成績評価〉

履修条件は特にないが、教場では私語を慎むこと。また必要に応じて、出欠の点検を行う場合もある。成績の評価基準や答案作成の注意は、年度末試験の2週間ほど前の授業で説明する。

〔教科書〕なし

〔参考書〕必要に応じて講義のなかで紹介する。

## 国民所得論

よし の おさむ  
吉 野 紀

220万の法人企業、6,700万人の就業者、そして4,200万の世帯、これらの中でさまざまな生産活動や取引が営まれている。これに政府や海外取引を含めると、日本経済では正に無数といってよいほどの取引関係が日々結ばれていることになる。

これらの取引関係は複雑に入りこんでおり、その1つ1つを追跡すると、経済という森に歩み入って、森全体の状況についての認識に到達することが難しくなる。そこで、森の上に飛び上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。こうして、上空から眺めると複雑に入りこんだ諸取引はいくつかの類似した性質を共有するグループに分けられることに気付くであろう。このような諸活動の1年間の成果が、たとえば、日本経済の場合、国民総生産(GNP)460兆円に結実してゆくのである。

「国民所得論」はこのような視点に立脚した経済分析方法である。しばしば、マクロ(巨視的)分析とよばれる所以である。モデル・アナリシスと、現実に観察される日本経済との対応が常に心懸けられるであろう。

### 〈授業計画〉

「国民経済計算」……………5回

GNP、GDPなど、国民経済全体をとらえるための経済指標の理解と、さまざまな諸取引間の相互関係をとらえることが主題となる。

「平成5年日本経済の循環図」(配布資料)

西嶋・藤岡『国民経済計算の知識』(日経文庫)

「総需要、均衡産出量、均衡所得……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に即して説明される。このテーマの終了後、練習問題が宿題として課される。解答と解説は授業中に示される。

中谷『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章「貨幣・利率および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣のはたす役割が導入され、前回までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の置かれている現況

との関わりが登場する機会も徐々に増えてゆくであろう。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題が宿題として課される。正解と解説は授業中に示す。

「金融政策、財政政策」…………… 4回

前回までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。ただし、金融政策、財政政策ともに、その効果という点では一律ではなく、機動的なポリシー・ミックスが望まれる、といった点にも触れなければならない。

『マクロ経済学(上)』ドーンブッシュ・フィッシャー(マクローヒル)第4章

「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」…………… 4回

これまでに扱われてきたのは、財やサービスの取引と貨幣市場であったが、これに労働力市場が明示的に組み合わせられる。

「最終講義」…………… 1回

平成7年日本経済の予想。

海外経済との関わりは、主に為替レートを中心にここで触れられる。

〈成績評価〉

期末試験…………… 85%

2回の練習問題の提出(2回とも提出することが条件)…………… 15%

なお、練習問題を教場で黒板に解答して見せてくれる学生諸君(年間15名前後)には、学生諸君全体の意見を反映しつつ別途配点することもありうる。

(教科書)開講時に指示する。

## 中国経済論

こ すぎ しゅう じ  
小 杉 修 二

1. 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6・4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

2. 前期授業のはじめに、キー・ワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

3. 2につづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまりに近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

4. 上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また、中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

5. 授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ(1-201または1-301教室)上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

6. 受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受け入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

7. 学習が正解当てクイズに終るかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や

同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

〔教科書〕小杉修二著『増補現代中国の国家目的と経済建設—超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）¥4,120(消費税込み)

〔参考書〕小林英夫『戦後日本資本主義と「東アジア経済圏」』（御茶の水書房）¥3,200  
小林英夫『東南アジアの日系企業』（日本評論社）¥3,200

## アジア経済論

こ ばやし ひで お  
小 林 英 夫

今日ほどアジアが注目されるようになった時期もめずらしい。とりわけ、その目ざましい経済成長が注目されたのである。1970年代は韓国、台湾、香港そしてシンガポールが、そして80年代後半になるとタイやマレーシアといったアセアン諸国が、その高成長のゆえに注目された。韓国をはじめとする4ヵ国は、一つの高成長グループとしてくられ、その名をニックス(NICS)と称された。

では、なぜ、この時期、アジアで経済成長が生じたのであろうか。それは、どのような歴史を背景に生まれたのか。そして、こうした成長地域の出現は、世界政治と経済にどのような影響を与えたのであろうか。アジア経済論は、こうしたアジアの経済成長の歴史的背景と現状そして将来を展望し、それが日本と世界の政治、経済に与えたインパクトを考察することにある。

授業は、講義形式でおこなう。ただし、原則として年間2回外部講師をまねいて、実際のアジアの実情を紹介してもらっている。これまでに野村証券の調査員にシンガポールの金融事情を、ジェトロの調査員にマレーシアの実情を、三菱柏会の事務局長に自動車部品産業の実情を紹介してもらった。今年も同様の“アジア・ガイド”を計画している。

今年度の授業項目と授業スケジュールは以下の通りである。

4月

アジアの実情

5月～7月

日本とアジアの経済関係（戦後日本とアジアの関係を、Ⅰ. 賠償過程、Ⅱ. 借款過程、Ⅲ. 直接企業進出の3期に分けその過程を追うと同時に、それが日本の産業構造に与えた影響について検討する。

7月の夏休み前に、外部講師をよび、企業進出に的をしばった、実態報告を行う。

9月～12月

東南アジアの日本企業の活動（1972年以降開始された日本企業の東南アジアでの活動実態について、主に輸出加工区でのそれをめぐってその活動実態を検討する）

1月

まとめ（1年間の講義について、まとめを行なう）

授業の受講にあたっては、あらかじめ指示した教科書を講読しておくこと。テストは、夏休み直前と期末のテストの2回を実施し、両者の総合成績で決定する。

## 日本経済史

こ しょう ただし  
古 庄 正

開港前の日本は、極東の一封建国家にすぎませんでしたが。1853年（嘉永3）のペリー(M. C. Perry)来航に始まる鎖国体制の解体と欧米列強による領事裁判権・協定関税率・最恵国条項を内容とする安政条約の強制は、政治的にも経済的にも軍事的にも、幕末日本を植民地化の危機に陥れました。それにもかかわらず、日本は開港後わずか数十年の間に工業化を達成し、アジアにおける唯一の工業国家になりました。インド・中国・朝鮮その他のアジア諸国が工業化に失敗する中で、日本だけがなぜ工業化に成功したのでしょうか。この講義の第1の課題は、この点を歴史的・具体的に明らかにすることです。第2の課題は、日本の工業化は内外の民衆にとって何であったかを明らかにすることです。工業化は民衆の犠牲なしにはあり得ませんでした。苛酷な租税収奪による農民の没落、「インド以下の低賃金」の強制による労働者の貧困、公害の放置による地域住民の生活破壊等は工業化のもう一つの側面でありました。資源確保のためのアジア諸国への侵略はアジア諸国の民衆に塗炭の苦しみを強要することになりました。日本の工業化の問題はこれらのこととセットで考えなければなりません。第3の課題は、天皇制国家によって強行された日本の工業化と、戦後補償問題に端的に示されているような、自己反省に欠ける日本国家・日本企業の傲慢で醜い体質との間に、どういう因果関係があるのかを突き止めることです。日本経済史の対象はすこぶる広く、古代社会から現在までということになります。しかし、時間的・能力的制約から今年度は主に明治期（いわゆる産業革命期）の問題に話を限定したいと考えています。話の具体的中身としては、今のところ次のテーマを予定しています。なお、年度内に生起する諸事件の中で、日本経済史との関連で特に重要なものについては、適宜これを取り上げてお話するよう心掛けたいと思っています。生きた具体的な現実との緊張関係を抜きにした講義は、社会科学の講義としては適切なものではないかと思うからである。

1. 幕藩体制の構造とその矛盾
2. 開港と植民地化の危機
3. 幕藩制の崩壊と明治維新
4. 明治国家の工業化政策
5. 政商と天皇・華族の資本蓄積
6. 農民の分解と士族の没落
7. 自由民権運動と天皇制国家
8. 産業革命と工業化

9. 紡績と製糸業
10. 工業化と在来産業
11. 重工業と鉱山業
12. 工業化と公害
13. 財閥の形成と発展
14. 工業化と地主制
15. 鉄道業と海運業
16. 外国貿易の発展と構造
17. 工業化と財政・金融
18. 植民地の領有とその矛盾
19. 工業化は民衆にとって何であったか。

経済史を含めて、いま、なぜ、歴史を学ぶ必要があるのだろうか。講義要綱を書くたびに、いつも気になるのはこの点です。大学の先生のような研究と教育を商売にしている人間は一応別として、一般の学生や市民にとって、果たして歴史を学ぶ必要などあるのでしょうか。多少我田引水のように少し気がひけるのですが、私はやはりその必要があると思っています。歴史学は何が真実なのかを問い直す一つの有効な武器となるからです。現在と過去とが密接にリンクしている戦後補償問題に例をとって、この点を説明しましょう。

第2次大戦中、日本の政府と企業は100万を越える朝鮮人を労務要員として、あるいは軍人軍属や従軍慰安婦として動員し、その果てに多くの人々を死傷させ、または心身に癒し難い傷を負わせました。しかし、加害者である日本国と日本企業はこれらの戦争犠牲者に対して何の補償もせず、戦後処理に決着をつけました。従軍慰安婦を別とすれば、日本政府も関係企業もこれらの戦争犠牲者に謝罪すらしていません。こうした理不尽な戦争処理の再検討を求めて、いま戦争犠牲者たちは東京地裁等で裁判を始めています。しかし、国も企業も強制連行、強制労働・差別待遇の事実を一切認めず、日韓協定ですべて解決済として、原告の要求を突っぱねています。国と企業が過去の蛮行を何ら反省することなく、こうした傲慢な態度をとり続けているのはどうしてでしょうか。その理由の一つは、事実の解明が十分でなく、原告側が国や企業の強弁に有効な反論ができないためです。中央大学の吉見義明教授が防衛庁防衛研究所所蔵の軍の機密資料を発見、従軍慰安婦問題については軍の直接的関与を認めさせ、政府の政策を大きく転換させましたが、その他の問題については、国と企業の徹底した資料隠しも加わって、被害の実態が十分つかめていません。原告側の最大の弱みはこの点にあります。もう一つの理由は、韓国併合以来の朝鮮および朝鮮人に対する蛮行が、学校教育では殆ど知らされていないこともあって、多くの人々が戦後補償問題について無知・無関心であるということです。被害国家の民に対する国と企業の理不尽な対応を日本国民が許す一因はここにあります。文部省が教科書検定に執念をもやしたわけがよくわかります。戦後補償裁判を傍聴してしみじみ感じたことは、歴史研究と歴史教育が何としても必要だということでした。国民が真実を知らなければ、どんなに理不尽なことでも、それが正論として公法廷の場でも罷り通る

ことになりかねないからです。

経済史を含めた歴史学の課題は、何が真実であるかを明らかにすることにあります。そういう意味では、本質的には批判の学であります。しかし、経済史を含めた歴史学の勉強をこいう側面のみ限定して考えるのは一面的にすぎます。人が自分の過去を懐かしく思うように、自己の所属する国家や民族や地域について、あるいは自らがその中で生きている社会や経済や文化について、その過去を知りたいと思うのは、いわば人間の本性のようなものです。そういう知的欲求を満たしてくれるのもやはり歴史学なのです。

## 中小企業論

三井逸友

「中小企業」を論じるというのは実は存外に容易ではない。世界的な「中小企業フィーバー」の続いた80年代をへて、深刻化する不況と「構造転換」のすすむ今日こそ、さまざまな俗論や安直な先入観を排し、きちんとした学問的方法と総合的でグローバルな現状認識をはかり、さらに21世紀を展望した「政策観」をつくり上げていく必要があるだろう。

日本の中小企業は約600万、企業の99%、従業員の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万をこえ、付加価値の50%以上を生み出している。つまり、日本の経済社会にとって中小企業はきわめて重要な「メジャー」な存在であるとともに、諸外国からうらやましがられる「日本産業の競争力」を支えているのである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が恵まれていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差、不利、経営不安などの「問題状況」も依然広くみられ、今日また深刻となっている。しかもこうした「期待」と「困難」の交錯する事態は先進国に共通して確認されているのである。

この講義ではこうした中小企業の存在状況と役割、当面する問題を概観し、次にこうした中小企業の存立と問題性をめぐる理論・研究を検討し、「中小企業問題」の二面性と、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけを明らかにする。講義の後半では、「下請制」、「地場産業産地」などの中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追い、結合生産力の「効率性」と、これに対する競争と統制・管理の貫徹がもたらす「経済的關係」のうえでの問題状況を示す。事態は独占大企業の「支配・利用」と「過剰・淘汰」の間で現われるのである。さらにこうした「中小企業問題」に対応して展開されてきた「中小企業政策」の国際比較研究を行い、「生産力」的に成功を収めてきた日本の「中小企業近代化政策」の特徴と限界、これに対する欧米の政策の相違点と近年の「収斂傾向」を解明する。加えて補論として、最近の政策課題として注目される、「構造転換」（リストラ）対応策、分業にもとづく結合生産力の目的意

識的な組織としての、企業間連携・共同促進策、新規開業促進策、そして「基本法30年」での中小企業政策の見直しの動きについてもふれてみたい。

授業は主に講義の形で進めるが、企業経営のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、企業経営者の方の話などもとり入れたい。その中で産業分析の基礎知識も伝え、さらに担当者の世界各地や全国での見聞も活用する。

〈構成予定〉

- I. 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況
- II. 「中小企業論」研究の方法と「存立」論・「問題」論
- III. 中小企業の現代的存在形態
- IV. 「中小企業政策」の展開と国際比較

なお、毎年夏休みには、補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。成績評価は、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。

〔教科書〕三井逸友『現代経済と中小企業』（青木書店）¥2,800（税抜）、  
三井逸友『E U欧州連合と中小企業政策』（白桃書房）（予定）

〔参考書〕中小企業庁編『中小企業白書』（各年次）

## 教育経済論

や しき だ かつ  
谷 敷 正 光

〈授業内容〉

経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について考察する。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2,000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2,000年のアメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランス「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした各国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず考察する。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の教育要求と国の教育政策、産業教育政策を考察する。

〈授業形態〉

毎時間、講義のはじめに、現実的理解のために視聴覚教室でビデオを使用する。

〈授業項目と授業スケジュール〉

(1) 欧米先進国の経済の現状と教育

- ① アメリカ
- ② イギリス
- ③ フランス
- ④ ドイツ
- ⑤ 日本

(2) 戦前の経済発展と実業教育の振興

- ① 学制時代（明治10年前）
- ② 教育令時代（明治20年代）
- ③ 学校令時代（明治30年代）
- ④ 実業学校令時代（明治30年代）

(3) 戦後の経済発展と産業教育の振興

- ① 復興期
- ② 高度成長期
- ③ 1970年代
- ④ 1980年代
- ⑤ 1990年代

(1)(2)は前期に、(3)は後期に講義する予定。

〈履修条件〉

- ① 欠席しないこと。
- ② 視聴覚教室を使用することが多いので教室には注意すること。
- ③ 年間数十枚のプリントを配布の予定ですが、一度配布したプリントは、後の時間では配布しないので、必ずその時間中に受けること。

〈評価方法〉

定期試験の成績

〔教科書〕年間25～30枚のプリントを講義資料として配布するので特に使用しない。

〔参考書〕豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』（東大出版）

文部省『産業教育百年史』（ぎょうせい）

## アメリカ経済論

せ と おか ひろし  
瀬戸岡 紘

☆ 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのが、この講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

☆ 特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。

この講義を受講するためには、特別な経済学の予備知識などは必要ありません。経済学部以外の学生でも



十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済について興味をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥深く興味をつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

☆ 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。

1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

前 期

[導入の話題]

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

[総 論]

◇アメリカ的特質

◇アメリカ経済の歴史的背景

[アメリカ経済各論]

◇アメリカの農業

◇アメリカの工業

◇アメリカの企業家

◇アメリカの労働者

◇アメリカの商業とサービス

◇アメリカの金融

◇アメリカの科学技術

◇アメリカの先端産業

後 期

[世界とアメリカ]

◇国際通貨ドルの地位とIMF

◇アメリカと貿易(GATTとWTO)

◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義

◇アメリカの海外援助

◇アメリカの多国籍企業

◇多国籍企業とアメリカ経済

[アメリカと世界の諸地域]

◇アメリカとEU

◇アメリカとカナダ・メキシコ

◇アメリカと日本

◇アメリカとアジア・太平洋

[むすびの話題]

◇アメリカの経済学(あたらしい学派の見解)

毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

☆ あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、この真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

☆ アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です。

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

☆ 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません。

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳、青木書店、1994年)をおすすめします。

☆ 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です。

この講義は、3年生、4年生いずれもが受講できることはいうまでもありませんが、以上にのべたこの講義の性格からして、3年生のうちに受講することをすすめます。また、この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。たとえば、この講義では、一発の年度末試験よりも平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定です。

財務会計論

えん とう たかし  
遠 藤 孝

〈授業の主たる内容〉

会计学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計(FINANCIAL ACCOUNTING)について、その伝達、開示の手段である貸借対照表

(BALANCE SHEET), 損益計算書 (INCOME STATEMENT) を中心に、その性質、内容、役割などについて講義する。

財務会計論は会計学原理ともいえるもので、企業会計とは何か、企業が作成する貸借対照表などの決算書は、どのようにして作成されるか、それはどのような性質、内容をもつものであるか、それはどのような役割を果たすものであるか、また決算書はどのように読んだら良いのか、など実例をもって説明する。

〈授業形態、講義〉

できるだけ多くプリントを配る予定。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期

- ① 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。  
会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- ② 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。  
企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- ③ 5月第1週  
財務会計の制度性について。  
企業会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- ④ 5月第2週  
貸借対照表論、貸借対照表とは何か。実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- ⑤ 5月第3週  
資産評価について。流動資産 — 棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- ⑥ 6月第1週  
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- ⑦ 6月第2週  
繰延資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- ⑧ 6月第3週  
引当金について、引当金とは何か。引当金の設定基準 — 商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- ⑨ 6月第4週  
同上
- ⑩ 7月第1週  
資本会計について。

後期

- ⑪ 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- ⑫ 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- ⑬ 9月第3週  
同上

- ⑭ 10月第1週  
セグメント会計について  
リース会計について
- ⑮ 10月第2週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表(書)
- ⑯ 10月第3週  
同上
- ⑰ 10月第4週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- ⑱ 11月第1週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。  
「企業会計原則」について
- ⑲ 11月第2週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- ⑳ 11月第3週  
同上
- ㉑ 11月第4週  
日本、世界企業会計の最新動向。
- ㉒ 12月第1週  
同上
- ㉓ 12月第2週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。  
— 総括
- ㉔ 最終週  
予備

以上のスケジュールは学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

〈成績評価の方法〉

試験による。(前期、後期2回実施の予定)

〔教科書〕講義の際指示。

## 管理会計論

なか ほん しょう きち  
中原 章 吉

〈授業の主たる内容〉

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。

「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができるといえます。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期は、管理会計の本質、体系その中での意思決定会計と業績管理会計をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連につ

いても講義していきたいと思えます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。

「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

<予め読むべき文献など>

1年生で「会計学総論」を選択しなかった経済学科の学生は会計学の入門書を読んでおくと講義が理解しやすいと思えます。例えば、『企業会計の基礎知識』（創成社）  
〔教科書〕講義の際、指示します。

## 会計監査論

いい おか とおる  
飯 岡 透

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化および企業活動の複雑化に伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。

本講座では、次の内容につき順次講義する。

1. 会計監査の目的と種類
  - (1) 会計監査の目的
  - (2) 会計監査の種類
  - (3) 監査基準の必要性とその構造
2. わが国における監査制度の発展
  - (1) 第2次大戦前におけるわが国監査制度の展開
  - (2) 第2次大戦後におけるわが国監査制度の展開
3. 証券取引法による監査制度
  - (1) 証券取引法による企業内容開示制度
  - (2) 公認会計士監査制度
4. 商法による監査制度
  - (1) 商法による計算と公開制度
  - (2) 監査役監査制度
  - (3) 会計監査人監査制度
5. 監査人の要件と責任
  - (1) 監査人の要件
  - (2) 監査役および会計監査人の選任と解任
  - (3) 監査役および会計監査人の職務権限と責任
6. 監査要点と監査手続の選択適用
  - (1) 監査要点の意義と種類
  - (2) 監査手続の意義と分類
7. 監査証拠の種類と内容
  - (1) 監査証拠の意義と分類
  - (2) 十分な証拠とその決定要因

8. 内部統制と監査リスク
  - (1) 内部統制の構成要素とその評価
  - (2) 監査リスクと重要性
9. 監査計画の設定要件と組織的監査
  - (1) 監査契約と予備調査
  - (2) 監査計画の目的とその設定
  - (3) 組織的監査の必要性と審査機能の整備
  - (4) 他の監査人の監査結果の利用
10. 監査調査の目的と種類
  - (1) 監査調査の目的と作成要件
  - (2) 監査調査の種類と保存
11. 経営者による確認書の意義と記載内容
  - (1) 経営者による確認書の役割
  - (2) 経営者による確認書の記載内容
12. 監査報告書と監査概要書
  - (1) 監査報告書の意義と機能
  - (2) 監査報告書の種類
  - (3) 短形式監査報告書の記載内容
  - (4) 特記事項の記載内容
  - (5) 監査概要書の目的と記載内容

会計監査は、財務諸表の適否についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、簿記論および財務会計論などの講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。なお、成績は、レポートおよびテストの結果によって評価する。また、教材・参考書については、最初の授業時に指示する。

## 商業政策

いっ した ひろし  
岩 下 弘

<授業項目>

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 80年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
    - 3) 1991年改正法

- 5 凍結宣言，要綱及び条例
- 6 通産省による行政指導＝抑制措置
- 7 規制緩和
  - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート，行革審報告
  - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
- 8 特定商業集積法
- 9 街づくりと都市計画

#### 五 海外の流通政策

- 1 イギリス
  - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
  - 2) 日曜営業問題－商店法
- 2 フランス－ロワイエ法
- 3 ドイツ－土地利用計画
- 4 アメリカ－ゾーニング規制

#### 六 流通問題と消費者保護政策

- 1 消費者問題論
- 2 消費者保護基本法
- 3 消費者行政
- 4 生協

#### 七 流通問題と独禁政策

- 1 独占禁止法
- 2 不公正取引
- 3 取引慣行

#### 〈成績評価〉

試験，レポート，出席により評価する。

〔教科書等〕

教科書は特に指定しない。必要な文献は指示する。

## 貿易論

ふる さわ こう ぞう  
古 沢 紘 造

オゾン層破壊，熱帯林破壊，温暖化，酸性雨，放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方，私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまでできています。本講義では，こうした危機的状況を踏まえ，生命系の経済学の立場に立って日本の対外経済関係（貿易，投資，援助）を批判的に考察したいと思います。その際，構造的に，また，人々の生活の実態に触れながら検討をすすめます。

生命系の経済学とは，人格をもった人間としてのニーズ，環境，資源，地球のすべての生命との共存などを基準とした主体的な指標の確立と，それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

#### 〈授業内容〉

- I. 農産物と貿易
- II. 水産物と貿易
- III. 林産物と貿易
- IV. 資源と貿易
- V. 工業製品と貿易

- VI. 援助と貿易
- VII. 企業進出と貿易
- VIII. 総括

I～VIIIの具体的な内容については，最初の講義のときに話したいと思います。

#### 〈評価方法〉

基本的にはペーパー・テストにより評価しますが，自主的にレポートを提出してもらい，それを含めて評価をすることも考えています。答案やレポートを書くとき，論点を明確にし，自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたいと思います。思考の跡がうかがえないものは評価の対象にはならないでしょう。

#### 〈教材〉

とくにこれといった教科書はありません。専門用語などむずかしいことは，そのつど説明しますので，授業に出てもらえば内容は充分理解できると思います。講義の中で特に興味をもち，もう少し掘り下げてみたいということがありましたら，遠慮なく話に来て下さい。いろいろな文献や訪れたらよい機関を紹介します。講義の内容と卒業論文のテーマが関連しているということで研究室（第2研究館4階34号室）を訪ねる人もいます。

## マーケティング

そ が のぶ たか  
曾 我 信 孝

1. 前期はマーケティングの基本政策を取奪構造の観点から解明する。

#### (1) 製品政策

- ① 概念と差別化政策
- ② 多様化・細分化政策
- ③ ライサイクルと計画的陳腐化政策

#### (2) 価格政策

- ① 概念と価格設定の方法(1)
- ② 価格設定の方法(2)と消費者支配
- ③ 差別価格と取奪

#### (3) チャンネル政策

- ① 概念と流通機構
- ② 商業の排除と系列化政策
- ③ 流通支配の形態

#### (4) 販売促進政策

- ① 概念と人的販売政策
- ② 広告政策と広告業界

#### (5) マーケティング・ミックス

※前期の講義のねらいは，マーケティングの基本理論を理解してもらうことにある。しかし，講義中は理論の説明に固執するわけではなく，とりわけ消費財のマーケティング事例を豊富に取り入れるつもりである。それは学生諸君が今後マーケティングを応用できる能力をつけることを期待しているためである。

2. 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングの分析を課題にする。とりわけ、総合商社を軸として、日本企業が激変する国際市場にどのように対応しているかを、マーケティングの観点から分析する。

(1) 激変する市場環境

- ① 国内市場の変化
- ② ブロック経済化
- ③ 経済規制の緩和

(2) 総合商社の新事業

- ① 川下戦略
- ② 消費財生産部門への参入
- ③ 新事業への対応政策

(3) 総合商社の国際マーケティング戦略

- ① 消費財マーケティングの展開
- ② 総合商社の需要創造活動
- ③ ネットワークと支配

(4) 総合商社と子会社

- ① 子会社戦略
- ② マーケティング管理と子会社

(5) 情報化戦略

- ① 国際化と情報の対応
- ② 通信事業と支配
- ③ 情報関連事業と支配

※地球規模での市場の変化は、日本企業だけではなく、世界の企業がマーケティングを限定した地域で展開することはできなくなっている。また、日本市場だけを考えても、生産から消費までを考えなければならないマーケティングでは、国際マーケティングを抜きには論じられなくなっている。そのなかで、日本企業の国際マーケティングに総合商社は深く関与している。したがって、総合商社の行動を分析することで、総合商社の国際マーケティングはもとより、日本企業の国際マーケティングの実態を解明することにねらいがある。

〈評価の方法〉

- ① 年一回の定期試験……70%
  - 夏休中の課題 ……20%
  - 出席状況 ……10%
- ② 評価基準
  - 講義内容の理解 ……60%
  - 問題意識 ……30%
  - 分析力・応用力 ……10%

〔教科書〕 曾我信孝『総合商社とマーケティング』  
(白桃書房) ¥4,000

〔参考書〕 三浦 信・来住元郎・市川 貢『マーケティング』(ミネルヴァ書房) ¥2,200  
曾我信孝編著『マツダ マーケティング戦略』(白桃書房) ¥2,700

労務管理論

いし い しゅう じ  
石 井 脩 二

〈講義目的〉

日本経済の繁栄を支えてきた日本企業の存在意義が問われはじめています。国際的には依然としてくすぶり続ける経済摩擦や経済ブロック化への動き、国内的には政財界ゆ着による倫理性のない企業犯罪の頻発、過労死や長時間労働に示される労働生活の貧しさ、いわゆるバブル崩壊に伴う企業業績の悪化といった情勢のなかで、あらためて日本企業のあり方が問われている。日本企業をとり巻くこれらの環境変動は、日本企業が今後どのような方向へ進んでいくのかという「将来予測」を難しくしている。この変化の激しい時代に必要なことは、現実に生起している事実を可能な限り把握し、そのなかで次なる時代の方向を自分なりに見定めることである。この講義の目的は、日本企業の現実に関心を持って、これから到来するであろう社会がいかなる様相をもつことになるかを考えるための情報を提供することにある。

〈講義内容〉

企業は、一般にヒト・モノ・カネ・さらに情報といったさまざまな経営資源を調達・購入し、その効果的な組み合わせによって目的とするものを実現していく。日本企業が国際的に強い競争力を発揮しえたのは、これら諸資源のうちヒト資源つまり人的資源の活用卓越性によるといわれている。企業活動のうちで人事・労務管理といわれてきたものが専らこのヒト資源の有効利用に関係している。

ところが現在、日本企業がつくりあげてきた強い競争力そのものが問われはじめています。このことは、競争力の源であった日本企業での人的資源管理つまり人事・労務管理そのものがその妥当性を問われているということにほかならない。この講義では、日本企業が直面している企業環境の変化のなかで、どのような人的資源管理が展開されようとしているかを極力最新の情報によりつつ明らかにし、新しい制度・方式の展開の先にどのような日本企業の将来が浮上してくるかを考える。

前期は、人的資源管理に関わるもののうち、一般に「雇用管理」といわれている領域の問題を扱う。雇用管理とは、企業が必要とする量と質の人的資源を調達し育成する一連の計画的・組織的活動である。この雇用管理を貫いていた原理・原則は、周知の終身雇用慣行であり、年功制度であった。しかし、今日は、日本企業を取りまく環境変動は、従来の雇用管理の原理・原則をゆり動かし、解体の様相さえみせはじめています。この講義では、その変動に関する事実情報を可能な限り把握し伝えようというわけである。講義は、以下の順序で進めていく。

序 章

労務管理ないし人的資源管理とは

## 第1章

日本企業が直面している諸問題

第1節 企業環境の変化と日本企業の戦略転換

第2節 事例研究

## 第2章

雇用管理の内容と新しい動き

第1節 募集・選考

第2節 教育訓練・配置

第3節 昇進・昇格

第4節 給料・報酬

第5節 労働時間

第6節 定年退職

## 第3章

人事制度の新しい展開

第1節 変化を促進した要因

第2節 具体的制度とその有する意味

### 〈授業方式〉

授業は、講義方式、板書。出欠にはこだわらない。但し前期・後期それぞれに試験を行う。

### 〈成績評価〉

前期（50点）、後期（50点）を総合して判定する。試験内容の評価は、答案の論理性と説得性にもとづく。勿論、講義内容をふまえていることを条件とする。優・良・可・不可の配分は行わない。全員の答案がすぐれていれば全員が優と判定されることもありうる。また、その逆も極端な場合には生じうる。

〔教科書・参考書〕

テキストは使用しない。しかし、以下の文献は必読。講義時間にプリント配布。

- ①日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』（日本経済新聞社）¥2,800
- ②日本経済新聞社編『会社解体新書』（日本経済新聞社）¥1,300
- ③日本経済新聞社編『テラスで読む当世労働事情』（日本経済新聞社）¥1,300
- ④佐野陽子『企業内労働市場』（有斐閣）¥1,700

## 経営管理論

ひく た よし はる  
百 田 よし はる  
義 治

### 〈講義の要旨〉

企業とは何か。それはどのような目的・理念のもとに経営されているのか。また、そこで人々はどのように働き、生活しているのか。一年間の講義を通して、こうした問題をさまざまな視角から取り上げて検討します。

今日、日本企業の経営システムには、「トヨタイズム」という言葉に象徴されるように国際的に大きな関心が寄せられています。その関心には、労働生産性の高さという「効率性」に注目した「肯定的」な評価もあれば、「過労死」や「長時間労働」という「非人間性」に注目した「否定的」な評価もあります。日本企

業の活動のグローバル化が進展する中で、また外国企業が日本的経営システムを導入する（ジャパナイゼーション化）中で、日本的経営システムの「普遍性」・「特殊性」をトータルに把握し、国際化時代と共生する日本企業の今後を考えることが私達に今日ほど求められている時期はありません。

しかし同時に、現代社会における私達の生活そのものが、企業の活動を媒介に実現されています。私達は、労働者としてだけではなく、消費者としても、地域社会（コミュニティ）で生活する市民としても、企業の活動と無関係に生活することができない存在です。私達は、物質的にも精神的にも豊かな生活を実現し、働きがいのある労働生活と生きがいのある家庭生活を「回復」するためにも、現代企業の経営管理に無関心ではいられないのです。

このような現代企業の経営管理活動を研究の対象とする経営管理論は、20世紀の初頭に経営管理活動を近代化・合理化する技法・制度・理念の提供を課題として誕生したものです。現代においても、その基本的性格が企業経営のための実践的な指針・政策の提供すること（実践性）にあることは否定できません。すなわち、現代の経営管理論も、FAやOAなどめざましい技術革新の進展や著しい国際化の展開、あるいは急速に進行する高齢化社会の到来や地球規模で深刻化する環境問題、さらには自覚し多様な価値観を持った消費者の行動など、企業を取り巻く諸条件の変化に起因する問題に対応するための指針・政策の提供というプラグマティックな方策論的な性格を一面において持っています。フィランソロフィー、経営（企業）倫理、コーポレート・ガバナンスといった最近の議論もその例外ではありません。

講義では、このような方策論的経営管理論が提起するさまざまな経営管理の技法・制度・組織あるいは経営理念・経営思想の歴史的展開と現状を事実面に則して具体的に検討します。しかし、経営管理の諸問題は批判的に検討することも必要です。すなわち、経営管理の諸問題は、経営学や社会科学の対象として位置づけて考察することも必要です。

その理由として、二つのことが考えられます。一つには、現代企業の諸活動は、方策論的経営管理論が実践的な指針・政策の提供の対象とする経営者や管理者だけではなく、圧倒的多数を占める一般の労働者をも含めた、あらゆる人々の「総労働」として実現されているからです。そのような総体としての企業構成員すべての労働と生活の豊かな未来を展望した問題の検討が経営管理論の課題でもあります。二つには、圧倒的多数の現代の企業は私企業ですが、その社会的影響力という点から見れば、市民社会あるいは国際社会と共生すべき「社会的存在」であり、「社会的公器」であるとも言えます。その意味では、国民全体の豊かな未来、国際社会との共生という立場から、現代企業の経営管理問題の多様な諸相を歴史的、客観的、科学的に認識し、その問題点を解明し、現代的諸問題へのアプローチの方途を検討することが経営管理論の重要な課

題であると言えます。

現代企業の諸活動は企業構成員全体の労働に支えられたものであり、またその諸活動は一般の大衆株主や消費者あるいは取引業者や地域住民などとの、さらにはグローバリゼーションの現状を考えれば進出国との関係をも含めて、数多くの利害関係者との多面的で密接なネットワークの中で展開されています。したがって、現代企業の経営管理の諸問題は、一般従業員、下請け・関連企業、市民・地域住民、消費者、大衆株主などとの関係、さらには国際関係をも視野に入れて検討されなければなりません。授業では、このような視点から経営管理の諸問題にアプローチすることになります。

〈授業の方法〉

- (1) 前期：テキスト（教科書、参考書）を利用して、経営管理の技法・制度や理論・思想の歴史的な展開を学びます。しかし、随時、新聞記事や雑誌論文などを使用して、経営管理の現代的諸問題との関連をできるかぎり重視し、歴史的な展開を学ぶことの意義を考えて行きます。
- (2) 後期：日本の経営システム、グローバリゼーション、技術革新と経営管理の変化、などに関する授業では、可能なかぎりビデオも利用し、できるかぎり具体的に現代の経営管理問題を把握できるようにします。

〈授業スケジュール〉

【前期】

- ①4月：(1) 現代の企業と経営管理の基本的性格について
- (2) 現代経営管理の諸領域について
- ②5月：(1) 経営管理の生成について：  
体系的な管理と科学的な管理
- (2) 経営管理の展開について：  
人間関係管理と人的資源管理
- ③6月：(1) 経営管理の理論について：  
管理過程論と管理組織論
- (2) 経営管理の理論について：  
企業環境と経営戦略論
- ④7月：(1) 経営管理の理論について：  
経営倫理と企業の社会的責任論
- (2) 前期試験（前期最終講義）

【後期】

- ①9月：(1) 技術革新と経営管理：  
FA・OA化と管理問題
- ②10月：(1) 日本の経営について：  
日本の労使関係の特質
- (2) 日本の経営について：  
日本の生産システム
- (3) 日本の経営について：  
企業集団と経営管理
- ③11月：(1) 日本企業の経営比較：  
経営組織構造、経営理念、労働観
- (2) 国際化と経営管理：  
日米企業の国際化の現状と課題

④12月：(1) 現代経営管理の課題と労働の未来

⑤1月：(1) 後期・学年末試験

（以上のスケジュールは、授業の進め方の基本的な方向です。若干変更せざるをえない場合があります）  
〈成績評価〉

前期試験および後期試験に、数回のレポートと出席状況を加えて総合的に評価します。

〔教科書〕 笹川・稲村・井上編著『現代経営の基本問題』（税務経理協会）1994年

〔参考書〕 新書・文庫などを中心に随時紹介します。

行政法Ⅱ	さい 齊	とう 藤	ひさし 寿
------	---------	---------	----------

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・营造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて学んでいます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間（環境）形成行政法などにも、および予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕 『現代行政法論』（勁草書房）、  
『行政法Ⅰ・Ⅱ』（評論社）など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

民法Ⅳ（1）	かのう 叶	かず 和	お 夫
--------	----------	---------	--------

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりまぜて、面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕 遠藤 浩池 5名編集『民法(8)親族 第3版増訂版』（有斐閣双書）

〔参考書〕 島津一郎編『基本法コンメンタール第3版親族』 別冊法学セミナー（日本評論社）

民法Ⅳ（2）	かのう 叶	かず 和	お 夫
--------	----------	---------	--------

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産

分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりまぜて面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕遠藤 浩他 5名編集『民法(9)相続 第3版』(有斐閣双書)

〔参考書〕島津一郎編『基本法コンメンタル相続』別冊法学セミナー(日本評論社)

## 比較憲法

たけ はな みつ のり  
竹 花 光 範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは
2. 憲法概念と分類
3. 国体と元首(共和制と君主制, 元首, 国のシンボル等)
4. 統治の原理と構造(民主政治の基本原則, 議院内閣制と大統領制, 一院制と二院制, 社会主義国における議会制度等)

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

## 経済法

かわ い よし かつ  
川 井 克 俊

経済法—独占禁止法を中心として—

第1部 経済法概説。経済法とは何か。経済法と競争政策。経済法における独占禁止法の位置づけ。

第2部 独占禁止法。独占禁止法の目的。その他私的独占, カルテル, 企業結合, 独占的状态, 不公正な取引方法等について, なるべく条文に即して講義する。

このほか, 最近でいえば経済の国際化を迎えて, 国の内外で競争政策に対する関心が高まっている。日米構造問題協議しかり, 臨行審の公的規制の見直ししかりである。このようなアップデートの問題に対して講義し, 学生の社会的問題に対する学問的素養を高める。

〔教科書〕川井克俊『競争政策法概説』(高文堂) ¥3,600

〔参考書〕講義の中で紹介する。

川井克俊著『カルテルと課徴金』(日本経済新聞社)

川井克俊著『いやでもわかる公取委』(日本経済新聞社)

## 地方自治法

うめ き たかし  
梅 木 崇

行政法の原理・原則の応用としての地方自治法を考えてみたい。必要に応じて, 行政法総論における基本概念を説明するつもりである。

〔教科書〕開講にあたって指示する。

## 国際関係論

しゅ とう ほと こ  
首 藤 素 子

冷戦後の国際関係の特徴と問題について考える。講義を構成するテーマは次の3つに大別できる。第1に, 欧州地域の安全保障協力や政治, 経済協力の進展と制度化について, 第2に, アジア太平洋地域の経済的相互依存の深化や安全保障協力を目的とするフォーラムの形成と問題について, 第3に, 冷戦後の国際組織の役割の拡充とその機能の実態について。なお, 第2のテーマでは戦後の日本の外交政策や日米関係の推移等も講義でとりあげる。また第3のテーマでは, 国際機関による開発援助や融資の問題, 貧困と開発と人権の問題, 現代文明とグローバルな環境問題の関連等を講義でとりあげたいと思っている。

〔教科書〕細谷千博・臼井久和編『新版 国際政治の世界』(有信堂高文社) 1993年

〔参考書〕講義で指示する。

## 西洋政治史

うら た さ ぬえ  
浦 田 早 苗

現代西ヨーロッパの政治は, そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく, 数々の矛盾にみちている。自由, 平等の精神なり, 『華やかかなりし議會政治』の概念は, 激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし, 国家や政党, 国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど, そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。今年度はフランス革命以降の18, 19世紀のフランス政治史を通じ, 『近代』の意味するところを考えてみたい。



## 宣伝広告論

かみ じょう すえ お  
上 條 末 夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人の関係をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕その都度指示する。

## 政 党 論

はや かわ よし き  
早 川 純 貴

本年度の「政党論」のテーマは政党の包括化過程である。一つの政党が包括政党（キャッチ・オール）化していく過程をいくつかの側面から論じていく。すなわち 1) 支持層拡大戦略（新しい政策と固有の政策・イデオロギーとの葛藤） 2) 組織拡大に伴う諸問題 3) 歴史的背景・政治文化との関係 4) 福祉国家形成との相互作用 5) 政党システム（一党優位制・二大政党制・多党制）との関連 6) 包括政党の限界、などである。そして最後に、日本における包括政党の可能性について言及したい。なお本講義は他学科にも開講するが、最低限、一般教養の「政治学」を履修、ないしそれと同程度の政治学の知識を有する学生でなければ内容の理解は困難である。

〔教科書〕使用せず

〔参考書〕随時紹介

## 保険経営論

いし な ざか くに あき  
石名坂 邦 昭

〈講義のねらい〉

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的な事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

〈講義の内容と授業スケジュール〉

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危険管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となつて

いる。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期は保険論を中心とした講義を行う。講義はOHP等を使用し、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

〈履修上の留意点〉

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

〈成績評価の方法〉

講義への出席状況及び授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

〔教科書〕石名坂著『リスク・マネジメントの理論』

（白桃書房）¥3,500

## 財務会計論

わた へび えいちろう  
渡 邊 恵 一郎

### 1. 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野である。この講義では、財務会計の基本的問題を多角的に考察したうえで、会計処理と表示方法及び財務開示制度について、理論と実務の両面から講述する。

財務会計は、企業経営者が企業外部の利害関係者達（投資者、債権者など）に対して、企業の経済事象を貨幣的に表現して伝達することであり、このため受講生達は財務会計の基準・法規などの知識と簿記とを習得する必要がある。しかし、私はさらに一歩進め、受講生達が、財務諸表やその基礎資料を見たら、「なぜこの数値（金額）になるのか」、「この数値は正しいか」、「今後、企業はどう展開していくか」などと追求し、数値の背後に存在する生々しい人間ドラマを想像できるようになってもらいたいので、会計的ものの見方にも触れる予定である。

### 2. 講義の内容と授業スケジュール

講義の内容は、教科書の記載順序により、また大略、次のスケジュールである。

- 4月～5月 基本的問題：財務会計に関する職能論・公準論・計算構造論、報告論・社会制度論など
- 6月～7月 会計処理と表示方法(1)：収益・費用
- 9月～10月 会計処理と表示方法(2)：資産・負債・資本

11月～翌年1月 財務開示制度：財務諸表（個別、中間、連結）の作成と国際比較、その他（外貨換算、財務分析、金融商品、会計方針の変更、粉飾決算、不正・使途秘匿金など）

### 3. 履修上の留意点と成績評価の方法

- (1) 出席率を重視する。
- (2) 年2回レポートを提出させる。
- (3) 成績評価は、定期試験（筆記）の結果と出席率とを総合して決める。

なお、上記(2)のレポートを提出していない者は、定期試験の結果が良好でも単位を取得できない。

〔教科書〕 染谷恭次郎著『現在財務会計』

（中央経済社）

〔参考書〕 授業時間において、随時指示する。

### 10. 圧縮記帳

### 11. 引当金と準備金

### 12. 企業を巡る国際課税の問題

- (1) 移転価格税制
- (2) タックス・ヘイブン対策税制
- (3) 外国税額控除制度

### 13. 法人税額の計算

〈評価方法〉

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度、提出を求める。また、毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

〔教科書〕

富岡幸雄著『税務会計論講義』

（中央経済社）¥2,900

参考書等は、講義の中で適宜紹介する。

## 税務会計論

たか き かつ み  
高 木 克 己

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。消費税についても何かと話題にのぼっている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理

## 商業史

やま だ まさる  
山 田 勝

商業と商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。その際、対象とする時代の人々の生活や考え方、現代とのかかわり、といった諸点も検討していきたい。

主に対象とする時代は欧米については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 経営情報論

たか い てつ お  
高 井 徹 雄

経営スタッフの役割は、ひとこと言くと、「意思決定の支援」である。すなわち、意思決定の問題に関するデータを収集し、決定の指針となる情報へとまとめあげ、それをタイミングよく意思決定者に提供するものが、経営スタッフの仕事である。

本講義では、将来、企業や官庁などで、経営スタッフとして活躍されるであろう皆さんのために、経営情報に関するシステムの観点と、情報処理技術の基礎について解説する。

### I. 総論：経営情報のシステムの観点

- (1) 科学とシステムの理論
- (2) 経営情報と意思決定
- (3) コンピュータと情報環境の発展
- (4) データベースとネットワーク

### II. 各論：経営情報の処理技術

- (1) 統計処理とデータ解析
- (2) シミュレーション技法
- (3) 意思決定を支援する人工知能システム

〔教科書〕高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著  
「経営情報システム」(日刊工業新聞社)  
¥3,200

(注) 先にプログラミング論を履修しておくことが望ましい。

〔関連科目〕経営科学、情報理論

## 情報理論

にし むら かず お  
西 村 和 夫

### (1) 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。具体的にいうと、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(ビットという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解でき、計算できるようになります。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

### (2) 講義の内容と授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5	3	対数の原理と性質、計算練習
6	4	情報量の定義、練習、試験、情報量の利用
7	3	暗号系と用語、古典的な暗号
9	2	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10	2	符号化(JISコード、万国共通文字符号)
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度、言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁、情報の圧縮と乱数、デジタル

### (3) 履修上の留意点

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5

月参照)。

出席はとりませんが、出席して計算練習に参加していないと試験問題を解くことは無理でしょう。

### (4) 成績評価の方法

中間試験(6月)と定期試験との合計点によります。

### (5) 授業の形式など

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。各種の参考書をそのつど紹介します。

〔関連科目〕→経営情報論

## 国文講読Ⅰ(上代)

さ ほら さく み  
佐 原 作 美

『万葉集』の中から各期を代表する歌人の特色ある歌を選んで講読していきたい。

〔教科書〕土橋 寛編『作者別 万葉集』  
(桜楓社) ¥1,800

## 国文講読Ⅱ(中古)

すず き ひろ こ  
鈴 木 裕 子

今年度は、『源氏物語』を、賢木巻から読む。本文を正確に読みながら光源氏の青春期の喜びや苦悩というものについて考えてみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『源氏物語』二  
(新潮社)

## 国文講読Ⅲ(中世)

その べ みき お  
蘭 部 幹 生

中世は説話の時代とも言われるが、そのなかでも説話文学の代表作品である『宇治拾遺物語』を読む。一つ一つの説話が担っている歴史的背景や意味、及び他作品との関連について考えてみたい。

〔教科書〕中島悦次校註 角川日本古典文庫  
『宇治拾遺物語』(角川書店) ¥720

〔参考書〕その都度指示する。

## 国文講読Ⅳ(近世)

せい だ けい こ  
清 田 啓 子

近世小説の白眉とされる『雨月物語』をとりあげる。古典と中国文学との摂取による独自の世界を充分味わってみたい。また、読本の発生以来、後期読本への流

れも見、できれば「春雨物語」も読んで「雨月」の位置も確かめたい。

〔教科書〕水野 稔校注『雨月物語』（明治書院）

### 国文講読Ⅴ（近・現代）

おおむろえいじ  
大 室 英 爾

近代詩を読む。『於母影』の訳詩などからはじめて大正期の朔太郎・犀星・春夫あたりまでの主たる作品を順次読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。

〔教科書〕萬田・吉田編著

『展望 近代詩—その歴史と作品—』

（双文社出版）¥1,236

### 国文講読Ⅴ（近・現代）

ささせおうじ  
笹 瀬 王 子

本年度は、尾崎紅葉、幸田露伴、泉鏡花の作品を扱う。明治期を代表する三文豪の作品の読みを通して、普段あまり接することのない明治文学の特質とその魅力に迫りたい。

〔教科書〕木村有美子・山根賢吉編『紅葉・露伴文学選』（和泉書院）¥1,236

泉 鏡花著『歌行燈』（岩波文庫）¥260

### 国文特講Ⅴ（近・現代）

ささせおうじ  
笹 瀬 王 子

昨年度に引き続き、田山花袋の回顧録『東京の三十年』を読む。本書に描かれた文壇や社会の動きに留意しつつ、多角的に明治の文学を考えてみたいと思う。

〔教科書〕田山花袋『東京の三十年』

（岩波文庫）¥570 ほか

〔参考書〕授業中、適宜指示する。

### 英文タイプライティングⅡ

ゆあさようこ  
湯 浅 陽 子

ブラインド・タッチを完全に習得した者のみを対象に、英文ワープロソフトWORDSTAR、日本語ワープロソフト—太郎、表計算ソフトLotus1-2-3等を使って様々な文書を作成します。

コンピュータ使用の為定員を32名とします。第一回目の授業の時にキーボード操作テストを行い、合格者及び人数制限の抽選に残った者を履習登録可能としま

す。

尚この授業は昨年度の「情報処理入門」と授業内容が重複するところが多い為、その受講者は対象外としておきます。

〔教科書〕第一回目の授業時に指示します。

### 時事英語

おかもとまこと  
岡 本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してこること。

〔教科書〕テープ使用。

### 英語演習Ⅰ（ディクテーション）

おかもとまこと  
岡 本 誠

慣用語の成立背景を歴史的にみていく。例えば、OKという言い方はどのようないきさつで成立したのか。あるいはmaverickとはどうして「一匹狼」の意味になったのか。これを全講義ディクテーションで行なう。紙と鉛筆それに辞書を持ってこること。各自TOEFL500点をめざしてほしい。

〔教科書〕テープ使用。

### 計算機言語概論

すぎたとおる  
杉 田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語である BASICを中心に、アルゴリズム的発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行う。

1. コンピュータ言語の基本理論
2. BASIC言語
3. パーソナルコンピュータ（PC-9801）による実習

〔教科書〕コンピュータ教育工学研究所編

ガイドブック『BASIC』

（サイエンス社）¥1,854

## 臨床放射線特論 I

ほん ま じょう  
本 間 襄

医療の中で、診療録・依頼箋の内容を理解し、相互のコミュニケーションに欠かせない外来医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

他学部履修では、将来病院や医学関係に従事する人に必要な知識である。

〔教科書〕 定めず

## 応用計測学

かし お えい じ  
櫃 尾 英 次

医用画像診断装置は、コンピュータ技術の進歩と共に診断には不可欠なものとなってきた。この講義では、核医学機器（ガンマカメラ、シングルホトンECT、ポジトロンCT）、X線CT装置、MRI装置のハードウェアとソフトウェアについて概説する。また超音波診断装置、DSA、CRならびにPACSについても、その概要を講述する。

〔参考書〕 岩井喜典他 編著『医用画像診断装置』  
（コロナ社）



# 教職及び資格講座

教 職 課 程  
学校図書館司書教諭講座  
社会教育主事講座  
博物館学講座  
社会福祉主事 講座  
社会福祉士基礎

※上記の教職及び資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講できる課程及び講座は以下のとおりである。

(履修についての詳細は、「教職課程・資格講座の履修要項」を参照すること。)

課程・講座名	資格取得学部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部

# 講義内容目次

## I 教職課程

### (1) 教職に関する専門科目(必修)

教育原理(上岡 安彦) .....	1
教育原理(北村 三子) .....	1
教育原理(坂本 信昭) .....	1
教育原理(田中 智志) .....	1
教育原理(村山 輝吉) .....	1
教育心理学(教育方法論を含む) (遠藤 司) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (大浜 幾久子) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (北島 歩美) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (国眼 眞理子) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (中村 均) .....	2
青年心理学(教育方法論を含む) (大浜 幾久子) .....	2
青年心理学(教育方法論を含む) (川田 三夫) .....	2
青年心理学(教育方法論を含む) (小宮山 要) .....	3
青年心理学(教育方法論を含む) (常田 秀子) .....	3
特別活動(中野日 直明) .....	3
生活指導(遠藤 司) .....	3
生活指導(佐藤 尚人) .....	3
宗教科教育法(小山 一乗) .....	3
国語科教育法(神谷 道倫) .....	4
書道科教育法(那須 隆吉) .....	4
英語科教育法(荒井 良雄) .....	4
社会科・地理歴史科教育法(長野 覺) (平成元年度以前入学生:社会科教育法)	4
社会科・地理歴史科教育法(中島 義一) (平成元年度以前入学生:社会科教育法)	4
社会科・地理歴史科教育法(野呂 肖生) (平成元年度以前入学生:社会科教育法)	4
社会科・公民科教育法(長谷部 八朗) .....	5
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
社会科・公民科教育法(谷敷 正光) .....	5
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
社会科・公民科教育法(小山 一乗) .....	5
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
社会科・公民科教育法(橋爪 敏) .....	6
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
職業科教育法(前田 幸一) .....	6
商業科教育法(谷敷 正光) .....	6
道德教育の研究(上岡 安彦) .....	7

教育実習(上岡 安彦) .....	7
教育実習(坂本 信昭) .....	7
教育実習(田中 智志) .....	7
教育実習(村山 輝吉) .....	7
教育実習(北村 三子) .....	8

### (2) 教職に関する専門科目(選択)

青少年問題研究(皆川 広義) .....	8
教育哲学(汐見 稔幸) .....	8
教育社会学(高島 秀樹) .....	8
現代社会の諸問題と教育(高島 秀樹) .....	8
教育評価(大浜 幾久子) .....	8
教育情報学(小倉 康仁) .....	8
教育調査(鈴木 規夫) .....	9
教育史(北村 三子) .....	9
教育関係法規(広沢 明) .....	9
社会教育の基礎(社会教育概論) (村山 輝吉) .....	(9)
社会教育施設(村山 輝吉) .....	(9)
図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	(9)
図書館学Ⅱ(源 昌久) .....	(9)
視聴覚教育(飯森 彬彦) .....	(9)
教育臨床心理学(牟田 隆郎) .....	9
教育法規研究(神田 修) .....	9
児童文化(香川 良成) .....	10
宗教教育(小山 一乗) .....	10

### (3) 教科に関する専門科目

#### 【社会 地理 歴史 公民】

日本史概説(遠藤 廣昭) .....	10
日本史概説(小松 寿治) .....	10
世界史概説(井村 行子) .....	10
世界史概説(渡辺 惇) .....	11
地誌学概説(小田 匡保) .....	11
地誌学概説(川元 豊和) .....	11
地誌学概説(橋詰 直道) .....	11
人文地理学概説(小林 高壽) .....	11
自然地理学概説(高木 正博) .....	11
自然地理学概説(早船 元峰) .....	11
民法Ⅰ(青野 博之) .....	11
民法Ⅰ(前期:鶴井 俊吉) .....	12
(後期:林 幸司)	
政治学原論(大塚 桂) .....	12
社会学原論(渡辺 源樹) .....	13
経済原論(荒木 勝啓) .....	13
経済原論(大石 雄爾) .....	14
経済原論(小野 俊夫) .....	14
哲学概説(国嶋 一則) .....	14
哲学概説(中村 璋八) .....	15



倫理学概説(久保 陽一) .....	15
宗教学概説(洗 建) .....	15
宗教学概説(松田 文雄) .....	15
宗教人類学(佐藤 憲昭) .....	(15)
民間信仰論(谷口 貢) .....	15
東洋思想研究(館野 正美) .....	15
民衆宗教成立史(洗 建) .....	16
歴史哲学(麻生 建) .....	16
日本仏教史(廣瀬 良弘) .....	16
日本文化史Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	(16)
美術史概説(中島 亮一) .....	(16)
日本宗教文化史(松田 文雄) .....	16
<b>【職業】</b>	
産業概説(前田 幸一) .....	16
職業指導(山田 勇治) .....	16
商業実習(前田 幸一) .....	17
<b>【商業】</b>	
職業指導(山田 勇治) .....	(17)

## II 学校図書館司書教諭講座

図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	18
図書館学Ⅱ(源 昌久) .....	18

## III 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

社会教育の基礎(社会教育概論) (村山 輝吉) .....	19
社会教育計画(村山 輝吉) .....	19
社会教育実習(上岡 安彦) .....	19
社会教育実習(村山 輝吉) .....	19

### (2) 選択必修科目

現代社会の諸問題と教育(高島 秀樹) .....	(19)
婦人問題と社会教育(矢口 悦子) .....	19
青少年問題研究(皆川 広義) .....	(20)
青少年指導演習(平野 学) .....	20
社会教育施設(村山 輝吉) .....	20
図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	(20)
博物館学Ⅰ(倉田 芳郎) .....	(20)
博物館学Ⅱ(竹内 順一) .....	(20)
企業内教育・職業訓練(塩川 正人) .....	20
社会体育Ⅰ(古田 潤子) .....	20
社会体育Ⅱ(古田 潤子) .....	21
視聴覚教育(飯森 彬彦) .....	(21)
教育原理 .....	(21)
教育心理学(教育方法論を含む) .....	(21)
青年心理学(教育方法論を含む) .....	(21)
社会心理学(前期:坪井 健) .....	21
(後期:穴田 義孝)	
教育社会学(高島 秀樹) .....	(21)
教育調査(鈴木 規夫) .....	(21)
教育史(北村 三子) .....	(21)

児童文化(香川 良成) .....	(21)
社会教育行政(東 寿隆) .....	22
成人学習論(東 寿隆) .....	22

## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

博物館学Ⅰ(倉田 芳郎) .....	23
博物館学Ⅱ(竹内 順一) .....	23
教育原理 .....	(23)
社会教育の基礎(社会教育概論) (村山 輝吉) .....	(23)
視聴覚教育(飯森 彬彦) .....	23
博物館実習Ⅰ(館務) (倉田 芳郎・太田 喜美子) .....	23
博物館実習Ⅱ(収集) (倉田 芳郎・所 理喜夫・ 葉貫 磨哉・恵津森 智行・ 太田 喜美子) .....	24
考古発掘実習(千葉 基次) .....	24
博物館実習Ⅲ(見学) (倉田 芳郎・松本 信道 太田 喜美子) .....	24

### (2) 選択必修科目

日本文化史Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	24
西洋文化史Ⅰ(佐々木 真) .....	24
西洋文化史Ⅲ(三小田 敏雄) .....	24
仏教民俗学(谷口 貢) .....	24
仏教美術(中島 亮一) .....	25
現代美術(矢野 陽子) .....	25
禅美術(海老根 聰郎) .....	25
美術史概説(中島 亮一) .....	25
西域美術史(松平 美和子) .....	25
考古学概説Ⅰ(日本) (倉田 芳郎) .....	25
考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次) .....	25
考古学特講Ⅱ(高浜 秀) .....	25
考古学特講Ⅳ(飯島 武次) .....	26
日本民俗学(谷口 貢) .....	26
宗教人類学(佐藤 憲昭) .....	26
地形学Ⅰ(小池 一之) .....	26
地質学(貝塚 爽平) .....	26

## V 社会福祉主事 講座 社会福祉士基礎

※社会福祉原論(伊藤 秀一) .....	27
※社会福祉原論(原田 信一) .....	27
※老人福祉論(東條 光雅) .....	27
※障害者福祉論(原田 信一) .....	27
児童福祉論(柏女 靈峰) .....	27

※社会保障論(坂田 周一) .....	28
※公的扶助論(伊藤 秀一) .....	28
※地域福祉論(和田 敏明) .....	28
※心理学(福祉)(井上 孝代) .....	28
※社会学(福祉)(橋爪 敏) .....	28
※法 学(福祉)(鶏徳 啓登) .....	28
リハビリテーション論(原田 信一) .....	28
社会福祉計画論(川延 宗之) .....	29
家 族 福 祉 論(高橋 重宏) .....	29
医 療 福 祉 論(春見 静子) .....	29
婦 人 福 祉 論(林 千代) .....	29
保 健 福 祉 論(安梅 勅江) .....	29
社会福祉発達史(林 千代) .....	30
海外社会福祉論(中野 いく子) .....	30
上記科目のうち	

※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみ対象とする科目

注( ) 頁は他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示している。

# I 教 職 課 程

## (1) 教職に関する専門科目（必修）

### 教育原理

かみ せがみ やま ひ  
上 岡 安 彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次に、出てくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原本に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕『エミール』（上・中・下）  
（岩波文庫）

上 ¥570，中 ¥520，下 ¥520

10. 障害児とともに

11. 内なる差別を考える

12. 学びへの出発

さらに、教育問題にかかわるVTRを視聴する予定です。

〔教科書〕田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート  
（エイデル研究所）¥1,800

〔参考書〕教師養成研究会『教育原理』  
（学芸図書）¥950

デュイ著、宮原誠一訳『学校と社会』  
（岩波文庫）¥200

西村絢子他『現代教育を考える』  
（昭和堂）¥2,600

### 教育原理

きた むら みつ こ  
北 村 三 子

登校拒否・不登校の広がりが象徴するように、今日の社会では、それまで自明だとされていた学校や教育の価値が揺ぎ始めている。このような時期にあって、私たちはどのような方向で教育について考えてゆけばよいのだろうか。本講義では、その手掛りを、J. クリシュナムーティの教育思想の中に探してみたい。

〔教科書〕クリシュナムーティ著『道德教育を超えて  
— 教育と人生の意味 —』

（霞ヶ関書房）¥1,648

### 教育原理

た なか さと し  
田 中 智 志

本講義は、教育についての基本的・総合的な認識と、教育の現実を直視する学問的姿勢を学ぶことを目的とするものであり、とくに個人的経験をこえた、ひと・社会と教育・学校との構造的な関係をあきらかにしていきたいと思います。とりあげるトピックスは、1. 人間と教育（人間を形成するとはどういうことか）、2. 社会のなかの学校（学校の選抜機能はなぜ生じるのか）、3. 教育課程と学習指導（みえないカリキュラムとはなにか）、4. 教育と学校の存立構造（脱学校論や再生産論はなにを告発しているのか）などです。なお、前期は講義が中心ですが、後期はグループ発表を中心とします。

〔教科書〕松浦良充編著『いま教育を考えるための8章』（川島書店）¥2,200

（また、5月中旬に参考書を指示します）

### 教育原理

さか もと のぶ あき  
坂 本 信 昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ、ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待
6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす

### 教育原理

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

テキストにそいながら、下村湖人の著作なども参照しつつ、人間の発達と教育、文化、社会のかかわりについて原理的考察をおこない、あわせて教育の制度、形態、内容、方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしたい。

〔テキスト〕堀尾輝久著『教育入門』

(岩波新書) ¥480

〔参考書〕『下村湖人全集』〔全10巻〕(国土社)

『教育の原理Ⅰ・Ⅱ』(東大出版会)

## 教育心理学

(教育方法論を含む) えん どう つかさ  
遠 藤 司

今日の教育の現場において、教師、生徒がおこなう様々な活動に対して心理学の知見を基にした見方がなされている。特に、教師として生徒と様々な形で関わる際に、心理学的見方に対してどのような態度で臨むかによって、具体的な教育活動のあり方が異なってくる。本講義では、心理学の知見がどのように教育の世界に影響を及ぼしてきたかを、学習、評価等の諸領域において概観しながら、生徒とのよりよい関わりを作るために、教師としてどのような活動をしていけばよいのかという問題について考えていきたい。

教科書、参考書については、講義中、随時紹介する。

## 教育心理学

(教育方法論を含む) おお はま きくこ  
大 浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題をとりあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また、性格テストなどの実習や初歩的な実験演習も随時、行う。

## 教育心理学

(教育方法論を含む) きた じま ちゆ み  
北 島 歩 美

思春期、青年期の心理的発達課題について概説し、それらと合わせて、教育の現場においてあらわれる臨床的諸問題(不登校、心身症など)について検討する。さらに、時間が許せば、それらの問題についての臨床的アプローチを考えていきたいと思っている。

〔教科書〕バーバラ M. ニューマン著

フィリップ R. ニューマン

「生涯発達心理学」(川島書店)

〔参考書〕E. H. エリクソン著「自我同一性」

(誠心書房) ¥2500

中井久夫・中山康裕編「思春期の精神病理と治療」¥4,000

## 教育心理学

(教育方法論を含む) こく がん まりこ  
国 眼 眞理子

教育心理学は、教育という場に応用された心理学であるため広汎な領域が含まれるが、中学・高校教諭の免許状取得を念頭において、「青年期」「心の健康」、「対人関係とパーソナリティ」の三領域を中心に学んだ上で、「学習意欲と教育評価」や「進路指導」についても併せて考えていきたい。

〔参考書〕授業において随時プリントを配布する。

## 教育心理学

(教育方法論を含む) なか むら ひとし  
中 村 均

### 1. 発 達

どのような仕組みで発達が起こると考えられているか。発達の变化的概観。

### 2. 学 習

どのような仕組みで学習が起こると考えられているか。学習を促進する条件はどういうものがあるか。

### 3. 個人差

一人ひとりの違いの把握について。

### 4. 教育方法

教育メディアの利用について。

〔参考書〕授業中そのつど紹介する。

## 青年心理学

(教育方法論を含む) おお はま きくこ  
大 浜 幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題をとりあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また、性格テストなどの実習や初歩的な研究演習も随時、行う。

## 青年心理学

(教育方法論を含む) かわ だ みつ お  
川 田 三 夫

青年は発達の存在であると同時に社会的存在でもある。思春期の頃にふと自分のことを考え始め、友達と比較をしたりして色々悩みながら現在に至っている。親はもちろん、テレビ・マンガ、遊び・おもちゃ、学校・友達、勉強・進学、文学・音楽など自己の形成に影響を与えるものは数多い。講義の前半はこれらの意味や役割について考えてみる。

後半は身近な所で起きている現象や話題を取り上げながら青年を考える一方で、分かっているようで分かってない自分のことを人格心理学的な側面からアプローチして理解を広げてみたい。簡単な心理学のテストなども試みにやってもらう予定である。

## 青年心理学

(教育方法論を含む)

こ み やま かみめ  
小宮山 要

前半では青年期の発達課題、自我、感情、知性等について考察する。また、後半では親子関係、恋愛・結婚、職業、問題行動、時間的展望等について検討し、自己と他者の理解を深めていく。

〔教科書〕使用しない。

## 青年心理学

(教育方法論を含む)

つね た ひで こ  
常 田 秀 子

青年期とは、子どもから成人へと移行する10代半ばから20代半ばまでの幅広い時期を指す。この講義では、この変化に富んだ時期の人間の心理について、生涯発達の視点から理解を進める。人間発達についての考え方、青年期の知性、青年期の自己、青年をとりまく社会的環境などについて扱う予定である。

基本的には講義中心の授業とする。必要に応じて、受講生によるレポートや討論も取り入れたい。受講生の多くは自らも青年期にあることから、講義内容を自分たちの問題としてとらえ、主体的に講義に参加してくれることを期待する。

〔教科書〕後日指定します。

## 特別活動

なかの め なお あき  
中野目 直 明

情報化、国際化、高齢化の進む現代社会において、広い視点から学校教育の意義やこれからの方向を考え、人間形成を目指す特別活動のねらいや内容を明らかにしたい。主として、次の内容を講義する。

1. 現代社会と学校教育の課題
2. 人間形成を目指す特別活動
3. 特別活動の内容とその指導

〔教科書〕宇留田敬一編『特別活動の基礎理論と実践』(明治図書) ¥1,650

〔参考書〕中野目直明著『教育情報管理と学校経営』(エイデル研究所) ¥2,000

## 生活指導

えん どう つか  
遠 藤 司

教師として生徒の「生活」にいかんにかして関わるべきかという問題は、今日の学校教育において重要になっている。特に最近、学校生活に適應できずに、様々な形で不適應状態に陥り、困難をおぼえている生徒も多い。本講義では、それぞれの生徒にとっての学校生活に適應することの意味、あるいは不適應状態に陥ることの意味を探りつつ、一人一人の生徒に教師がどのように関わればよいのか、また、学校という生活の場をどのように作っていけばよいのかという問題について考えていきたい。

教科書、参考書については、講義中、随時紹介する。

## 生活指導

さ どう なお と  
佐 藤 尚 人

児童・生徒の教育を考える時、教科学習の指導はもちろん、学習がスムーズに行われるための環境づくり、わけても1人ひとりの子どもの学習への積極的な姿勢を導き出すことは極めて重要である。

本講義では、友だちができない・学習に集中できない・登校拒否・非行など具体的事例をもとに、子どもの精神発達の道すじを理解し、教師として子どもにどのように関わってゆくかについて考える。

〔教科書〕講義ノートに基づき進めてゆく。

〔参考書〕大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) ¥2,200

## 宗教科教育法

こ やま かげ のり  
小 山 一 乘

先ず教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。特に各教科と宗教科との関係、「宗教教育」と「宗教科教育」との異同点にも留意する。我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学習指導要領の文言との関係等を検証する。その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。

適宜わらべうた等も導入し、幼稚園教育から高校教

育までの接続も考察に含めたい。模擬授業を課します。  
学習指導案作成の徹底的指導をする。

- 〔教科書〕『仏教概論－わかりやすい仏教－』  
(曹洞宗宗務庁) ¥800  
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道  
どこが違うか』(大法輪閣) ¥1,600  
『教育小六法』(学陽書房) ¥2,200  
小中高各『学習指導要領』  
(文部省, 各¥230, ¥250, ¥370)  
『生徒指導の手引』(文部省) ¥460  
『教職教養ランナー』  
(一ツ橋書店) ¥1,020  
小山一乗『社会科における宗教の教育と寛  
容－「告げる」と「教える」をめぐって』  
(宣協社) ¥2,700  
その他必要に応じて指示する。資料を配布  
するのでファイルを用意しておくこと。
- 〔参考書〕『宗教教育の理論と実際』  
(鈴木出版, 1985年)  
その他必要に応じて多数指示する。

## 国語科教育法

かみ や みち のり  
神 谷 道 倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容,あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義,後期は実際の教材にあたって,基礎学力を点検するとともに,教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め,実践に際しての指導力を養成する。

- 〔教科書〕新 中学校・高等学校『国語科教育法概論』  
(有精社) ¥1,600

## 書道科教育法

な す たか よし  
那 須 隆 吉

長い歴史をもつ書の特徴を考察し,その指導法を学習する。文部省の芸術科指導要領を理解し,将来の教師としての自覚を促し,指導力を養うことにつとめたい。

- 〔教科書〕久米公著『書写書道教育要説』  
(萱原書房) ¥2,300  
〔参考書〕『高等学校学習指導要領解説』  
(文部省) ¥410

## 英語科教育法

あらいよしお  
荒井良雄

中学校や高等学校の英語教員として教壇に立つための基本となる英語教育法の理論と実践の研究指導を行う。

学習指導案の作成法と授業の進め方の実際的な指導が中心になる。教師に必修のPublic Speakingを重視する。

- 〔教科書〕『新英語科教育の展開』(英潮社) ¥2,600  
〔参考書〕稲村松雄『ジャック・アンド・ベティーから21世紀へ』(桐原書店) ¥1,400

## 社会科・地理歴史科教育法 (平成元年度以前入学生: 社会科教育法(地理))

ながの ながし  
長野 良 寛

学習指導要領に基づく中学校社会科・高等学校地理歴史科の教科目的・教科内容等を概観したのち,特に地理教育について教案作成・教材の工夫・視聴覚器材の使用法などを指導し,授業演習を行い,教育実習に備える。

- 〔教科書〕『中学校社会科地理教科書』『高等学校地理A・B教科書・地図帳』『文部省学習指導要領』

## 社会科・地理歴史科教育法 (平成元年度以前入学生: 社会科教育法(地理))

なか じま ぎ いち  
中 島 義 一

社会科(地理歴史)教育の諸問題を講義し,後半は学生諸君に交代で壇上に立ってもらって授業演習を行う。出席を重視する。遅刻や欠席の多い人は教師として不適格である。

## 社会科・地理歴史科教育法 (平成元年度以前入学生: 社会科教育法(歴史))

の る たが せい  
野 呂 肖 生

「中学校で社会科,高等学校で地理歴史科の授業をするさいに役立つように」を目標とし,社会科・地理歴史科教育(とくに歴史)の理論と実践を学ぶ。とくに個性を重視したい。

社会科・公民科教育法  
(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

は せ べ はち ろう  
長 谷 部 八 朗

教育をめぐるさまざまな今日の課題にもふれながら、社会科公民科教育のあり方をともに考えてみたい。

前期は、社会科公民科の性格、目標、歴史、指導計画、指導案、教材研究、教育評価といった問題について、とりあげる予定である。

そして後期には、模擬授業やディスカッションの機会を持ち、受講生の主体的な授業参加を期したい。

より詳しい進め方については、最初の授業で述べる。  
〔参考書〕適宜指示する。

社会科・公民科教育法  
(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

や し ま たか みつ  
谷 敷 正 光

〈授業内容〉

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後の政治・経済の発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。学習指導要領は1989年に第6回目の改訂が行われた。今回の改訂は単なる教科内容の改訂にとどまらずに小学校低学年の社会科と理科を廃止し、新たに生活科を設け、高等学校の社会科を廃止し、新たに地理歴史科と公民科を設けたことの意味を考えなければならない。

したがって、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる授業方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

〈授業形態〉

講義を基本に教室での模擬授業実践と討論、視聴覚教材を多く使用して現実的理解につとめる。

〈授業項目〉

1. 日本教育の現状
2. 教育の基本概念
3. 社会科の成立
4. 社会科学習指導要領の変遷
5. 中学校の教育課程と社会科
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 社会科の学習指導計画
8. 学習指導案の作成
9. ビデオによる現場教師の授業研究

10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての社会科の学習指導と授業実践の研究
12. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
13. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
14. 教育評価
15. 教育実習の意義
16. 社会科教師論
17. 教員採用試験の準備と今年度の採用について  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する)

〈履修条件〉

出席を確認する。

〈成績評価の方法〉

授業での課題の提出、学習指導案の作成などで総合的に評価する。

〔教科書〕大森・谷敷共著『社会科教育研究』  
(梓出版)

〔参考書〕『社会科・公民科の教科書』『中学校・高等学校学習指導要領』も使用する。

〔注 意〕①年間かなりのプリントを配布するので、必ずファイルを用意すること。

②視聴覚教室も使用するので、常に会場には注意しておくこと。

社会科・公民科教育法  
(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

こ やま がず のり  
小 山 一 乗

我が国にかかわる第二次世界大戦、英文・邦文の「日本国憲法・教育基本法」、学習指導要領相互の関連検証。学校教育法に規定する学校の目的・学校教育の目標の系統的位相性の検討。社会科創設の国際関係論的・歴史的背景、及び、初期社会科指導要領(試案)以来の変遷概観。社会教育の目標・内容・方法・カリキュラム論。カリキュラムの類型。学習指導の段階型。学習指導案の様式・類型と教師の教育観。学習指導要領各項文末表現①「知識理解度事項」②「態度的事項」③「技能的事項」等と学習指導上のねらいの確認。中・高等学校の社会科・公民科の教科書を用い、個人又はチームによる模擬授業実践を課す。その際、年間学習指導計画案から本時学習指導計画案までを作成し、他教科との関連をも考慮すること。模擬授業とはいえ実際の授業とこころえ、メディア・ミックスを含めた手作りの「揭示・配布資料等の実物」を作成すること。模擬授業は、カガミ利用としてのビデオに収録し、事後の授業分析の討議に供する予定。最後に『学習指導要領』『指導書 社会編』『解説 公民編』をもとにして、各自手作りの教科書素描の提出を課す。シラバスは開講時に示す。

〔教科書〕小・中・高校各『学習指導要領』  
各¥230 ¥250 ¥370 小学校・中学校学習

指導要領各『指導書 社会編』¥90¥100

『高等学校学習指導要領解説公民編』

(実教出版) ¥220

『中学生の社会科・地理』『同 歴史』

『同公民』(中教出版)各¥605¥605¥605

『最新版 倫理』『改訂版 政治・経済』

(中教出版)各¥370 ¥370

『地図帳』各自で用意のこと

『平成6年版 教育小六法』

(学陽書房) ¥2,200

小山一乗『社会科における宗教の教育と寛容 — 「告げる」と「教える」をめぐって』

(宣協社) ¥2,700

〔参考書〕『楽しく学べるヒント教材 シリーズ

中学 社会科の授業Ⅰ』『同・Ⅱ』

(明治図書)各1,400

『教職教養ランナー95年版』

(一ツ橋書店) ¥1,020

『一般教養ランナー95年版』

(一ツ橋書店) ¥1,020

谷川彰英『戦後社会科教育論争に学ぶ』

(明治図書) ¥783

### 社会科・公民科教育法

(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

はし つめ さとし  
橋 爪 さとし  
敏

社会科は、戦後改革の一環として、民主的な国民の育成を目指して設定された教科である。したがって、単に知識の習得のみを目的としたものではなく、戦後教育の中心を成すものと位置付けられてきた。しかし、現実の政治的状況・教育状況によって紆余曲折してきたのも事実である。

1994年4月から、高等学校社会科は公民科と地歴科の2科に再編される。その分割再編の是非はともあれ、公民科・社会科教師に求められる「資質」は他教科のそれにも増して、厳しいものがあると言ってよからう。

この授業では、こうした点を踏まえた上で、公民科・社会科教師に必要な基礎的認識や知識を習得する事を目的とする。また、模擬授業等の機会を設け「教えること」を、実際の体験を通して学習する。

〔教科書〕開講時に指示する。

### 職業科教育法

まえ だ ゆき かず  
前 田 幸 一

#### 〈講義目的〉

職業科及び技術・家庭科に関する教育について学んでいきます。授業は人数の関係もありますが、ゼミ形式で進めていきます。

#### 〈授業内容〉

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

(1) 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。

(2) 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討する。

(3) 職業教育について

(1)(2)は前期授業、(3)の職業教育は後期授業で行う予定です。なお(3)の職業教育についてはテキストを利用します。これは開講時に指示します。

#### 〈評価方法〉

筆記試験はしません。平常点かレポート提出物などで評価します。

### 商業科教育法

や しき だ みつ  
谷 敷 正 光

#### 〈授業内容〉

「産業教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にもなってもらえるしく変遷してきた。そして、高度成長期の高校教育は大きく軌道修正され、さらに先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、再び修正されている。従って、本講は、「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するため、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

#### 〈授業形態〉

講義を基本に教室での模擬授業実践と討論、視聴覚教材を使用して現実的理解につとめる。

#### 〈授業項目〉

1. 日本経済の発展と教育・産業教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 職業教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の歴史
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 学習指導案の作成
9. ビデオによる現場教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科の学習指導と授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 教育実習の意義
15. 商業科教師論



16. 教員採用試験の準備と今年度の試験について  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する)

〈履修条件〉

出席を確認する。

〈成績評価の方法〉

授業中の提出物・課題で総合評価する。

〔教科書〕岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

〔参考書〕『高等学校商業科の教科書』『高等学校学習指導要領』

〔注意〕①年間かなりのプリントを配布するので、必ずファイルを用意すること。

②視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 道徳教育の研究

かみ　お　やす　ひに  
上　岡　安　彦

道徳教育の基礎理解と課題研究を行う。

〔教科書〕『道徳教育の研究』(新訂版)

(学芸図書) ¥900

## 教育実習

かみ　お　やす　ひに  
上　岡　安　彦

事前指導

学校の教師としての仕事について講義

学習指導案作成実習

訪問指導

実習期間の研究授業参加

事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕『中学校 学習指導要領』

(大蔵省印刷局) ¥250

『高等学校 学習指導要領』

(大蔵省印刷局) ¥370

デューイ『学校と社会』(岩波文庫) ¥350

## 教育実習

さか　もと　のぶ　あき  
坂　本　信　昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成-提出、教育問題にかかわるVTRの視聴、グループ編成による授業(ディスカッション)を行い、教育への理解を深め、教育とは何か、どうあるべきかについて各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像についても一緒に考えたいと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

〔教科書〕栗原敦雄他『教育実習ガイド』

(宣協社) ¥1,500

〔参考書〕大村はま著『教えるということ』

(共文社) ¥480

田村皖司他著『きょういく』デジタルノート(エイデル研究所) ¥1,800

西村絢子他『現代教育を考える』

(昭和堂) ¥2,600

## 教育実習

た　なか　さと　し  
田　中　智　志

講義は、教育実習前の段階と教育実習後の段階の二部構成です。教育実習前の段階では、教育実習の意義・方法・内容についての講義とビデオ視聴をつうじて、教育実習の事前準備指導を行います。

つぎに教育実習後の段階では、小レポートの作成、グループ・ディスカッション、模擬授業などをつうじて、教師としての在るべき姿について一緒に考えてみます。

〔教科書〕最初の授業のさいに指示します。

## 教育実習

むら　やま　てる　よし  
村　山　輝　吉

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるよう、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 教育実習

きた　むら　みつ　こ  
北　村　三　子

前半は教育実習の準備にあてる。後半は、教育をめぐる様々な問題について、文献を読み合い討議をしたい。

## (2) 教職に関する専門科目（選択）

### 青少年問題研究

みな　がわ　ひろ　よし  
皆　川　広　義

現代における青少年問題を総合的に考察する。  
青少年の意識と行動、青少年の教育（人格形成）、青少年の非行問題などを主な課題として研究する。  
将来、僧侶に成る者、教師をめざす者、青少年の指導を志す者などに資する講義をしたい。  
〔教科書〕和田謙寿著『少年補導の研究』（駒沢大学青少年問題研究室）¥2,500

### 教育哲学

しお　み　とし　ゆき  
汐　見　稔　幸

科目名は教育哲学となっているが、固苦しいものではなく気軽に現代の教育問題の本質やその背景などを学び考え合う授業を考えている。教員志望者だけでなく現代と将来の日本社会と文化のことを考えたいと思っている人も歓迎する。教育の成否は受けた教育体験が一人ひとりの中でいかに発酵するかにかかっている。そのことを深く考えるためには、人間の発達と教育体験の機微についての思索が何よりも大切である。不登校や新学力問題、新しい教育方法、学校の本質などテーマは数多く考えられるが詳細は参加者と相談してきめたい。授業は毎週ではなく、適当に合宿をおりませめて集中して議論する日をおりこみながら進めたいと考えている。

〔参考書〕汐見稔幸『地球時代の子どもと教育』（ひとなる書房）

### 教育社会学

たか　しま　ひで　き  
高　島　秀　樹

教育社会学は教育を社会的な事象としてとらえ、社会学の方法をもって実証的に解明していこうとする教育科学の一部門である。教育が個人の発達を旨とする

みであることはいうまでもないが、それは同時に人間を社会の成員にふさわしく形成し、次代の担い手を育成することを通して社会の存続・発展を可能にするという、きわめて社会的な営みでもある。

この講義ではこうした教育社会学の基本的な考え方を明らかにした上で、社会集団の教育（家族、遊びと仲間集団、地域社会など）と学校に焦点を合わせ、その基本的特質を明らかにするとともに、現代日本における実態・問題点をできる限り具体的に考察していきたい。

〔教科書〕福永安祥・高島秀樹『教育社会学』（明星大学）¥2,000

### 現代社会の諸問題と教育

たか　しま　ひで　き  
高　島　秀　樹

現代日本社会とその内での私達の生活は、今日大きく変動しつつあり、そこに多くの問題を内在させている。この科目では、現代社会の内における個人のライフコースに沿って、各ライフステージにおける生活世界の実態と発達課題、各ライフステージにおいて個人と密接な関係を持つ社会集団や社会の状況について明らかにし、さらにそれらと教育との関係についてできるだけ具体的に、実例を取り入れて考察していきたい。

この科目では単なる「講義」にとどまらず、各々の問題について基本的なことを説明した上で、受講生自身に考え、発表してもらうことも取り入れていく。

〔教科書〕高島秀樹・岩上真珠・石川雅信共著

『生活世界を旅する－ライフコースと現代社会』（福村出版）1994年刊、¥2,400

### 教育評価

おほ　はま　きく　こ  
大　浜　幾　久　子

まず狭義の教育評価にとらわれず、教育心理学の研究手法－実験・観察・調査・テスト－の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価に関わる研究演習を行い、そのことを通して、教育評価の諸問題に対する考察を深めていきたい。

なお、パソコンによるデータ分析の実習も行う。

### 教育情報学

お　ぐら　やす　よし  
小　倉　康　仁

パソコン用アプリケーションソフト（ワープロソフト、表計算ソフト、オーサリング・ソフト）や教育用プログラミング言語の操作実習を通して、教育におけるコンピュータ利用の可能性について多角的に検討す

る。

授業で取り上げる話題としては、コンピュータ・リテラシー、CAIとCAL、CMI、オーサリング・ソフト、シミュレーション・ソフト、データベース、パソコン通信、マルチメディアなどを予定している。

## 教育調査

すず き のり お  
鈴 木 規 夫

教育調査あるいは社会調査を実際に行い、調査に必要な基本的プロセスを学ぶと共に調査に不可欠なデータの解析法についても学習する。主な内容は、調査主題の設定、主題に関する討議、調査票の作成、調査の実施、結果の分析等である。なお、結果の分析は主としてパソコンを利用する。

## 教育史

きた むら みつ こ  
北 村 三 子

まず、日本教育史の通史を検討する。次いで、参加者と相談の上適当なテーマを設定し、史料を読みたい。  
〔教科書〕石川松太郎『教育の歴史－日本における教育の歩みを中心に－』（財団法人放送大学教育振興会）¥1,960

## 教育関係法規

ひろ さわ あきら  
広 沢 明

憲法、教育基本法、子どもの権利条約など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、内申書、日の丸・君が代、教科書検定、学校事故、障害児教育、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

〔教科書〕広沢明『憲法と子どもの権利条約』

（エイデル研究所）¥2,800

〔参考書〕開講時に指示する。

## 社会教育の基礎（社会教育概論）

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

（P.19）参照

## 社会教育施設

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

（P.20）参照

## 図書館学Ⅰ

やま さき けい こ  
山 崎 慶 子

（P.18）参照

## 図書館学Ⅱ

みなもと しょう きゅう  
源 昌 久

（P.18）参照

## 視聴覚教育

いい もり あき ひこ  
飯 森 彬 彦

（P.23）参照

## 教育臨床心理学

む た たか お  
牟 田 隆 郎

現代の青年や子どもをとりまく社会環境は、必ずしも適正なものとはいいがたい。そのために、感受性に富む若い人たちが、社会のもつさまざまな矛盾を、「問題」というかたちで表現してもいる。

本講義では、社会の表面に現れた青少年の諸問題を種々の材料を用いてとりあげ、その発生の機序と対応について、心理面・社会面等から考察していく。

## 教育法規研究

かん だ おさむ  
神 田 修

教育法規とか教育法というと、とかく実際の教育とは関係のない堅くらしい「きまり」ぐらいに考えられ易い。しかし、今日の教育は、関係する法や法規をさしおいては正しく理解できません。教育法規は、教師になろうとする者はもちろん、そうでない者でも、しっかり勉強しておく必要のある分野です。

今年度は、下記のテキストを使い、いろいろな教育問題や情報にもふれながら、基本的なことを学ぶと

もに、生きた教育と法ないし法規の学習をします。できるだけわかりやすく、教育界（学校や社会教育の仕事）に入って行く学生諸君のためになる授業にしたいと思っています。

〔教科書〕神田 修、兼子 仁『ホーンブック教育法』

（北樹出版）1995年 ¥2,300

〔参考書〕『解説教育六法』

（三省堂）1995年版 ¥2,400

## 児童文化

か がわ よし しげ  
香 川 良 成

「児童文化」と言えば、子どもの生活と人間形成に関わるあらゆる領域と分野に渡るわけであるが、今回は日本の児童演劇史と演劇教育史を中心に捉え、明治以後の発展の歴史を振り返りながら、子どもの発達の問題を、ことばとからだ・身体表現の問題の側面から検討してみたい。児童劇作品も幾つか取り上げて皆で読んでみたい。

〔参考文献〕滑川道夫著『児童文化論』（東京堂出版）

滑川道夫・中川正文編『児童文化』（東京書籍）

富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）

## 宗教教育

こ やま かず のり  
小 山 一 乗

種々様々な考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、（再）結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態（の調査研究）、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を狙上に載せ教育的思考と法的思考で考える。受講生各自に、各自が余命僅か（六カ月以内）ということを具体的に想定してもらい①一番大切な人を一人遊び、その人に②「別れの手紙」を書き、③書いた後の感想を書くことを体験・経験してもらう。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。tellとteachとの差異、<religious education>と<education about religion>の教授概念を検討する。多民族多文化多宗教共存社会のうねり、

隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。シラバスの詳細は開講時に示す。

〔教科書〕小山一乗『社会科における宗教の教育と寛容―「告げる」と「教える」をめぐって』

（宣協社）¥2,700

小中高各『学習指導要領』

各¥230, ¥250, ¥370

『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』（大法輪閣）¥1,600

『教職教養ランナー』

（一ツ橋書店）¥1,020

『教育小六法』（学陽書房）¥2,200

〔参考書〕『宗教教育の理論と実際』

（鈴木出版、1985年）

## (3) 教科に関する専門科目

教科に関する専門科目で各学科専門教育科目と兼用する科目の講義内容は「専門教育科目」欄に掲載されている。

### 【社会 地理 歴史 公民】

## 日本史概説

えん どう ひろ おき  
遠 藤 廣 昭

各時代の特徴をおさえ、研究成果と論点を含め講義する。特に、中世の宗教・文化史については、詳述するつもりである。

〔教科書〕有斐閣選書『概説日本史』

（有斐閣）¥1,957

## 日本史概説

こ まつ とし はる  
小 松 寿 治

古代から近世にわたり政治史を中心に講義を行なう予定であるが、特に日本史を教える上で、最小限必要である事項を選び、授業を行ないたいと思う。教科書はとくに用意しない。

## 世界史概説

い むら ゆき こ  
井 村 行 子

「帝国主義の時代」以降の世界史をヨーロッパ、アメリカを中心に概説する。

〔参考書〕大下・西川・服部・望田編『西洋の歴史』

〔近現代編〕（ミネルヴァ書房）¥2,000  
 西川正雄・南塚信吾『帝国主義の時代』  
 《ビジュアル版》世界の歴史18  
 （講談社）¥1,500

## 世界史概説

わた なべ あつし  
 渡 辺 惇

アジアの歴史を地域的に東アジア、東南アジア、南アジア（インド）、西アジア、内陸アジアに分け、それぞれの歴史的世界の風土、歴史展開の特色等について講義する。

〔教科書〕特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 地誌学概説

お だ まさ やす  
 小 田 匡 保

日本の諸地域については中学で、世界の諸地域は中学と高校で、それぞれ浅く広く学習されているはずである。本講義ではヨーロッパに焦点をあて、地域の地理学的見方について考えてみたい。高校の時のものでよいか、地図帳を持参すること。

〔参考書〕T.G. ジョーダン著（山本・石井訳）  
 『ヨーロッパ文化』（大明堂）¥5,300

## 地誌学概説

かわ もと とよ かず  
 川 元 豊 和

前半では地誌学の基本的な枠組について説明したい。また後半ではアジアの村落に的をしぼり、農業と村落の変化の様相を明らかにしようと思う。

〔教科書〕プリントを配布する。

## 地誌学概説

はし つめ なお みち  
 橋 詰 直 道

前半は、地域の捉え方、地域区分、自然環境と人間の関係など地理学の基礎と地誌的な地域の見方を中心に学ぶ。

後半は、主に都市と農村の変容について、動態地誌的な事例研究成果を紹介し、地理的空間構造とその変容過程を学ぶ。

教科書は特に定めず、講義はプリント中心に行う。参考書は講義の中で紹介する。

## 人文地理学概説

こ ぼやし こう じゅ  
 小 林 高 壽

教職のための人文地理学を概説するのである。そのために①人文地理とは何か（本質論）②人文地理をどう教えるか（教授論）③教える立場と教わる立場の考察（教育論）④人文地理の基盤となるべき自然地理の内容はどうなっているか（体系論）⑤自然環境及社会環境とは（相互作用論）⑥地図と地理統計をどう読むか（教材論）⑦人文地理の教育と研究について（教養論）等にわたって講述したい。

地図帳と最新地理統計（小冊子になっている）は持参して貰いたい。

〔教科書〕長谷川典夫編著『教養のための地理学トビックス』（大明堂）¥2,800

〔参考書〕高校用地図帳（アトラス）と、二宮書店編の『地理統計』

## 自然地理学概説

たか き まさ ひろ  
 高 木 正 博

自然地理学の分野のうち、地形と水を基本的な視点において、自然環境と人間生活とのかかわりを具体的な地域事例をもとに解説し、それぞれの地域が有する地域的特性を明らかにする。

## 自然地理学概説

はや ふね げん ほう  
 早 船 元 峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意（10枚程度）してもらい、それらをもとに種々なる作業（土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成）をして、より一層の理解を深めてもらう。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意すること。

〔参考書〕氷見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）¥3,600

## 民法 I

あお の ひろ ゆき  
 青 野 博 之

〈講義目的（要旨）〉

生活に関連するものとして、民法を学ぶ。民法の最

初ということで、民法入門という性格も有する民法総則が中心となるが、物権法も、もちろん講義対象である。

民法総則・物権法の中で、自分と他人との関係を権利義務という法律の目でみることができるようになれば、講義目的は達成される。自分は他人に対して何をなぜ主張することができるのか(権利)、自分は他人に対してなぜそんなことをしなければならないか(義務)を受講生自身が考えていけるように講義を進めたい。質問は大歓迎である。

出席者がそれほど多くなければ、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただきながら、私の講義を聞いていただくことになると思われる。

#### <授業内容・授業計画>

##### 前期

民法総則のうち法律行為の前半まで(民法一条から一一八条まで)。

4月、序説(たとえば、自分の土地はどういうふうに使ってもいいとはどういう意味か、他人に迷惑をかけても自分の自由に使ってもいいか)。

5月、自然人(たとえば、未成年者と契約をするときにどんな問題があるか)。

6月、法人(たとえば、法人という制度を認めることによってどんな利点があり、どんな弊害が発生するか)、物

7月、法律行為(たとえば、契約は自由であるとはどういう意味か)。

##### 後期

民法総則のうち法律行為の後半から時効まで、および物権法(民法一九九条から三九八条の二二まで)。

9月、法律行為(たとえば、契約を取り消すことができるのはどんな場合か、契約を取り消すとどういう結果になるか)、期間、時効(たとえば、時効という制度はなんのために認められているか)。

10月、物権総論(たとえば、物権は債権とどこが違うか)、物権変動(たとえば、マンションを買った場合には何をしなければならないか)。

11月、占有権、所有権、用益物権(たとえば、土地を借りるとどんな権利が発生するか)。

12月、担保物権(たとえば、貸金を確実に回収するためにはどうすればよいか)。

1月、質問に答える(受講生からの質問には毎回の講義時間の際に答えるが、それとは別に質問時間を設ける)。

#### <評価方法>

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。出席したらできるだけ、質問をし、私からの質問に答えることが結局受講生のためになる。

また、私のためにもなる。したがって、質問および回答はこの講義を進める鍵である。試験に際しては一切の持ち込みを不可とする。

#### <教材>

教科書:我妻 栄・有泉 亨著(川井 健補訂)『民法I(総則・物権法)』(一粒社)、教科書は、上記のものを使うが、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

六法:憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法を中心として法律を集めて編集したものを六法と呼んでいる。受講する際にはぜひとも六法を持っていくこと。外国語を学ぶ際に辞書が欠かせないように、法律科目を履修する際には六法は不可欠である。六法は、『ポケット六法』(有斐閣)、『コンパクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)などの大きさ(厚さ・値段)のもので十分である。『コンサイス六法』(三省堂)、『判例基本六法』(岩波書店)、『判例六法』(有斐閣)を進んだ勉強をしたい受講生に勧める。『口語〜』という書名のついたものでもよい。六法は毎年出版されるので、新しいものの方が望ましい。

#### 民法 I

	つる	い	しゅん	きち
(前期)	鶴	井	俊	吉
(後期)	はやし	こう	し	司
	林	幸		

民法(I)は、民法総則、物権法を対象とする。民法総則は民法の通則であって、抽象的でわかりづらい。そして物権法も、日本の特殊性が強く出ている領域であって、これもまたむずかしい。できる限り具体的な事例などをあげて解説する予定である。

〔教科書〕我妻 栄・有泉 亨著『民法I(総則・物権法)』(一粒社)

#### 政治学原論

おお	つか	かつら
大	塚	桂

現代政治学の体系的な理解を深めるべく、以下の諸問題について検討していく。

- I. 政治学の課題と対象ならびに方法論
- II. 政治思想の史的展開
- III. 政治権力論
- IV. 政治制度・機構論
- V. 行政国家論・現代社会論
- VI. 政治変動論
- VII. 政治行動論
- VIII. 政治過程論・政策決定過程論
- IX. 政治集団論
- X. 国際政治理論

- 〔教科書〕大塚 桂『政治学原論序説』  
 (勁草書房) ¥3,296
- 〔参考書〕原田綱『政治学原論』  
 (朝倉書店) ¥5,356
- 佐竹寛『政治学体系論』  
 (法学書院) ¥3,090
- 中山政夫『現代政治学』  
 (三和書房) ¥2,575
- 日下喜一『現代政治学概説』  
 (勁草書房) ¥2,060
- 本田弘『政治理論の構造』  
 (勁草書房) ¥4,000

## 社会学原論

わた なべ もと き  
 渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 経済原論

あら き よし ひろ  
 荒 木 勝 啓

原論は本来ミクロ・マクロ両面にわたって学習すべきであるが、この科目が商学科選択および他学部生の教職科目でもあることを考慮して、この授業はもっぱらマクロ経済学の基礎的部分 (IS-LM分析まで) に限定して行うことにする。

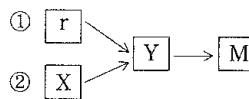
ところでなぜ経済事象を理解するために「経済理論」を学ばなければならないのであろうか。理論なき現実観察がいかに危ないものであるかは、毎年のように見られる次のような答案の叙述をみればよく理解できよう。

「公定歩合が下がる。すると景気が良くなるとともに国際収支の黒字幅が拡大し……」

この記述は、おそらく「日本経済が過去において輸出主導型であり、輸出拡大によって(その結果)黒字が増大しながら景気が拡大していった」という記憶に基づいて書かれたものであろう。たしかに経験に基づけば、日本経済の輸出拡大(黒字増大)と、景気拡大は同時進行的であったようにみえる。しかし経験の一般化ほどこわいものはない。ではアメリカはどうだったであろうか。景気が拡大するたびに国際収支の赤字が増大したではないか。

上述の答案のように(A)景気がよくなると国際収支の黒字化傾向となるのが正しいのか、それともアメリカがそうであったように(B)景気がよくなると国際収支の赤字化傾向となるのが正しいのか。

そこで問題の整理が、すなわち前提条件を明確にした上で結論を導くという方法論、つまり「理論」が必要となるのである。今輸出をX、輸入をMとし、国際収支を便宜上経常収支すなわち輸出-輸入だけに限定し、 $B = X - M$ と書こう。BはもしXがふえれば増大(黒字化)し、Mがふえれば減少(赤字化)する。X、Mともにふえればその相対的なふえ方に応じてBの増減が決まる。さて、公定歩合をrと表し、「景気」を国民所得Yで代表しよう。すると、「公定歩合が下がると景気が良くなる」という関係は $r \downarrow \rightarrow Y \uparrow$ と書ける。「輸出が増大すると景気が良くなる」という関係は $X \uparrow \rightarrow Y \uparrow$ と表すことができる。また輸入は景気が良くなると増加するのが一般的であるから $Y \uparrow \rightarrow M \uparrow$ という関係がある。すると図式的に



のような causality が成立つてあろう。さて上述の答案の混乱は、本来この図式の①から出発する事象の流れを、日本経済の経験が示した②から出発する流れと混同してしまったところに原因があるのである。①から出発したとすれば、結果はMの増加だけであり、従って $B = X - M$ は赤字化以外の道はない。すなわち80年代後半のアメリカ経済のように超低金利政策のもとで輸出の拡大を伴わなければ経常収支Bは赤字化する以外にないのである。②から出発したとすれば、結果はやはりMの増大となるがしかし、日本経済の経験が示すように $\Delta X > \Delta M$ である限りBはふえる。すなわち経常収支は増大するのである。こうして、上述の答案は前提が違うが故に、誤りであり、また(A)が正しいのか(B)が正しいのかという問題は、「景気が良くなった」その原因、出発点が①であるのか②であるのかを明示化しなければ判定できないという結論が導けるのである。このように理論とは条件明示化の方法論なのである。

以上のように本講義は現実問題をたえず念頭に置きつつもマクロ理論を基礎から構築するということを主眼に置いている。年間の主要項目は次の通りである。

- (1) 総供給=総需要
- (2) 均衡国民所得の決定
- (3) 政府・海外部門の存在する場合への拡張
- (4) 乗数
- (5) ビルト=イン=スタビライザー
- (6) 貨幣とは何か
- (7) 信用創造理論
- (8) 貨幣数量説
- (9) マネタリズム
- (10) 古典派経済学の3命題
- (11) ケインズ理論
- (12) IS-LM分析
- (13) 財政政策と金融政策
- (14) ポリシー・ミックス

- (15) フィリップス曲線をめぐって
- (16) 期待理論
- (17) 成長理論

なお、最低年1回実地研修を行う。予定では証券取引所である。この時出席点をとる。

試験は期末に前後期合わせた分の試験を行う。ノート・本・電卓持込可。2題出題し1題は計算問題、1題は論述問題が予定。

〔教科書〕浅野・荒木・浅田著『エコノミックス』  
(成蹊堂)

## 経済原論

お 大 石 雄 爾

この豊かになった日本において、労働者はいまだに長時間労働を余儀なくされている。不況の中にあっても企業はそれなりの成長をしているが、多数の勤労者の所得は抑えられている。また、日本での営業に見切りをつけ、東アジア諸国などに生産の拠点を移す企業がふえ、アメリカが経験してきた産業の空洞化現象が進行しつつある。

地球全体に目を広げると、20世紀の「社会主義」体制が崩壊し、資本主義的な方向での世界の再編成が行なわれている。その中で、いわゆる「南と北」の諸国間に横たわる貧富の差はますます拡大し、地球規模における環境の破壊が進行している。環境問題は、いまや人類に遠くない将来における生死の選択を迫りつつある、といっても過言ではない。

このように、一見しただけでも現代世界は複雑な様相を呈しているが、よく見ると一本の赤い糸で結ばれていることがわかる。それは、世界の主要問題の多くが、資本（企業）の活動の全面的展開の結果として生み出されている、という事実である。確かに、資本はすでに百余年にわたって社会的富を生産し、分配し、また全体として富を急速に拡大させてきた。それが可能であったのは、資本が社会的労働の大部分を資本のもとに取り込んできたからに他ならない。

そこで、われわれは、社会的な労働が資本のもとで行なわれると、どうして現代世界に見られるような諸問題を生み出すのか、ということを考えてみなければならない。そのためには、まず、資本とは一体何か、資本のもとにおける労働はどのような特徴をもつか、そしてさらに、資本によってこの資本主義社会そのものがいかにして再生産されるかということ、すなわち、資本主義経済の一般的法則を理解することが必要となるものと思われる。

この講義は、以上のような趣旨にもとづいて、およそ次のようなテーマに沿って進めてゆく。

1. 経済理論を学ぶにあたって
2. 商品とは何か
3. 貨幣とは何か
4. 資本の生産過程

5. 賃金とは何か
6. 資本の蓄積
7. 資本の流通過程
8. 剰余価値と利潤
9. 価値と生産価格
10. 商業資本
11. 利子生み資本
12. 近代的土地所有

〈講義方法と留意点〉

講義は、ほぼ2回で1テーマについてお話するというペースで進める。皆さんの理解を深めていただくために、相当量の板書をするにしているが、これを書写してこと足れりと考えることなく、読み返したときに理解できるようなノートの取り方を各自くふうしてほしい。

時に、講義の冒頭で経済や政治にかかわる問題を取り上げ、簡単な解説を加えることにする。また、皆さんの問題関心を高める一助として「30分レポート」を年間数回、講義時間を利用して実施する。

経済原論はその科目の性格上、全体的な関連を把握して初めて、各部分の理解も可能になるというものである。そのため、受講する皆さんには、年間を通して毎回出席することを強く要求したい。

〈成績評価〉

試験は原則として年度末に行ない、これを中心に成績評価をする。「30分レポート」も判定の参考とする。

〔教科書〕平野喜一郎他『経済原論』  
(青木書店) ¥2,781

〔参考書〕金子ハルオ他『資本主義の原理と歴史』  
(青木書店) ¥1,854

## 経済原論

お の とし お  
小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮し、現代経済学のミクロとマクロの基本を解説し、複雑な現代経済を理解する力を養うことを目指す。

〔教科書〕小野俊夫編著『現代経済学の基礎』  
(学文社)

## 哲学概説

くに しま かず のり  
国 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。



歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしたい。

哲学思想の基礎的概念や考え方の解明に重点をおく。また書物の読解力を養成するために、教材の重要な個所を読んで解説する。

〔参考書〕その都度示す。

## 哲学概説

なかむら しょう ちは  
中村 璋 八

この講義は中国の哲学を中心とし、その起源より、それ以後、現代に至るまでの史的展開を概説する。哲学・思想は洋の東西にかかわりなく、その地の自然環境、すなわち気候、風土やその時々々の政治、経済などと密接な関連を持ちながら発生し、それを展開して行くものである。中国は広大であり、その歴史も世界の中で最も長い。そこで、この講義も中国各地の気候・風土やその各時代の政治・経済を念頭におきながら殷墟卜辞・諸子百家を始め秦・漢以降の経学・道教・佛教などの各特色を考察し、それが朝鮮半島や日本に如何に受容され、変質して行ったかも考えてみたい。

〔教科書〕中村璋八編『中国思想文学通史』

(明治書院) ¥1,600

## 倫理学概説

くほ よう いち  
久保 陽 一

善や正義などの倫理学上の基本的概念を歴史的に検討しながら、—アリストテレス倫理学、キリスト教の倫理、カント道徳哲学、ヘーゲルの法哲学、マルクス主義、実存主義、プラグマティズム、功利主義等—現代における倫理の問題(生命環境倫理学等)について考えることにしたい。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 宗教学概説

あらい けん  
洗 建

宗教学の体系について概観し、その中から特に宗教社会学的問題を中心に考察する。教職教科であることに配慮し、憲法問題の宗教学的考察などをとりあげる。

〔教科書〕なし。

〔参考書〕その都度指示する。

## 宗教学概説

まつ だ ぶん ゆう  
松 田 文 雄

初めに宗教学の研究方法、その領域、宗教学で用いる用語などを概説し、後期、今年度は日本仏教の特色について述べる。

〔参考書〕随時指示する。

## 宗教人類学

さ とう のり あき  
佐 藤 憲 昭

(P.26) 参照

## 民間信仰論

たに ぐち かんざ  
谷 口 貢

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていききたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題について考察を加える。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## 東洋思想研究

たて の まさ み  
館 野 正 美

中国古代における様々な思想家たち—いわゆる“諸子百家”—の哲学思想を概観する。その際、たとえば、孟子は性善説・荀子は性悪説といった、単なる知識の羅列ではなく、むしろ、彼らが人間存在の深層に“何”を見出し(あるいは見出すことに失敗し)て、それをどのように表現しているのか、といった点にこそ意を注ぎ、詳細に論じてゆきたい。

かくして、孔子や孟子・荀子らの儒家思想、老子や荘子らの道家思想を経て、後期には『呂氏春秋』の諸思想、今年度は特にその医学思想について論及してゆきたい。

〔教科書〕館野正美著『中国古代思想管見』

(汲古書院) ¥1,200

〔参考書〕授業中に適宜紹介します。

## 民衆宗教成立史

あらい けん  
洗 建

新宗教の規定をめぐる諸問題，新宗教の展開，発達史を概観し，主要な新宗教教団について紹介する。

〔参考書〕堀 一郎編『日本の宗教』  
(大明堂) ¥2,000

## 歴史哲学

あ せい けん  
麻 生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で，歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を，「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは，今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが，そもそもは「他者理解」の問題，「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）¥2,500

## 日本仏教史

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

仏教の歴史の流れを概観し，のちに平安後期から江戸期にかけての仏教と社会・文化との関わりについて講述する。とくに鎌倉仏教の成立と展開，仏教諸宗派の僧侶・寺院と地域社会とのかかわり，都市景観と寺院，一向一揆・無縁所寺院と戦国大名，近世においていかにして寺院が寺請制度を担いうるまでに至ったかの問題，寺院と檀家等について考察する。その際には，各地の寺院が所蔵する古文書・過去帳・授戒会帳・墓石史科学も提示しながら行うことにする。

〔教科書〕史料はコピーして随時配布する（無料）

〔参考書〕黒田俊雄著『寺社勢力—もう一つの中世社会—』（岩波新書），網野善彦著『無縁・公界・衆』（平凡社選書），井上鋭夫『山の民・川の民』（平凡社選書）

## 日本文化史 I

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

(P. 24) 参照

## 美術史概説

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

(P. 25) 参照

## 日本宗教文化史

まつ だ ぶん ゆう  
松 田 文 雄

仏教文化に的をしぼり，近世における日本宗教文化について講義する。必要な資料はプリントして，受講生と共に講読する。

## 【職業】

## 産業概説

まえ だ ゆき かず  
前 田 幸 一

〈講義目的〉

日本の主要な産業を勉強していきます。教職コースの科目ということもあり，受講者数が多くないのでゼミ形式で授業を進めていきます。

〈授業内容・授業計画〉

授業は

1. 戦後日本の産業発展と今後の展望
2. 産業の見方・考え方
3. 素材型産業
4. 組立加工型産業
5. 生活関連産業

という項目に沿って進めていきますが，特に上記の3，4，5の項目に力を入れて授業を進めます。

〈評価方法〉

筆記試験はしません。平常点かレポート提出物のどちらかで評価します。

〔教科書〕日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』（東洋経済新報社）

〔参考書〕水口和寿『現代産業概論』（昭和堂）  
宮沢健一・竹内宏編『日本産業教室』（有斐閣）

## 職業指導

やま だ ゆう じ  
山 田 勇 治

〈講義目的〉（要旨）

職業指導（進路指導）は教職科目であるから，将来教員として役立つような講義内容とするように心掛け，

なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。受講する場合には、問題意識をもって積極的に教育問題を考えるようにしてほしい。

渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）  
藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

〈授業内容・授業計画〉

【商 業】

前期は、職業指導の基礎的な概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心にした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

職業指導

やま だ ゆう じ  
山 田 勇 治

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点について考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明を加えたいと思っています。

(P.16) 参照

〈評価方法〉

出席および授業中における課題などの提出状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価する。

〔教科書〕山田勇治『会計教育論』（創成社）¥1,300

〔参考書〕藤本喜八『進路指導論』（恒星社厚生閣）

商業実習

まえ だ ゆき かず  
前 田 幸 一

〈講義目的〉

国内よりも対外国企業との商品取引の実務について授業を進めていきます。授業はゼミ形式で行っていくつもりです。

〈授業内容〉

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

1. 輸出実務の概要
2. 取引関係の創設
3. 取引条件の取決め
4. 売買条件の取決めと契約成立
5. 輸出信用状の照合
6. 約定品の調達
7. 輸出保険
8. 輸出承認と認証の取付け
9. 運送契約の締結
10. 為替の予約
11. 海上保契約
12. 輸出検査と包装
13. 輸出通関
14. 船積み
15. 船積書類
16. 輸出決済
17. 貿易クレーム

〈評価方法〉

筆記試験はしません。評価は平常点かレポート提出等によって行います。

〔教科書〕開講時に指示

〔参考書〕石田貞夫『貿易取引の実務』（実教出版）

## II 学校図書館司書教諭講座

### 図書館学 I

やま ざき けい こ  
山 崎 慶 子

小学校、中学校、高等学校各々の学校の教育目標を達成するために学校図書館はなくてはならぬ設備である。

人格形成期にある児童生徒たちが多くの事を学び教養や趣味を豊かに育てるためには、教科書の他にたくさん資料が必要となる。児童生徒たちが生涯にわたって学ぶことの面白さを知る魅力ある学校図書館はどうあるべきか、そのためにはどのような研究や工夫が必要か。学校図書館を預かり教員の中心的存在として活躍する司書教諭の職務内容全般について、特に読書指導の意義及び資料利用の技能育成について考察を深めたい。

前期講義は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」「図書館資料の選択」、後期は「学校図書館の利用指導」「読書指導」。

〔教科書〕図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』改訂版（学芸図書）¥1,442

### 図書館学 II

みなもと しろう きゅう  
源 昌 久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、主として資料組織法（分類法・目録法）について論じる。前期には分類法、後期には目録法を講じ、各々の概念的フレーム・ワーク、基本的規則およびコンピュータとの関連等について言及する。開講時に詳しいシラバスを示す。

〔教科書〕もり・きよし原編『日本十進分類法 新訂8版』（日本図書館協会）

日本図書館協会目録委員会編

『日本目録規則1987年版 改訂版』

（日本図書館協会）

### Ⅲ 社会教育主事講座

#### (1) 必修科目

##### 社会教育の基礎（社会教育概論）

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

社会教育の本質について理解を図ることを目的とする。その内容としておもに下記の事項をとりあげる。

1. 社会教育の意義 — 理念, 歴史, 現状, 外国との比較, 社会教育と学校教育
2. 多様な学習の機会
3. 社会教育の法と行財政
4. 社会教育の施設
5. 学習者の理解
6. 社会教育の内容と方法
7. 社会教育と生涯教育・生涯学習

〔教科書〕 碓井・倉内編『新社会教育』  
(学文社) ¥2,000

〔参考書〕 『社会教育ハンドブック』  
(エイデル研究所)

〔教科書〕 永田良行著『成人教育への挑戦』  
(全日本社会教育連合会) ¥773  
ジェルピ著『生涯教育』  
(東京創元社) ¥1,500

##### 社会教育実習

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

実習前の指導 — これまでの実習の経験に学ぶ。

実習期間 — 個別の訪問指導。

実習後の指導 — 個別の体験の整理・検討とそこから生ずる共通する課題の追求。  
〔例〕社会教育職員の専門性とは  
なにか。

##### 社会教育計画

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

社会教育主事として社会教育計画を立てるに際して必要な事項について基礎的な理解を図る。社会教育の対象の理解と組織化, 地域社会と社会教育, 社会教育調査とデータの活用, 社会教育事業計画, 学習情報の提供と学習相談, 社会教育と広報・広聴, 社会教育施設の経営, 社会教育の評価等が主な内容となる。

〔教科書〕 酒匂・村山他共編著『生涯学習の方法と計画』(国土社) ¥2,800

##### 現代社会の諸問題と教育

たか しま ひで き  
高 島 秀 樹

(P. 8) 参照

##### 婦人問題と社会教育

や ぐち えつ こ  
矢 口 悦 子

女性問題(婦人問題)の現状を明らかにし, その解決にむけて取り組まれている諸活動を紹介・分析する。年間の予定としては,

- I. 女性問題を捉える基本的視点
- II. 日本における婦人運動の歴史
- III. 日本における婦人教育政策の歴史と現状
- IV. 国際的動向と女性学の発展
- V. 女性問題学習の実際

(社会教育のなかでの実践・グループ・サークル等での実践, その他の活動・実践など)

- VI. 今後にむけての課題

という内容を考えている。

〔教科書〕 なし

〔参考書〕 授業中に紹介する。

##### 社会教育実習

かみ おか やす ひ  
上 岡 安 彦

事前指導

社会教育分野の活動について講義

実習期間

社会教育施設訪問指導

事後指導

ジェルピ『生涯教育』によって自分の社会教育実習の体験を吟味し, 日本の教育を考えてみる。

## 青少年問題研究

みな かわ ひろ よし  
皆 川 広 義

(P. 8) 参照

## 図書館学 I

いづみ ぎき けい こ  
山 崎 慶 子

(P. 18) 参照

## 青少年指導演習

ひら の まなぶ  
平 野 学

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らをよく見つめていることが何よりも重要になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学び合いたい。特に「演習」科目でもあることから、受講者各々の様々な体験（ボランティア等）の発表や小グループでの討議、更には話を聴く練習（ロールプレイ）や自己理解を深めるためのエクササイズ等、色々取り入れる形で進めていきたい。そしてそうした中、受講者自らの成長にも役立つような授業になればと思っている。

〔教科書〕特に使用しないが、プリント等適宜配布しつつ、色々紹介していきたい。

〔参考書〕河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）  
同『カウンセリングを語る（上、下）』（創元社）

## 博物館学 I

くら た よし ちゅう  
倉 田 芳 郎

(P. 23) 参照

## 博物館学 II

たけ うち じゅん いち  
竹 内 順 一

(P. 23) 参照

## 企業内教育・職業訓練

しお かわ まさ と  
塩 川 正 人

「企業」は“生きもの”のように変貌し、成長してきます。企業の生きた姿を知ることは、卒業後の未来をつかむ上で必須の条件といえそうです。

本講座は、企業人教育20年の経営コンサルタントが、実践事例を中心に、企業論と人間論を、学生諸君と対話しつつ展開します。

★教職や社教主事を希望する諸君へは「採用試験合格」への決め手を、企業人教育の手法を活用して指導します。

★会社就職を希望する人へは、会社選択のノウハウを、個人別指導をしつつ展開します。

〔教科書〕なし

## 社会教育施設

むら やま てん よし  
村 山 輝 吉

1. 社会教育施設とは何か
2. 社会教育施設にかかわる人々
3. 公民館
4. 図書館
5. 博物館
6. 社会体育施設
7. その他の社会教育施設・関連施設
8. 社会教育施設をめぐる動向と課題

〔参考書〕適宜指示する。

## 社会体育 I

ふる た じゅん こ  
古 田 潤 子

野口三千三氏の理論と方法論を基にして、私なりの考え方や方法を加味したものです。

“人間のからだはどうあるべきか” “いいからだとはどうなのか” “それにはどうしたらよいか” ということを通して考え、行動できるからだづくりを行います。

立つ・寝る・歩く等あらゆる姿勢に於て、地球の表

面と接触しているからだの最下部に全体重を任せきる  
ことの出来る能力と感覚を身につけます。

「社会体育Ⅰ・Ⅱ」は必ず対で履修すること。

〔参考書〕野口三千三著『原初生命体としての人間』  
(三笠書房) ¥980

## 社会体育Ⅱ

ふる た じゅん こ  
古 田 潤 子

人間の動きと道具との関係。

動きに於ける人と人との対話。

動きと呼吸との関係。

動きのイメージ。

効率のいい力の使い方。

あらゆる行動に対して最良の適応が出来る基本姿勢…等について動きながらたしかめ、自己発見していきます。

## 社会心理学

(前期) つば い つし  
坪 井 健  
(後期) あだ よし ゆき  
穴 田 義 孝

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理(行動)に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理(行動)に関心を持ち、社会過程を重視する社会的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的とした。

〔教科書〕穴田義孝編『こころ・行動そして社会』  
(人間の科学社)

## 視聴覚教育

いい もり あき ひこ  
飯 森 彬 彦

(P. 23) 参照

## 教育社会学

たか しま ひで き  
高 島 秀 樹

(P. 8) 参照

## 教育原理

(P. 1) 参照

## 教育調査

すず き のり お  
鈴 木 規 夫

(P. 9) 参照

## 教育心理学 (教育方法論を含む)

(P. 2) 参照

## 教育史

きた むら みつ こ  
北 村 三 子

(P. 9) 参照

## 青年心理学 (教育方法論を含む)

(P. 2・3) 参照

## 児童文化

か がわ よし じげ  
香 川 良 成

(P. 10) 参照

## 社会教育行政

ひかし      とし      たか  
東            寿            隆

前半は社会教育の法と行政について、戦後社会教育法制の動向をふまえて、社会教育行政の本質を考えてみる。

後半は、現在の生涯学習政策について、実態をふまえて、これからの社会教育行政の方向を考えたい。

〔教科書〕 島田修一著『社会教育の自由と自治』

（青木書店）¥2,000

〔参考書〕 社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』

（エイデル研究所）¥3,500

## 成人学習論

ひめし      とし      たか  
東            寿            隆

前半では、成人の学習論について、社会教育の本質と実践事例などにもとづいて考えてみる。

後半では、地域づくりなどに果す学習の役割、新しい生活と文化の創造について考えたい。

〔教科書〕 島田修一編『地域にくらしと文化をひらく』

（国土社）¥1,700

〔参考書〕 酒匂一雄・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝 忍共編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）¥2,800



## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

#### 博物館学 I

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」ならびに「博物館学Ⅱ」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難しいかもしれない。本講義は博物館の基本のみを講ずるので、2単位である。社教主事の資格を取得しようとする方は、「博物館学Ⅱ」（2単位）も履修することが必要である。受講方法について、誤りの無いようにしたいので、4月第1週の時間は必ず出席すること。

#### 博物館学Ⅱ

たけ うち じゅん いち  
竹 内 順 一

博物館の運営について、以下の項目を中心に実際例をとりあげる。①展覧会実施マニュアル ②パブリシティ ③インスタレーション ④美術館エデュケイター ⑤レジストレーション ⑥学芸員の研究 ⑦学芸員の文章と翻訳 ⑧外国における特別展の実施。これらを通して、将来の博物館像を追求し、専門家の分業体制とともにレジストラの役割の重要性を考える。（しばしばレポート課題がある）  
〔参考書〕講義時に指示する。

#### 教育原理

(P. 1) 参照

#### 社会教育の基礎（社会教育概論）

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

(P. 19) 参照

#### 視聴覚教育

いい もり おき ひ  
飯 森 彬 彦

まず、視聴覚教育の成立に至る歴史をたどり、視聴覚教育の理論と、その背景にある教育思想、コミュニケーション論・映像論などを紹介することにより、視聴覚教育とは何か探る。

次に、視聴覚教材を、ラジオ・テレビ・映画・OHP・ビデオ・パソコンなど、具体的に取り上げ、その特性、教材制作の過程、利用法などを紹介する。

最後に、情報化、国際化の進む社会で、今後ますます重要性を増すと思われる「メディア教育」について論じる。

〔参考書〕『メディアと教育』（小林出版）

#### 博物館実習Ⅰ（館務）

くら た よし ろう 太田 きみこ  
倉 田 芳 郎 ・ 太 田 喜 美 子

博物館で10日間以上、学芸員の指導により実習を行なう。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

### 博物館実習Ⅱ（収集）

くら た よし ろう ところ りきお  
倉 田 芳 郎 ・ 所 理喜夫  
は ぬき まさ い えつ もり とも ゆき  
葉 貫 磨 哉 ・ 恵津森 智 行  
おお た きみこ  
太 田 喜美子

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。無断欠席のものは、受講できない。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

1. 考古学発掘調査 7月中旬から8月中旬
2. 民俗調査 12月か2月
3. 文書・石仏調査 9月下旬
4. 石仏調査 10月上旬

### 考古発掘実習

ち ぼ もと つぐ  
千 葉 基 次

一般的に言えば、考古学は机上の実習の一方で、遺跡を調査するための技術も必要とする。十分な技術は、一回の実習で身に付くと思えないが、いつの場合も基本・基礎の変わることはない。学友とこの基礎を、汗と泥にまみれて野外実習する経験も良いでしょう。新学期第1回目の授業は、必ず出席のこと。又、発掘実習には30日以上参加すること。

### 博物館実習Ⅲ（見学）

くら た よし ろう まつ もと のぶ みち  
倉 田 芳 郎 ・ 松 本 信 道  
おお た きみこ  
太 田 喜美子

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習の組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

## (2) 選択必修科目

### 日本文化史Ⅰ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

日本文化の流れを概観し、平安期末から江戸期にかけての文化について講述する。とくに中世文化の成立過程とその展開、北山・東山文化、禅宗と文化、下剋上の世と民衆文化、安土桃山文化と寛永文化、元禄文化、化政文化等について考察する。

### 西洋文化史Ⅰ

さ さ き まこと  
佐々木 真

今日、私たちがイメージする西洋文化とは、主に19世紀から20世紀にかけて、知識人たちの影響下で形成された、近代文化のことであろう。しかし、最近のヨーロッパ史研究では、前近代社会や民衆世界においては、今日と異なった文化が存在したことが指摘されている。本講義では、西洋の民衆文化を題材として、中世末から近代にかけての文化変容の問題を考えてみたい。具体的には、民衆の生活様式（人口動態、家族・労働形態、女性や子供の地位）や知の世界（読書行為、識字）、民衆の心性（価値規範、死生観）などを手がかりとして民衆の文化世界を考察する。教科書は特に指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。

### 西洋文化史Ⅲ

み こ だ とし お  
三小田 敏 雄

本年度は下記の教科書を使用して、〈西歐的結婚パターン〉や〈ライフ・サイクル奉公人〉というような西歐的特徴を通してヨーロッパの家族関係の変遷を辿りながら、文化の諸相におけるその具体的表現を学んで行く。

〔教科書〕 ミッテラウア／ジューダー『ヨーロッパ家族社会史』（名古屋大学出版会）¥2,472

### 仏教民俗学

たに ぐち みつぎ  
谷 口 貢

仏教が日本社会に受容され、地域社会に定着するには、民間の習俗や信仰と接触し習合する過程があった。したがって、仏教と民俗信仰とのかかわりを追究することは、日本仏教の諸特徴を明らかにすることになる

といえよう。

講義では、各地の具体的な調査事例を紹介しながら、地域社会における寺院の機能に焦点をあて、仏教年中行事、葬送儀礼、先祖祭祀などについて考察を行うことにしたい。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

## 仏教美術

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では仏教美術のルーツをインドに求め、その誕生の経緯と東漸のあとをたどり、その図像学的な解釈と信仰思想との関係、仏陀の伝記などを考察する。

後期は中国・朝鮮を経た仏教美術が、日本伝来後変容していく姿を、信仰思想の変遷とあわせて観察する。(スライド併用)

〔教科書〕 佐和隆研編『仏像案内』  
(吉川弘文館) ¥1,900

〔参考書〕 その都度指示する。

## 現代美術

や の よう こ  
矢 野 陽 子

19世紀以降の美術の流れを鳥瞰しながら、あらゆる表現が試みられている現代美術を時代を追って検討していく。毎回スライド等で具体的に美術作品を見ながら、様式の革新、伝統の継承、作者の意図などを考察する。

## 禅美術

え び ね とし お  
海 老 根 聰 郎

日本の中世絵画には、伝統的な大和絵と、この時代に、中国から新たに流入した絵画を学んだ漢画がある。後者を作りだした環境は禅宗社会であり、画家も禅宗画僧である。講義は、この流れを黙庵、鉄舟、明兆、周文、雪舟などの画家を中心としてたどりながら、合わせて大和絵についても述べる。(毎回スライドを使用する)

## 美術史概説

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では日本の原始時代から平安時代までの美術を、後期は鎌倉時代以後(できれば江戸時代まで)の美術を、時代の中で紀伝風にテーマ仕立てに分類し(例え

ば「明日香村の石造物」、「浄土教の美術」など)スライドなどをとおして考察し、それぞれの問題点も検討する。

〔教科書〕 久野健他『美術史〈日本〉』  
(東京堂出版) ¥2,000

〔参考書〕 その都度指示する。

## 西域美術史

まつ なら み わ こ  
松 平 美 和 子

西域から西アジアの遺跡から出土した美術品を東西美術交渉史の視点からながめ、いわゆるシルクロードの美術を考察しようとするものである。今年度はアフガニスタンの首都カーブルの北に位置するクシャーン朝の都の遺跡から出土した多様な遺宝を中心に、東西の美術をとりあげたい。(スライド使用)

〔教科書〕 特に定めず、プリントを使用する。

## 考古学概説Ⅰ(日本)

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

## 考古学概説Ⅱ(外国)

いい じま たけ つぐ  
飯 島 武 次

東洋考古学の概説を講義する。

〔参考書〕 飯島武次『夏殷文化の考古学研究』  
1985年(山川出版社) ¥7,000  
飯島武次『中国新石器文化研究』  
1991年(山川出版社) ¥11,000

## 考古学特講Ⅱ

たか ほか しゅう  
高 浜 秀

ユーラシア大陸の北を横切って、西はハンガリア平原から東は中国の北の大興安嶺まで続く草原地帯には、古来、南方の農耕地帯とは異なった独特の文化が栄えていた。初期鉄器時代になるとここには騎馬による遊牧が行われ始め、スキタイ系文化と呼ばれる互いにきわめて共通点の多い幾つかの文化が成立することになる。講義では、その前段階である青銅器時代から始めて、この地帯の文化を考えていきたい。

## 考古学特講Ⅳ

い い じま たけ つぐ  
飯 島 武 次

中国青銅器文化の研究。夏・殷・兩・周の考古学的研究を講義する。

- 〔参考書〕飯島武次『夏殷文化の考古学研究』  
(山川出版社)1985年¥7,000  
飯島武次『中国新石器文化研究』  
(山川出版社)1991年¥11,000

## 日本民俗学

は ぐち みつぎ  
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにした。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

- 〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## 宗教人類学

さ どう のり あき  
佐 藤 憲 昭

人類に根源的・普遍的な文化のひとつに憑霊文化がある。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑いていることを本来は意味するが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象・信仰は憑霊現象とか憑霊信仰と呼ばれるが、その内容は多岐にわたっている。本講では、宗教人類学の成立史、構成内容、方法などについて具体的に解説した後、日本を含むアジアの憑霊文化を取り上げて、さまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

- 〔教科書〕佐々木宏幹『宗教人類学』  
(講談社学術文庫)  
佐々木宏幹『仏(ホトケ)と霊(クマ)の人類学』(春秋社)  
〔参考書〕佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』  
(新曜社)  
小松和彦『憑霊信仰論』(講談社学術文庫)

## 地形学Ⅰ

こ いけ かず ゆき  
小 池 一 之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心にする。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにした。 (内容は最先端の知見を含む)

- 〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』  
(東大出版会) ¥4,532

## 地質学

かい つか そう へい  
貝 塚 爽 平

前期には、関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象(たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成)についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論を交えて解説する。

# V 社会福祉主事講座 社会福祉士基礎

## 社会福祉原論

い とう しゅう いち  
伊 藤 秀 一

本講では、受講生がこれから社会福祉を学ぶ者であることに留意しつつ、まず、社会福祉の概念を整理することから始めたい。

次いで、社会福祉の生成過程、制度的なしくみ、各分野の現状に論及する。

さらに、社会福祉の今日的課題を講述し、一応の体系的な把握に努めたい。

〔教科書〕仲村優一著『社会福祉概論』  
(誠信書房) ¥1,700

## 社会福祉原論

はら だ しん いち  
原 田 信 一

社会福祉は、時代に即応し、個人のニーズに合致した福祉サービスの支援を要求する。そこには提供者と利用者(対象者)間における対人的・非貨幣的援助活動のもつ比重が著しく大きくなり、従来までのような物的・貨幣的救済を主とした、福祉問題の彌縫的・応急的対応では、最早、包摂できない状態にきている。

それらのことをふまえて、本講では時代要請に応える専門的原理の探究をおこないたい。

〔参考書〕原田他共著『新しい社会福祉の理論』  
(高文堂出版社)

## 老人福祉論

とう じゅう みつ まさ  
東 條 光 雅

人口の急速な高齢化が進む中、家族形態・機能の核家族化と相まって、老後問題に対する社会的関心が非常に高まっている。老後問題は、今後一層の深刻化が予想され、老人福祉施策は近年流動的に変化している。わが国においては、約30年後に超高齢化社会の到来が予測されるわけであるが、現状改善という視点からだけでなく、長期的な展望と広い視座から老人福祉対策の在り方を考えてゆくことが必要である。

本講では、老人福祉施策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉サービスを考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の変化や、関連

する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

〔教科書〕冷水 豊・浅野 仁・宮崎昭夫編『老人福祉』第3版(海声社) ¥2,000

〔参考書〕三浦文夫編『図説 高齢者白書1993』  
(全社協) ¥2,800

## 障害者福祉論

はら だ しん いち  
原 田 信 一

わが国の障害者福祉の発展過程をその淵源に遡りつつ体系的に講ずる。内容面では、人権の認識を基盤においた正当性のある障害者観、そして今後、激動化によって惹起が予測される障害者問題発生メカニズムを究明する。さらに、その対応方法、政策、ならびに処遇のあり方などに加え、欧米先進諸国における障害者福祉との対比から、わが国の障害者福祉に見直しを必要とする新たな課題構築点などに重点をおき講じたい。

〔教科書〕星野・藤村・原田・井田編『障害福祉論入門』〔改訂版〕(有斐閣)

〔参考書〕(1)原田・春見・佐藤著『新しい社会福祉の理論』(高文堂)  
(2)原田・吉田編『心身障害児(者)の心理・教育・福祉』(文化書房博文社)

## 児童福祉論

かしわ め れい ほう  
柏 女 霊 峰

児童福祉とは、理念的には人格主体として理解されながら、実際には自分たちの立場を主張したり、それを守ることができない児童に代わって、国、地方自治体、保護者及び社会全体が、その生活と発達、自己実現を保障する活動の総体であると考えられる。

本講では、最新の資料に基づきながら、児童福祉の理念、児童を取り巻く環境、制度体系、サービスの現状と課題、児童福祉の方法について論述するとともに、出生率の低下、児童虐待、不登校等の今日的・個別の課題についても言及し、現代社会とのつながりの中で児童の福祉について考えてみたい。

〔教科書〕柏女霊峰『児童福祉論考』(仮称)誠信書房(近刊)

〔参考書〕別途作成する『児童福祉資料集』をコピー

の上、使用する予定。

## 社会保障論

さ 坂 た 田 しゅう 周 いち 一

社会保障の理念、概念、歴史をふまえて、社会保障制度のしくみならびに運営を理解し、高齢化社会に対応できる社会保障制度の改政課題を考察する。

〔教科書〕古賀昭典編著『社会保障論』

(ミネルバ書房) ¥2,600

## 公的扶助論

い 伊 どう 藤 しゅう 秀 いち 一

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。

講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。

1. 現代社会と公的扶助
2. 低所得問題対策の概要
3. 生活保護制度のしくみ
4. 生活保護の最近の動向
5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方

なお、テキスト等については開講時に指示する。

## 地域福祉論

わ 和 だ 田 とし 敏 あき 明

地域福祉を基調とする社会福祉の転換が、地方分権化、社会福祉供給システムの多様化、責任主体の多元化を伴い進展している。平成5年度からは、老人福祉法等8法改正の完全実施が行われ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。講義では、地域福祉の理念と内容、推進方法、地域福祉の現状について基礎概念を講ずるとともに、それを実践動向に即して深めたい。

〔教科書〕改訂社会福祉士養成講座7

『地域福祉論』(中央法規) ¥2,500

〔参考書〕永田幹夫著<改訂>『地域福祉論』

(全国社会福祉協議会) ¥2,060

## 心理学(福祉)

いの 井 うえ 上 たか 孝 よ 代

欧米諸国において、社会福祉実践の方法論として心

理学が広汎に取り入れられているという現況に基づき、社会福祉にかかわる基礎科学として心理学の分野全般を講義する。

重点的な内容としては、①人間の心理学的理解における心理機能と基礎的概念、②人間の成長発達の様相と障害、③人間理解の学説および諸理論の実際、④心理学的援助の技術と実践など、社会福祉士の養成における指定科目である「心理学」で学ぶべき内容を整理する。

教科書の指定は特に行わないが、必要に応じて資料、参考プリントなどを用意する。

## 社会学(福祉)

はし 橋 つめ 爪 さとし 敏

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供する事を目的とする。『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』をテキストとしてその内容を把握し、社会学独自の社会現象の見方や考え方を理解する。

したがって、テキストに即して、社会学の歴史、社会集団、現代社会の諸問題などを論じていく。参加学生数によっては講義以外の方法も併用したい。

〔教科書〕福祉士養成講座編集委員会編『改訂社会福祉士養成講座12/社会学』

(中央法規出版)

〔参考書〕安藤喜久雄ほか編『社会学概論』、『わかりやすい社会学』(学文社)

## 法学(福祉)

けい 鶏 とく 徳 ひろ 啓 とう 登

我国の福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の法令に基づいて国家によりなされている。そこで本講義は、テキストに従い、まず憲法の意義・原理原則を一通り説明し、次に各福祉法に共通する行政法総論をやり、最後に福祉六法を各論的に行う予定である。

〔教科書〕小林弘人編著『社会福祉のための法入門』(川島書店)

〔参考書〕福祉六法等教場にて説明します。

## リハビリテーション論

はら 原 だ 田 しん 信 いち 一

リハビリテーション領域のなかで、学問的にいちじるしく遅れをみせているのが社会リハビリテーションであるといわれている。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも現実的でしかも難解な社会福祉問題を抱えていることがいちじ

るしい運帯をもたらす原因になっているといわれる。そこで、本講義はとくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践的方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕講義ノートによる。

〔参考書〕随時指示する。

## 社会福祉計画論

かわ てい もと ゆき  
川 延 宗 之

社会福祉が問題対応的なサービス提供から、予防福祉的な側面も強調されるに従って、そのサービス提供を組織的計画に行おうとする傾向が増してくる。この傾向の内容や課題そして方向について、ソーシャルワークの側面から、社会福祉政策の側面から、整理するとともに、その実際の計画内容や計画技法について学ぶのが、本講の課題である。なお、社会福祉計画は一国の計画として考える事は可能であるが、多くは社会福祉サービスの特徴上、特定のエリアにおける地域福祉計画として考える必要がある。本講では、以上の様な点について、指定するテキストを中心に、相互学習方式による学習を展開する予定。なお、受講予定者は必ず第1回を受講する事。

〔教科書〕① 高田真治『社会福祉計画論』

(誠信書房) 1979年

② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』1980年

(全国社会福祉協議会版) ¥2,800

③ 全社協編『地域福祉計画 — 理論と方法 —』1984年

(全国社会福祉協議会版) ¥1,300

## 家族福祉論

たか はし しげ ひろ  
高 橋 重 宏

現代の家族生活の問題と課題を解説する。さらに、「家族」、「家庭」、「家庭機能」等の概念を整理するとともに、ファミリー・サービスのあり方についても北米における事例を紹介しつつ検討したい。

とくに国連が定めた国際家族年の原則、目的、スローガン等についても講述する。

## 医療福祉論

はる み しず こ  
春 見 静 子

医療とは何か。医療の歴史、医療福祉の歴史、医療の分野で社会福祉援助活動を行うために必要な知識と技術を学ぶ。

1. 医療論 医療の概念、医療の場、与え手と受け手医療法、現代医療の問題点
2. 医療領域のソーシャルワーク 歴史、意義、機能、方法、機関
3. 医療ソーシャルワークの実際 事例を通して医療福祉の実際を学ぶ

〔教科書〕山川哲也『臨床医療ソーシャルワーク』

(誠信書房) ¥2,500

## 婦人福祉論

はやし ち よ  
林 千 代

戦後のある時期登場した“婦人福祉”という概念は、いまだ成熟しているとはいえない。唯一、女性を対象としている社会福祉事業は、売春防止法に基づいて制度化されている婦人保護事業である。しかし、女性という特性ゆえに遭遇する生活上の困難は多様であり、何らかの解決策を必要としている。

売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の福祉阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題としたい。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

〔教科書〕特になし

〔参考書〕林 千代著『母子寮の戦後史』

(ドメス出版)

## 保健福祉論

あん め とき え  
安 梅 勅 江

急速な人口の高齢化や国際化、地方の時代といった社会構造の大きな節目と相まって、福祉に対するニーズは大きく変貌してきており、わが国の保健・医療・福祉の諸領域は、今や連携から統合化の時代へと推移しつつあると言える。

従って、本講義では、人間の生涯における身体的・精神的・社会的に健康で豊かな生活を維持する原理及び方法論の希求を目的とした保健福祉学の理念に基づき、健康を機軸に据えた真の生涯福祉のあり方について理論的な整理を行う。さらに、学際的学問領域としての保健福祉学の概念、歴史、方法論を踏まえ、保健福祉の実践に根ざした体系につき概説する。

〔教科書〕日本保健福祉学会編 平山宗宏・高山忠雄

## 社会福祉発達史

はやし ちよ  
林 千代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他編『社会福祉事業発達史』

（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕随時紹介

## 海外社会福祉論

なか の こ  
中 野 いく子

前半では、福祉国家を世界で最初に成立させたイギリスを中心に社会福祉・社会保障のアイデアとその政策・制度的変遷を講じる。

後半では、北欧やヨーロッパ諸国、アメリカなどの福祉国家の実情と現在直面している問題について学習・討論することにした。その他に、受講生の関心があれば、アジア諸国の社会福祉についても取り上げたい。

講義だけでなく、受講生に活発に検討してもらう授業にしたいので、意欲ある学生の受講を望む。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕社会保障研究所編『イギリスの社会保障』

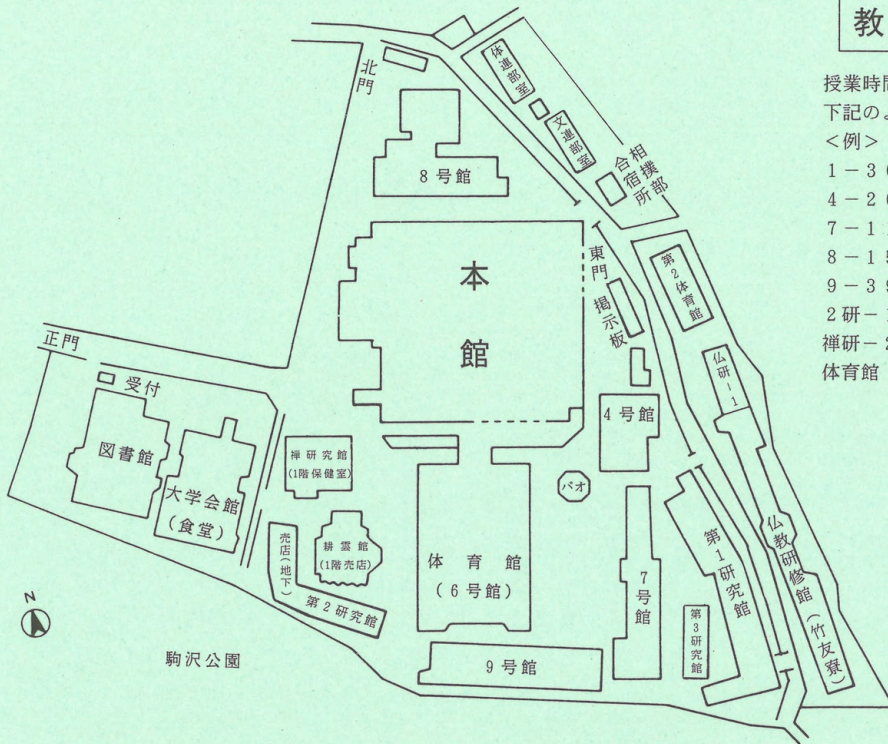
『フランスの社会保障』『西ドイツの社会

保障』『スウェーデンの社会保障』『アメ

リカの社会保障』（東大出版会）



# 駒澤大学の構内図



## 教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

<例>

1-301	本館(1号館)3階
4-204	4号館2階
7-110	7号館1階
8-150	8号館1階
9-390	9号館3階
2研-101	第2研究館1階
禅研-201	禅研究館2階
体育館	体育館2階

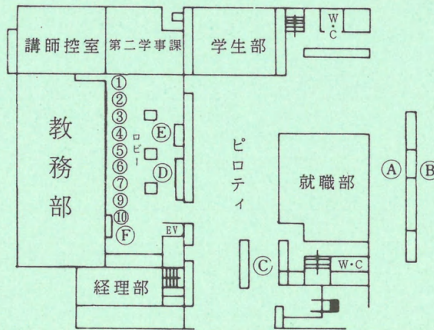
(ただし選択種目により第2体育館になる)

## 各事務室・掲示板配置図

### 教務部窓口

- ①教職課程  
学校図書館司書教諭講座
  - ②博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会教育主事講座
  - ③科目等履修生 聴講生 卒業証書
  - ④証明書(教務関係)申込受付・発行  
<健康診断書および在学証明書は学生部>
- ※ 諸証明書申込用紙は経理部前にあります。
- ⑤諸届願  
{ 休学・復学・退学・死亡  
改氏名・本籍地変更・保証人変更・保証人住所変更 }
  - ⑥大学院関係・留学生関係  
卒業論文(仏教学部・文学部)
  - ⑦転部転科
  - ⑧履修・試験・成績・学業相談  
学部演習 { 仏教学部・経済学部  
法学部・経営学部 }
  - ⑩時間割変更・休講・外国語指定届

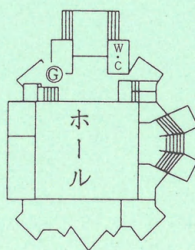
### 本館1F



### 掲示

- ④第1掲示板(表面)  
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
- ⑤第2掲示板(裏面) - 臨時掲示板 -  
教務部関係連絡事項(12月~3月)  
就職部関係連絡事項(8月)
- ⑥第3掲示板 - 臨時掲示板 -  
教務部関係連絡事項(12月~3月)  
就職部関係連絡事項(4月~11月)
- ⑦休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- ⑧授業時間表カウンター・教場変更掲示板
- ⑨大学院・留学生関係掲示板
- ⑩国際センター掲示板
- ⑪留学生専用・海外留学掲示板  
学外諸機関からの案内・募集広告等

### 耕雲館2F



### 体育館1F

